

秋田県文化財調査報告書第345集

狐
森
遺
跡

狐 森 遺 跡

—一般国道7号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書X—



秋田県教育委員会

2002・12

秋田県教育委員会

きつね もり
狐 森 遺 跡

－一般国道7号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書X－

2 0 0 2 • 12

秋田県教育委員会



遺跡遠景



1. 旧石器時代の遺物



2. 北陸系土器



1. 縄文時代の土器



2. 内耳鉄鍋



1. S I 0 1 出土擦文土器



2. S K 3 3 2 出土擦文土器

序

本県にはこれまで発見された約4,600カ所の遺跡をはじめとして、先人の遺産である埋蔵文化財が豊富に残されています。これらの埋蔵文化財は、地域の歴史や文化を理解し、未来を展望した香り高い文化を育んでいくうえで、欠くことのできないものであります。

一方、日本海沿岸東北自動車道をはじめとする高速交通体系の整備は、ゆとりと活力に満ちた新しいふるさと秋田の創造をめざす開発事業の根幹をなすものであります。

本教育委員会では、これら地域開発との調和を図りながら、埋蔵文化財を保存し、活用することに鋭意取り組んでおります。

本報告書は、一般国道7号琴丘能代道路建設に先立って、平成12年度に琴丘町で実施した狐森遺跡の発掘調査成果をまとめたものであります。

調査では、縄文時代前期末葉から中期前葉にかけての集落と、古代の集落が見つかり、当時の人々の生活の一端などが明らかになっております。

本書がふるさとの歴史資料として広く活用され、埋蔵文化財保護の一助となることを心から願うものであります。

最後になりましたが、発掘調査ならびに本書の刊行にあたり、御協力をいただきました現国土交通省東北地方整備局能代工事事務所、琴丘町教育委員会、八竜町教育委員会など関係各位に対し厚くお礼申し上げます。

平成14年12月

秋田県教育委員会

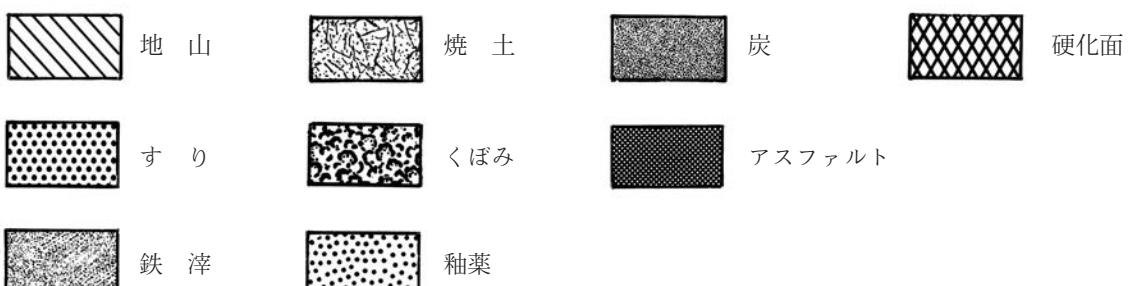
教育長 小野寺 清

例 言

- 1 本報告書は、平成12年度に発掘調査を実施した、一般国道7号琴丘能代道路建設事業に係る狐森遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 狐森遺跡は、平成10年に県営ほ場整備事業に伴う調査が、平成10・11年には日本海沿岸東北自動車道建設に伴う調査がおこなわれた。本報告書においては、平成10年の調査を第1次、平成10・11年の調査を第2次、今回の調査を第3次を仮称することとする。
- 3 本書の挿図中に使用した土層表記法は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖 1997年版』を使用した。
- 4 自然科学的分析のC14年代測定・樹種同定及び胎土分析は（株）パリノ・サーヴェイに依頼した。
- 5 本報告書に使用した地形図は、建設省国土地理院発行25,000分の1「鹿渡」「小又口」「五城目」「湯ノ又」である。
- 6 本遺跡調査の遺構計測の一部は、有限会社アイテックスに委託した。
- 7 本報告書に使用した遺構図トレース及び遺構配置図については、有限会社アイテックスに委託した。
- 8 本書に使用した土器実測図と拓影・実測図の一部については、アイシン精機株式会社に委託した。
- 9 本書に使用した石器実測図の一部については、株式会社シン技術コンサルに委託した。
- 10 本書に使用した写真図版の一部については、いろは写房に委託した。
- 11 本遺跡の調査ならびに報告書刊行にあたり、以下の方々からご指導、ご教示をいただいた。記して感謝する。（敬称略、五十音順）
宇部則保・木村 高・栗山知士・斎藤 淳・成田滋彦
- 12 本報告書の執筆は、藤原有希がおこない、第6章については工藤直子の協力を得た。編集は藤原有希がおこなった。また、遺構図作成には小西秀平・藤原寛子の協力を得た。
- 13 本遺跡調査において出土した資料、整理作業で生じた各種のデータ類は、秋田県埋蔵文化財センターが一括保管している。

凡 例

- 1 本報告書に収載した遺跡実測図に付した方位は座標北である。
- 2 土層注記は基本層位にローマ数字を用いた。
- 3 挿図中の遺構・遺物に係る略号は次の通りであり、ここに掲載以外の事項は各挿図に記している。
遺構 S I : 壱穴住居跡 S K : 土坑 S K F : フラスコ状土坑 S K I : 壱穴状遺構
S D : 溝状遺構 S J : 炭窯 S W : 炭焼遺構 S S : 製鉄遺構 S N : 焼土遺構
S A : 柱穴列 S X : その他の遺構 S K P : 柱穴様ピット
但し、S K Pについてのみ挿図中で略号は省略し、遺構番号のみで記している。
- 4 遺物 S : 磚 R P : 土器 R M : 鉄滓
- 4 挿図中に使用したスクリーントーンは以下の通りである。



目 次

序

例言

目次

挿図・写真図版目次

第1章 はじめに

第1節 調査にいたる経過.....	1
第2節 調査要項.....	2

第2章 遺跡の環境

第1節 遺跡の位置と立地.....	3
第2節 歴史的環境.....	5

第3章 発掘調査の概要

第1節 遺跡の概観.....	8
第2節 発掘調査の方法.....	8
第3節 調査の経過.....	9

第4章 調査の記録

第1節 基本層序.....	13
第2節 縄文時代の遺構とその出土遺物.....	14
第3節 古代の遺構とその出土遺物	100
第4節 時期不明の遺構	145
第5節 遺構外出土遺物	180

第5章 自然科学分析

第1節 狐森遺跡検出遺構の年代と古植生について	188
第2節 狐森遺跡出土土器の胎土分析	192

第6章 まとめ	197
---------------	-----

挿図目次

- 第1図 調査範囲図
第2図 遺跡位置図
第3図 周辺の地形
第4図 周辺の遺跡
第5図 グリッド配置図
第6図 基本層序図
第7図 遺構配置図
第8図 S I 141・288・294、S K 286・316・388、S N 289
第9図 S I 141出土遺物
第10図 S I 141・294出土遺物
第11図 S I 294・288、S K 286、S N 289出土遺物
第12図 S I 144
第13図 S I 144炉跡、S I 144出土遺物(1)
第14~23図 S I 144出土遺物(2~11)
第24~25図 S I 217と出土遺物
第26図 S I 263
第27図 S I 263炉跡
第28図 S I 263出土遺物
第29図 S I 297、S K 314・348・389・446、S N 296
第30図 S I 297、S K 314・348・389・446、S N 296と出土遺物
第31~32図 S K I 281と出土遺物
第33~34図 S K F 181・228と出土遺物
第35図 S K F 235、S K 399、S D 198と出土遺物
第36図 S K F 235出土遺物
第37図 S K F 239・S N 379と出土遺物
第38図 S K F 239出土遺物
第39~40図 S K F 247と出土遺物
第41図 S K F 261・S I 260と出土遺物
第42~43図 S K F 264と出土遺物
第44図 S K F 304・427と出土遺物
第45図 S K F 304出土遺物
第46図 S K F 341・S I 342と出土遺物
第47図 S K F 358と出土遺物
第48図 S K F 358出土遺物
第49図 S K F 365、S K 240・357
第50図 S K F 365、S K 240・357出土遺物、S K F 408
第51図 S K F 403・409
第52図 S K F 410・411・412と出土遺物
第53図 S K F 413・414・424・425
第54図 S K F 416と出土遺物
第55図 S K F 417と出土遺物
第56図 S K F 417出土遺物、S K F 434
第57図 S K 09・10・17・19・20・45・418・310・311・418・441、S D 312
第58図 S K 22・24、S D 21、S K 20・22・24・45・311出土遺物
第59図 S K 25・75・104・112・121
第60図 S K 25・104・121出土遺物、S K 139・152
第61~63図 S K 139出土遺物(1~3)
第64図 S K 139出土遺物(4)、S K 171・211・219と出土遺物
第65図 S K 186・245・404と出土遺物
第66~67図 S K 237・258・267と出土遺物
第68図 S K 270・284・419と出土遺物
第69図 S K 282・287・347・443と出土遺物
第70図 S K 282出土遺物
第71図 S K 293・308・322・323・327・328・333と出土遺物
第72図 S K 353・354、S D 227
第73図 S K 321・369・392・394・397・406と出土遺物
第74図 S K 407・431・433と出土遺物
第75図 S I 01、S K 07・307・319

- 第76図 S I 01出土遺物
第77図 S I 140と出土遺物
第78~80図 S I 173と周囲の遺構(1~3)
第81図 S I 173と周囲の遺構(4)、S I 173カマド
第82~83図 S I 173出土遺物(1~2)
第84図 S K 339・340・355・356出土遺物
第85図 S K 375・439出土遺物
第86図 S I 188、S K 189・195・285・398
第87図 S I 188カマド
第88図 S I 188、S K 189出土遺物
第89図 S I 193、S N 440
第90図 S I 193カマド
第91~92図 S I 193出土遺物(1~2)
第93図 S I 435
第94図 S K 23・137・262・285と出土遺物
第95図 S K 302・438と出土遺物
第96~97図 S K 332と出土遺物
第98図 S J 248
第99図 S J 248出土遺物、S W 82・149
第100~101図 S S 13と出土遺物
第102図 S S 147と出土遺物、S S 199
第103図 S N 135・415
第104図 S D 21・04・253
第105~106図 S D 251と出土遺物
第107図 S D 370
第108図 S A 175・209
第109図 S K 02・03・06・08・18・29・31・32・34・42・44・313
第110図 S K 50・54・55・57・69・74・76・83
第111図 S K 84・85・96・99・101~103・118・126・128
第112図 S K 129~132・136・143・160
第113図 S K 161・158・168・164~166・180・207・220
第114図 S K 224・226・244・271・272・279・280・309・317
第115図 S K 318・344・345・372・373・381~384、S D 213
第116図 S K 385・387・390・391、S X 223
第117図 S K 395・396・422・423・428・430・432・447
第118図 S N 142・146・290・393・429
第119図 S N 167
第120図 S D 200・291・442、S X 218・343
第121~122図 S K P出土遺物(1~2)
第123~128図 遺構外出土遺物(1~6)
第129図 時期別遺構配置図

表目次

- 第1表 周辺の遺跡
第2~9表 柱穴様ピット計測表(1~8)

巻頭図版

- 巻頭図版1 遺跡遠景
巻頭図版2 旧石器時代の遺物、北陸系土器
巻頭図版3 繩文時代の土器、内耳鉄鍋
巻頭図版4 擦文土器

図版目次

- 図版1~3 繩文時代の遺構
図版4~5 古代の遺構
図版6~12 遺構内・遺構外出土遺物
図版13 遺構内・遺構外出土遺物、胎土分析資料
図版14 自然科学分析

第1章 はじめに

第1節 発掘調査に至る経過

一般国道7号琴丘能代道路は、建設省能代工事事務所の作成した『1999事業概要 能代』によれば、山本郡琴丘町鹿渡地内を起点とし、二ツ井町駒形を結ぶ延長33.8kmの自動車専用道路である。この事業の発端は、現在の国道7号に代わる輸送幹線道路の機能を拡充する目的で、建設省東北建設局能代工事事務所から計画が提出されたことに始まる。当初、一般国道7号八竜能代道路(延長7km、幅員22m)と称し、昭和58年度に一般バイパス路線として能代八竜間が事業化された。その後、県都秋田市と県北主要都市の連絡を視野に入れた高速交通体系の一部を担うことから、平成元年度に事業計画が変更され、琴丘町まで延伸した自動車専用道路となった(延長17km、幅員23.5m)。

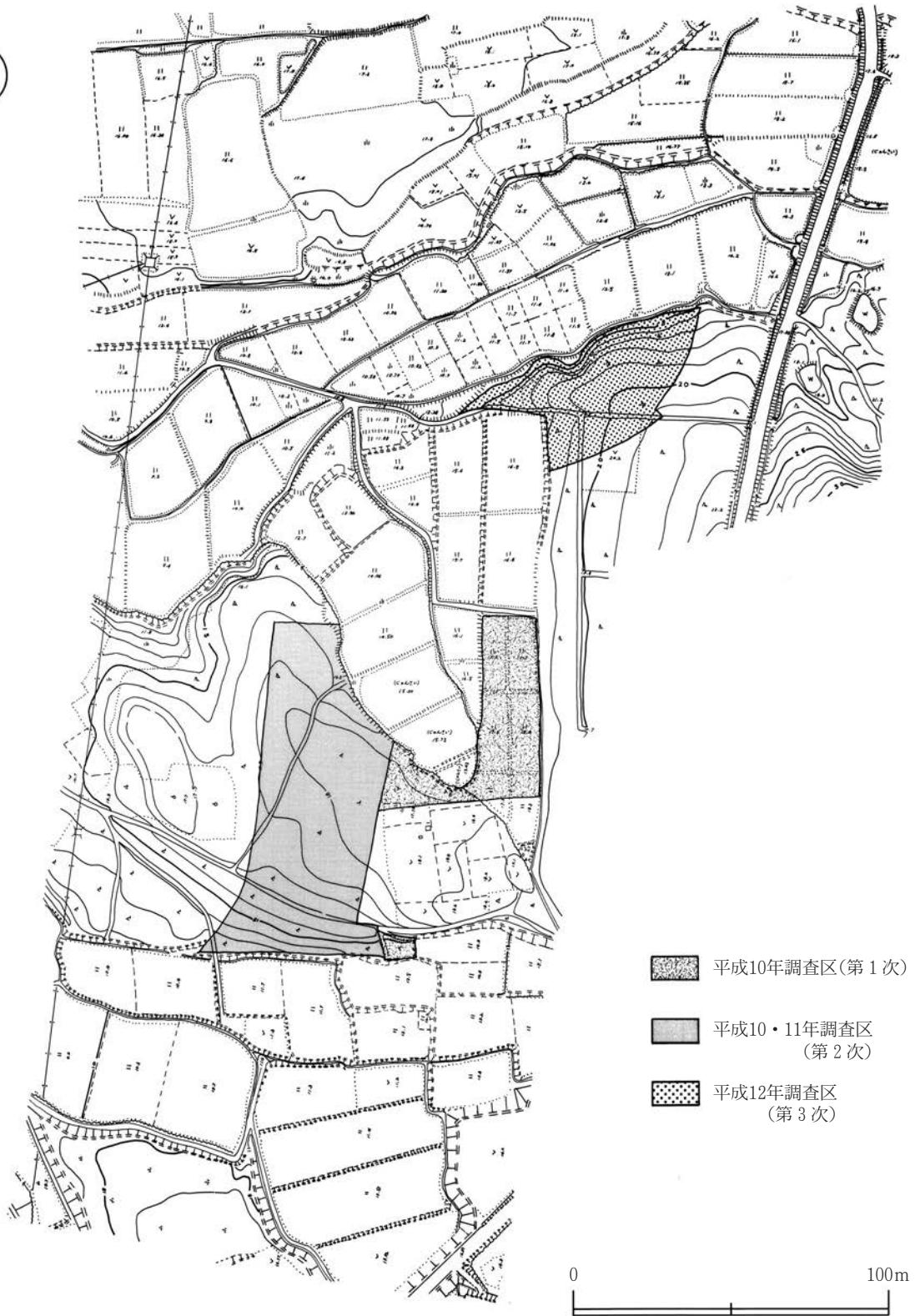
八竜町八幡台を起点に琴丘町鹿渡を終点とする琴丘能代道路建設事業八竜・琴丘間の琴丘インター・チェンジ付近について平成11年4月23日、5月6・7・21日、8月23日、11月16～18日に踏査・試掘をおこなった。調査の結果、周知の遺跡3箇所が事業に係ることが確認され、協議により平成11～12年度に発掘調査をすることになった。周知の3遺跡のうちの1つが狐森遺跡であり、平成12年5月22日～7月31日にかけて発掘調査を実施した。

第2節 調査要項

遺 跡 名 狐森遺跡(きつねもりいせき) 遺跡略号: 3 KM
所 在 地 秋田県山本郡琴丘町鹿渡字狐森78-2外
調 査 面 積 4,500m²
調 査 目 的 一般国道7号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財事前調査
調 査 期 間 平成12年5月22日～7月31日
調 査 主 体 者 秋田県教育委員会
調 査 担 当 者 藤原 有希(旧姓 小山)(秋田県埋蔵文化財センター調査課第3科文化財主事)
小西 秀平(秋田県埋蔵文化財センター調査課第3科非常勤職員)
藤原 寛子(秋田県埋蔵文化財センター調査課第3科非常勤職員)
調査総務担当 佐藤 悟(秋田県埋蔵文化財センター総務課課長)
佐々木敬隆(秋田県埋蔵文化財センター総務課主事)
八文字 隆(秋田県埋蔵文化財センター総務課主事)
調査協力機関 建設省能代工事事務所(現国土交通省東北地方整備局能代工事事務所)
八竜町教育委員会 琴丘町教育委員会

参考文献

- 秋田県教育委員会 『兵ヶ沢遺跡－日本海沿岸東北自動車道建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書II－』
秋田県文化財調査報告書第296集 2000(平成12)年
- 秋田県教育委員会 『館の上遺跡－一般国道7号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書VIII－』
秋田県文化財調査報告書第298集 2000(平成12)年
- 秋田県教育委員会 『狐森遺跡－県営ほ場整備事業(琴丘南地区)に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－』
秋田県文化財調査報告書第302集 2000(平成12)年



第1図 調査範囲図

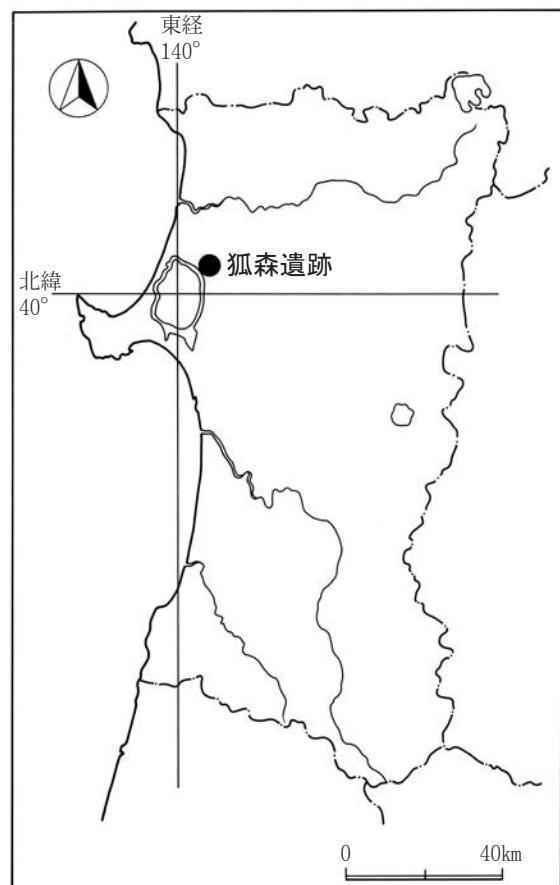
第2章 遺跡の環境

第1節 遺跡の位置と立地

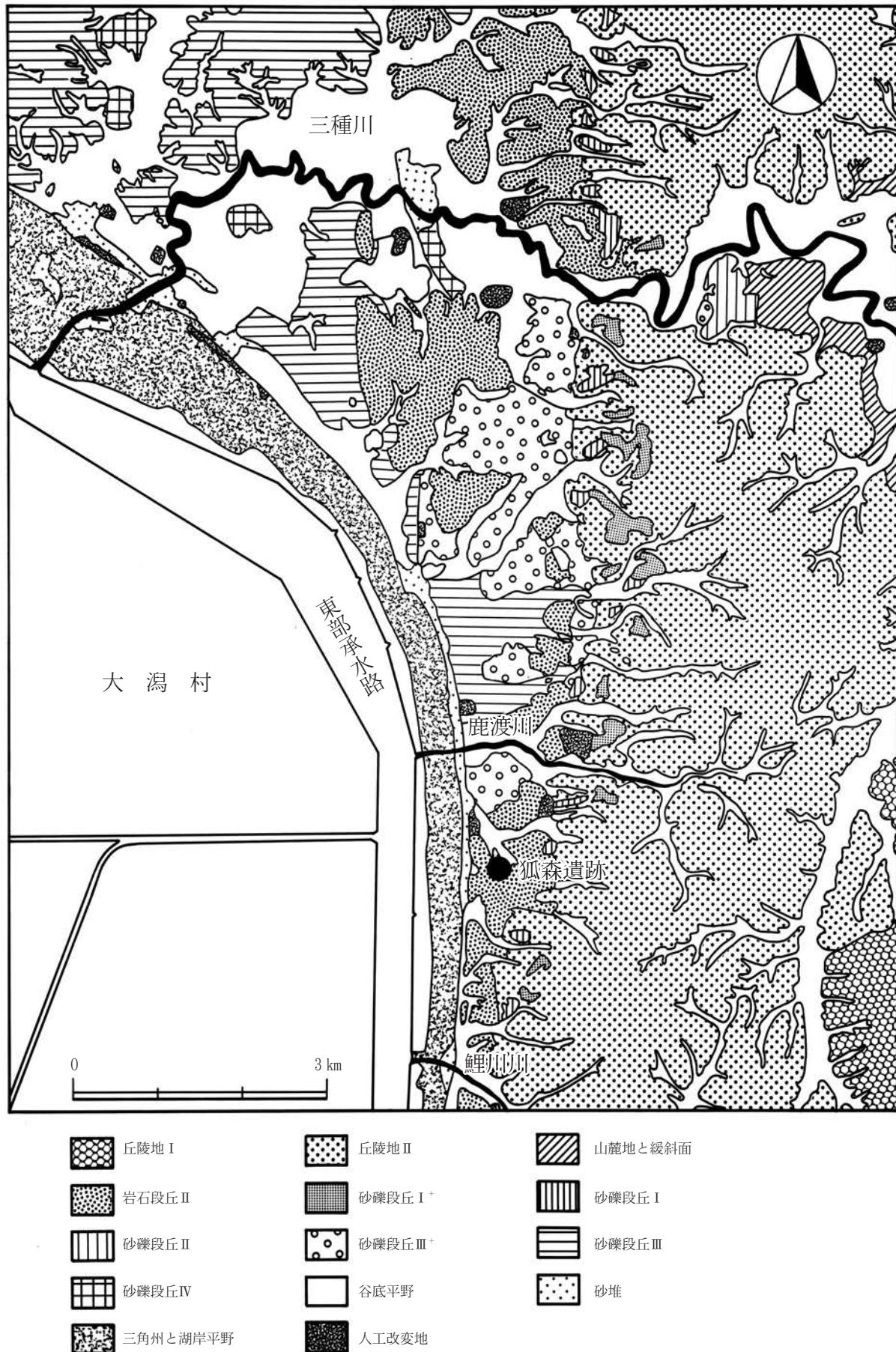
遺跡のある琴丘町は、西側の旧八郎潟東部承水路と東側の出羽丘陵の間にある狭小な平野部を中心には集落が点在する町である。旧八郎潟の東岸に沿って南北に延びる平野のほぼ中央を、国道7号とJR奥羽本線が南北に平行しており、遺跡はこのJR奥羽本線鹿渡駅から南南東へ1.4kmほどの東経 $140^{\circ} 5' 48''$ 、北緯 $40^{\circ} 1' 44''$ に位置している。

琴丘町を含む旧八郎潟東岸地域は、出羽丘陵地の北寄り部分に位置し、東は奥羽脊梁山地から分岐する太平山地に連なる七座山地－房住山山地、北は白神山地、西は日本海に面する地域の一部である。遺跡の東側で南北に聳える房住山山地と北の七座山地を結ぶ山頂部は、標高300～400mの高位浸食小起伏面群で、西側にはこれらの山腹をとりまくように丘陵頂部の標高が40～100mの齊高性のある浸食小起伏面群が発達している。また、この丘陵頂部の東側で山地に接する地形は急斜面となっており、西側では低位段丘面が平野面とともに低地面を形成し、この地域では山地、丘陵地、台地・低地の三段化した地形が規則正しく連なっている。平野面を形成する水系は、遺跡から北に7.5kmほどを西流するこの地区最大の三種川の他は、遺跡周辺で鹿渡川や鯉川川が八郎潟干拓地の東部承水路に注ぎ込んでいるに過ぎない。

遺跡の立地する鹿渡台地は、北側を鹿渡川、南側を鯉川川によって挟まれた地域に広がり、大小の沢によって開析を受けている。台地面の基盤は不明だが、厚さ2mの微砂、その上に灰白色砂層、厚さ1mの粗砂があり、さらに赤色土壤の上部に腐植土がのる海成層から成る浸食面で、山麓に沿って薄く砂質頁岩角礫がわずかに見られる。浸食面としての鹿渡台地は下末吉面相当と交叉して、これを取り囲むように発達する砂質頁岩礫を含む赤褐色土壤質の活断層複合扇状地としての武蔵野面相当面とのモザイク状面より成り立っていて、この全域がN-S方向に発達する森岳断層線に起因する活構造の他律性によって発達しつつある台地面である。



第2図 遺跡位置図



第3図 周辺の地形

第2節 歴史的環境

琴丘町には、『秋田県遺跡地図(中央版)』によれば、縄文時代から中世まで23遺跡とやや少ない。しかし、当地域における最近の大規模は場整備事業や道路建設事業に伴う遺跡調査により、旧石器時代から中世における遺跡の数が増加しており、不明な点の多かった当地域における歴史の一端が見えてきている。第4図に記した地図番号は、『秋田県遺跡地図(中央版)』に準拠し、アルファベットは『秋田県遺跡地図(中央版)』が刊行された1990年以降に見つかった遺跡である。

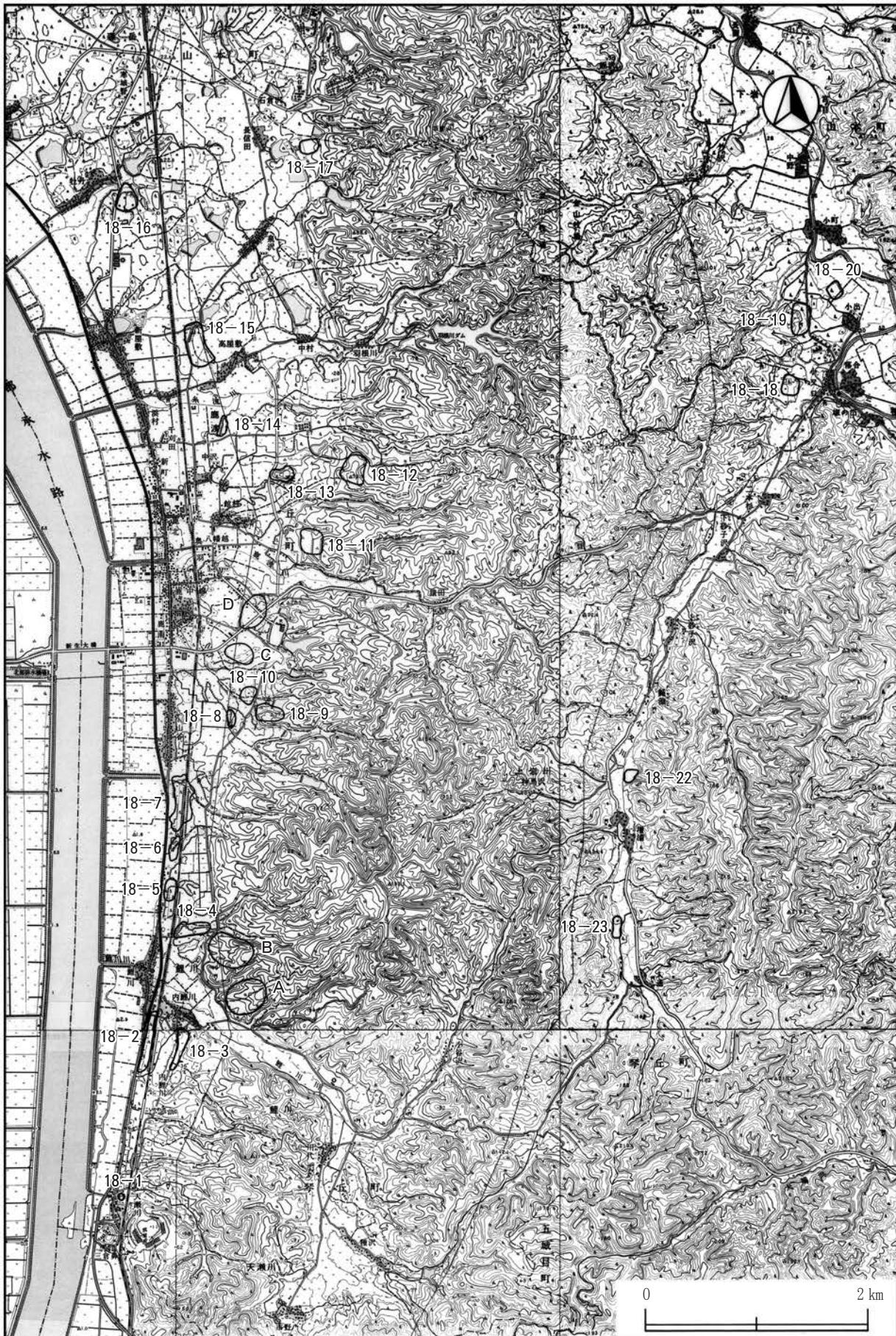
旧石器時代の遺跡では、家の下遺跡(E)がある。平成6年に調査され、琴丘町で初めての旧石器が出土した。遺跡は、下末吉面に相当すると考えられる森岳段丘面に立地し、縦長剥片素材のナイフ形石器や米ヶ森技法による台形様石器を主体とする石器群が出土した。A T降灰(B P 25,000年前後)以前の時期が想定されている。

縄文時代の遺跡では、狐森遺跡(18-10)・兵ヶ沢遺跡(18-8)・宝竜前遺跡(18-15)・高石野遺跡(18-7)・堂の下遺跡(B)等がある。狐森遺跡は平成10・11年度に調査が実施された。縄文時代早期末葉～前期後葉、後期中葉の土器や石器が出土し、南側緩斜面からは円筒下層a・b様式の土器を主体とする捨て場が検出されている。兵ヶ沢遺跡は旧沢を挟んだ狐森遺跡の南側の台地に位置する。前期中葉の竪穴住居跡や陥し穴状遺構が検出され、狐森遺跡との関連性がうかがえる。後期前半では、家の下遺跡で多数のフラスコ状土坑が調査されている。また、堂の下遺跡からは、後期中頃の竪穴住居跡から頭部に細密な文様を施した石棒が見つかっている。

縄文時代晩期になると、高石野遺跡がある。遺跡は狐森遺跡から西南へ1kmほどの標高20m前後の台上地にあり、昭和57年度の琴丘町教育委員会の調査では、住居跡は検出されなかったものの縄文時代後期後半から晩期中頃までの土器群が多数出土している。特に、晩期前半の大洞B・B C式に伴う土製品が多く、なかでも海獣等を模したと思われる中空土製品が4点出土し、「縄文の土笛」として町のシンボルにもなっている。

古代の遺跡では、諏訪長根遺跡(18-13)、泉沢中台遺跡(F)、小林遺跡(A)、盤若台遺跡(D)、金仏遺跡(C)等がある。泉沢中台遺跡は平成6・7年に調査され、10世紀代の建物跡、板塀跡などとともに、製鉄関連遺構が4基検出されてる。このほか、小林遺跡の調査では、フイゴ羽口、鉄滓が出土し、平安時代の製鉄関連集落であることが確認された。盤若台遺跡では古代の製鉄炉が確認され、当時の生産遺跡であることが判明した。また、隣接する金仏遺跡では掘立柱建物跡や井戸跡も見つかり、集落が営まれていたことが確認されている。

中世になると、堂の下遺跡(B)、狐森遺跡(18-10)等がある。堂の下遺跡は平成10年度から12年度にかけて調査がおこなわれた。古代の小林遺跡とは沢を隔てた北側の丘陵にあり、遺跡の広がりは70,000m²以上に及ぶと見られている。平成10・11年度の調査では、13世紀の製鉄遺構として製鉄炉・溶解炉を検出した。遺物では多数の鋳型・鉄滓が出土しており、製鉄の原料である砂鉄の採取から鋳鉄製品の製作まで行っていた大規模な生産遺跡であったことが解明されている。狐森遺跡でも平成10年度の調査で中世の掘立柱建物跡、竪穴遺構等が検出され、中世陶器、金属製品、錢貨等が出土している。このほか、中世城館として、館の越館(18-9)と古館城跡(18-12)があり、空堀・曲郭などが確認されている。



第4図 周辺の遺跡

琴丘町内における遺跡を概観すると、旧石器時代から縄文時代の遺跡は標高20m前後の台地上にあることがわかる。その中で、堂の下遺跡で見つかった縄文時代後期の竪穴住居跡は、立地から見て特異なものと考えられる。また、当地域において古代から中世にかけての製鉄関連遺跡の多さが注目される。これは、丘陵地の地層の中に砂鉄が豊富に含まれており、製鉄の原料を容易に獲得できたことに起因するものであろう。今後調査が進むにつれ、当地域における古代から中世の製鉄産業や鋳物業の実態が解明されてくると考えられる。

参考文献

- 秋田県教育委員会 『秋田県遺跡地図(中央版)』 1990(平成2)年
 秋田県山本郡琴丘町教育委員会 『高石野遺跡発掘調査概報』 昭和57年
 秋田県教育委員会 『狐森遺跡－県営ほ場整備事業(琴丘南地区)に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－』
 秋田県文化財調査報告書第302集 2000(平成12)年
 秋田県教育委員会 『家の下遺跡(2)旧石器時代編－県営ほ場整備事業(琴丘地区)に係る埋蔵文化財発掘調査報告書III－』 秋田県文化財調査報告書第275集 1998(平成10)年
 秋田県教育委員会 『兵ヶ沢遺跡－日本海沿岸東北自動車道建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書II－』
 秋田県文化財調査報告書第296集 2000(平成12)年
 琴丘町 『琴丘町史』 1990(平成2)年
 秋田県教育委員会 『泉沢中台遺跡－県営ほ場整備事業(琴丘地区)に係る埋蔵文化財発掘調査報告書IV－』
 秋田県文化財調査報告書第276集 1998(平成10)年

地図番号	遺跡名	所在地	種別	遺構・遺物
18-1	信雄館	琴丘町天瀬川字永の目53		
18-2	中野館	琴丘町鯉川字中野1-1	館跡	空掘・段築
18-3	小野台	琴丘町鯉川字小野台35		
18-4	真山野	琴丘町鯉川字真山野7-3	遺物包含地	縄文土器片
18-5	陣馬野	琴丘町鯉川字陣馬野33	遺物包含地	縄文土器片
18-6	鯉川高石野	琴丘町鯉川字高石野	遺物包含地	
18-7	高石野	琴丘町鹿渡字高石野114	遺物包含地	土坑、竪穴状遺構、縄文土器(中期～晩期)、土製品(土偶、土面、土笛等)、石器(石鏃、石槍等)、石製品
18-8	兵ヶ沢	琴丘町鹿渡字兵ヶ沢48	遺物包含地 集落、生産遺跡	石器 竪穴住居跡、陥し穴状遺構、掘立柱建物跡、炭窯、土器、石器、土師器
18-9	館の越館	琴丘町鹿渡字狐森20他	館跡	空掘
18-10	狐森	琴丘町鹿渡字狐森29-1	遺物包含地	縄文土器片多量、石器片
18-11	北牛渕	琴丘町鹿渡字北牛渕27-1	遺物包含地	縄文土器片
18-12	古館城跡	琴丘町鹿渡字諫訪長根65	館跡	空掘、段築、井戸
18-13	諫訪長根	琴丘町鹿渡字諫訪長根79	遺物包含地	縄文土器片、須恵器片、石器
18-14	鬼沢口	琴丘町鹿渡字鬼沢口184	遺物包含地	縄文土器片、石器片
18-15	宝竜前	琴丘町鹿渡字宝竜前36	遺物包含地	住居跡、フラスコ状ピット、縄文土器片(中期・晩期)、石器
18-16	地蔵長根	琴丘町鹿渡字地蔵長根64	遺物包含地	フラスコ状ピット
18-17	長信田	琴丘町鹿渡字長信田家後54-5	遺物包含地	石器
18-18	向台	琴丘町上岩川字鹿渡渉163	遺物包含地	縄文土器片、石器
18-19	柏木岱	琴丘町上岩川字柏木岱69	遺物包含地	
18-20	小出	琴丘町上岩川字小出46	遺物包含地	
18-22	増浦	琴丘町上岩川字増浦341	遺物包含地	
18-23	西増浦	琴丘町上岩川字西増浦2-30	遺物包含地	
A	小林	琴丘町鯉川字小林39	集落跡	竪穴住居跡・炭窯・青磁・勾玉
B	堂の下	琴丘町鯉川字堂の下72	製炭遺跡	炭窯・製鉄炉・排滓場・珠洲系陶器
C	金仏	琴丘町鹿渡字金仏31外	集落跡	掘立柱建物跡・火葬墓・陶磁器
D	盤若台	琴丘町鹿渡字盤若台121外	集落跡	竪穴状遺構・土師器・珠洲系陶器
E	家の下	琴丘町鹿渡字長信田家の下1-5外	石器製作跡	ナイフ形石器、搔器、削器、抉入石器 石刃、小型貝殻状剥片、石核
F	泉沢中台	琴丘町鹿渡字泉沢中台71	集落跡	土師器・須恵器・鉄滓・羽口

第1表 周辺の遺跡

第3章 発掘調査の概要

第1節 遺跡の概観

琴丘町は、八郎潟残存湖の東岸及び北東岸にあたり、出羽丘陵の北東辺に位置する。遺跡周辺の台地は、東側山麓から流れ出る多くの沢により鋸歯状に開析されている。狐森遺跡は、南北を沢により開析され、八郎潟残存湖に向かって半島状に突き出した標高16m前後の台地上に広がる。平成10年には県営ほ場整備事業に伴う発掘調査(第1次)が、平成10・11年には日本海沿岸東北自動車道建設に伴う発掘調査(第2次)がおこなわれている。第1・2次調査区は台地の南端に位置する。今回の調査区は第1・2次調査区の北東側、台地の北端部に位置する。調査区の南側は山林であり、北側は沢により開析されていた。

調査区は台地上の南部平坦面と北東部段丘面、台地北端部の北側斜面とに分けられる。南部平坦面は標高19m、北東部段丘面は標高18~19m、北側斜面は標高13~18mである。北東部段丘面はLT~LN56・57グリッドに位置し、2段確認できた。上段は西側で湾曲して収束し、下段は傾斜面に吸収される。上下段とも酸化鉄が沈着した硬化面がある。西側の調査区外にも段丘が形成されており、水田として利用されていた。

第2節 発掘調査の方法

発掘調査はグリッド法を採用した。調査区内に設置されている一般国道7号琴丘能代道路建設の道路中心杭(AN0.20)から国家座標系第X系座標北を求めて南北基準線とし、これに直交する東西基準線を設け、4m×4mのグリッドメッシュを設定した(第5図)。調査区内に位置するAN0.20の杭を今回の調査基準杭MA50とした。グリッド杭には、東西方向には東からLQ…LT、MA、MB…のアルファベットと、南北方向には南から北に向かって昇順となる連続した2桁の数字を組み合わせた記号を記入し、グリッド名とした。方眼杭に囲まれたグリッドの呼称はその南東隅に位置する杭を代表させた。

検出した遺構は、その種類を問わず一連の番号を付している。ただし、柱穴様ピット(SKP)については別個に1から番号をあてている。番号登録の後、遺構と判断できなくなったものについては欠番として扱った。また、掘立柱建物跡(SB)や柱穴列(SA)となったSKPについても欠番として扱い、建物内で新たに一連の番号を付した。

調査の記録は図面と写真によった。遺構・遺物の実測は、グリッド杭を基準とする簡易遣り方測量とトータルステーションによる測量を併用した。図面は基本的に1/20縮尺とした。写真撮影は35mmのネガカラーフィルム、リバーサルフィルムを中心に、長期保存のためモノクロフィルムをまじえておこなった。

第3節 調査の経過

5月15～23日 重機による表土除去。22日遺構確認開始。秋田県埋蔵文化財センターよりトラックで機材搬入。

5月24～31日 遺構検出。29日MA・MB50付近からチップが集中して出土。石器製作遺構の可能性あり。MA50付近で縄文土器多く出土。30日遺構確認状況を写真撮影。31日SK13の東側に焼土・炭化物が集中し、鍛冶炉の可能性がある。

6月1・2日 遺構検出。1日鍛冶炉・住居等を多数検出。北側斜面からは骨片が出土。南部平坦面写真撮影。遺構精査開始。遺構配置図作成。

6月5～9日 遺構精査。5日北側斜面西側SI263床面付近から小壺出土。SD251確認写真撮影。9日現地協議。現場の引き渡し期日について協議。SK282底面にフレイク集中。近くに炭化物が分布する。

6月12～16日 遺構精査。12日SD251南側から礫が集中して出土。13日コンテナハウス移動。14日フラスコ状土坑検出。16日SKP1028から縦長剥片出土。

6月19～23日 遺構精査。19日SK282石器製作遺構の可能性あり。20日SKP1028近くにトレンチ設定。旧石器の有無の確認をおこなう。22日生涯学習センター主催の縄文ゆとり工房岩見氏他数名来跡。23日SI144から土器・石器多数出土。床面2ヶ所から焼土検出。SK287北西部に焼土・炭化物確認。土坑墓の可能性あり。底面からフレイク出土。

6月26～30日 北側斜面精査開始。27日SKF181底面近くから炭化物多く出土。SN149最下層に木炭層あり。SI173では壁溝を南壁で確認。LT～LN55～58の段丘面精査。LK～LMにわたり50×40cmの方形の掘り込みがほぼ4m間隔に並ぶ。28日SK332より擦文土器1点出土。SK13須恵器片1点出土。東側に焼土・炭化物確認。29日SX248は窯の煙出しの可能性あり。SX294南東部より剥片多く出土。東側の柱穴は壁に沿ってめぐる。SI193南側にカマドが付設される。30日SX248下部半截。埋土はすべて潟西層の砂層。上部の切り落とし部分にフラスコ状土坑の断面が一部現れている。SI173には周溝が巡り、四隅に柱穴が付く。北東隅の床面から内耳鉄鍋片出土。SI01カマド精査。

7月3～7日 遺構精査。3日金仏遺跡からの機材搬入。SN147は炉底の木炭が残っているのみ。フィゴ羽口が木炭範囲に対し逆位に置かれている。4日SN147炉壁の一部が西側で確認される。5日SX248底面から半ば程までが天井部の崩落土。以上は同じ潟西層由来の砂であるが流入したものである。SK13炭化物・焼土の混じる2層半截。羽口・土師器甕出土。6日SS199鉄滓多量に出土。S13床面の掘り込みあり。炉壁の一部検出。

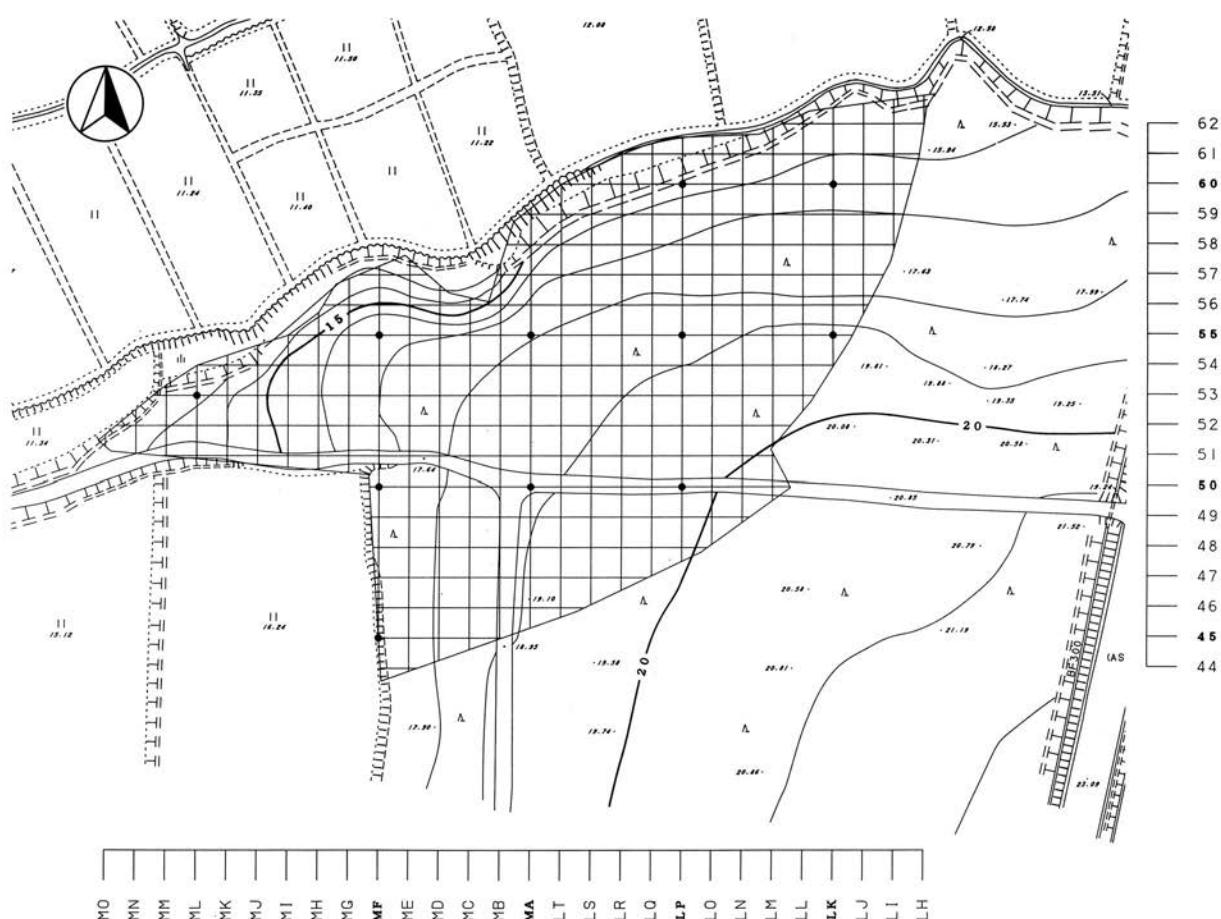
7月10～14日 遺構精査。10日トータルステーションによる遺構平面図実測開始。SI217北壁付近に炭化物・焼土分布。11日能代工業高校栗山知士教諭来跡。SK237底面から縄文土器1個体分出土。底面には炭化物あり。埋土は地山に非常に類似した土が一括堆積。SI193カマド両袖部が比較的良好に残る。火床面もきわめて硬く焼き締まる。内部からフィゴ羽口出土。SKI218から縄文時代晚期の土器片出土。SI01壁の四隅に位置する柱穴あり。壁側カマドの両脇に柱穴配置。12日SI217床面精査。東側から土器2個体分出土。SKF365周囲の柱穴がまわることから上屋構造がある可能性あり。SI193カマド火床部は硬い焼土面。南側にフィゴ羽口が立てられた状態で出土。13日SX248かまぼこ形の窯体

に煙出しの突出部が上に付いた形状。窓底面もわずかながら段差があり、上部崩落部と対応する位置で屈曲する。S I 193壁柱穴確認。カマドを据え付けるために一度床面を掘り込み、その上に貼り床している。S I 217扁平片刃磨製石斧出土。14日MAラインの北側斜面上に11基のフラスコ状土坑のプラン確認。SK 237底面から数個体の土器が潰れた状態で出土。

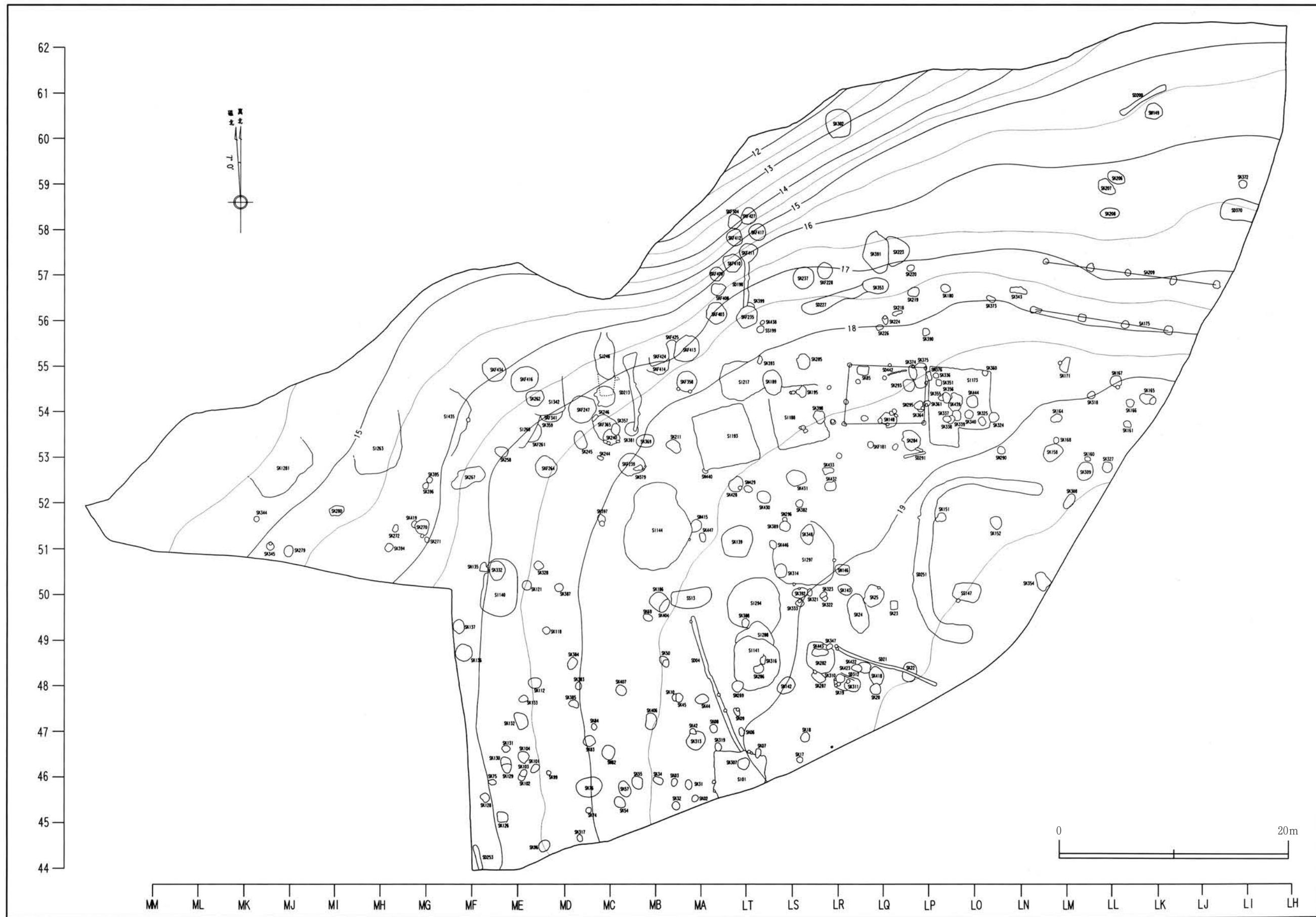
7月17~21日 遺構精査。17日八竜町短歌会伊藤専一郎氏他4名来跡。S I 193カマド前庭部側に鍋底形の断面の掘形がある。18日SN 147東西に長い隅丸方形のプランになる。SK F 304底面から縄文土器出土。19日SN 147は基本的に暗褐色シルトを埋めた後、地山ブロックを多く混ぜた土を埋め、その上に炉底を構築している。S I 193袖部には瀬戸層下部の砂を貼り付けて作っている。21日空中写真撮影に備え、遺構プランに石灰塗布開始。SK F 417底面にフラスコ状の土坑1基検出。

7月24~28日 遺構精査。遺構プランに石灰塗布。24日遺構番号欠番及び図面の取り残しチェック。27日写真撮影に備え調査区内清掃開始。28日発掘機材をセンターに搬出。

7月31日 10:30から建設省能代工事事務所・文化財保護室立ち合いのもと現場引き渡し。12:00から空中写真撮影。すべての調査を終了した。



第5図 グリッド配置図



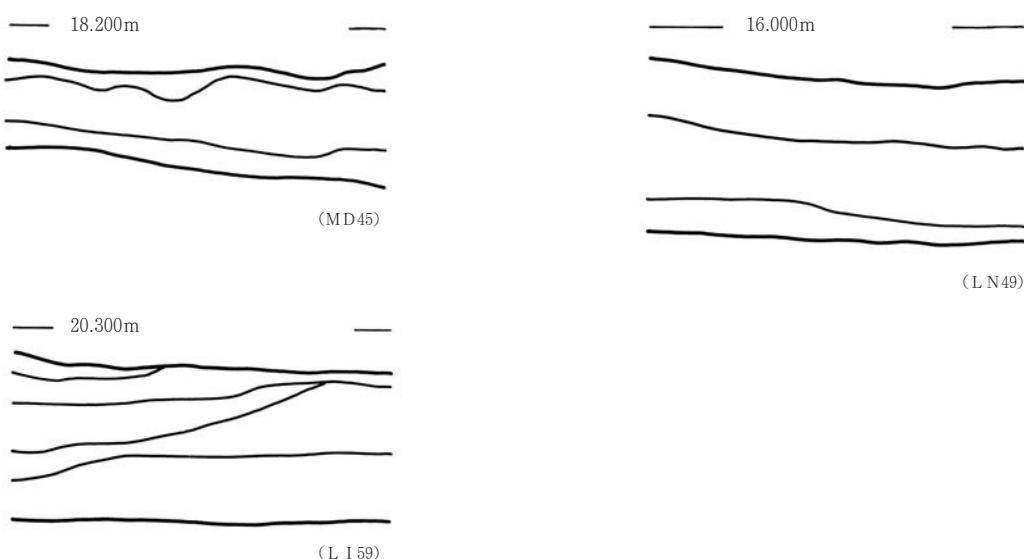
第4章 調査の記録

第1節 基本層序

調査区内は南側台地上では標高18~20m、北側斜面では標高13~18mであり、斜面下にいくにつれて表土が厚く堆積する。最も深い北側斜面東側のL I 59グリッド付近では表土から地山面まで5層に分層できた。

- I層. 10YR 2/2 黒褐色土 砂質 しまり弱 径2~3mmの炭を1%含む。
- II層. 10YR 2/3 黒褐色土 砂 しまりやや弱
径1~2cmの粘土粒(10YR 3/3 暗褐色)を1%、径2~3mmの炭を10%含む。
- III層. 10YR 2/1 黒色土 砂質 しまり強 粘性ややあり
径1~2mmの炭を1%、径2~3mmの鉄分の多い土(5YR 4/4 にぶい赤褐色)を粒状に1%含む。
- IV層. 10YR 3/1 黒褐色土 砂 しまりややあり
径1~2mmの炭を1%、径2~3mmの鉄分の多い土(5YR 4/4 にぶい赤褐色)を2%含む。
- V層. 10YR 3/2 黒褐色土 砂 しまりやや強 粘性ややあり
径1~10mmの炭を2%、径2~3mmの鉄分の多い土(5YR 4/4 にぶい赤褐色)を斑状に5%含む。

I・II層は表土・耕作土で、層は遺物包含層、層上面が遺構確認面である。IV層とV層の間には5YR 4/4の鉄分が筋状に入り、両層の境界となっていた。III・IV層は、北側斜面東側(L I 59)でのみ確認され、南部平坦面(M D 45、L N 49)ではI・II層下がV層であった。(第6図)



第7図 基本層序図

第2節 縄文時代の遺構とその出土遺物

縄文時代の遺構は、竪穴住居跡7軒・竪穴状遺構1基・フ拉斯コ状土坑25基・土坑58基・焼土遺構1基・溝状遺構2条を検出した。遺物は、縄文土器・石器・二次加工のある剥片・剥片が出土した。

1 竪穴住居跡

南部平坦面上に集中している。

S I 141(第8図、図版1・6・7・8)

L S・L T 47~49グリッドに位置する。S I 288、S K 286と重複し、S I 288より新しく、S K 286より古い。径4.73m×4.50m、深さ0.33mの略円形を呈する。埋土は3層に分層した。2・3層は壁の崩落土である。壁面はやや外傾しながら緩やかに立ち上がる。床面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。床面の北西部から埋設土器を1基検出した。周囲に炭化物混じりの焼土が分布していたことから、炉跡であると考えられる。また、床面からは柱穴を34基検出した。壁柱穴が壁に沿ってめぐる。

遺物は縄文土器片45点(図示したもの9点、第9図1~7、第10図1・2)、石鏃2点(第10図3・4)、二次加工のある剥片7点(図示したもの1点、第10図5)、剥片82点が出土した。縄文土器片の中には北陸系の土器片が3点含まれており、1点を図示した(第9図4)。出土した縄文土器はすべて深鉢である。第9図1は体部が直線的に立ち上がり、頸部がくびれ、口縁部が外傾する。口径は19.4cmである。口縁部と頸部には押圧縄文が横位に施文され、内外面には炭化物が付着する。2は円筒形を呈し、口縁部に押圧縄文が横位に施文され、体部にはR L縄文が施される。第9図3には隆帯が貼り付けられ、隆帯上にはキザミ目状の撚糸圧痕文が施文される。4は半截竹管による横位平行沈線が2条施文され、下に押圧縄文が縦位に施される。5はR L縄文施文後に沈線が施され、表面には炭化物が付着する。7の裏面には炭化物が付着する。第10図2は体部下半から底部にかけて残存している。底径は11cmである。体部にはL撚糸文が施文される。内面はナデである。第10図3の石鏃にはアスファルトが付着する。出土遺物から、縄文時代前期末葉から中期前葉に属するものと考えられる。

S I 144(第12・13図、図版2・7~9・12)

MA・MB 50~52グリッドに位置する。S N 415、S K P 1430・1462と重複し、本住居跡が古い。長軸7.66m×短軸3.59~5.91m、深さ0.44mの不整円形を呈する。埋土は6層に分層した。4層は貼床である。壁面はやや内湾しながら緩やかに立ち上がる。床面はほぼ平坦であるが、南西部が3.9m×2.0mの橢円形に窪む。床面からは埋設土器が3基出土した。周囲に硬化した焼土が検出されたことから、土器埋設炉であると考えられる(炉1~3)。2基(炉2・3)には土器内に礫が数点入れられていた。礫は熱を受けておらず、廃絶の際に入れられたものと考えられる。柱穴は29基検出した。柱穴配置と土器埋設炉を3基確認したことから、数回の改築があったものと考えられる。

遺物は縄文土器片125点(図示したもの95点、第13図1~4、第14~20図、第21図1~5)、土製品1点(第21図6)、石鏃4点(第21図7~10)、石錐1点(第21図11)、石匙1点(第21図12)、搔器4点(第21図13、第22図1~3)、削器6点(第22図5~10)、打製石斧1点(第23図5)、凹石1点(第23図6)、磨石2点(第23図7・8)、石錘1点(第23図9)、二次加工のある剥片15点(図示したもの4点、第23図1~4)、剥片174点が出土した。縄文土器片の中には北陸系の土器片が13点含まれており、6点を図示した(第18図7~

11)。出土した縄文土器はすべて深鉢である。第13図1～4、第14図1～4は円筒形を呈し、口縁部には押圧縄文が横位に施文される。口縁部と体部との境に上部に刺突が施された微隆帯が貼り付けられる。第13図1の口唇部には押圧縄文が、4の口唇部には刺突が施文される。第14図6・7は口縁部から体部にかけてR L縄文が施文され、口縁部と体部の境に隆帯が貼り付けられる。口唇部にはキザミが施文される。第14図8は口縁部であるが、全体に熱を受けて摩滅しており、文様構成は不明である。第14図9は口縁部に縦方向に細長い突起が2つ平行して貼り付けられ、まわりには横位に撫糸の側面圧痕文が施文される。第14図10は口縁部下部から体部にかけて残存しているもので、口縁部には横位に撫糸の側面圧痕文が施文され、口縁部と体部の境には上部に竹管による刺突が施された微隆帯が付く。体部には木目状撫糸文が施文される。第15図1・2は炉に埋設されていた深鉢で、口縁部から体部上半にかけて残存している。1は炉2から出土した。口径31.5cmで、体部がやや外傾しながら立ち上がり、口縁部が外側に肥厚する。平坦口縁で、口縁部には上下に刺突列が施され、間には押圧縄文が横位に施文され、ボタン状の突起が貼り付けられる。突起のまわりでは押圧縄文が突起に沿って弧状に展開する。突起上部にも押圧縄文が施文される。体部には羽状縄文が施され、内面はミガキで下部には炭化物が付着する。2は炉1から出土した。口径30.2cmで、体部がやや外傾しながら立ち上がり、口縁部との境で外側に向かってほぼ直角に屈曲し、口縁部は外反する。4単位の緩やかな波状口縁を呈し、波頂部には円形の突起が貼り付けられる。円形の突起間には橈円形の突起が貼り付けられる。口縁部には押圧縄文が横位に施され、円形の突起のまわりでは突起に沿って弧状に展開する。体部には羽状縄文が施文され、内面はミガキである。第16図1～3は口縁部に押圧縄文が横位あるいは鋸歯状に施文される。2・3は体部との境に隆帯が貼り付けられ、隆帯上にはキザミ目状に撫糸圧痕文が施文される。体部にはR L縄文が施される。第16図4～12、第17図、第18図1・2は平坦口縁あるいは波状口縁で、口縁部文様帶には隆帯が貼り付けられ、隆帯上にはキザミ目状の撫糸圧痕文が施文される。隆帯間は刺突や爪形刺突で充填される。第18図7～13は半截竹管により文様が施文される。第18図13は半截竹管による渦巻状の沈線文の中に刺突が充填される。第18図14は炉3から出土した。口径23.6cmで表面には羽状縄文が施文される。内面はミガキである。第20図1～8には羽状縄文が、第20図12～14、第21図1～3には木目状撫糸文が施される。第23図6は円盤状土製品で、表面にL R縄文を施文した土器片を円形に成形し、中央に穿孔を施したものである。内面はナデ調整である。第23図9の石錐には、側面に擦痕がみられる。出土遺物から縄文時代前期末葉から中期前葉に属するものと考えられる。

S I 217(第24図、図版1・7・9・13)

L S54、L T54・55グリッドに位置する。S K189と重複し、本住居跡が古い。北東側は削平されており壁は検出されなかったが、残存部長軸3.50m、短軸2.90m、深さ0.46mの不整円形を呈するものと考えられる。埋土は6層に分層した。壁面は緩やかなU字状を呈する。床面は中央部が2.90m×2.35mの略円形に一段窪む。北壁付近の床面には炭化物・焼土が分布していた。柱穴は床面から12基検出した。

遺物は縄文土器片31点(図示したもの11点、第24図1・2、第25図1～9)、尖頭器1点(第25図10)、削器1点(第25図11)、半円状扁平打製石器1点(第25図12)、剥片51点が出土した。縄文土器片はすべて深鉢で、中には北陸系の土器片が1点含まれる(第25図3)。第24図1・第25図1は小波状口縁で円筒形を呈し、口縁に沿って押圧縄文が施文される。口唇部にはキザミ目状の撫糸圧痕文が施文され、波頂部に押圧縄文が縦位に施される。第24図1は口縁と体部の境に穿孔が施され、体部には木目状撫糸文が施文

される。第24図2は口縁部に押圧縄文が斜位に施文され、体部との境には上部に刺突を施した微隆帯が貼り付けられる。体部には羽状縄文が施文される。第25図2は口縁部に押圧縄文が横位に施文される。3は隆帯の下に半截竹管による方形の区画文が施文され、区画内は格子目状文により充填される。4～8は体部で、4にはR L縄文が、5・8には羽状縄文が、6・7には横走するL R縄文が施文される。9は円筒形を呈し、体部には羽状縄文が施文される。底径は11.7cmである。出土遺物から、縄文時代前期末葉から中期前葉に属するものと考えられる。

S I 263(第26・27図、巻頭図版3、図版1・6・13)

M G・M H 52・53グリッドに位置する。段丘面上の落ち込みとして確認し、北西側は斜面に接しており崩落しているが、残存部から隅丸方形を呈するものと考えられる。残存部長軸4.12m、短軸4.06m、深さ0.50mである。埋土は1層である。壁面は緩やかに外湾しながら立ち上がる。床面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。西壁中央から複式炉を検出した。前庭部と壁の間からは柱穴状の落ち込みを検出した。また、土器埋設部の両側から柱穴を2基検出した(P 1・2)。

遺物は縄文土器片12点(図示したもの6点、第28図1～4、6・7)、石皿1点(第28図5)、二次加工のある剥片1点、剥片3点が出土した。1は炉に埋設されていた土器で、体部下半から上半にかけて緩やかに外傾しながら立ち上がり、口頸部で内湾する。体部にはR L縄文が施文される。内面下部には炭化物が付着する。2・3は鉢形土器で同一個体である。口縁部に工字文が、口頸部に横位平行沈線が施文され、突起が貼り付けられている。体部にはL R縄文が施文される。4は深鉢の体部で、表面にR L縄文が施文される。7は床面から出土した小型の壺形土器である。体部にはR L縄文が施文される。本住居の西には縄文時代晩期の竪穴状遺構(S K I 281)が位置している。2・3の土器は本住居の埋没過程において外部から流れ込んだものであり、本住居は炉埋設土器から縄文時代中期後半に属するものと考えられる。

S I 288(第8図、図版1)

L S・L T 48・49グリッドに位置する。S I 141・S I 294と重複し、S I 141より古く、S I 294より新しい。残存部長軸3.60m、残存部短軸1.48m、深さは0.08mである。大部分がS I 141により削平されているため明確ではないが、残存部から、円形を呈していたものと推定される。埋土は1層で、炭化物・焼土を多く含む。壁面は緩やかに外湾しながら立ち上がる。床面はほぼ平坦である。柱穴は2基検出した。

遺物は削器1点(第11図7)、磨石1点(第11図8)、二次加工のある剥片1点、剥片74点が出土した。出土遺物と重複関係から、縄文時代前期末葉から中期前葉に属するものと考えられる。

S I 294(第8図、図版1・7・8・13)

L S・L T 49・50グリッドに位置する。S I 288と重複し、本住居跡が古い。残存部長軸4.98m、残存部短軸4.97m、深さは0.22mである。南部をS I 288により削平されているが、円形を呈するものと考えられる。埋土は1層である。壁面は緩やかに外傾しながら立ち上がる。床面はほぼ平坦である。南西隅から埋設土器を1基検出した。周囲には炭化物・焼土が分布していたことから、炉跡であると考えられる。柱穴は床面から21基を検出した。南東部からは剥片が多量に出土した。

遺物は縄文土器片4点(図示したもの2点、第10図6・7)、搔器3点(第10図8・9、第11図3)、石籠1点(第11図1)、半円状扁平打製石器1点(第11図2)、磨製石斧1点(第11図4)、二次加工のある剥片5点、剥片131点が出土した。第10図6は深鉢で、バケツ状を呈する。平坦口縁で、口縁端部には横方向に隆

帶が1条貼り付けられ、隆帶上にはキザミが施文される。体部には羽状縄文が施され、内面はナデで、下部には炭化物が付着する。7は深鉢の口縁部で、逆「く」字状に屈曲する。口唇部には渦巻状に縄文原体が押圧される。口縁部には微隆帯が貼り付けられ、隆帶間には押圧縄文が充填される。口頸部は丁寧に磨かれる。内面はナデである。第11図2の半円状扁平打製石器の裏面には擦痕が見られる。出土遺物から、縄文時代前期末葉から中期前葉期に属するものと考えられる。

S I 297(第29図)

L R 50・51、L S 50グリッドに位置する。S K 314・348・446と重複し、本住居跡が古い。長軸5.54m、短軸5.26m、深さ0.04～0.11mである。北西部は削平されているが、残存部から略円形を呈するものと考えられる。埋土は1層である。壁面は緩やかに外傾しながら立ち上がる。床面はほぼ平坦である。北西部に焼土が分布しており、地床炉と考えられる。柱穴は床面から29基検出した。

遺物は土師器片3点(第30図1～3)、縄文土器片4点(図示したもの1点、第30図4)、二次加工のある剥片2点(図示したもの1点、第30図5)、剥片22点、鉄滓1点が出土した。1～3は甕で、1・2は外面はケズリ、内面はナデで、3は内外面ともナデである。4は深鉢の口縁部で、横位平行沈線が施文される。土師器片と鉄滓は、古代のS K 314・348と切り合うことから、本住居の埋没過程において外部から流れ込んだものと考えられる。形態から、縄文時代に属するものと考えられる。

2 壺穴状遺構

炉跡がないものを壺穴状遺構と呼称した。

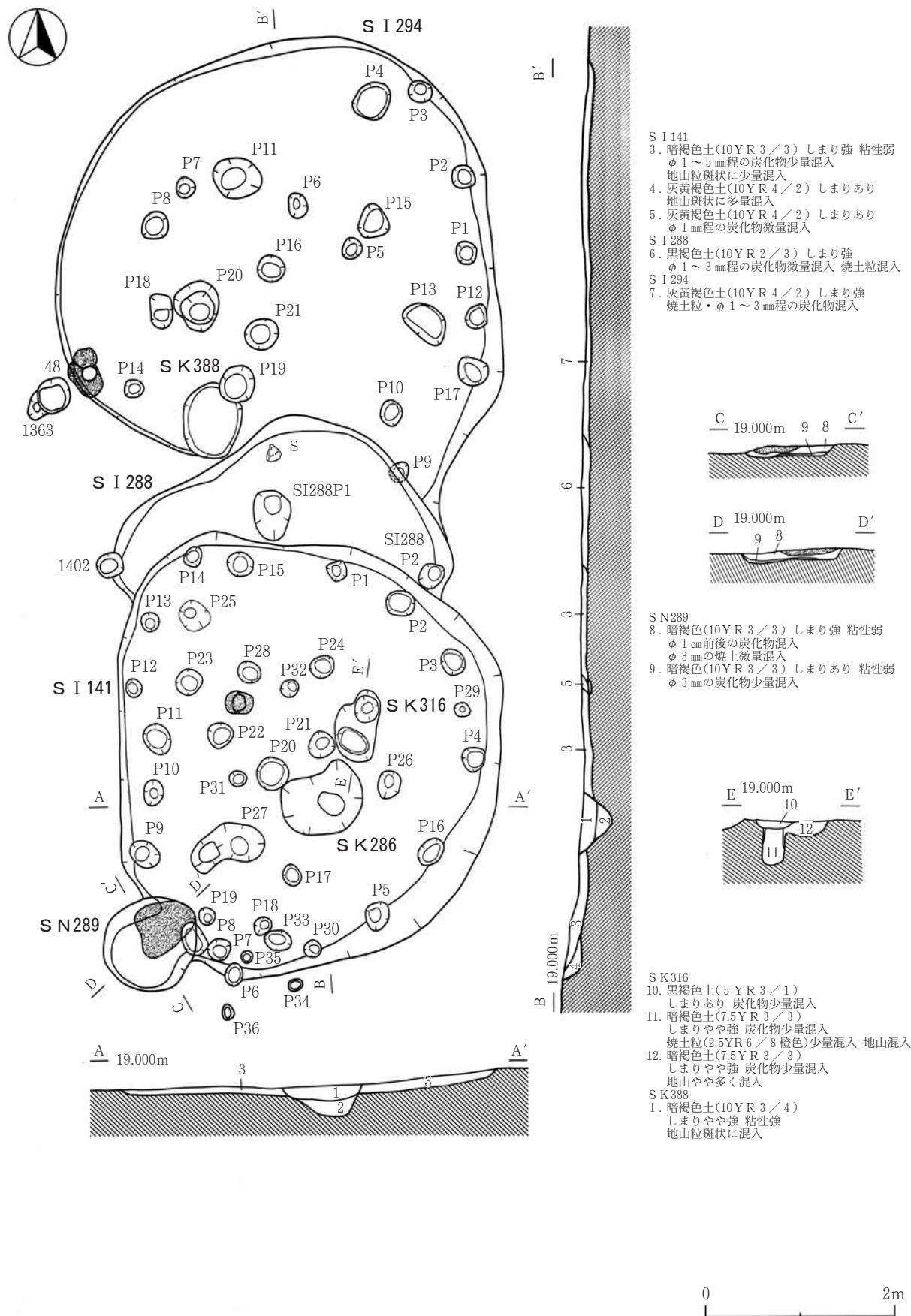
S K I 281(第31図、図版1・12)

M J 52グリッドに位置する。長軸4.94m、残存部短軸2.63m、深さは0.68mである。北側が斜面に接しており崩落しているが、残存部から隅丸方形を呈すると考えられる。埋土は8層に分層した。壁面は緩やかに外傾しながら立ち上がる。床面は凹凸があり、北東側が擂鉢状に窪む。

遺物は縄文土器片14点(図示したもの12点、第32図1～12)、尖頭器1点(第32図13)、搔器2点(第32図14・15)、二次加工のある剥片1点、剥片107点が出土した。第32図1～3は鉢形土器である。1には平坦口縁にB突起が4単位貼り付けられ、口唇部に沈線が施される。口縁部から体部下半にかけては工字文が施文される。内外面に赤色顔料が付着する。2・3は口縁部に横位平行沈線が施文され、体部にはLR縄文が施される。4・5は深鉢である。6は浅鉢あるいは皿の体部破片で、磨消縄文による雲形文が施文される。7～9は壺形土器である。7には雲形文と考えられる沈線文が、8には横位平行沈線間にキザミが施される。9は無文である。10～12は深鉢あるいは鉢形土器の底部である。10には縦走するRL縄文が施文され、11の表面には炭化物が付着する。出土遺物から、縄文時代晩期後葉に属するものと考えられる。

3 フラスコ状土坑

北側斜面中央部の縁辺に沿って検出した。平面形は略円形あるいは楕円形を呈する。床面には柱穴や窪みのほか、小型のフラスコ状土坑を検出したものもある。すべてが砂層に達したところを床面として使用していた。



第8図 S I 141・288・294、S K 286・316・388、S N 289

S I 141

柱穴	地区	形	長径	短径	深さ
P 1	L S 48	略円形	0.21	0.21	0.08
P 2	L S 48	略円形	0.31	0.27	0.12
P 3	L S 48	略円形	0.30	0.25	0.10
P 4	L S 48	略円形	0.28	0.24	0.16
P 5	L S 48	略円形	0.30	0.25	0.12
P 6	L S 47	略円形	0.30	0.22	0.15
P 7	L T 47	略円形	0.24	0.24	0.13
P 8	L T 47	略円形	0.36	0.24	0.16
P 9	L T 48	略円形	0.34	0.26	0.34
P 10	L T 48	略円形	0.27	0.21	0.11
P 11	L T 48	略円形	0.32	0.30	0.10
P 12	L T 48	略円形	0.20	0.17	0.12
P 13	L T 48	略円形	0.20	0.20	0.20
P 14	L T 49	略円形	0.24	0.18	0.09
P 15	L S 48	略円形	0.28	0.26	0.18
P 16	L S 48	略円形	0.32	0.23	0.12
P 17	L S 48	略円形	0.23	0.18	0.05
P 18	L S 48	略円形	0.22	0.18	0.19
P 19	L T 48	略円形	0.18	0.18	0.17
P 20	L S 48	略円形	0.34	0.34	0.21

(単位：m)

S I 294

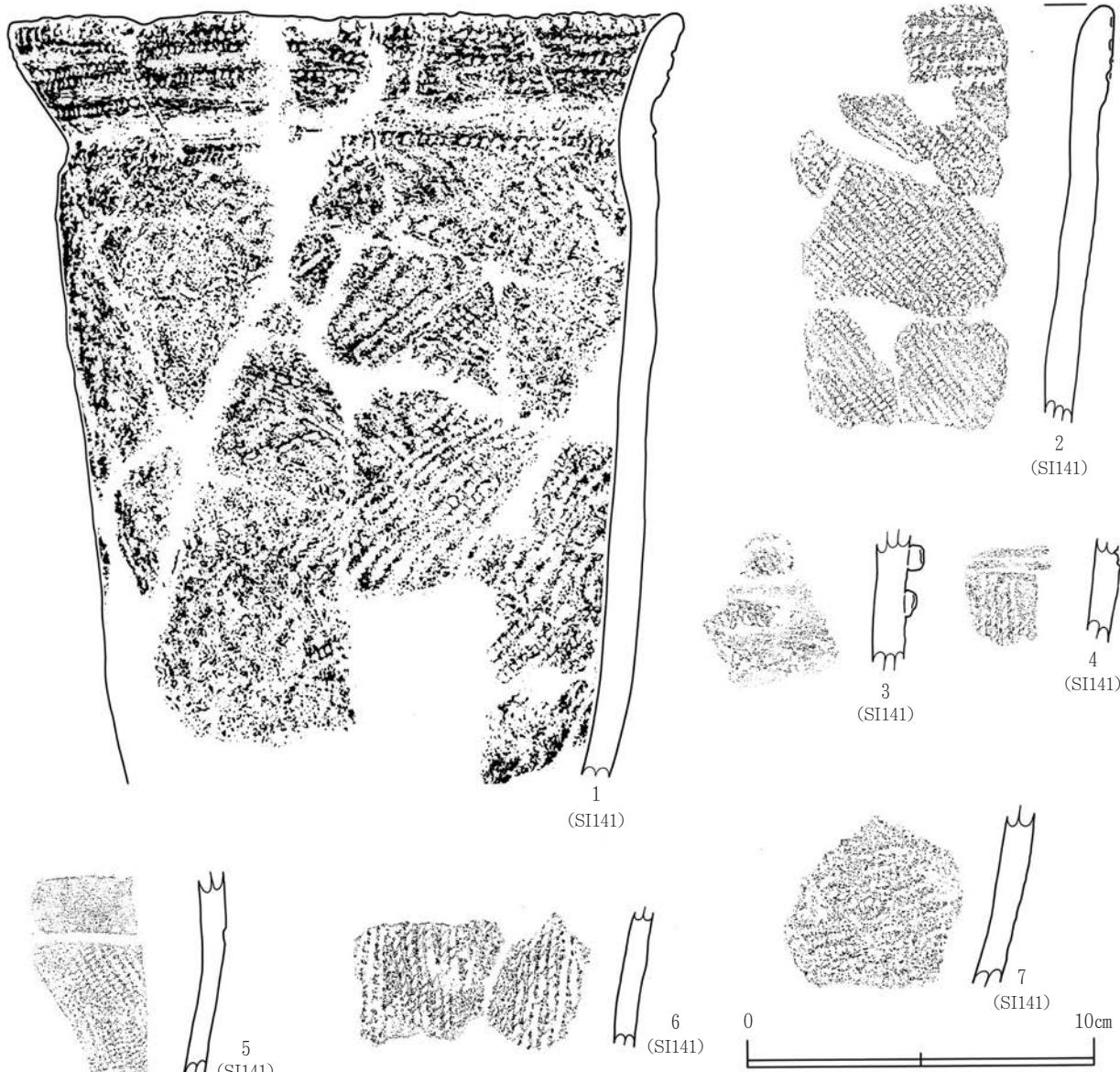
柱穴	地区	形	長径	短径	深さ
P 1	L S 49	略円形	0.24	0.22	0.10
P 2	L S 50	略円形	0.26	0.24	0.22
P 3	L S 50	略円形	0.24	0.21	0.28
P 5	L S 49	略円形	0.24	0.21	0.18
P 6	L S 49	略円形	0.27	0.20	0.18
P 7	L T 49	略円形	0.22	0.20	0.14
P 8	L T 49	略円形	0.33	0.28	0.12
P 9	L S 49	略円形	0.24	0.20	0.31
P 10	L S 49	略円形	0.26	0.24	0.27
P 12	L S 49	略円形	0.28	0.24	0.09
P 13	L S 49	楕円形	0.52	0.34	0.38
P 14	L T 49	略円形	0.22	0.20	0.19
P 15	L S 49	略円形	0.36	0.32	0.24
P 17	L S 49	略円形	0.33	0.32	0.37
P 18	L T 49	略円形	0.37	0.23	0.17
P 19	L S 49	略円形	0.40	0.36	0.31
P 20	L T 49	略円形か	0.50	0.50	0.40
P 21	L S 49	略円形	0.36	0.33	0.19
P 16	L S 49	略円形	0.19	0.17	0.13
P 11	L T 50	略円形	0.46	0.46	0.34

(単位：m)

S I 288

柱穴	地区	形	長径	短径	深さ
P 1	L S 49	楕円形	0.53	0.40	0.46
P 2	L S 48	略円形	0.30	0.24	0.36

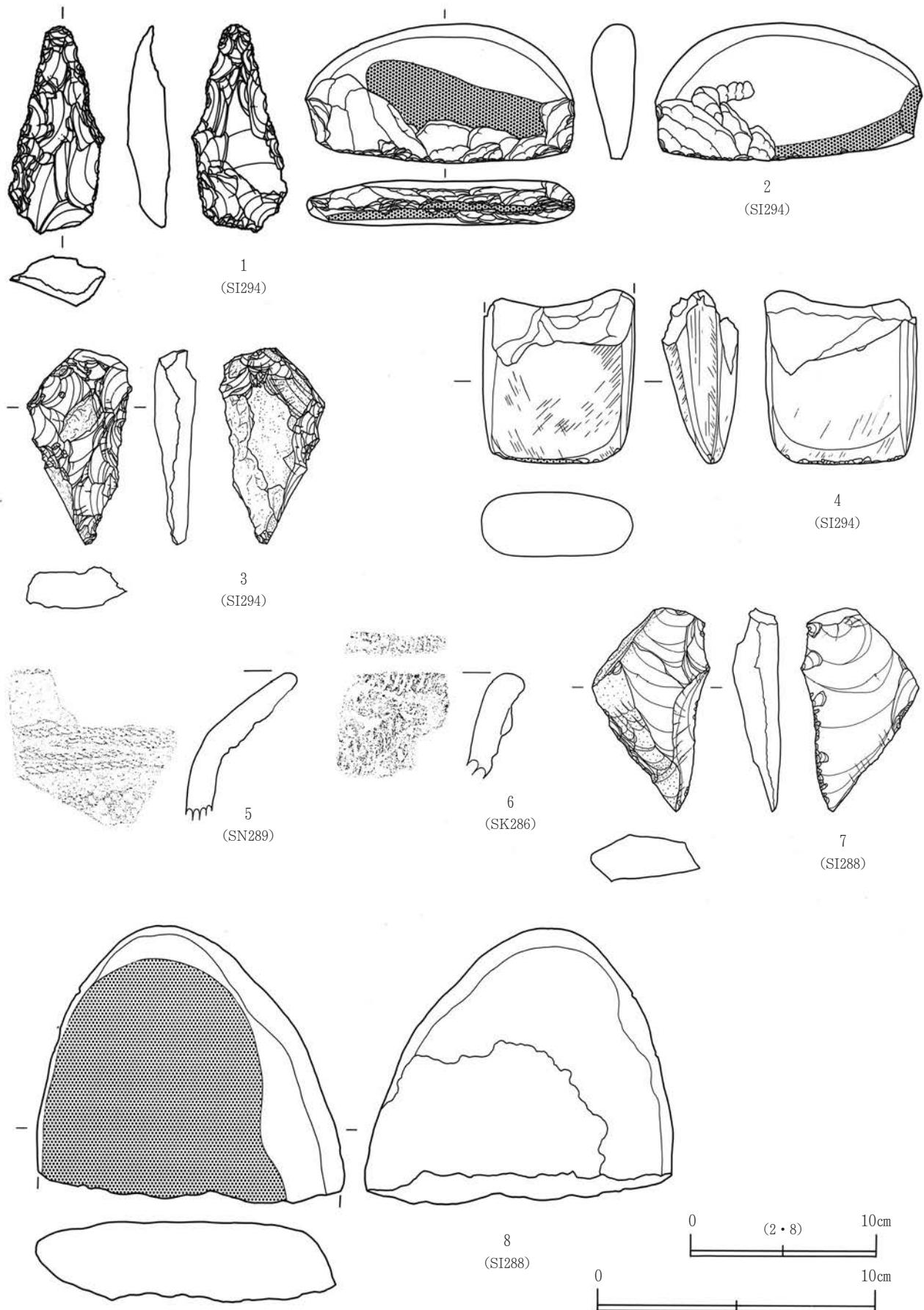
(単位：m)



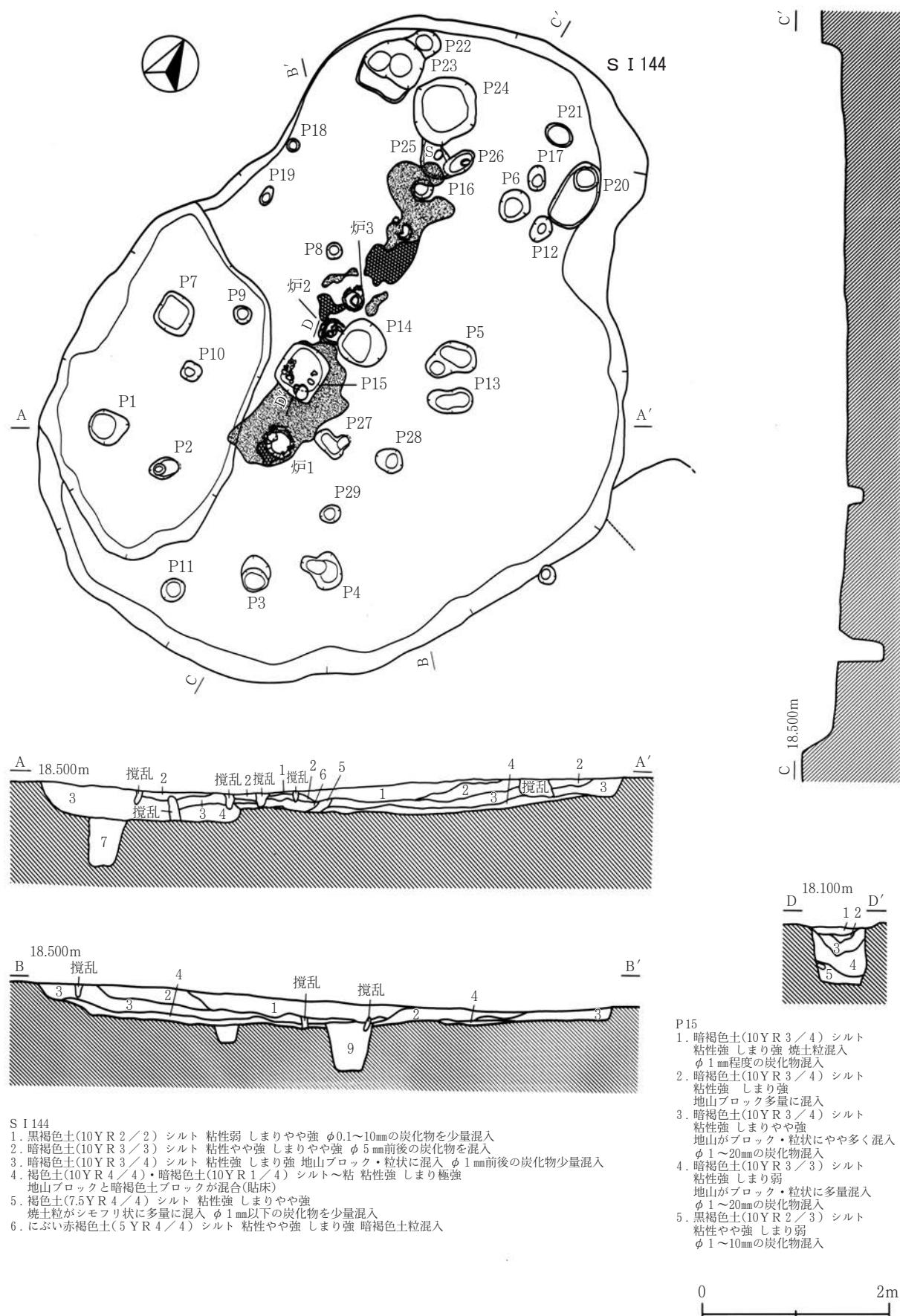
第9図 S I 141出土遺物



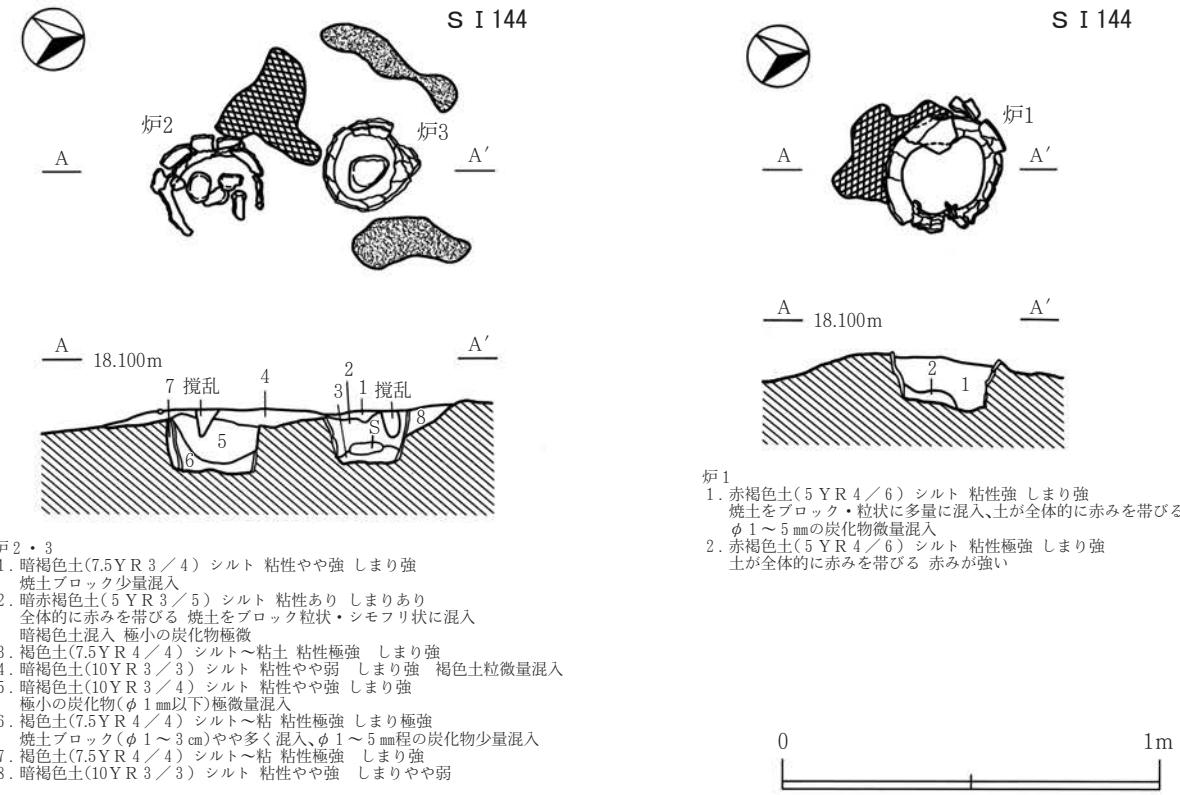
第10図 S I 141・294出土遺物



第11図 S I 294・288、S K 286、S N 289出土遺物



第12図 S I 144

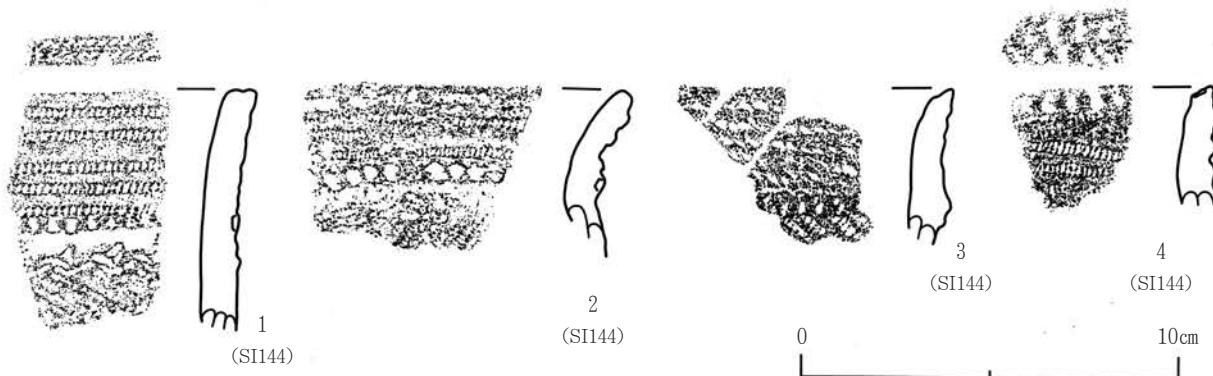


S I 144					
柱穴	地区	形	長径	短径	深さ
P 1	M B 50	略円形	0.42	0.38	0.58
P 2	M B 50	楕円形	0.32	0.22	0.39
P 3	M A 50	略円形	0.40	0.32	0.49
P 4	M A 50	略円形	0.48	0.39	0.35
P 5	M A 51	略円形	0.54	0.38	0.48
P 6	M A 51	略円形	0.37	0.32	0.20
P 7	M B 51	隅丸方形	0.42	0.40	0.62
P 8	M B 51	略円形	0.18	0.17	—
P 9	M B 51	略円形	0.20	0.19	0.06
P 10	M B 51	隅丸方形	0.20	0.19	0.10
P 11	M B 50	略円形	0.28	0.24	0.12
P 12	M A 51	楕円形	0.29	0.21	0.16
P 13	M A 51	楕円形	0.48	0.26	0.45
P 14	M A 51	隅丸方形	0.52	0.50	0.48
P 15	M B 51	隅丸方形	0.55	0.50	0.64

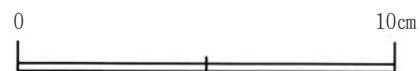
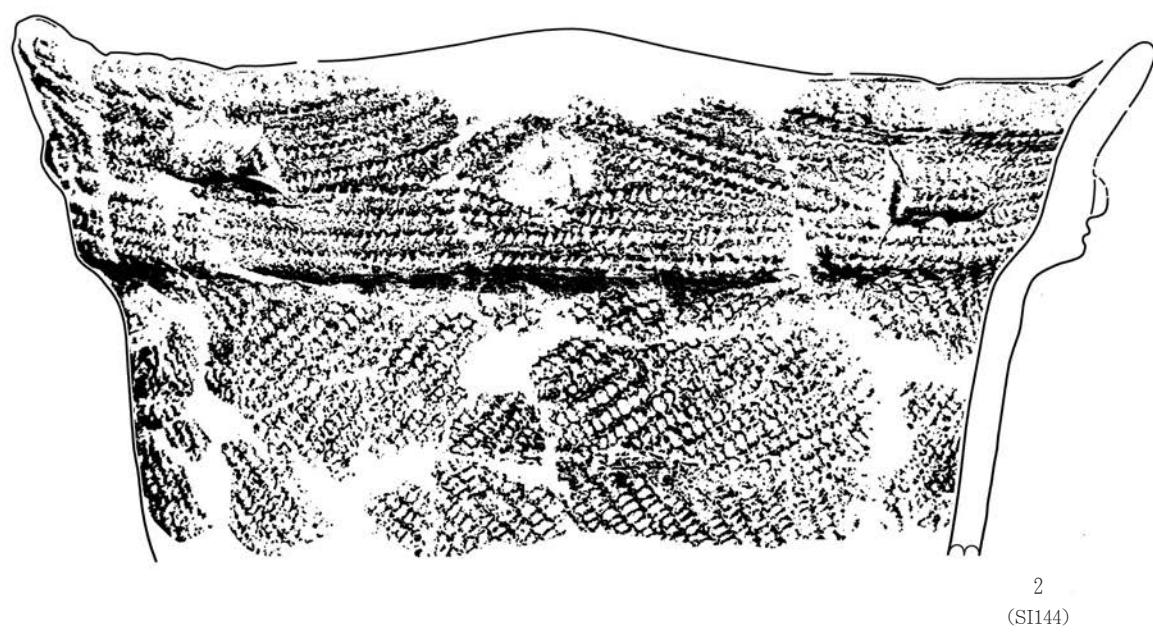
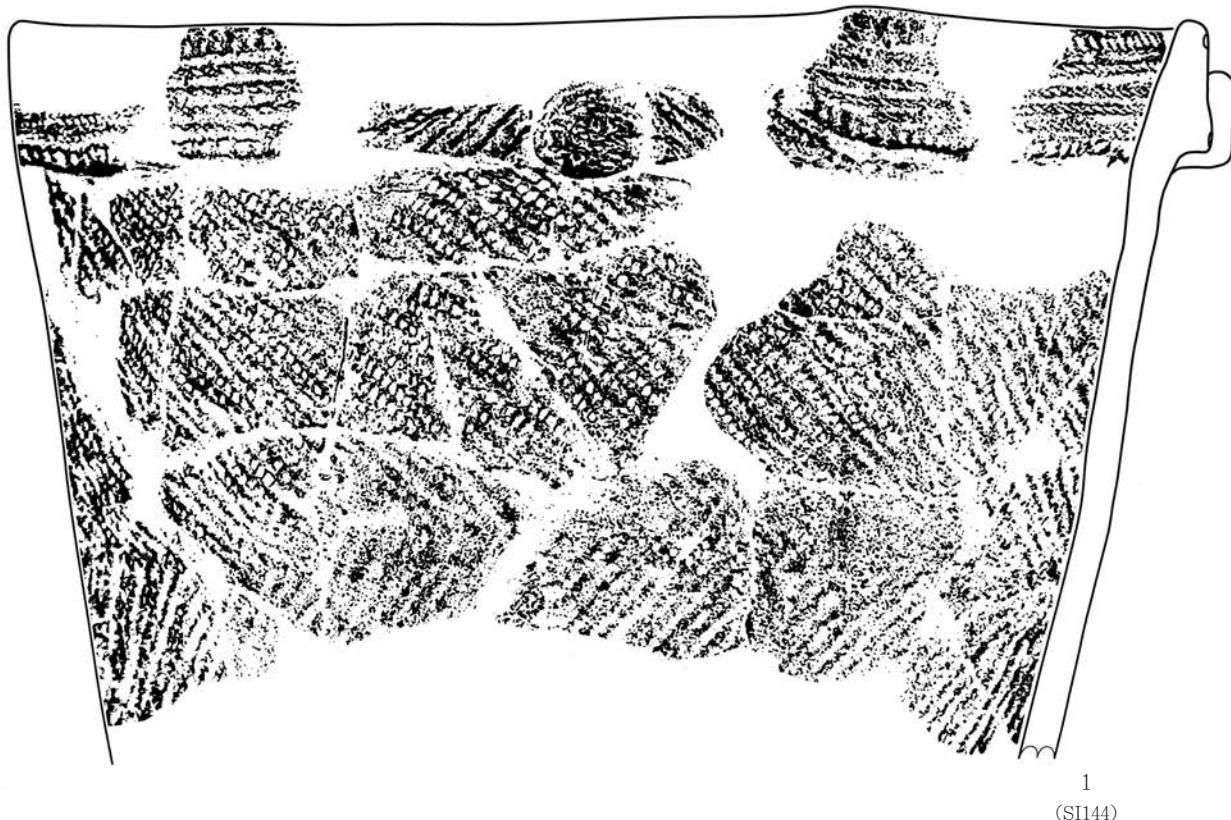
(単位:m)

柱穴	地区	形	長径	短径	深さ	出土遺物
P 16	M B 51	略円形	0.22	0.50	0.16	
P 17	M A 52	略円形	0.27	0.18	0.20	
P 18	M B 51	略円形	0.12	0.18	0.12	
P 19	M B 51	略円形	0.19	0.12	0.22	
P 20	M A 52	楕円形	0.75	0.43	0.27	
P 21	M A 52	略円形	0.32	0.23	0.46	
P 22	M B 52	略円形	(0.24)	0.30	0.41	
P 23	M B 52	隅丸方形	0.77	0.66	0.17	
P 24	M B 52	略円形	0.76	0.72	0.82	
P 25	M B 51	楕円形か	(0.40)	0.30	0.12	礫出土
P 26	M B 52	楕円形	0.37	0.20	0.19	礫出土
P 27	M A 52	楕円形	0.35	0.28	0.26	
P 28	M A 51	略円形	0.30	0.26	0.26	
P 29	M A 51	略円形	0.22	0.19	0.19	

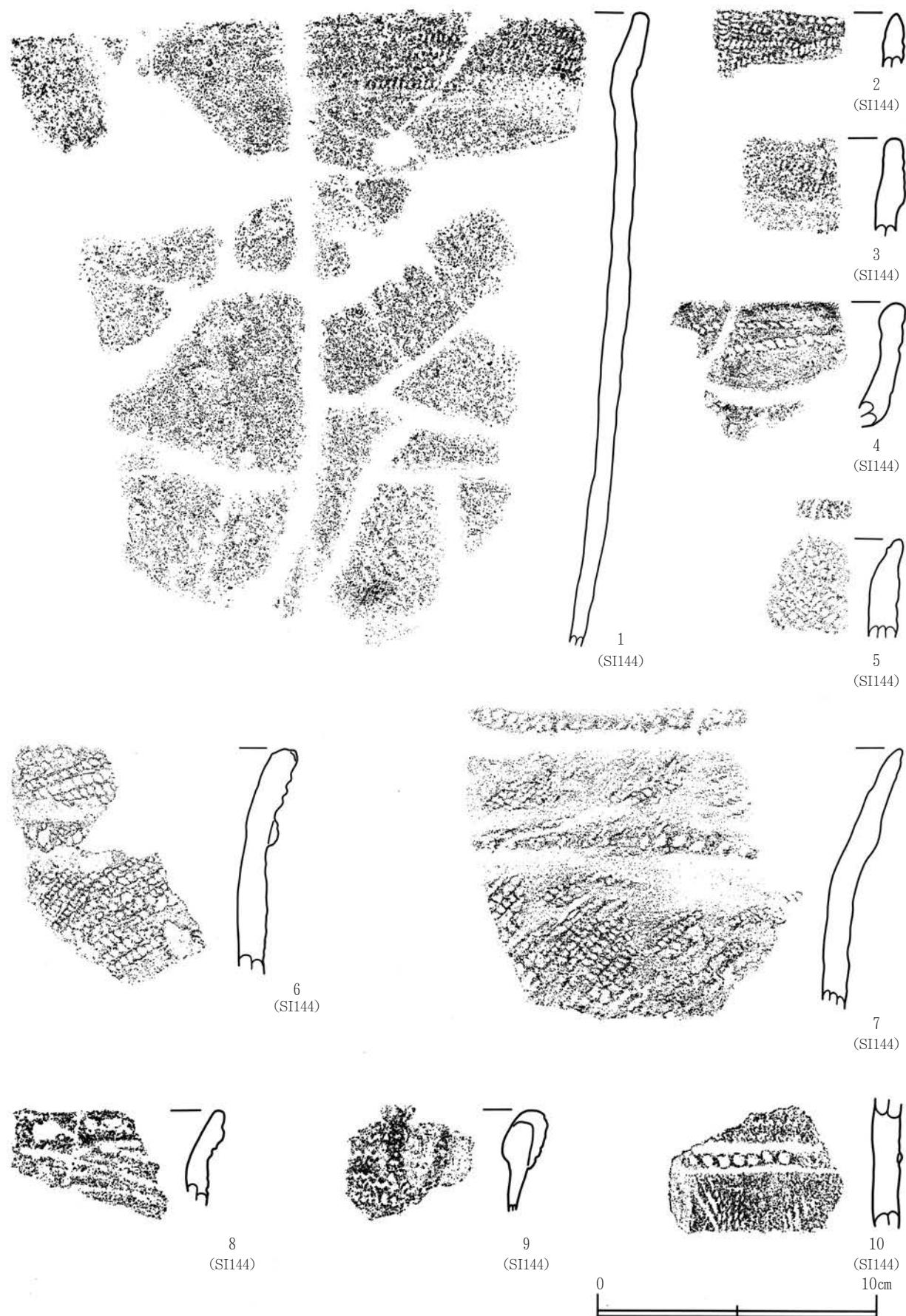
(単位:m)



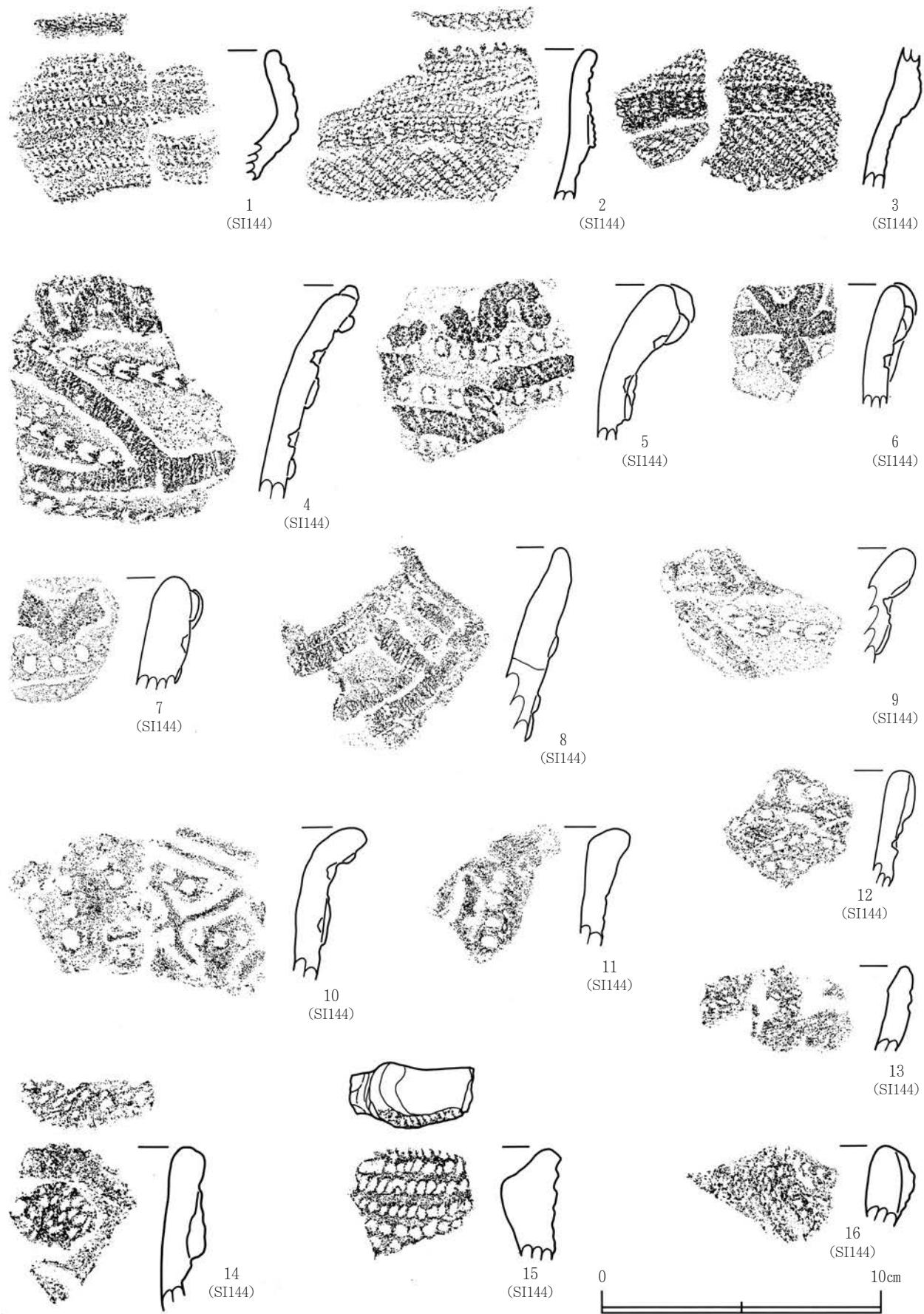
第13図 S I 144炉跡、S I 144出土遺物(1)



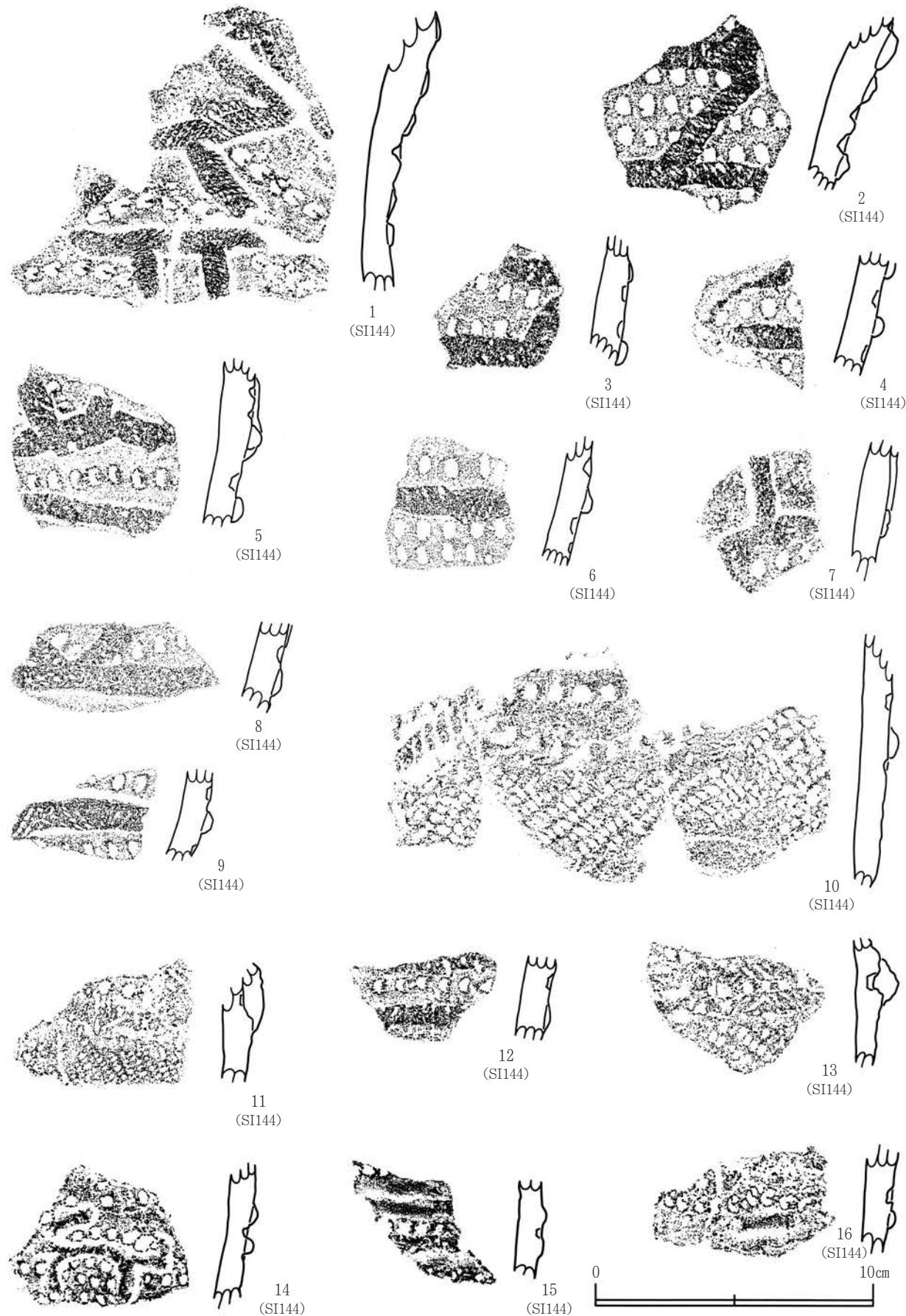
第14図 S I 144出土遺物(2)



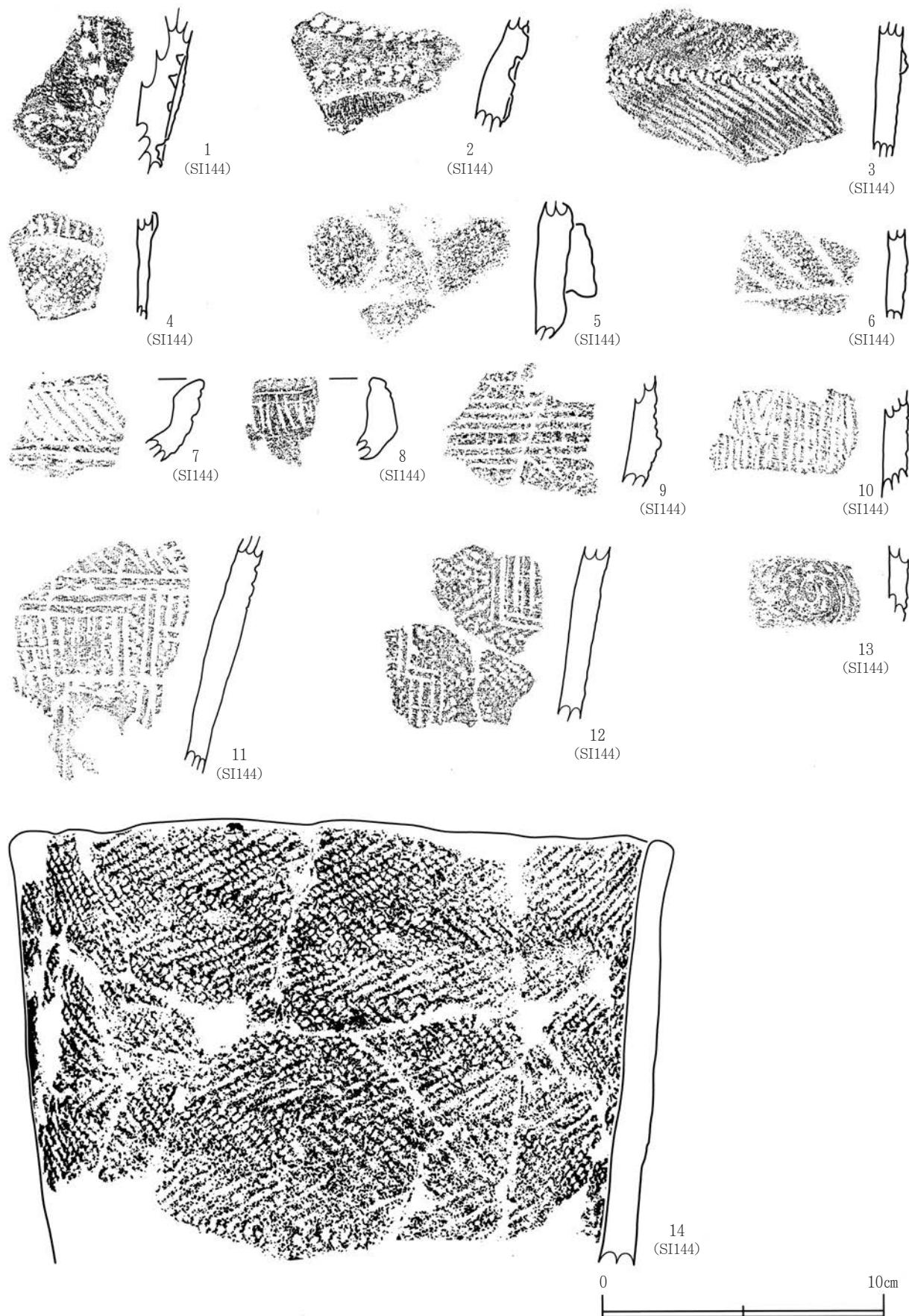
第15図 S I 144出土遺物(3)



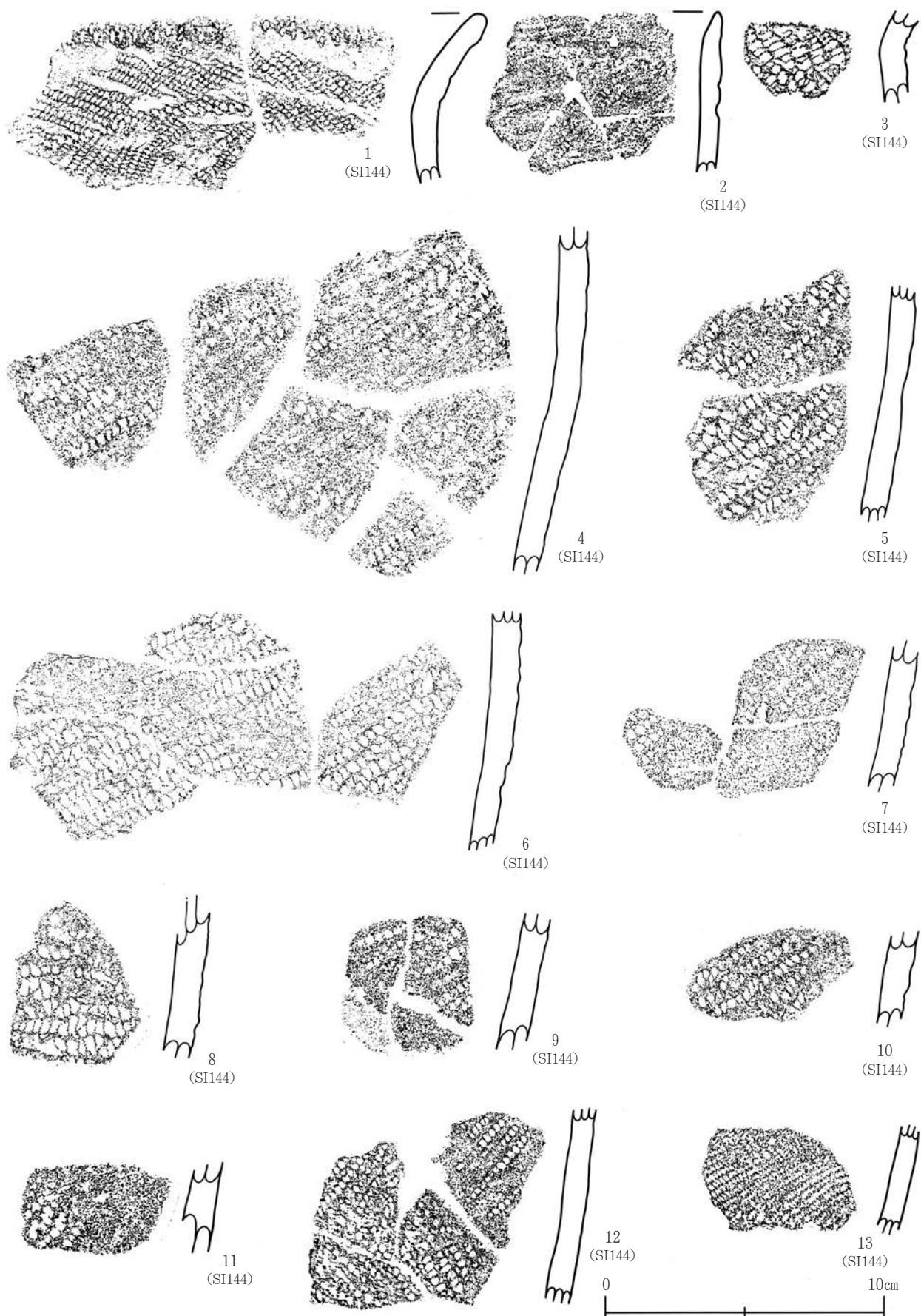
第16図 S I 144出土遺物(4)



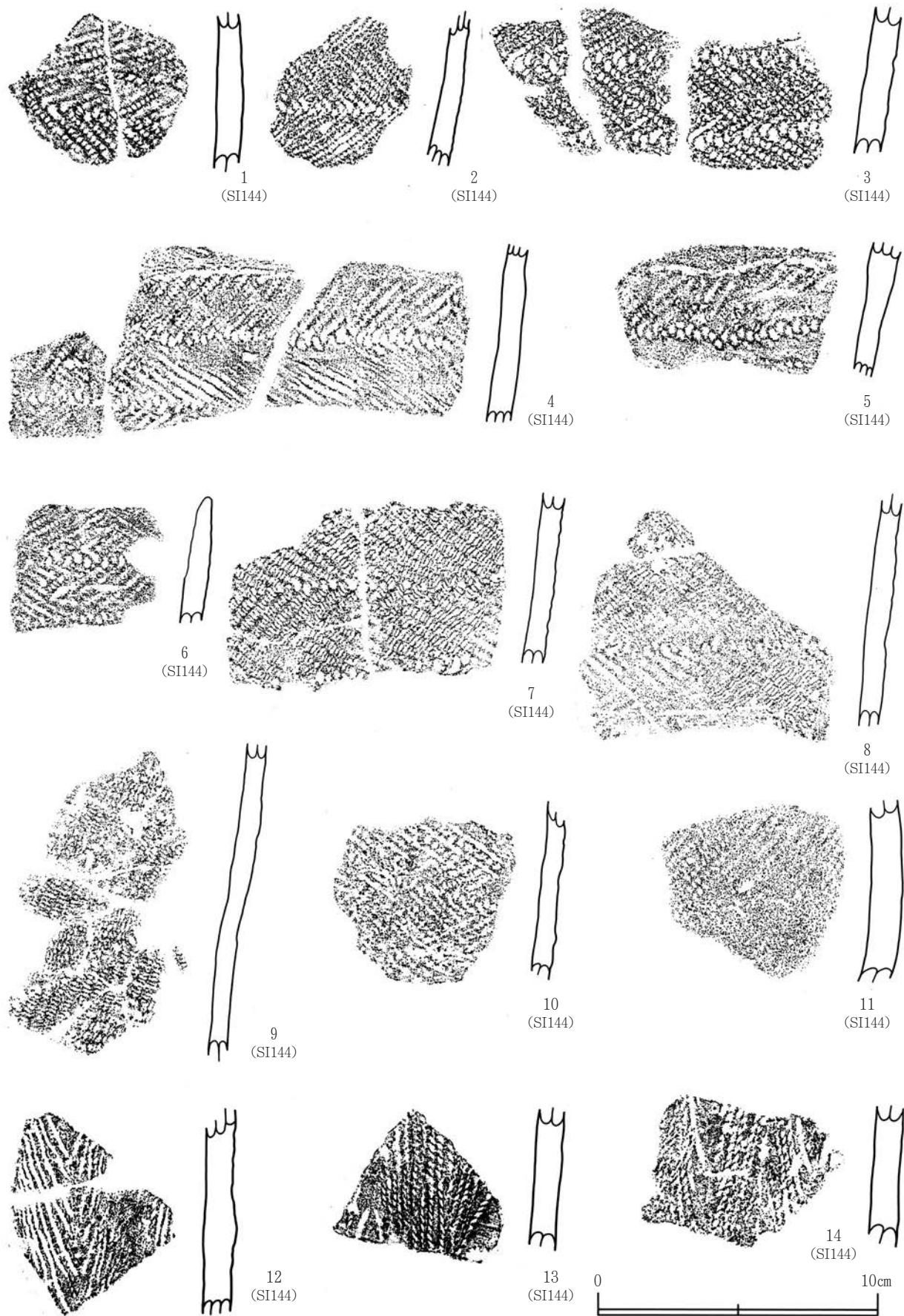
第17図 S I 144出土遺物(5)



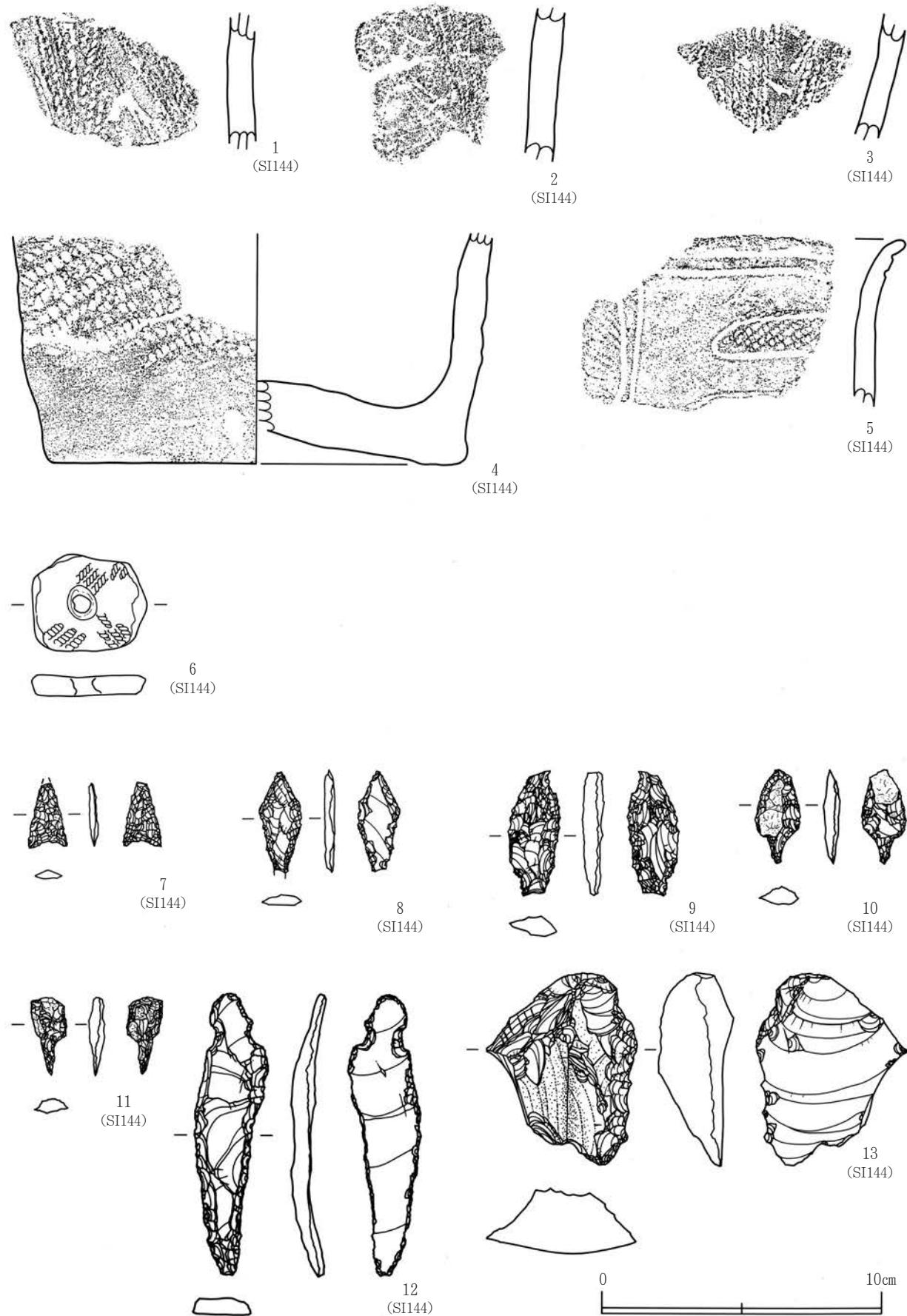
第18図 S I 144出土遺物(6)



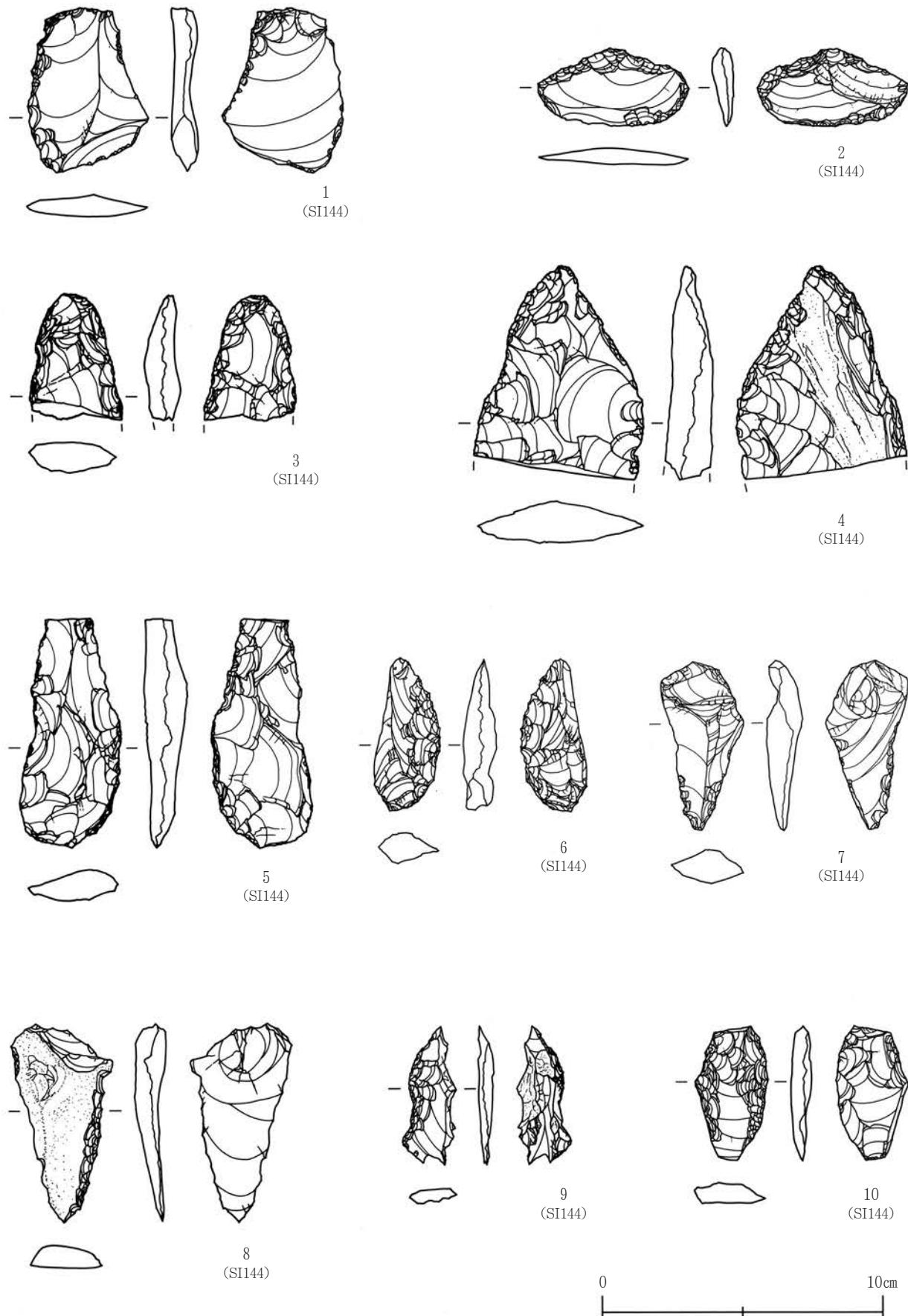
第19図 S I 144出土遺物(7)



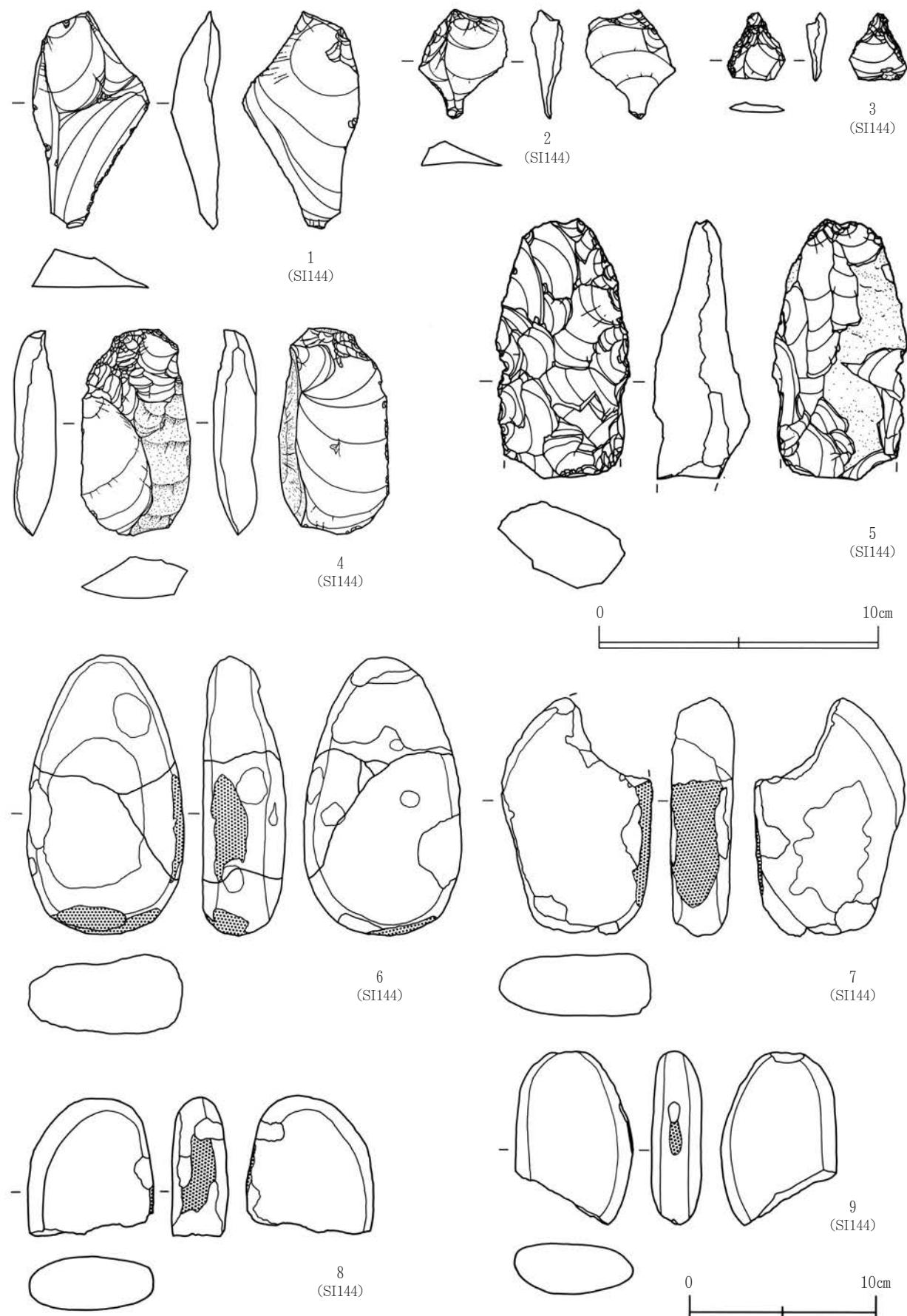
第20図 S I 144出土遺物(8)



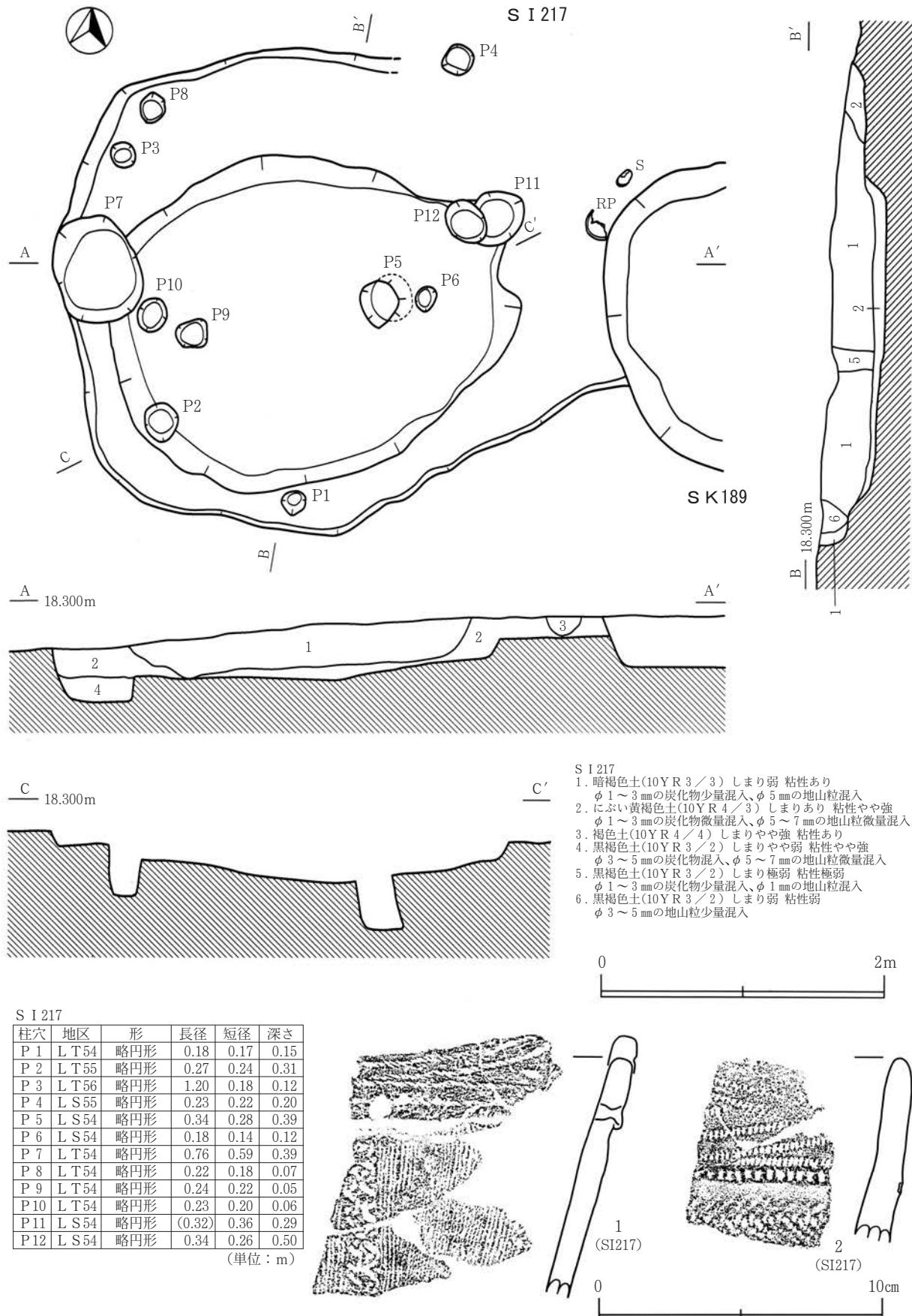
第21図 S I 144出土遺物(9)



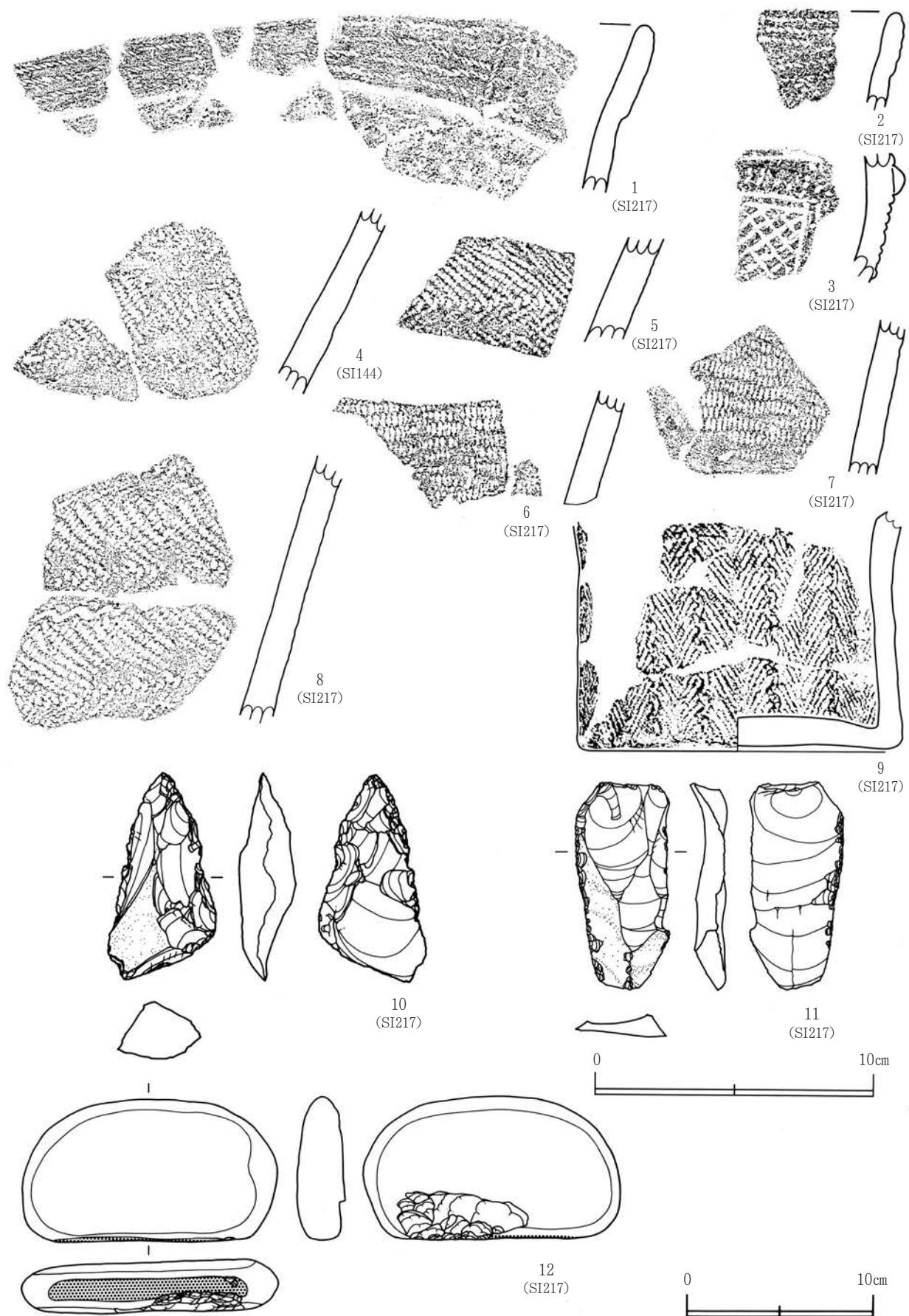
第22図 S I 144出土遺物(10)



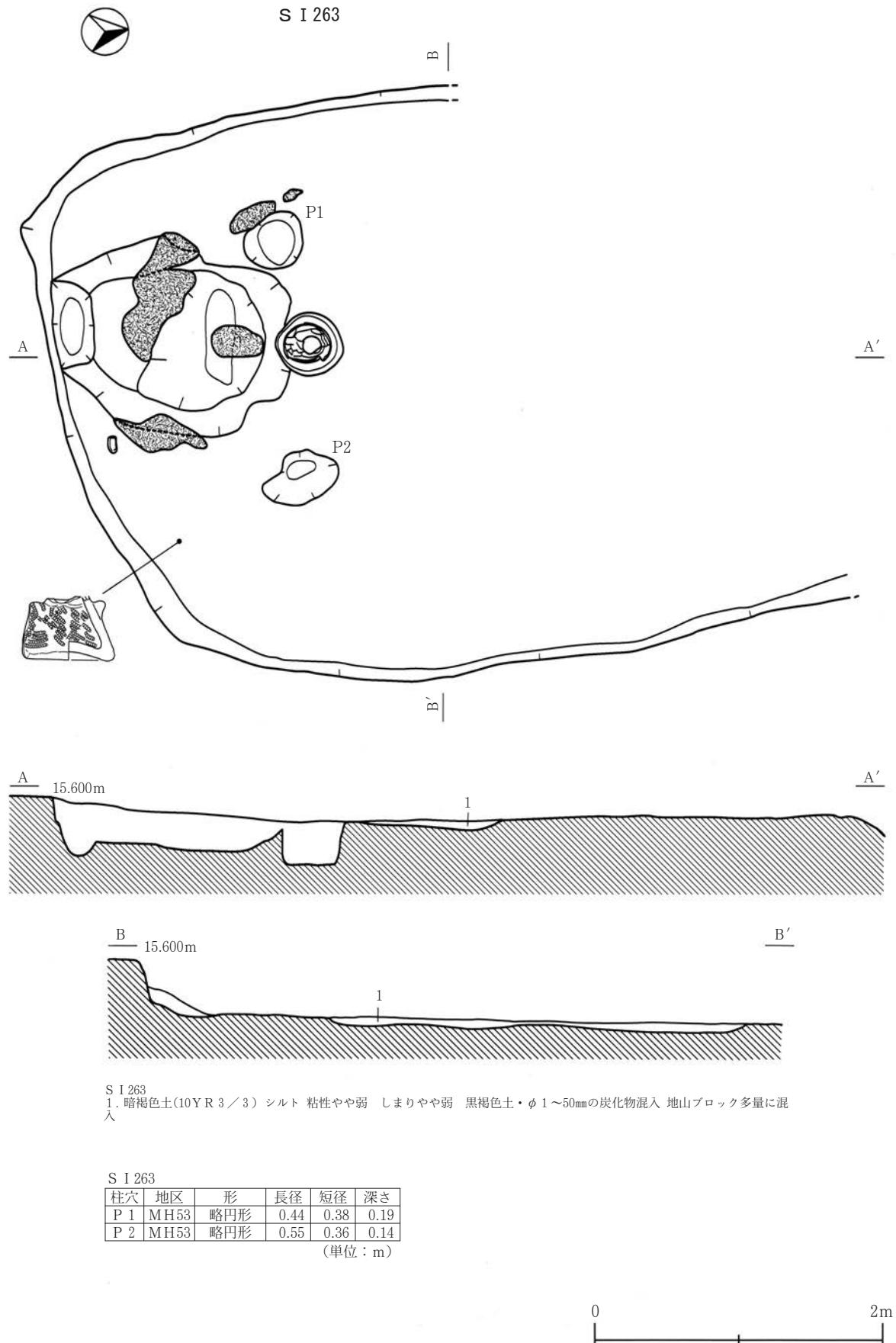
第23図 S I 144出土遺物(11)



第24図 S I 217と出土遺物

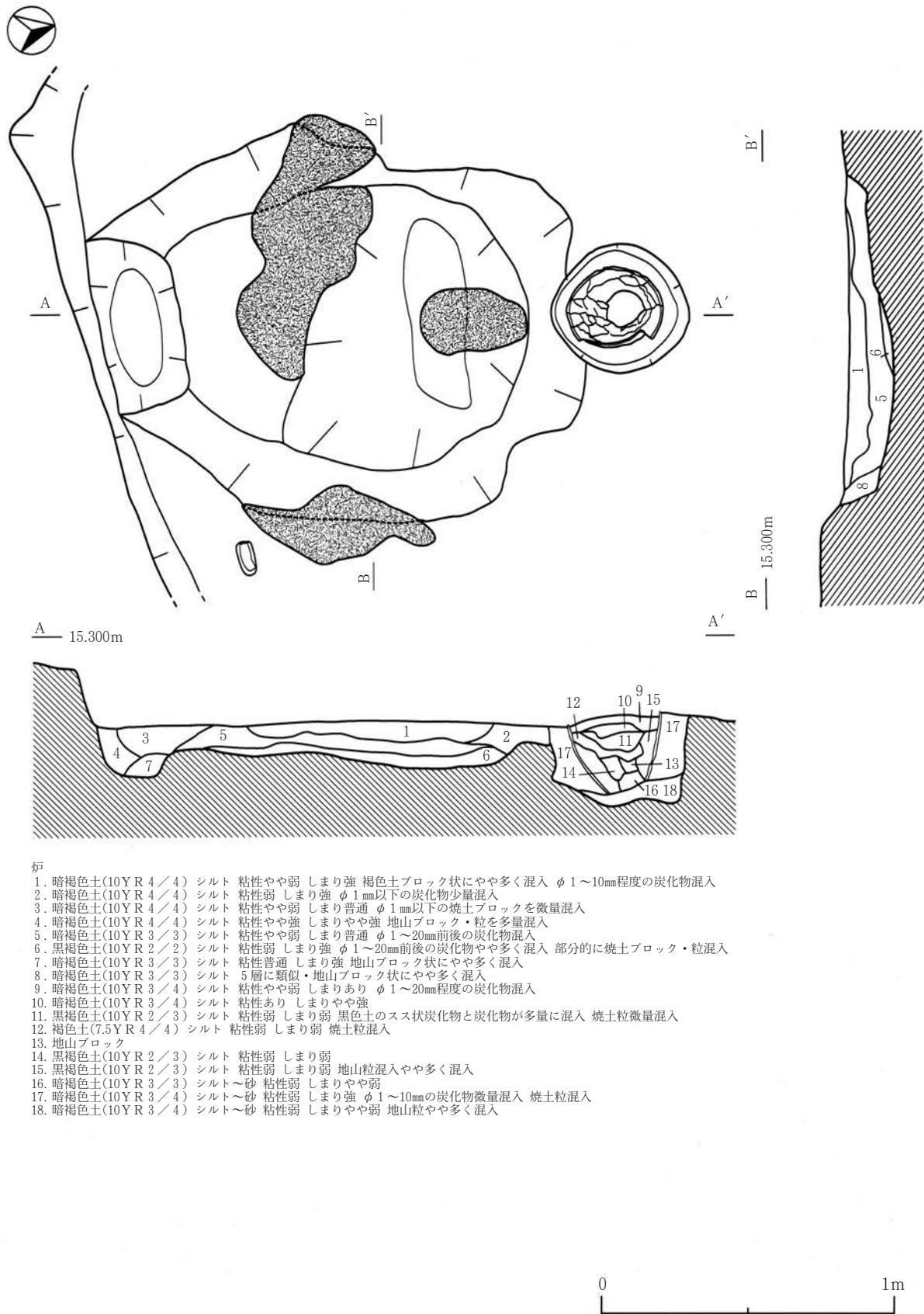


第25図 SI 217出土遺物

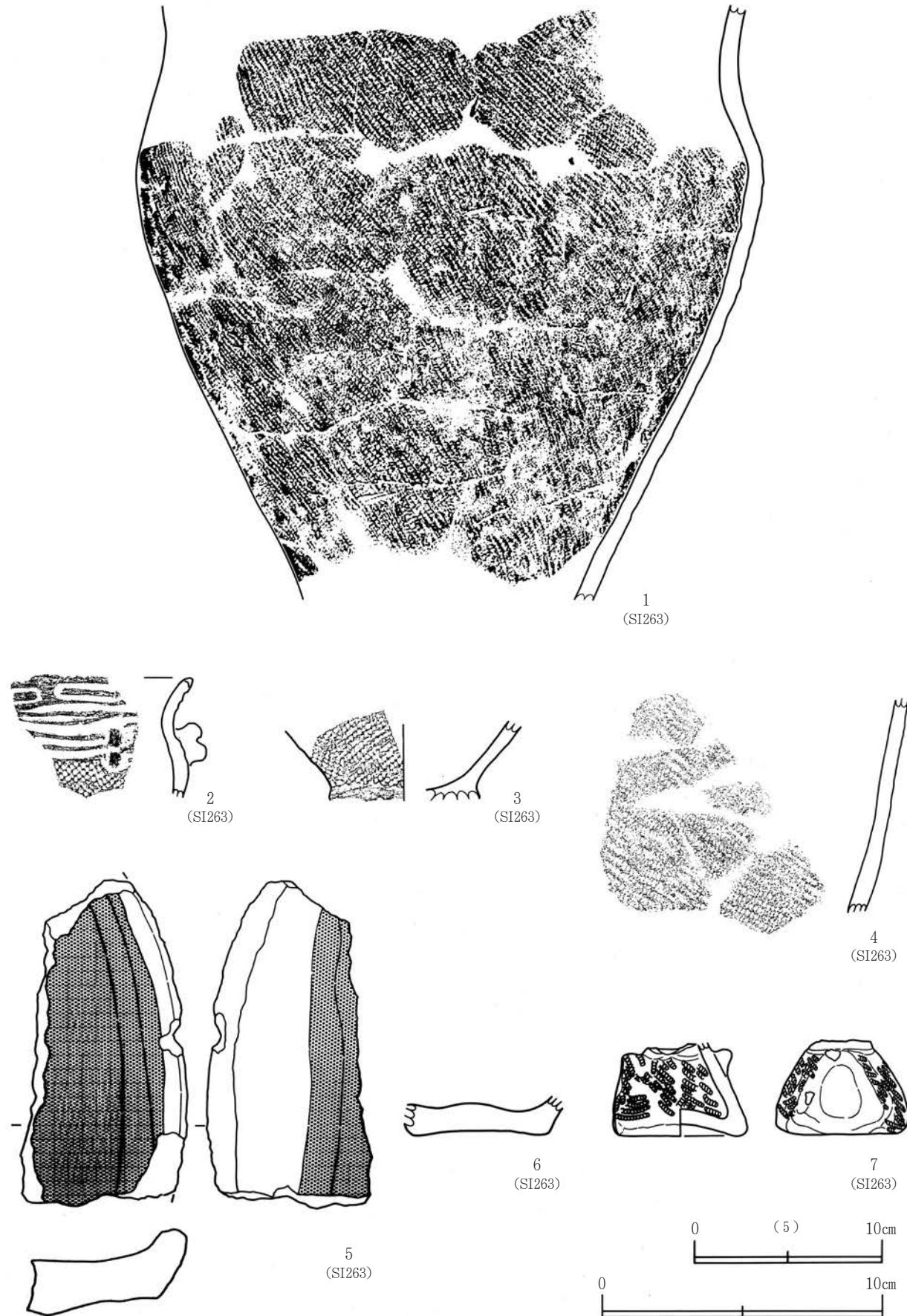


第26図 S I 263

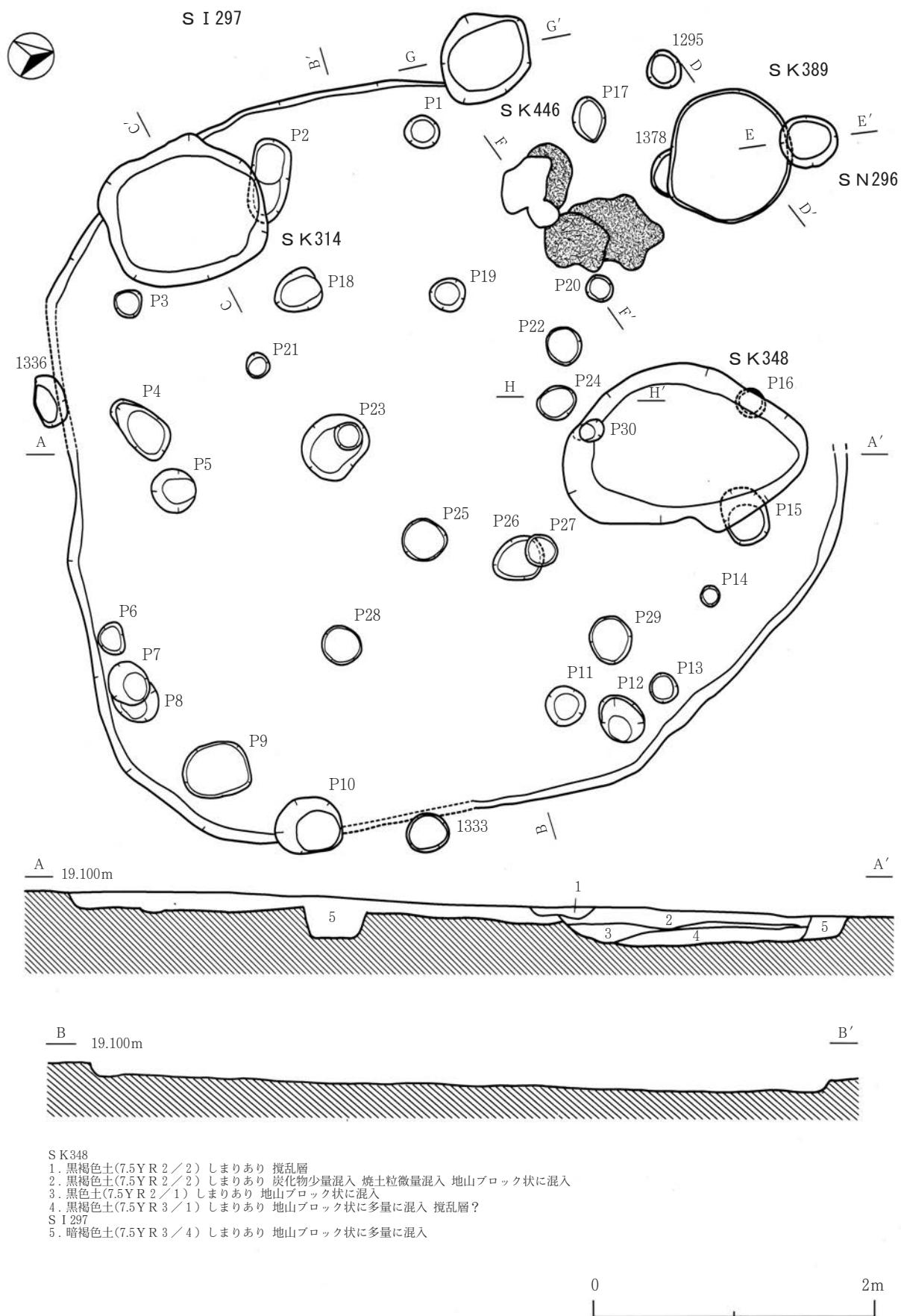
S I 263



第27図 S I 263炉跡

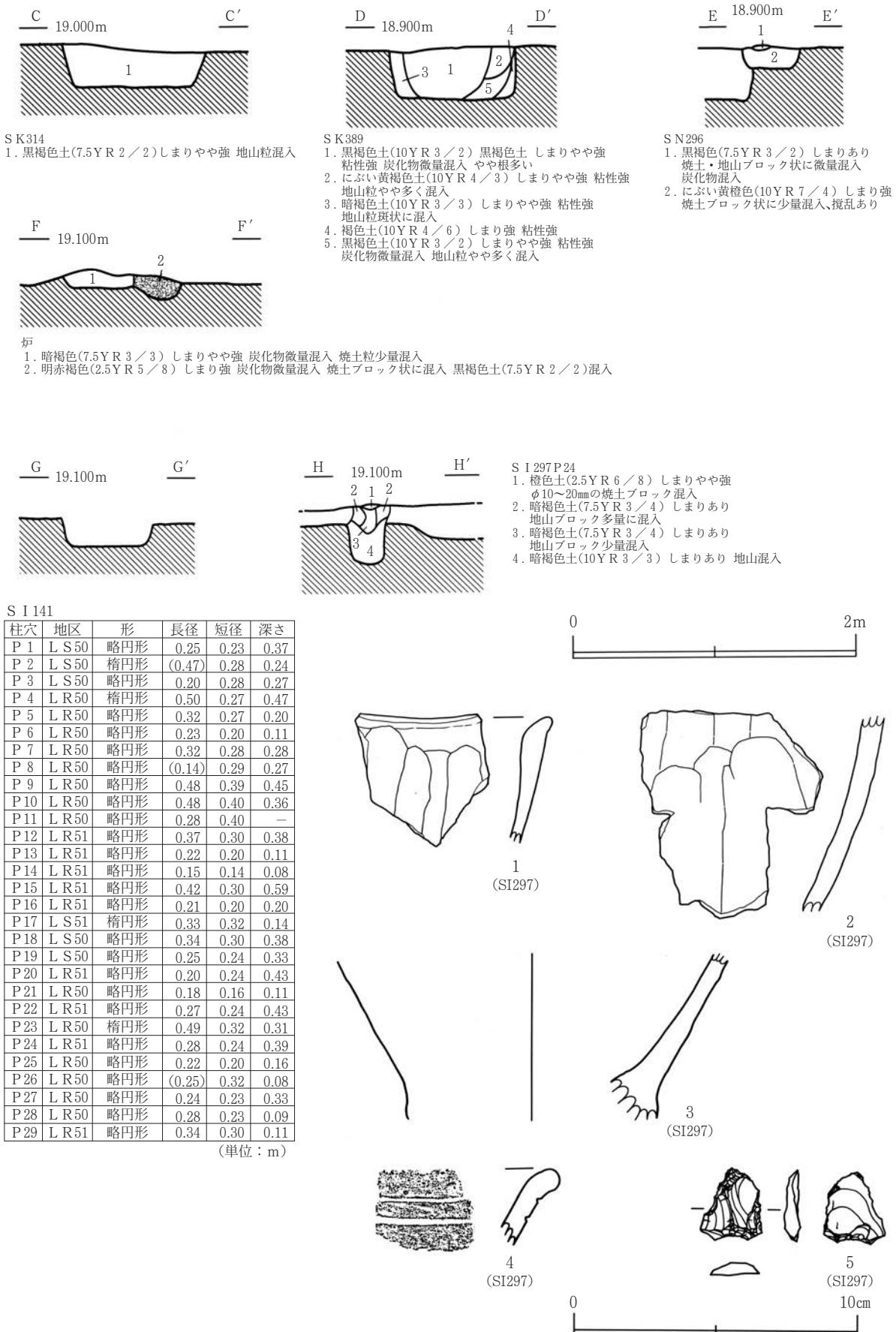


第28図 S I 263出土遺物

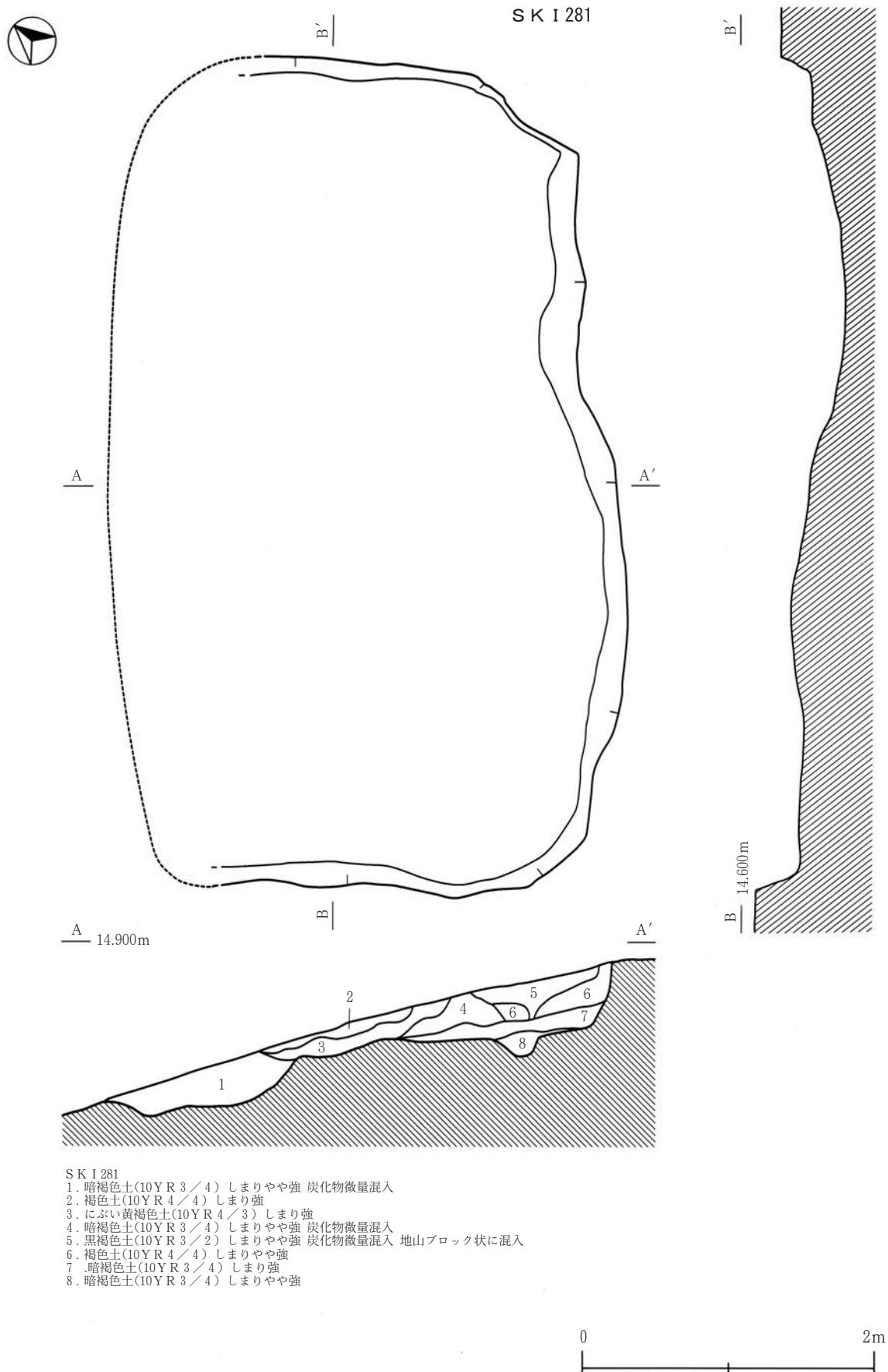


第29図 S I 297、SK 314・348・389・446、SN 296

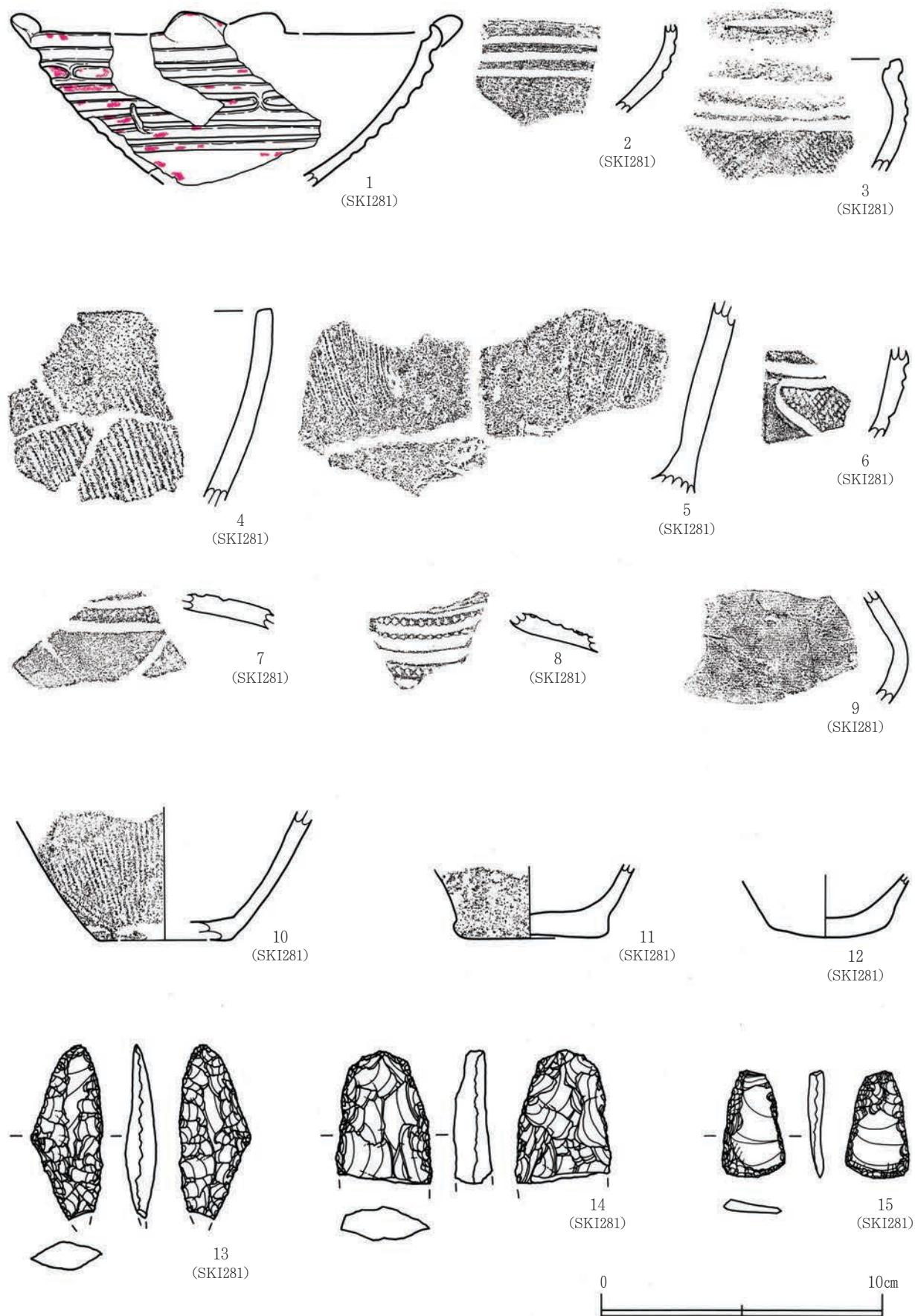
第4章 調査の記録



第30図 SI 297、SK314・348・389・446、SN296と出土遺物



第31図 SK I 281



第32図 S K I 281出土遺物

S K F 181(第33図、図版13)

L Q52・53グリッドに位置する。開口部長径1.26m×短径1.18m、坑底部長径1.28m×短径1.12m、深さは1.00mである。平面形は略円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。埋土は9層に分層した。底面近くから炭化物が多く出土した。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。遺物は縄文土器片56点(図示したもの15点、第33図1～5、第34図1～10)、磨製石斧1点(第34図12)、二次加工のある剥片4点(図示したもの1点、第34図11)、剥片17点が出土した。第33・34図1～5は深鉢で、平坦口縁あるいは波状口縁を呈し、口縁は緩やかに外湾しながら立ち上がる。口縁部には横位平行沈線(第33図1・5)や、区画沈線曲線文(第34図2～5)が施文される。第33図4・5、第34図1・3～5の表面には炭化物が付着する。第34図9は壺形土器の体部で、LR縄文施文後に沈線文を施している。第34図10は深鉢の体部下半から底部にかけて残存しており、底部から緩やかに内湾しながら立ち上がる。底径は9.1cmで、内外面ともナデである。出土遺物から縄文時代後期に属するものと考えられる。

S K F 228(第33図)

L R56・57グリッドに位置する。開口部長径1.44m×短径1.34m、坑底部長径1.40m×短径1.21m、深さは1.49mである。平面形は橢円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。埋土は13層に分層した。自然堆積である。壁崩落土は南側壁で大きく塊となって土坑内に堆積し(4・6・9・11層)、北側壁では流入土と混じり合っている(8層)。中央及び底面近くは流入土が充填している。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。遺物は削器1点(第34図13)、二次加工のある剥片1点、剥片12点が出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K F 235(第35図、図版2)

L S・L T55・56グリッドに位置する。SK399とSD198と重複し、本土坑が新しい。開口部長径2.04m×短径1.92m、坑底部長径1.89m×1.66m、深さは1.72mである。平面形は円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。埋土は11層に分層した。下層は自然堆積である。10・11層は流入土で、その上に壁崩落土(9層)が堆積する。上層の5～8層は人為堆積と考えられる。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。縄文土器片17点(図示したもの16点、第35図1～3、第36図1～13)、搔器1点(第36図14)、石皿1点(第36図15)、二次加工のある剥片1点、剥片22点が出土した。出土遺物から、縄文時代後期に属するものと考えられる。

S K F 239(第37図、図版3・9)

MB52・53グリッドに位置する。SN379、SKP1448・1449・1717・1718と重複し、本土坑が古い。開口部長径2.32m×短径1.94m、坑底部長径2.32m×短径2.14m、深さは1.12mである。平面形は略円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。周囲には13基の柱穴が巡る。埋土は10層に分層した。自然堆積で、6～9層は壁崩落土である。底面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。遺物は縄文土器片25点(図示したもの23点、第37図1～5、第38図1～18)、二次加工のある剥片3点(図示したもの1点、第38図19)、剥片21点が出土した。縄文土器の中には北陸系の土器片が4点含まれており、2点を図示した(第38図6・7)。出土した土器はすべて深鉢である。第37図1～5、第38図1は平坦口縁で円筒形を呈する。第37図1の口縁部には押圧縄文が横位に施文され、頸部には微隆帯が貼り付けられ、隆帯上に爪形文が施される。体部には木目状撲糸文が施文される。2の口唇部にはキザミ目状に縄文原体が押圧される。口縁部には押圧縄文が横位・斜位に施文される。頸部には微隆帯が貼り付けられ、隆帯上にはキザミ目状に撲糸圧

痕文が施文される。3は口唇部と頸部の微隆帶上に刺突が施される。口縁部には押圧縄文が鋸歯状に施文され、間を竹管による刺突で充填する。4は口縁部端部に2条の刺突列が施される。5は口縁部に撫糸の側面圧痕文を施文し、頸部には竹管による刺突が施される。第38図2は小波状口縁を呈し、口縁に沿って押圧縄文を施文している。波頂部には半截竹管による爪形文を縦位に施文後、左右に沈線を施し微隆帶を作りだしている。3は波状口縁を呈し、口唇部にキザミが施される。波頂部には隆帶を縦位に貼り付け、口縁には押圧縄文が施文される。4・5は体部で、隆帶が貼り付けられる。隆帶間は押圧縄文や刺突で充填され、隆帶上にはキザミ目状に撫糸圧痕文が施文される。6・7は半截竹管により縦位・横位に沈線文が施される。8～10、12～14には羽状縄文が、11には木目状撫糸文が施文される。12は二次的被熱を受けており、内外面とも摩滅している。17の底部破片は、中央に穿孔の痕跡がみられる。出土遺物から、縄文時代前期末葉から中期前葉に属するものと考えられる。

S K F 247(第39図、図版2・7・9)

M C 53・54グリッドに位置する。S J 248の掘り下げ中に窯の壁面から検出した。開口部長径2.49m×短径2.41m、坑底部長径2.78m×短径2.73m、深さは1.61mである。平面形は略円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。埋土は16層に分層した。自然堆積である。4・8・10～15層は壁崩落土である。底面はほぼ平坦であるが、北西隅に0.70m×0.50mの窪みを検出した。遺物は縄文土器片16点(図示したもの6点、第40図1～6)、二次加工のある剥片1点(第40図7)、剥片5点、1層からは鉄滓1点が出土した。鉄滓は土坑埋没後の窪みに入り込んだものである。出土した土器はすべて深鉢である。第40図1は口径は18.8cm、平坦口縁で円筒形を呈する。口縁部には隆帶が波状に貼り付けられ、隆帶上にはキザミ目状に撫糸圧痕文が施文される。体部との境にも隆帶が2条貼り付けられ、口縁部文様帯を区画する。隆帶間は横位の押圧縄文や刺突により充填される。体部にはLR縄文が施文される。内面はミガキである。2は口径15.2cm、底径7.0cm、器高8.7cmである。平坦口縁であるが、1ヶ所に「T」字形の突起が付く。体部にはRL縄文が施文される。内面はミガキである。3の口唇部にはキザミ目状の撫糸圧痕文が、口縁部には鋸歯状に押圧縄文が施文される。体部との境には微隆帶が貼り付けられ、隆帶上には刺突が施される。体部には羽状縄文が施文される。4には羽状縄文が、5には木目状撫糸文が施文され、4の表面には炭化物が付着する。6は底径6.8cmで、体部に羽状縄文が施文される。内外面のほか破断面にも炭化物が付着し、外面が赤変していることから、破損後に熱を受けたものと考えられる。出土遺物から、縄文時代中期に属するものと考えられる。

S K F 261(第41図、図版3)

M D 53グリッドに位置する。S I 260と重複し、本土坑が古い。開口部長径1.90m×短径1.68m、坑底部長径2.39m×短径2.35m、深さは1.36mである。平面形は円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。埋土は13層に分層した。8・11層は壁崩落土である。底面は平坦である。縄文土器片8点(図示したもの1点、第41図1)、剥片7点が出土した。第41図1は深鉢で、口縁が外湾しながら立ち上がり、口径は21.1cmである。平坦口縁で、口縁に沿ってキザミ目状に撫糸圧痕文が施文される。体部との境には隆帶が貼り付けられ、口縁部文様帯を区画する。口縁部文様帯には横位あるいは鋸歯状に押圧縄文が施文される。体部にはLR縄文が施される。出土遺物から、縄文時代中期前葉に属するものと考えられる。

S K F 264(第42図、図版6・7)

M D 52・53グリッドに位置する。開口部長径1.95m×短径1.80m、坑底部長径2.43m×2.27m、深さは

1.28mである。平面形は円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。周囲からは11基の柱穴を検出した。埋土は9層に分層した。自然堆積で、7層は壁崩落土である。底面は平坦である。縄文土器片39点(図示したもの8点、第42図1～6、第43図1・2)、石錐1点(第43図3)、搔器1点(第43図4)、二次加工のある剥片2点、剥片9点が出土した。縄文土器の中には北陸系の土器片が2点含まれており、1点を図示した(第42図3)。出土した土器はすべて深鉢である。第42図1は口縁部端部に爪形状の刺突が施され、口縁部には押圧縄文が縦位・横位に施文される。2は口縁部に押圧縄文が横位に施文され、体部との境には上部にキザミ目状の撫糸圧痕文が施された微隆帯が貼り付けられる。体部にはRL縄文が施文される。3は口唇部にキザミが施される。口縁は小波状を呈すると考えられ、波頂部から縦位に隆帯が貼り付けられる。隆帯上と隆帯間には半截竹管により沈線が施文される。4～6は羽状縄文が施される。第43図1は口径21.6cm、底径8.5cm、器高26.6cmで、口縁には4単位の山形状突起が付き、突起下に隆帯が縦位に貼り付けられる。また、口縁端部や口縁と体部の境には隆帯が貼り付けられ、隆帯上にはキザミ目状の撫糸圧痕文が施文され、隆帯間は鋸歯状の押圧縄文により充填される。体部にはLRの撫り戻し縄文が、底面付近には綾絡文が横位に施文される。内面はミガキであるが、体部下半は摩滅している。2は底径は11.6cmで、体部には羽状縄文が施文される。内面はミガキで、下部に炭化物が付着する。出土遺物から、縄文時代中期前葉に属するものと考えられる。

S K F 304(第44図、図版6)

L T 57・58グリッドに位置する。S K F 427と重複し、本土坑が新しい。開口部長径1.28m×短径1.22m、坑底部長径1.16m×短径1.12m、深さは1.03mである。平面形は不整円形を呈し、断面は袋状である。埋土の堆積状況は不用意に掘り下げてしまい、確認できなかった。底面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。底面中央から柱穴を1基検出した。また、底面から縄文土器が1個体つぶれた状態で出土した(第45図1)。遺物は縄文土器9点(図示したもの6点、第44図1～5、第45図)、剥片1点が出土した。出土した土器はすべて深鉢である。第44図1は口縁部に押圧縄文が横位に施文される。2は口唇部に縄文原体が回転押圧される。3は口縁部に隆帯が貼り付けられ、隆帯上にはキザミ目状の撫糸圧痕文が施文される。4は沈線文が施文される。5は底径6.8cm、体部にはL撫糸文が施文される。第45図1は体部中央に最大径をもち、頸部でくびれ、口縁が外反する。横位平行沈線で区画された体部上半に弧状の沈線文が展開する。内外面に炭化物が付着する。出土遺物から、縄文時代後期に属すると考えられる。

S K F 341(第46図)

M D 53・54グリッドに位置する。S I 260・342と重複し、本土坑が古い。坑底部長径2.42m×短径2.18m、深さは1.13mである。北半分はS I 342竪穴住居跡により削平されていたが、残存部から円形を呈すると考えられる。断面は三角フラスコ状である。埋土は9層に分層した。自然堆積で、6層は壁崩落土である。底面はほぼ平坦である。縄文土器片2点(第46図1・2)、剥片2点が出土した。出土した土器は深鉢で、1には木目状撫糸文が施文される。2は底径7.6cmで、体部には羽状縄文が施文され、内面には炭化物が付着する。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K F 358(第47図、図版3・9)

M A 54グリッドに位置する。S K P 1441・1439と重複し、本土坑が古い。開口部長径1.81m×短径1.71m、坑底部長径2.32m×短径2.21m、深さは1.73mである。平面形は円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。周囲からは11基の柱穴を検出した。埋土は12層に分層した。自然堆積である。8・9層は壁崩落

土で、11・12層中にも崩落土がブロック状に入る。底面はほぼ平坦である。縄文土器片30点(図示したもの14点、第47図1～8、第48図1～6)、石籠1点(第48図7)、二次加工のある剥片2点、剥片10点が出土した。縄文土器の中には北陸系の土器片が1点含まれる(第47図8)。出土した土器はすべて深鉢である。第47図1～3は口縁部に押圧縄文が横位・斜位に施文される。3には体部との境に隆帯が貼り付けられ、隆帯上には刺突が施される。4は口縁部に撫糸の側面圧痕文が横位に施文される。5は口縁に隆帯が貼り付けられ、隆帯上はキザミ目状の撫糸圧痕文が施文される。6は内外面とも磨かれており、外面には炭化物が付着する。7は小波状口縁を呈し、口縁に沿って押圧縄文が施文される。外面には炭化物が付着する。8は口縁端部にキザミ目状に撫糸圧痕文が施文され、その下に半截竹管による格子目状文が施される。第48図1は口径17.6cm、体部は緩やかに内湾し、口頸で外側に強く屈曲し、口縁は外傾しながら立ち上がる。口縁は緩やかな波状を呈し、口縁に沿って押圧縄文が施文される。体部には綾絡縄文が縦位に施される。2は口縁に山形突起が付き、突起下、口縁端部、口縁と体部の境に隆帯が貼り付けられる。隆帯上にはキザミ目状の撫糸圧痕文が施文され、隆帯間には横位の押圧縄文と爪形状撫糸圧痕文が充填される。3は口縁と体部の境に隆帯が貼り付けられ、隆帯間と隆帯上には縄文が回転施文される。4は横位・斜位の押圧縄文が施文される。6の体部には木目状撫糸文が施文される。出土遺物から、縄文時代中期前葉に属するものと考えられる。

S K F 365(第49図)

M B・M C 53グリッドに位置する。S K 240・246・357と重複する。S K 240・357より古く、S K 246より新しい。開口部長径1.94m×短径1.87m、坑底部長径1.88m×短径1.66m、深さは0.82mである。東側はS K 240・357により削平されているため、上場プランは確認できなかったが、残存部から橢円形を呈すると考えられる。断面は三角フラスコ状である。周囲からは柱穴を14基検出した。埋土は13層に分層した。下層は自然堆積で、9・11～13層は壁崩落土である。上層には地山由来の褐色土が一括堆積していた(1～3・5・8層)。底面はほぼ平坦である。縄文土器片18点(図示したもの3点、第50図1・2・4)、二次加工のある剥片1点、剥片5点が出土した。出土した土器はすべて深鉢である。第50図1は平坦口縁で、口径は17.2cm、口唇部にはキザミが施される。口縁部には連続山形状に押圧縄文が施文され、体部との境には刺突列が施される。体部には羽状縄文が施文される。2は口縁に突起が付けられ、口唇部にはキザミ目状の撫糸圧痕文が施文される。体部との境には隆帯が貼り付けられ、隆帯上には刺突が施される。口縁部には押圧縄文が横位・斜位に施文される。4は底径7.2cm、内外面ともナデで調整される。出土遺物から、縄文時代前期後葉から中期前葉に属するものと考えられる。

S K F 403(第51図)

L T 55・56グリッドに位置する。開口部長径1.92m×短径1.75m、坑底部長径1.87m×1.84m、深さは2.51mである。平面形は円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。埋土は13層に分層した。13層のみ自然堆積で、上層は一括埋め戻しによる人為堆積である。底面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。出土遺物から、縄文時代のものと考えられるが、遺物が出土しなかったため、詳細な時期は不明である。

S K F 408(第50図)

L T 56グリッドに位置する。開口部長径1.27m×短径1.06m、坑底部長径1.08m×短径0.91m、深さは0.86mである。上部が削平されているが、確認面での平面形は橢円形を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦で、柱穴を2基検出した。縄文時代のものと考えられるが、遺物が出土しなかったため、詳細

な時期は不明である。

S K F 409(第51図)

L T 56・57グリッドに位置する。開口部長径1.30m×短径1.20m、坑底部長径1.36m×1.30m、深さは1.14mである。平面形は円形を呈し、断面は袋状である。埋土は3層に分層した。一括埋め戻しの行為堆積である。底面はほぼ平坦である。縄文時代のものと考えられるが、遺物が出土しなかったため、詳細な時期は不明である。

S K F 410(第52図)

L T 57グリッドに位置する。開口部長径1.73m×短径1.54m、坑底部長径1.54m×短径1.48m、深さは2.05mである。平面形は円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。埋土は8層に分層した。一括埋め戻しの行為堆積である。底面はほぼ平坦である。縄文時代のものと考えられるが、遺物が出土しなかったため、詳細な時期は不明である。

S K F 411(第52図)

L S・L T 57グリッドに位置する。開口部長径1.66m×短径1.42m、坑底部長径1.62m×短径1.58m、深さは1.62mである。平面形は円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。埋土は7層に分層した。一括埋め戻しの行為堆積である。底面はほぼ平坦である。縄文時代のものと考えられるが、遺物が出土しなかったため、詳細な時期は不明である。

S K F 412(第52図、図版3)

L S・L T 57グリッドに位置する。開口部長径1.46m×短径1.44m、坑底部長径1.50m×短径1.46m、深さは1.57mである。平面形は円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。埋土は3層に分層した。一括埋め戻しの行為堆積である。底面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。縄文土器片1点が出土した(第52図1)。深鉢の口縁部で、口縁端部には隆帯が貼り付けられる。隆帶上にはキザミ目状の撫糸圧痕文が施され、口縁部には横位の押圧縄文と爪形状撫糸圧痕文が施文される。出土遺物から、縄文時代中期前葉に属するものと考えられる。

S K F 413(第53図)

M A 55グリッドに位置する。S K F 425と重複し、本土坑が新しい。開口部長径2.54m×短径2.06m、坑底部長径2.56m×短径2.40m、深さは1.44mである。平面形は円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。埋土は12層に分層した。自然堆積で、6～8、10・11層は壁崩落土である。底面は平坦である。縄文時代のものと考えられるが、遺物が出土しなかったため、詳細な時期は不明である。

S K F 414(第53図)

M A・M B 54・55グリッドに位置する。S K F 424・425と重複する。S K F 424より古く、S K F 425より新しい。開口部残存部長径0.44m×残存部短径0.49m、坑底部長径2.06m×短径0.80m、深さは1.12mである。平面形は、北側半分がS K F 424により削平されているが、残存部から円形を呈する考えられる。断面は三角フラスコ状である。埋土は3層に分層した。一括埋め戻しによる行為堆積である。底面はほぼ平坦で、西側から径0.20m×0.18m、深さ0.19mの柱穴を1基検出した。床面の北半分はS K F 424により削平されている。縄文時代のものと考えられるが、遺物が出土しなかったため、詳細な時期は不明である。

S K F 416(第54図、図版10)

MD・ME 54グリッドに位置する。開口部残存部長径1.17m×短径2.08m、坑底部長径2.35m×短径2.34m、深さは1.26mである。平面形は橢円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。埋土は7層に分層した。自然堆積であり、3・4・6・7層は壁崩落土である。底面はほぼ平坦である。縄文土器片2点(第54図1・2)、剥片1点が出土した。1は口縁に山形突起が付き、口縁に沿って隆帯が貼り付けられる。また、突起下には縦位に隆帯が貼り付けられる。隆帯上にはキザミ目状に撫糸圧痕文が施文され、隆帯間は押圧縄文により充填される。体部にはL撫糸文が施文される。2は無文で、内外面ともミガキである。出土遺物から、縄文時代中期前葉に属すると考えられる。

S K F 417(第55図)

L S 57・58グリッドに位置する。開口部長径1.54m×短径1.40m、坑底部長径1.64m×短径1.59m、深さは1.86mである。平面形は円形を呈し、断面は袋状である。埋土は9層に分層した。一括埋め戻しによる人為堆積である。2層上面から礫が2個出土した。底面はほぼ平坦である。底面の南西隅から小型のフラスコ状土坑を1基検出した。平面形は円形を呈し、開口部長径0.58m×短径0.52m、坑底部長径1.28m×短径1.20m、深さ1.20mである。埋土は2層に分層した。石錐1点(第55図1)、磨石1点(第56図1)が出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K F 424(第53図)

MA・MB 54・55グリッドに位置する。S K F 414・425と重複し、本土坑が新しい。坑底部長径1.56m×残存部短径1.35m、残存部の深さは1.67mである。平面形・断面形は削平されているため不明である。埋土は3層に分層した。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。剥片が11点出土した。縄文時代のものと考えられるが、時期が明確に分かる遺物が出土しなかったため、詳細な時期は不明である。

S K F 425(第53図)

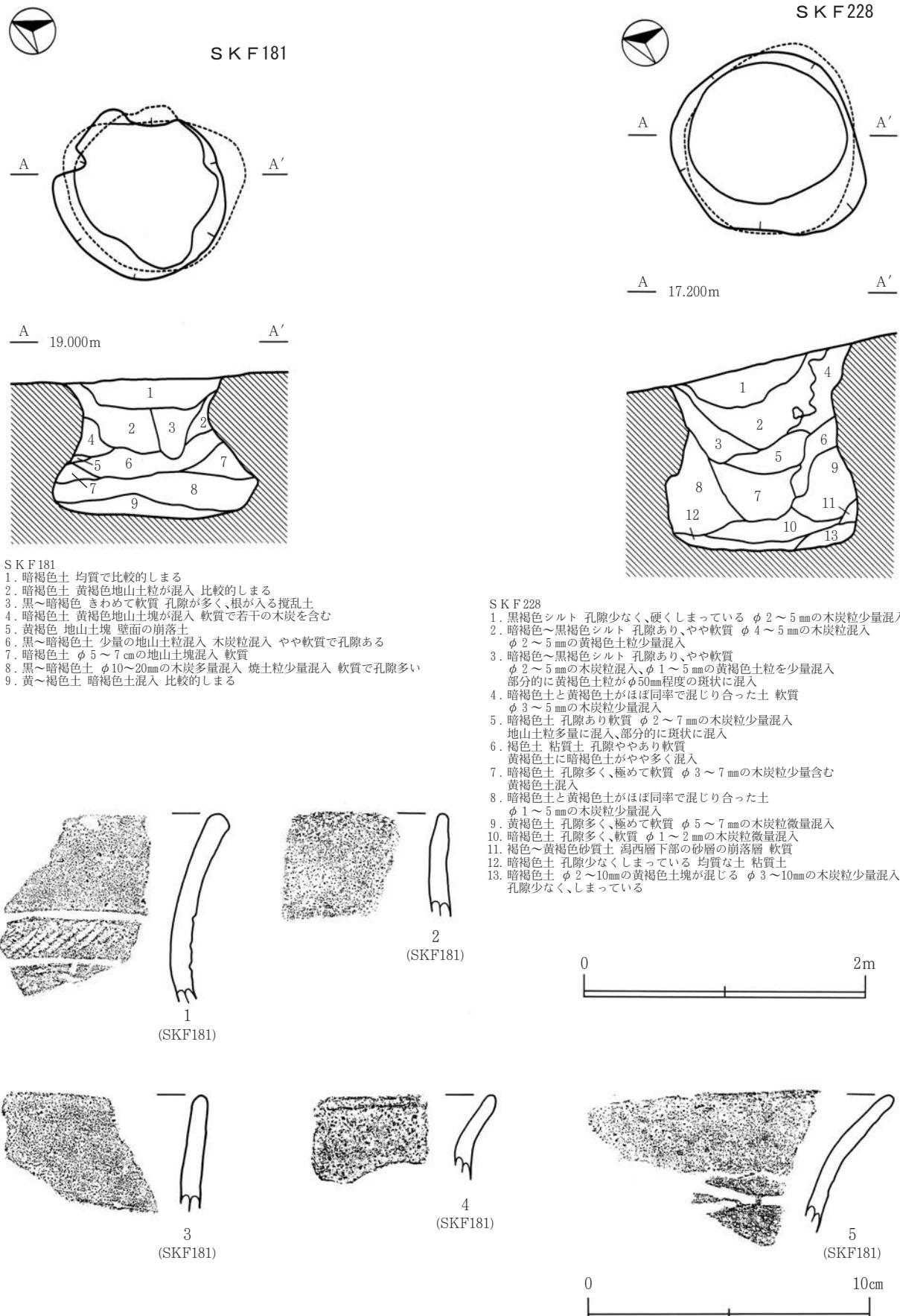
MA 55グリッドに位置する。S K F 413・414・425と重複し、本土坑が古い。坑底部長径1.35m×残存部短径0.82m、残存部の深さは0.63mである。平面形・断面形・埋土は削平されているため不明である。底面はほぼ平坦である。縄文時代のものと考えられるが、遺物が出土しなかったため、詳細な時期は不明である。

S K F 427(第44図)

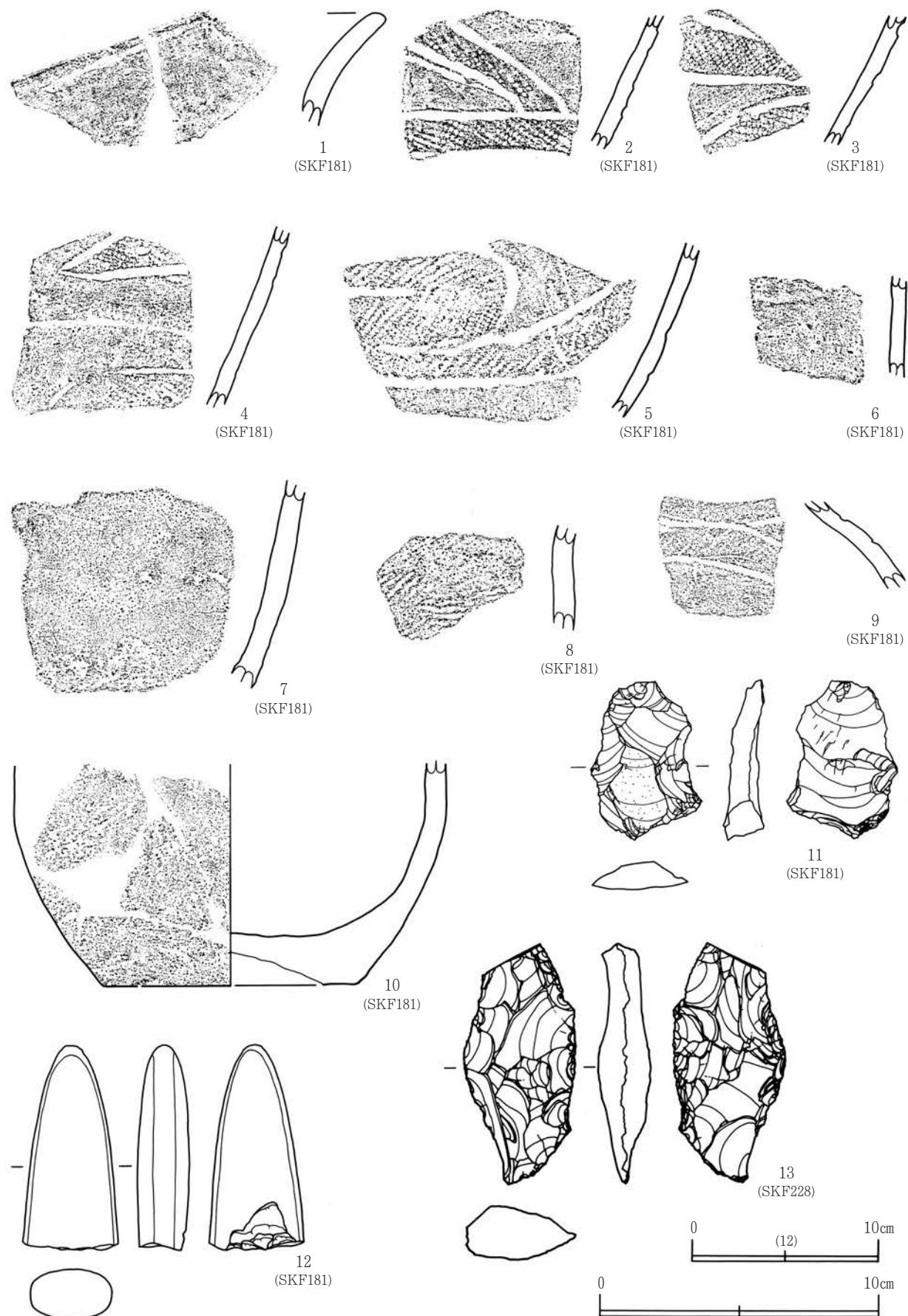
LS・LT 58グリッドに位置する。S K F 304と重複し、本土坑が古い。開口部長径1.73m×短径1.32m、坑底部長径1.00m×短径0.99m、深さ1.92mである。平面形は橢円形を呈し、断面は袋状である。埋土は7層に分層した。自然堆積である。3～5・7層は壁崩落土である。底面はやや凹凸があるがほぼ平坦である。縄文土器片3点(第44図6～8)、剥片2点が出土した。出土した土器はすべて深鉢で、6には羽状縄文が、8にはLR縄文が施文される。7は無文である。出土遺物と重複関係から、縄文時代前期末から中期初頭に属するものと考えられる。

S K F 434(第56図)

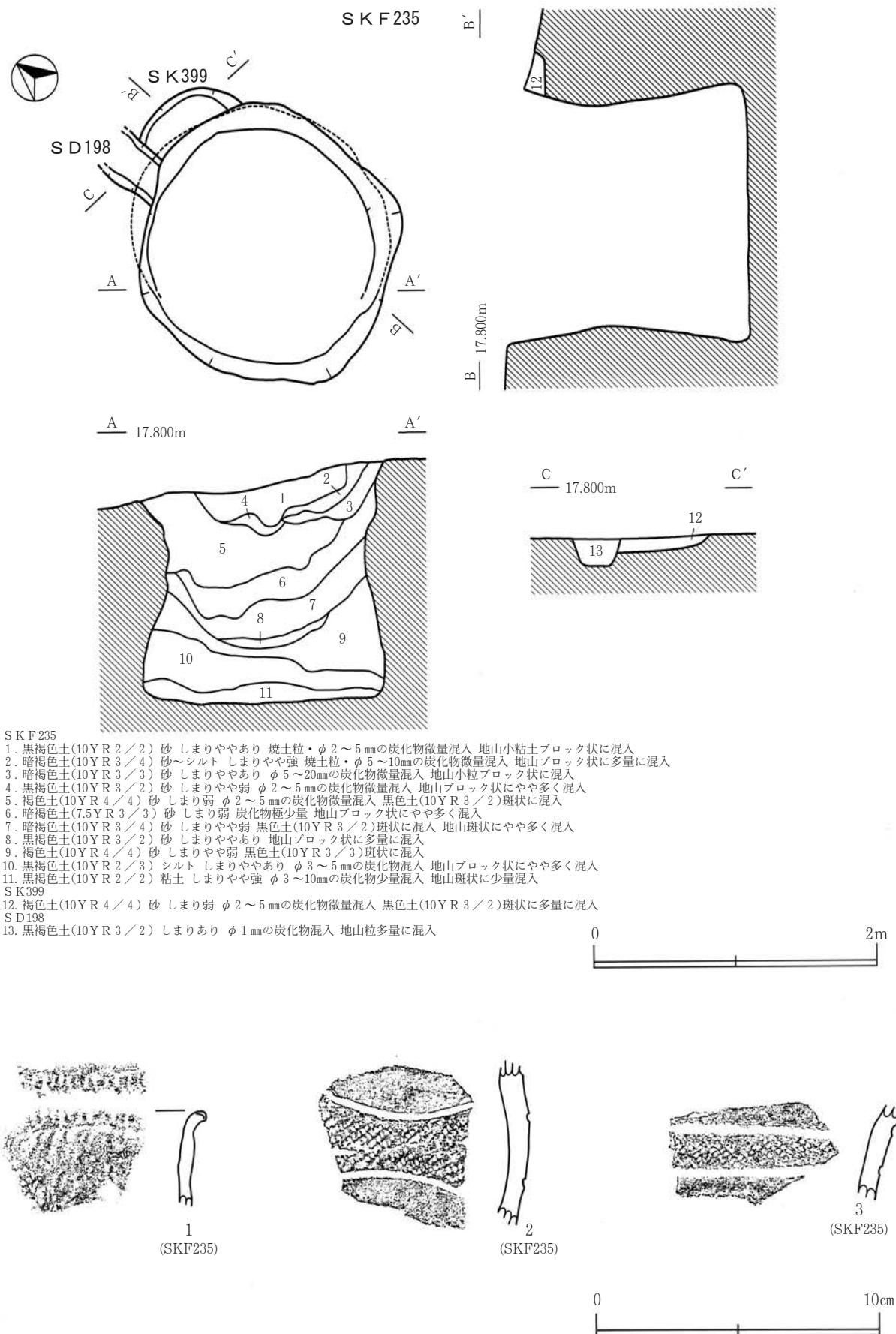
ME 54・55グリッドに位置する。開口部長径2.14m×短径1.96m、坑底部長径2.12m×短径2.10m、深さ1.62mである。平面形は円形を呈し、断面は三角フラスコ状である。埋土は11層に分層した。6～11層は崩落土である。1・2層は、埋没したフラスコ状土坑の窪みに堆積したものである。底面はやや凹凸があるがほぼ平坦である。縄文時代のものと考えられるが、遺物が出土しなかったため、詳細な時期は不明である。



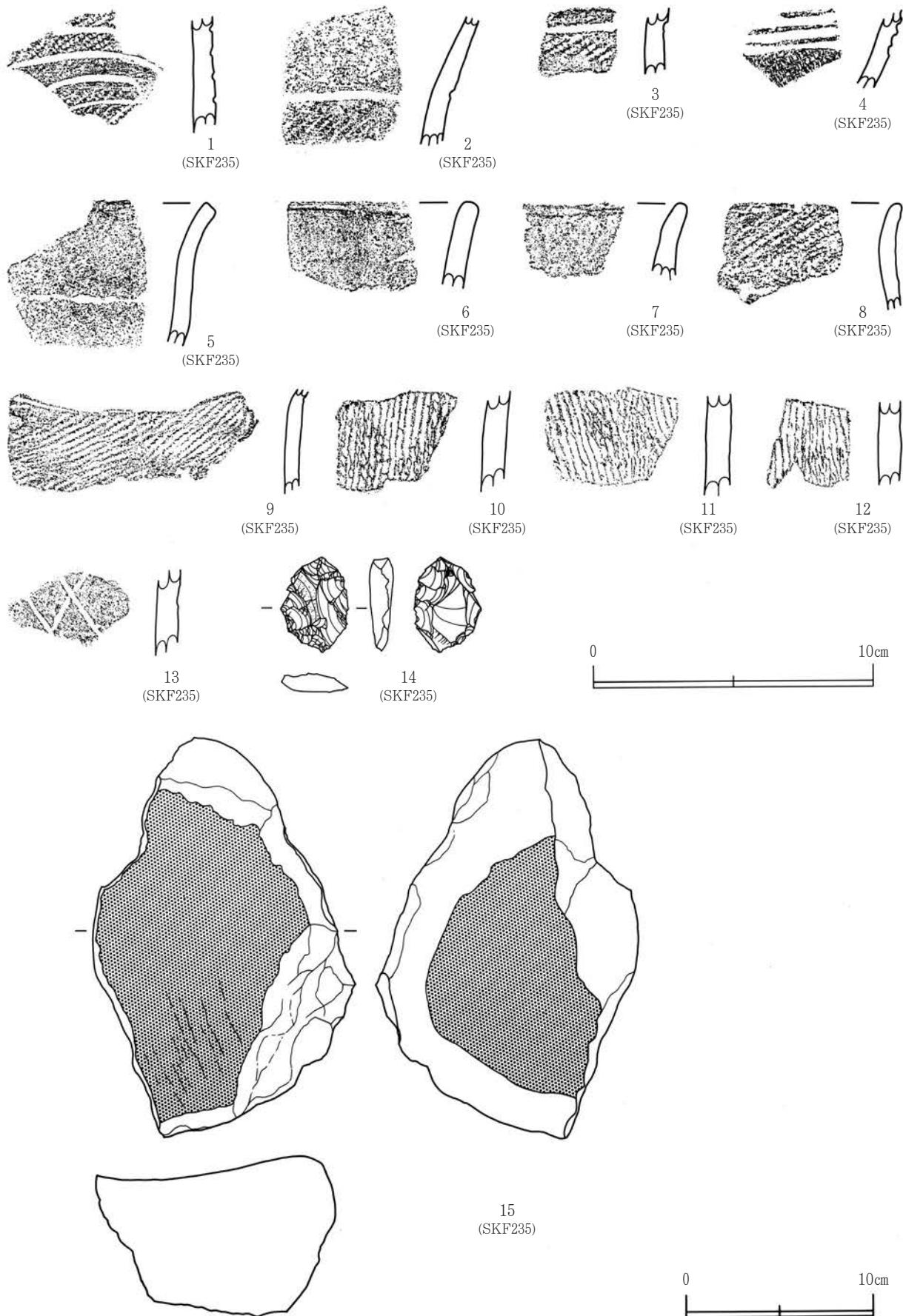
第33図 SKF 181・228と出土遺物



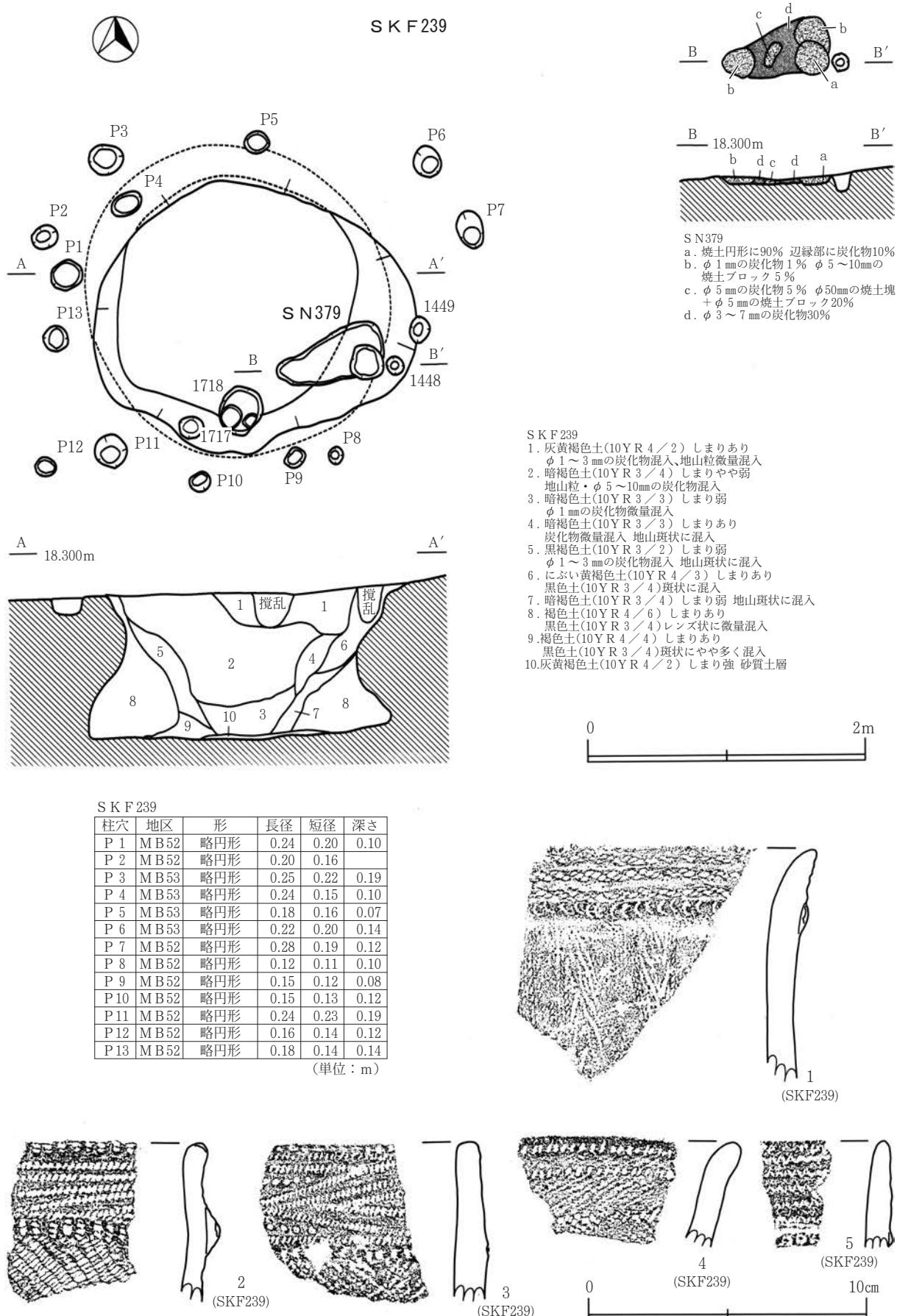
第34図 SKF181・228出土遺物



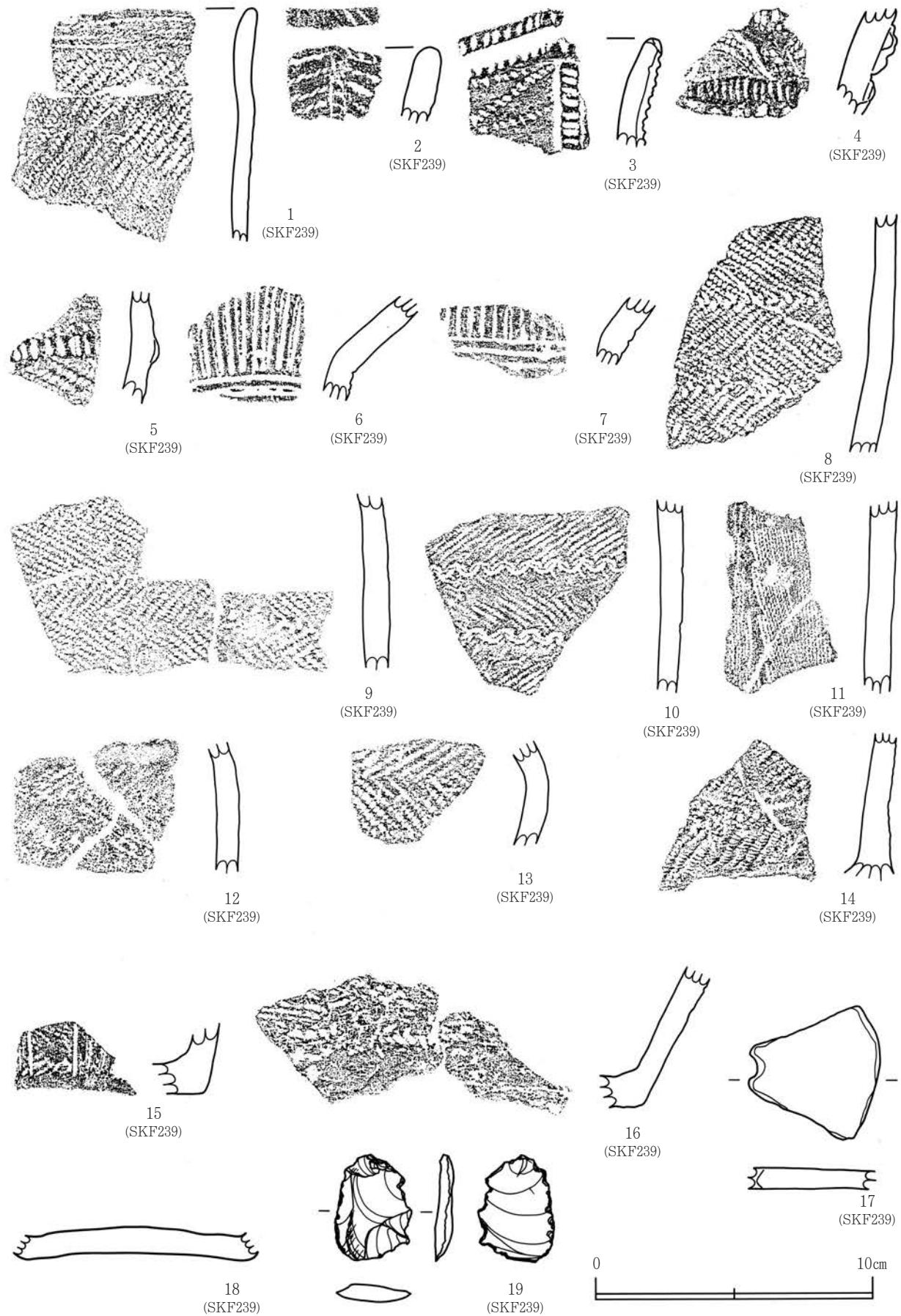
第35図 S K F 235、S K 399、S D 198と出土遺物



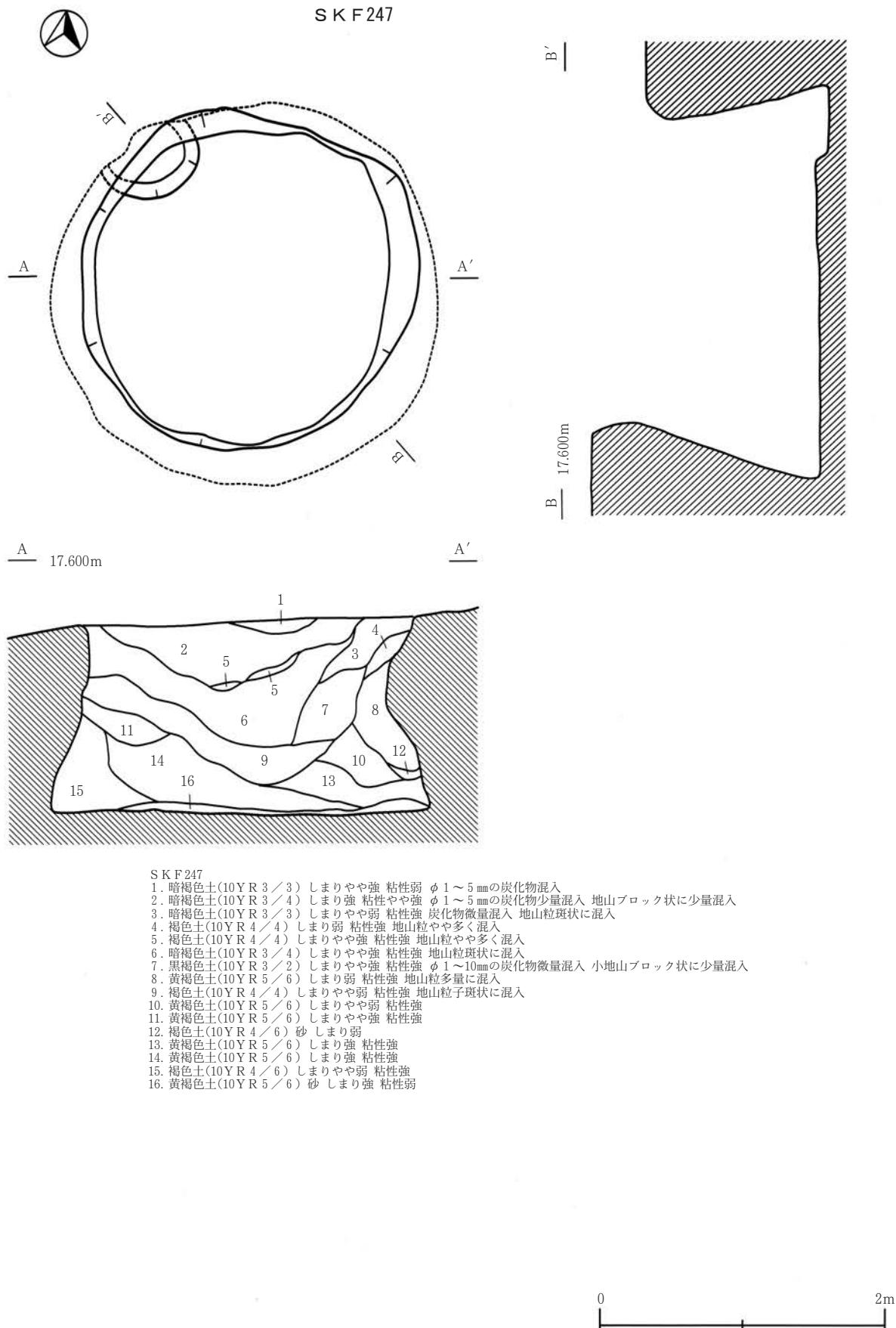
第36図 SKF235出土遺物



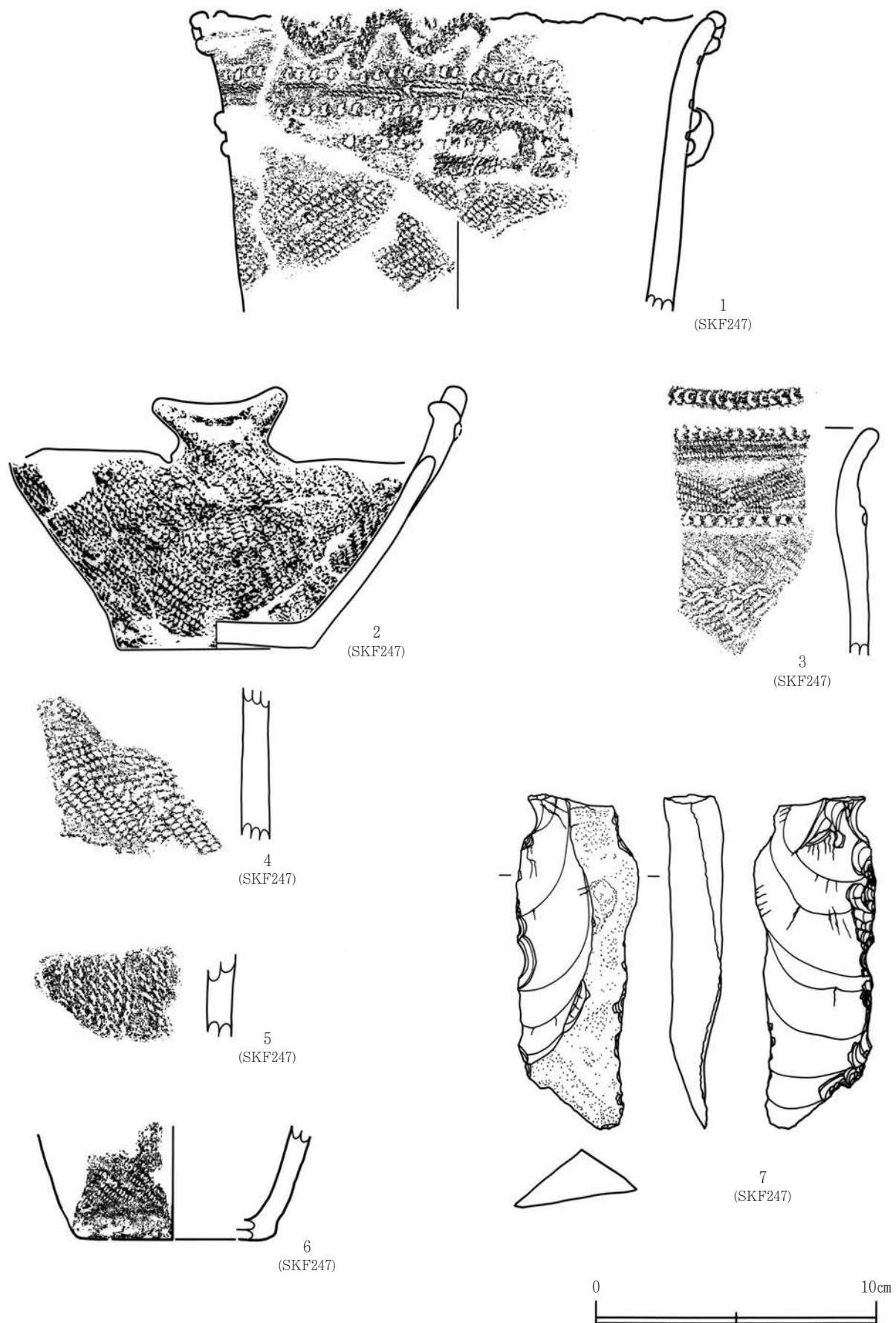
第37図 SKF 239、SN 379と出土遺物



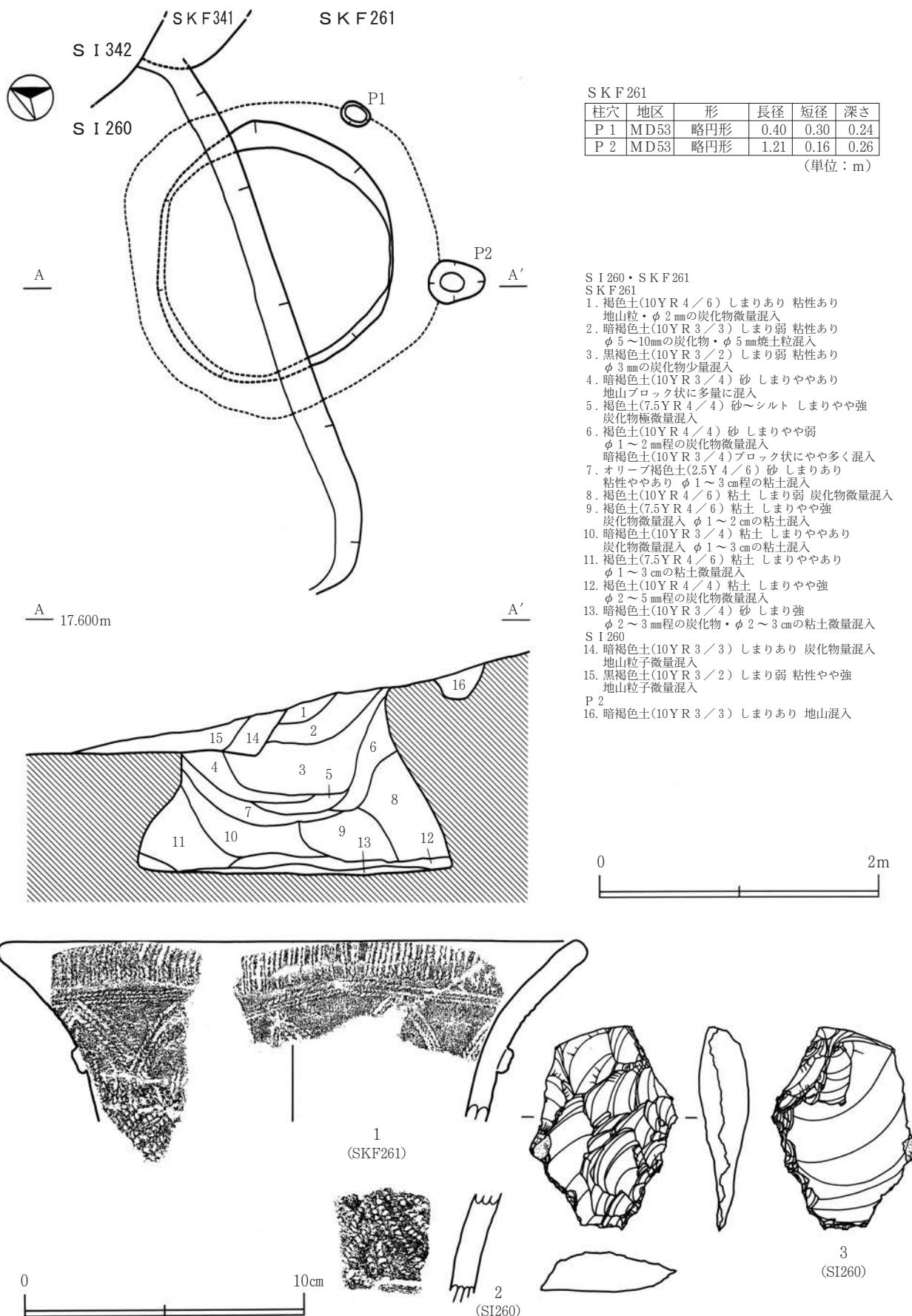
第38図 SKF239出土遺物



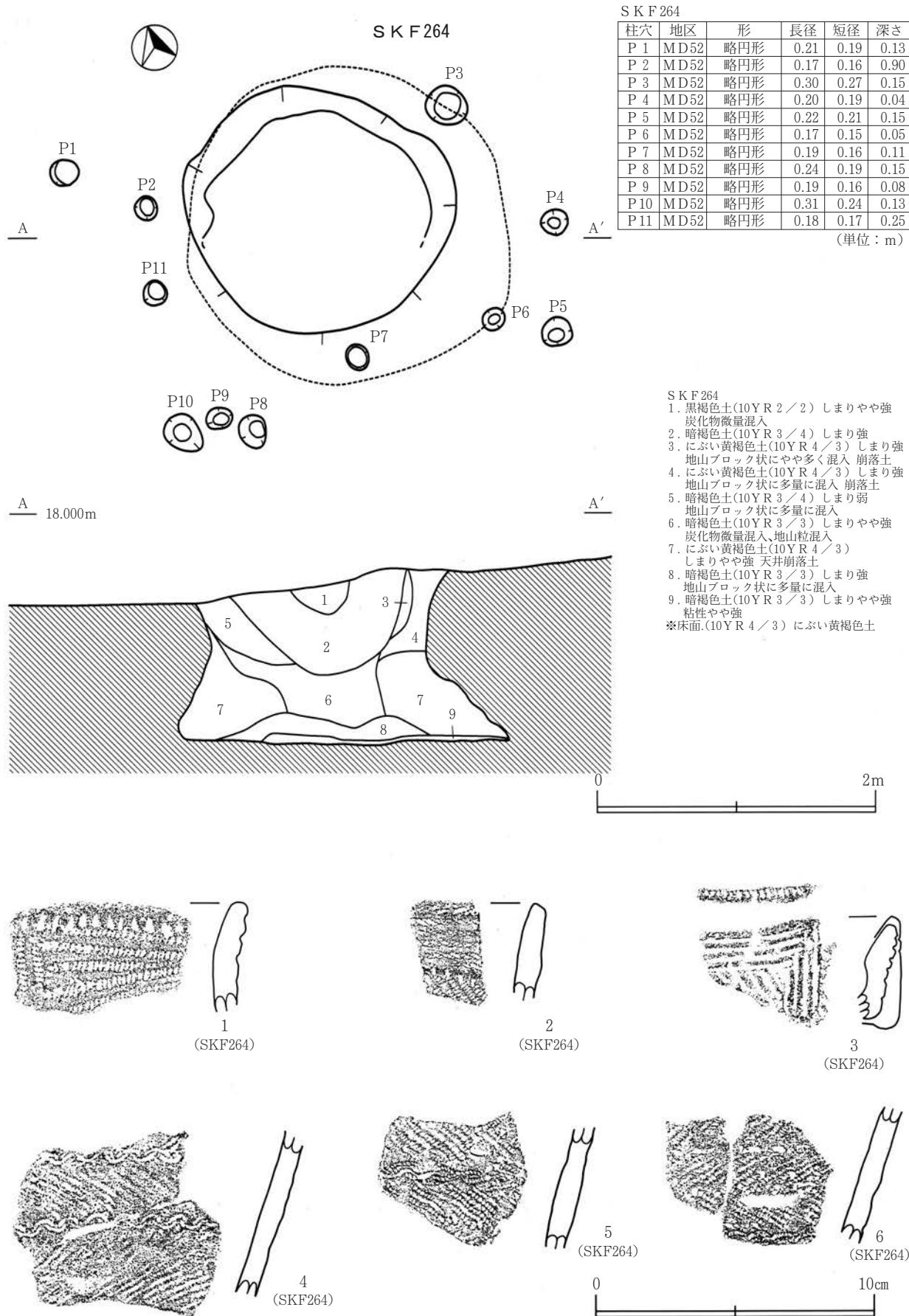
第39図 SKF 247



第40図 SKF247出土遺物



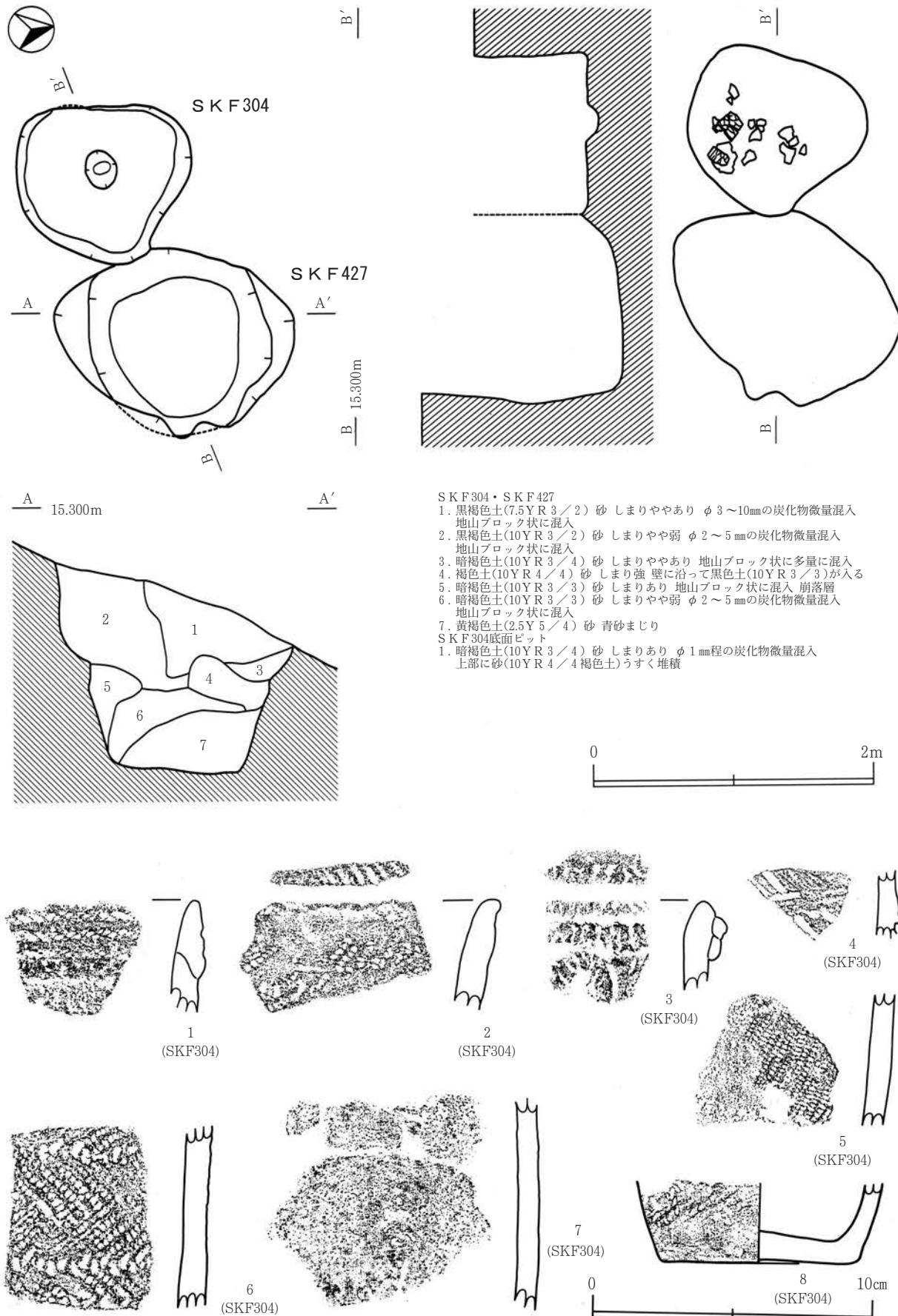
第41図 SKF 261、SI 260と出土遺物



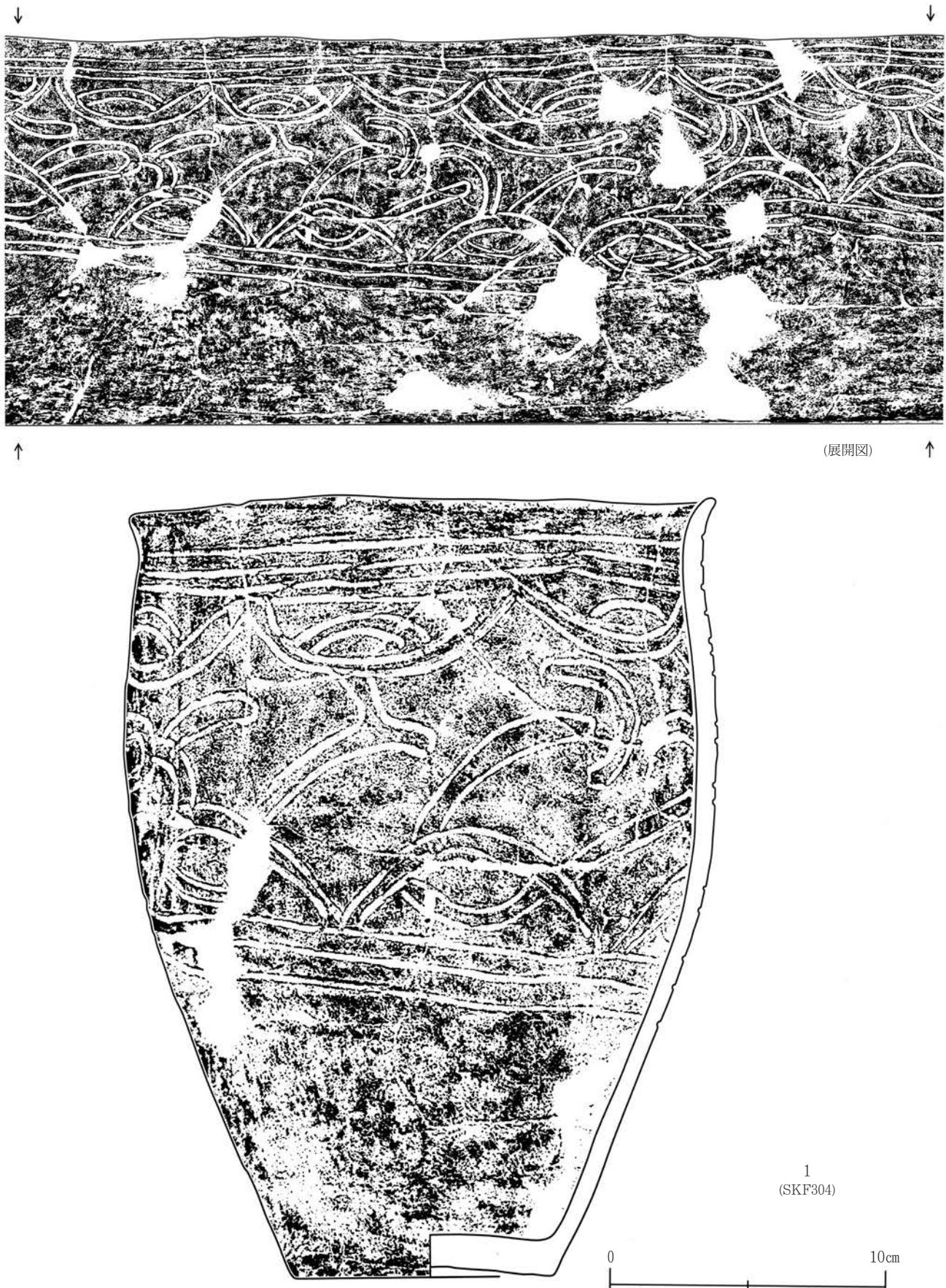
第42図 SKF 264と出土遺物



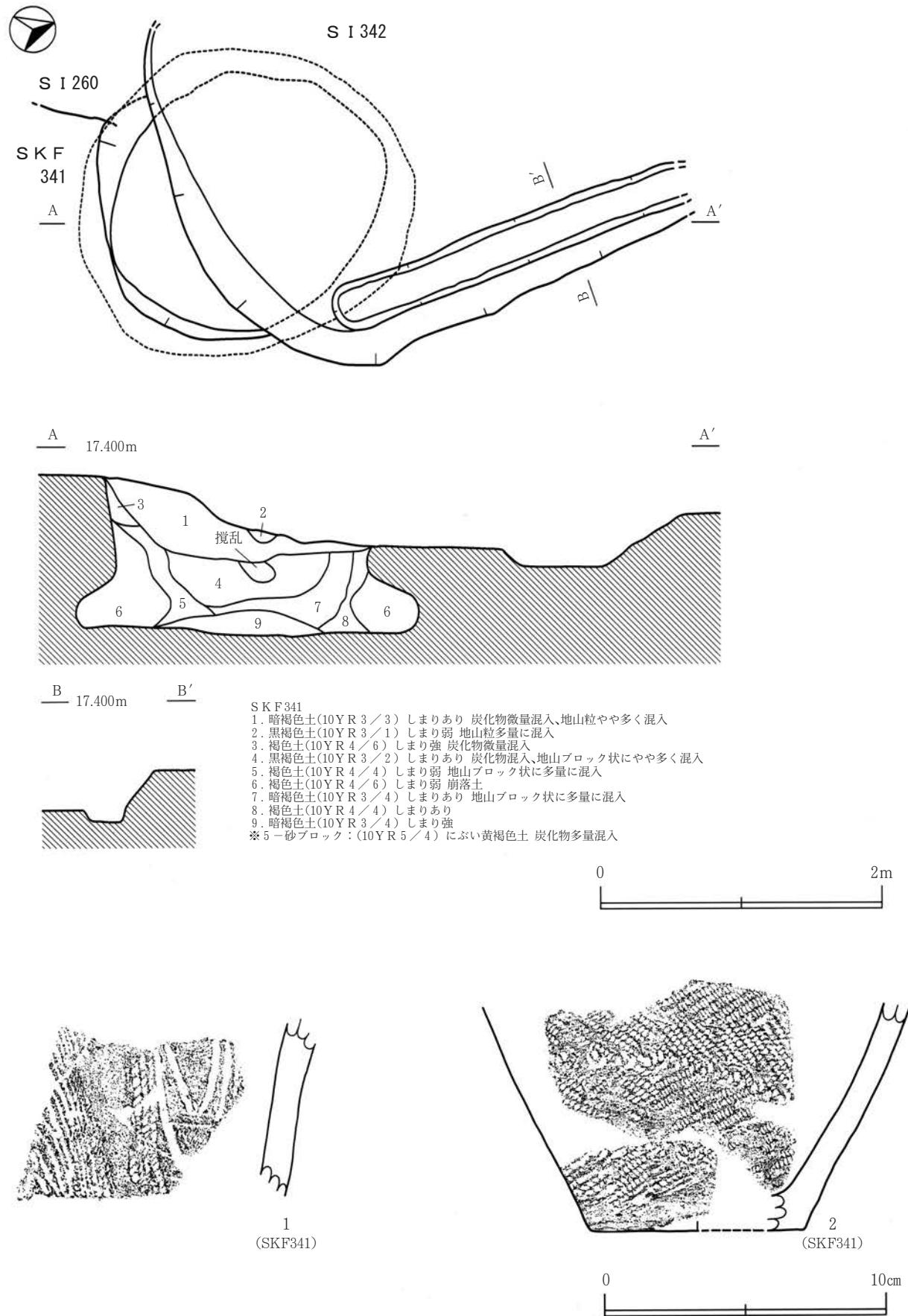
第43図 SKF264出土遺物



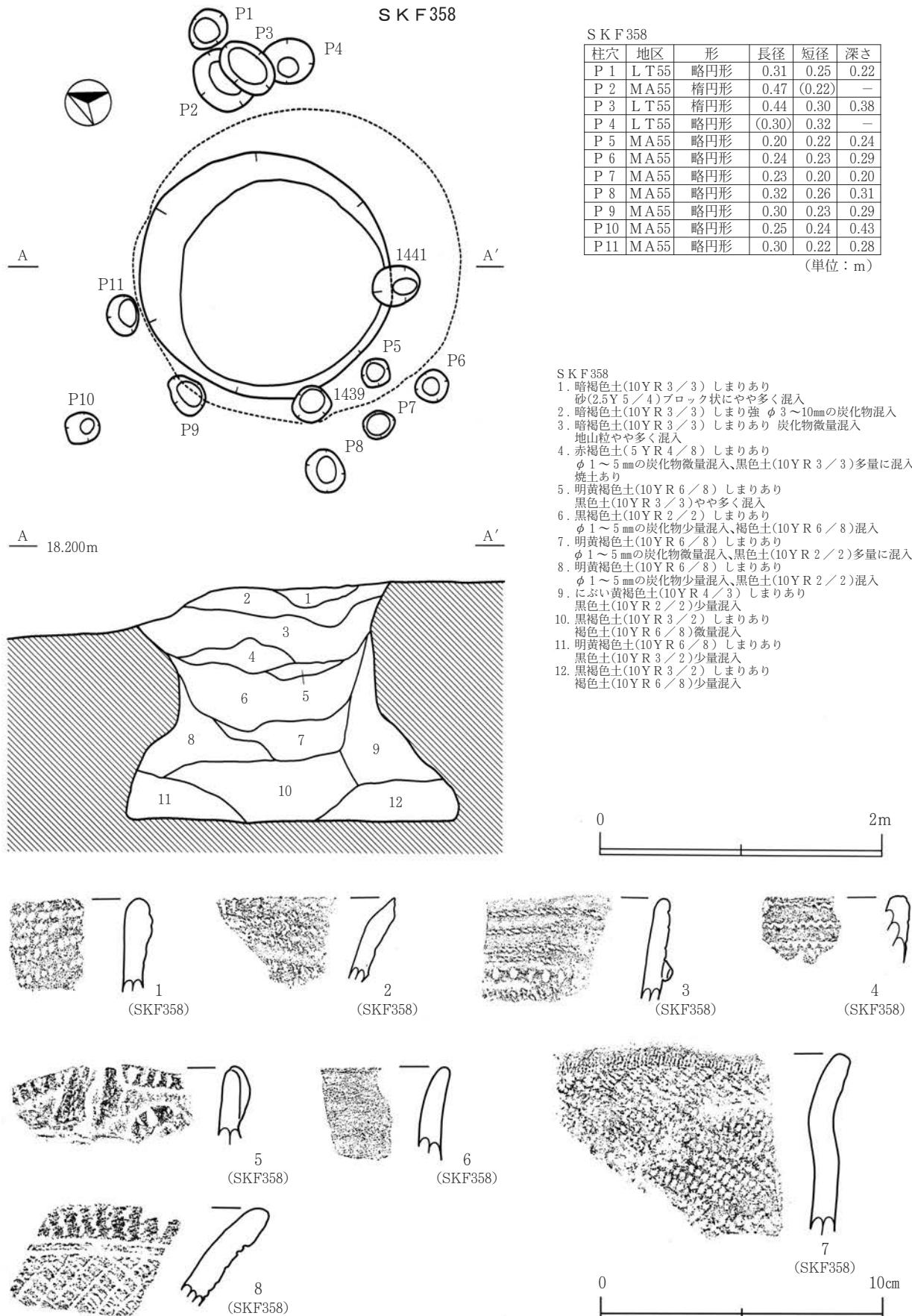
第44図 SKF304・427と出土遺物



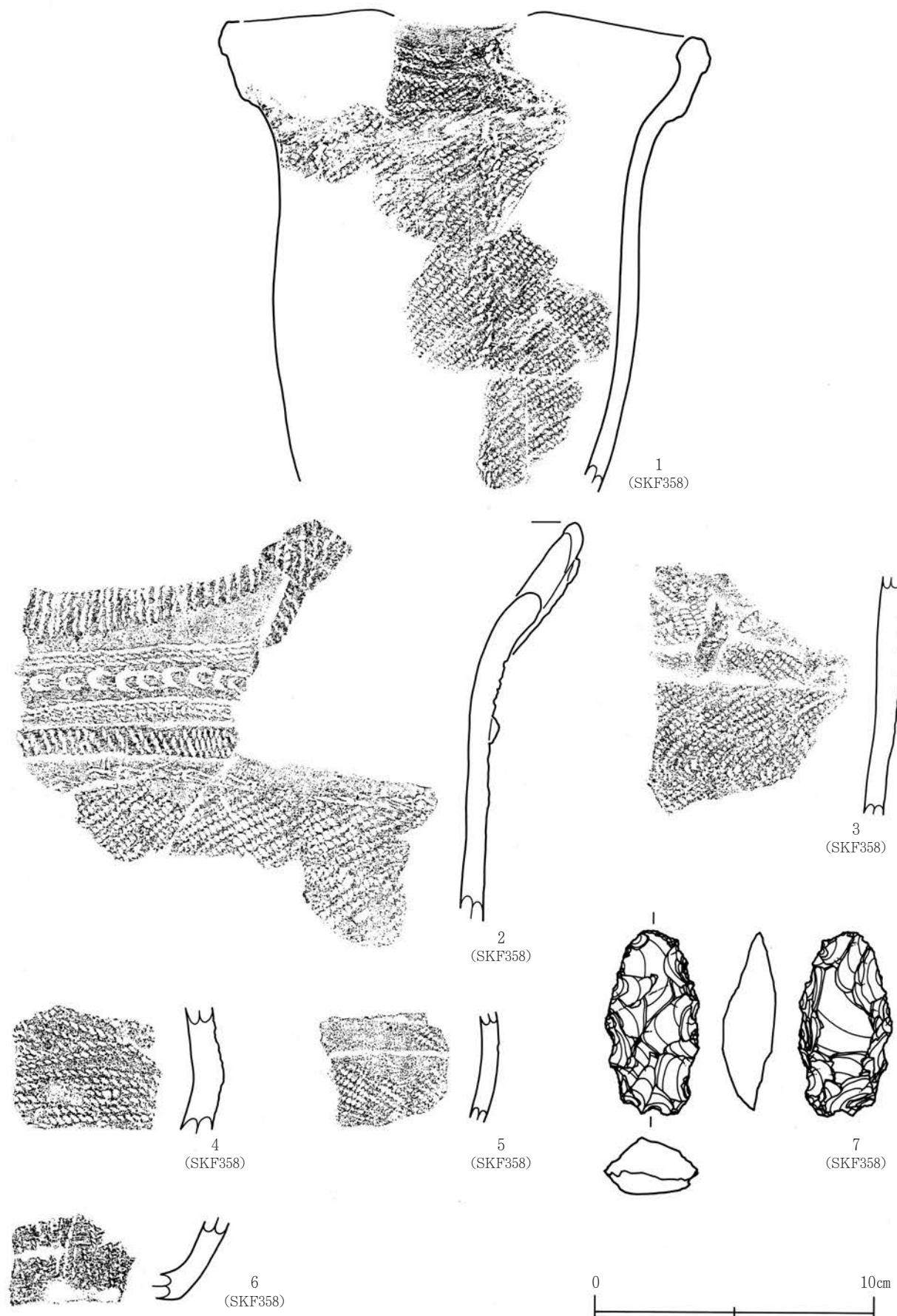
第45図 SKF304出土遺物



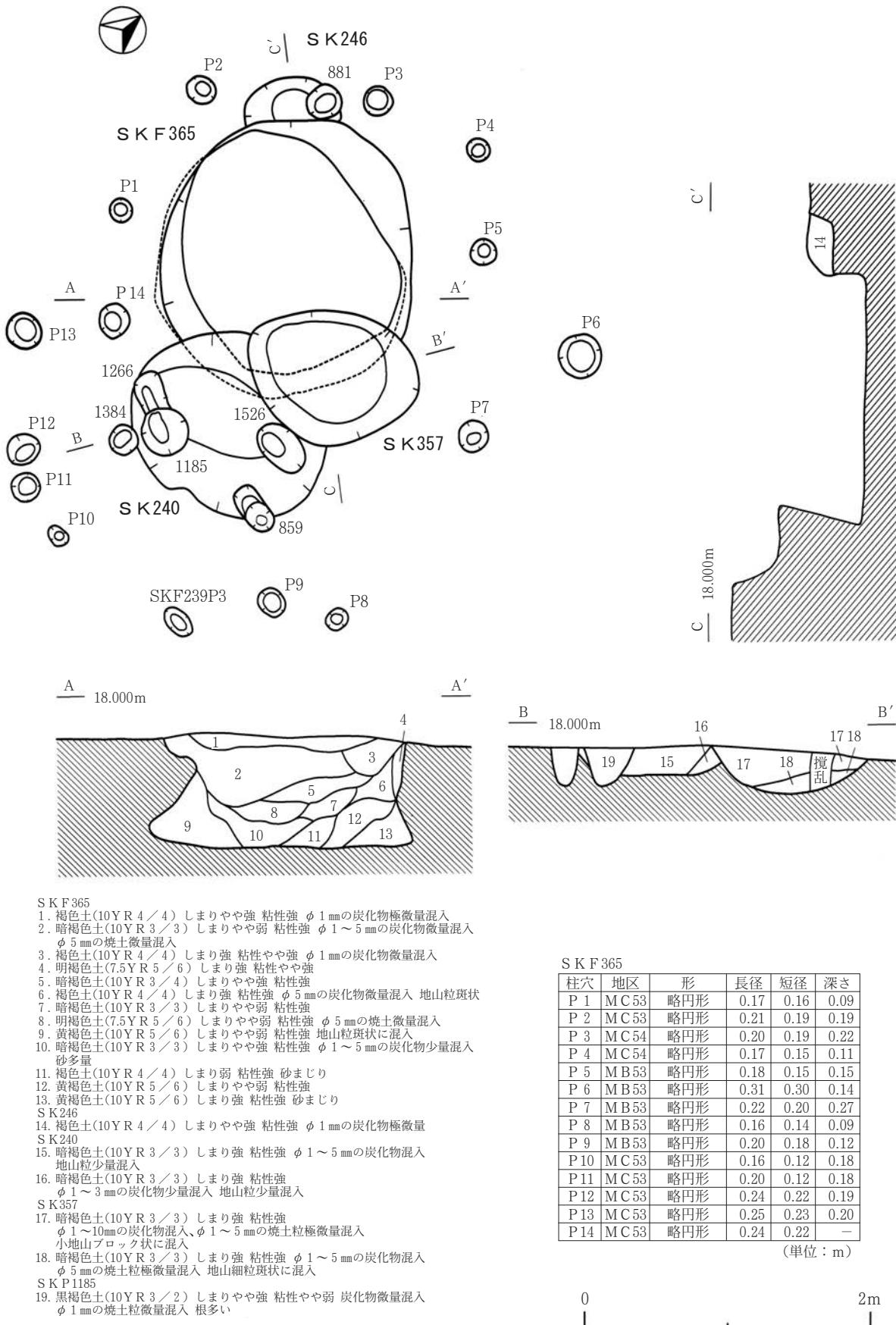
第46図 SKF341、S I 342と出土遺物



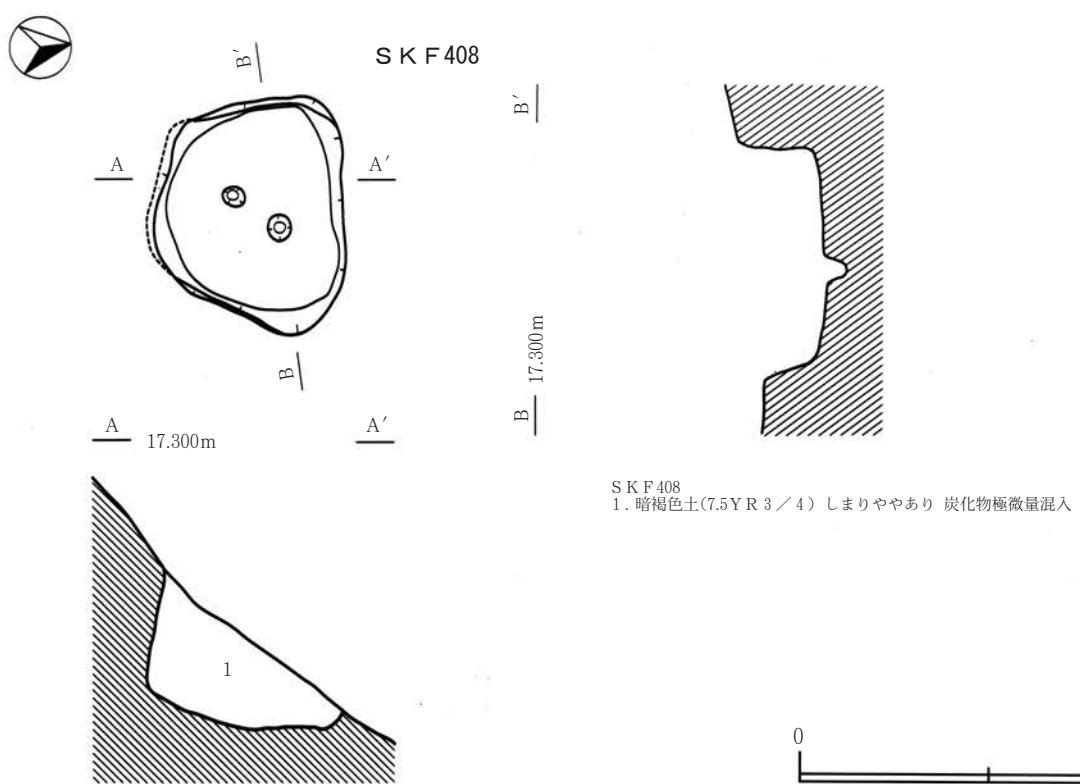
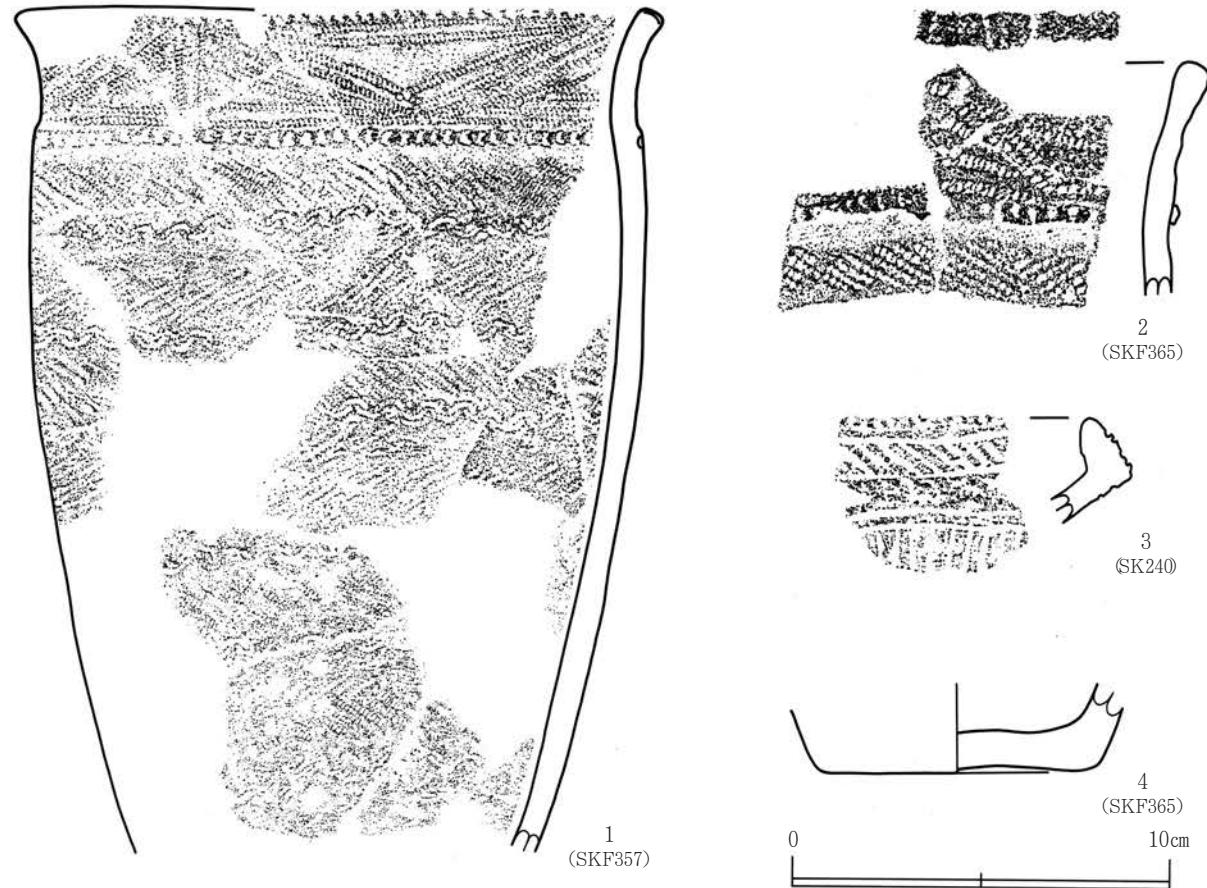
第47図 SKF 358と出土遺物



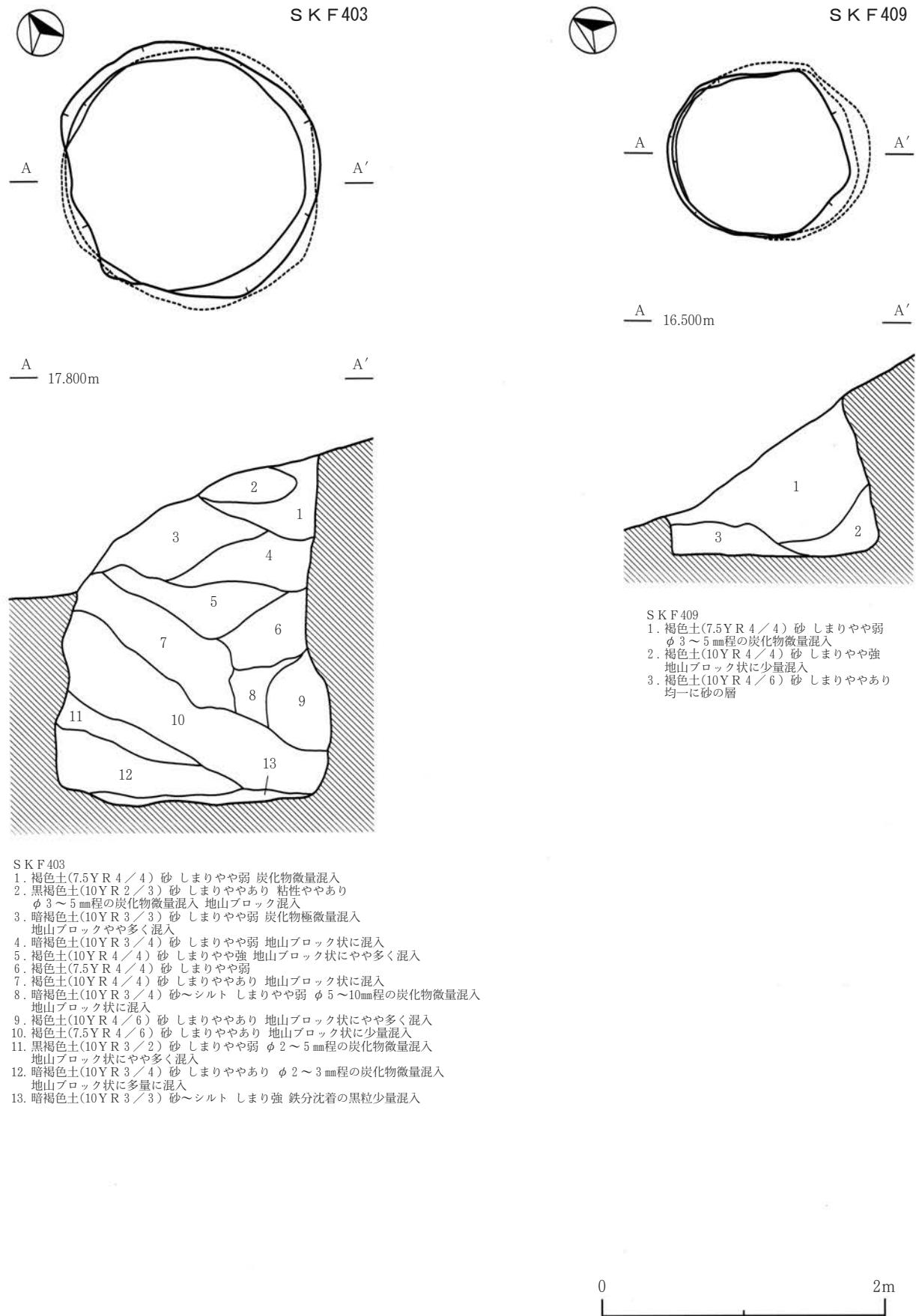
第48図 SKF358出土遺物



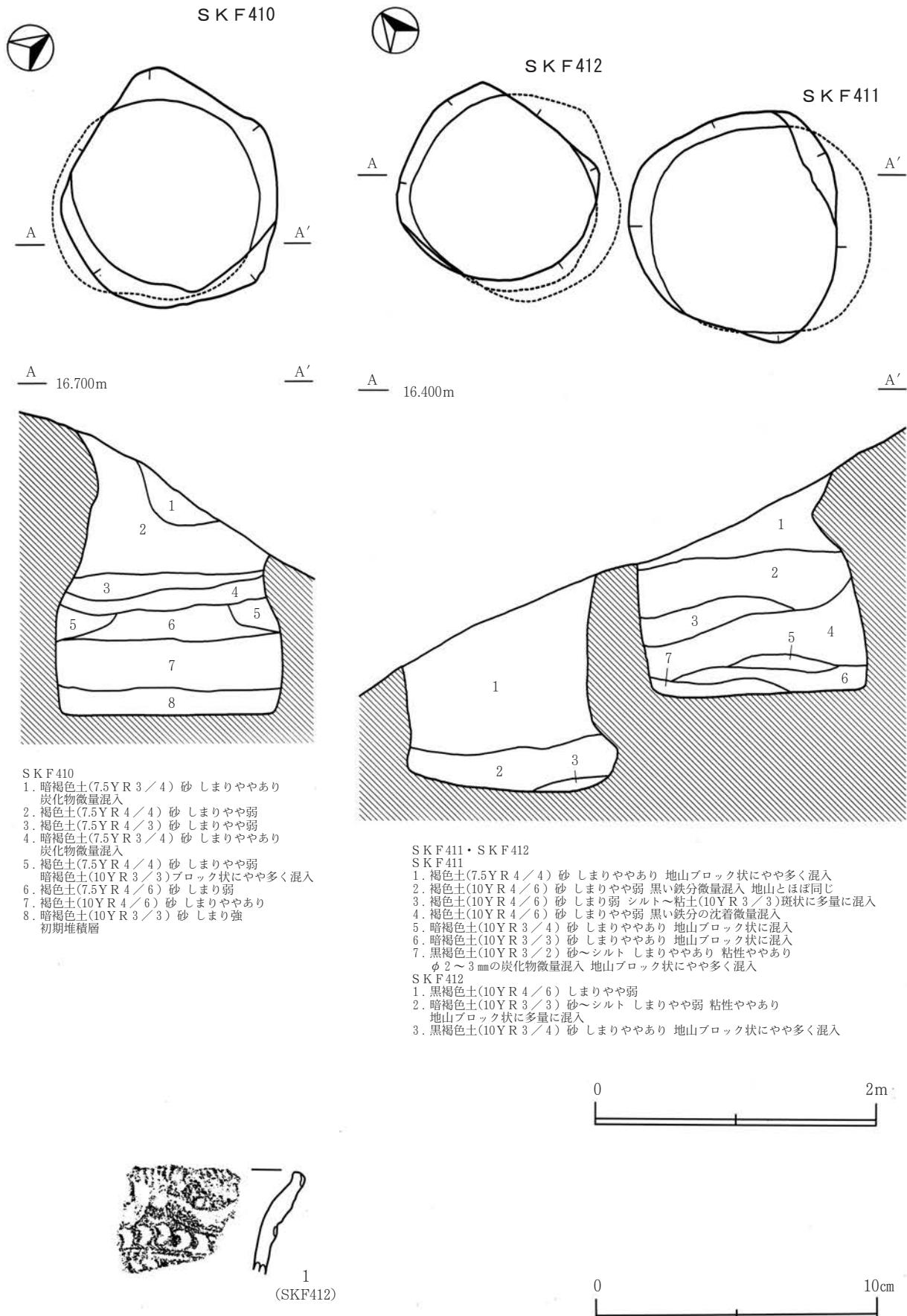
第49図 SK F 365、SK 240・246・357



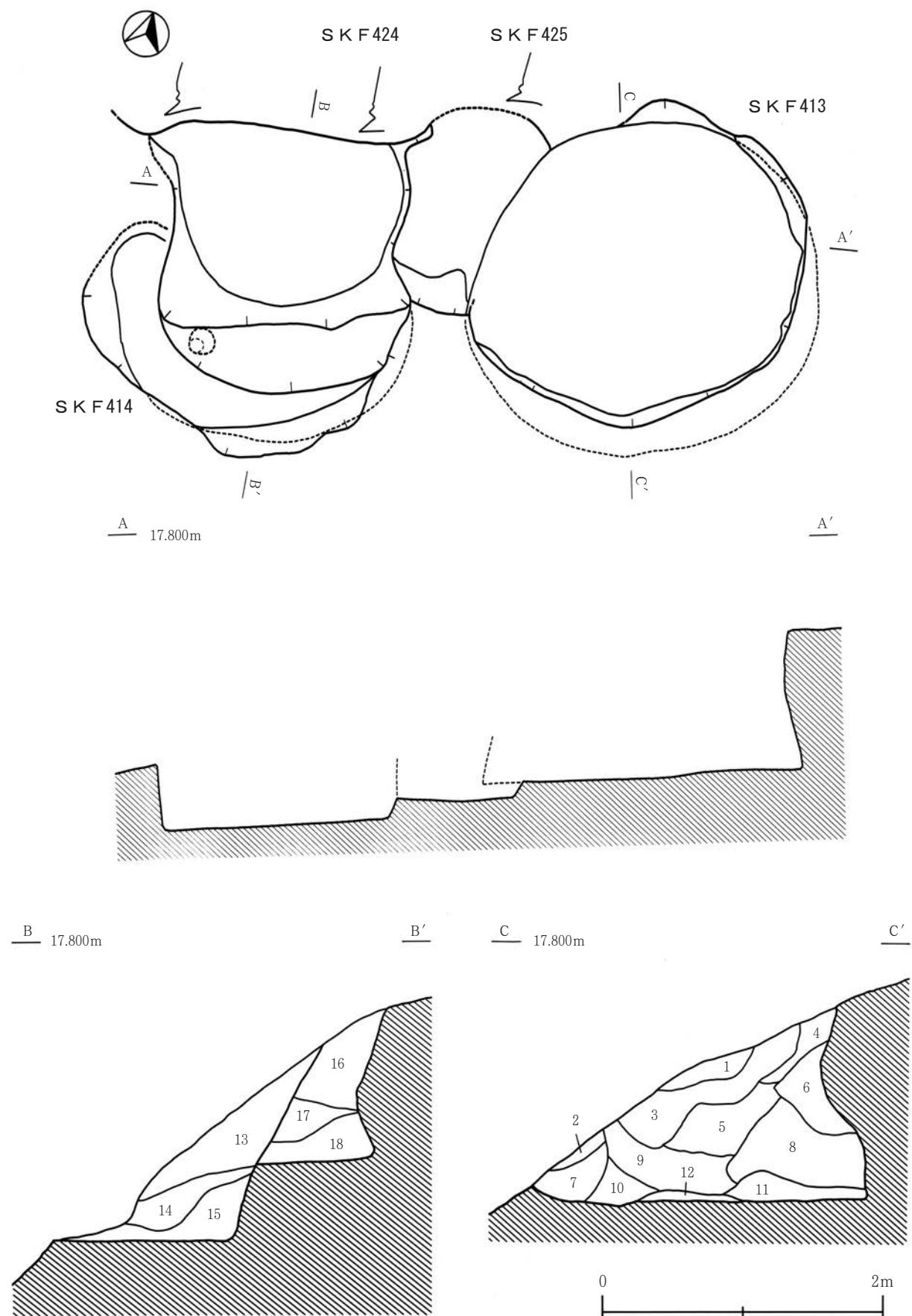
第50図 SKF 365、SK 240・357出土遺物、SKF 408



第51図 SK F 403・409



第52図 SKF410・411・412と出土遺物



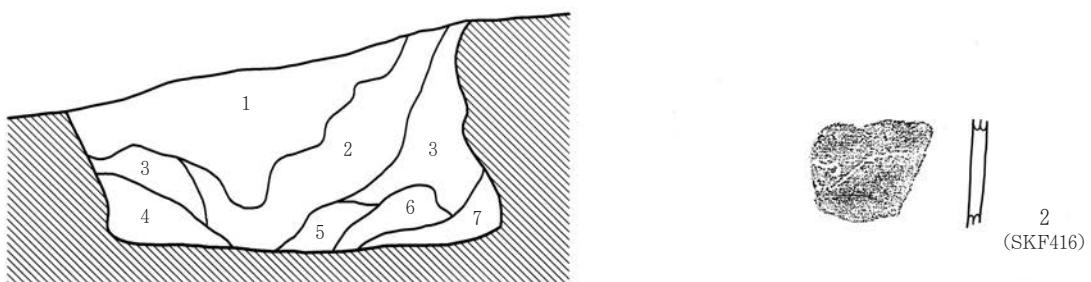
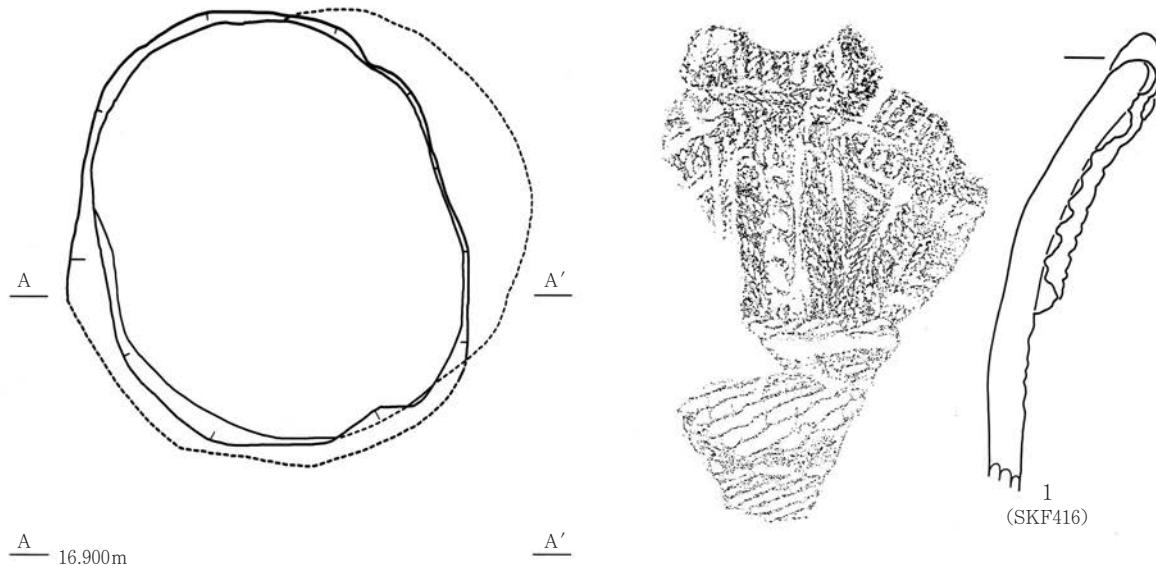
第53図 SKF 413・414・424・425

S K F 413
 1. 黒褐色土(10Y R 2/3) しまり弱 ϕ 1~3 mm程の炭化物少量混入
 2. 黒褐色土(10Y R 2/2) しまり弱 ϕ 1~3 mm程の炭化物混入
 3. 黒褐色土(10Y R 3/2) しまりやや弱
 地山粒・ ϕ 1~3 mm程の炭化物少量混入
 4. 暗褐色土(10Y R 3/3) しまり弱 ϕ 1 mm程の炭化物微量混入
 地山斑状に混入
 5. 暗褐色土(10Y R 3/4) しまりやや弱 ϕ 1~3 mm程の炭化物微量混入
 地山斑状に混入
 6. 褐色土(10Y R 4/4) しまりあり ϕ 1 mm程の炭化物微量混入
 7. 褐色土(10Y R 4/6) しまりあり ϕ 1 mm程の炭化物微量混入
 8. 暗褐色土(10Y R 3/4) しまり弱 地山斑状に多量に混入
 9. 暗褐色土(10Y R 3/3) しまりあり ϕ 1 mm程の炭化物微量混入
 地山斑状にやや多く混入
 10. にぶい黄褐色土(10Y R 4/3) しまりあり ϕ 1 mm程の炭化物微量混入
 11. にぶい黄褐色土(10Y R 4/3) しまりやや弱 崩落土
 12. 暗褐色土(10Y R 3/3) しまりやや強 ϕ 1 mm程の炭化物微量混入

S K F 424
 13. 暗褐色土(7.5Y R 3/3) 砂 しまりややあり
 ϕ 5~10 mm程の炭化物微量混入 地山ブロック状に混入
 14. 黄褐色土(10Y R 5/6) 砂
 S K F 414
 16. 褐色土(10Y R 4/4) 砂 しまりやや強
 黒褐色土(10Y R 3/2) ブロック状に混入
 17. 褐色土(7.5Y R 4/4) 砂 しまりやや弱
 暗褐色土(10Y R 3/4) 斑状に混入
 18. 褐色土(10Y R 3/4) 砂 しまりややあり 1・2層より粘性やや粒が細かい



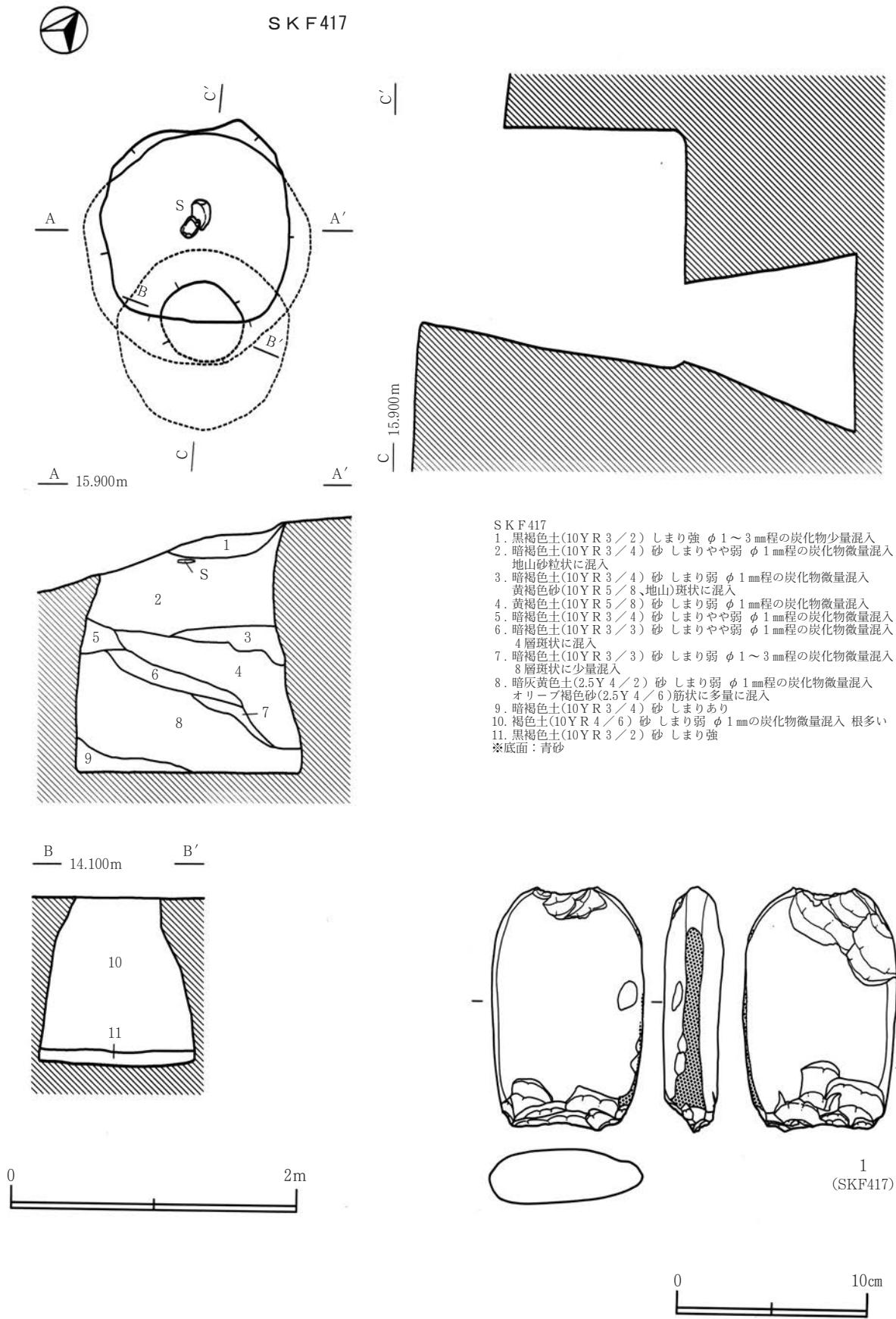
S K F 416



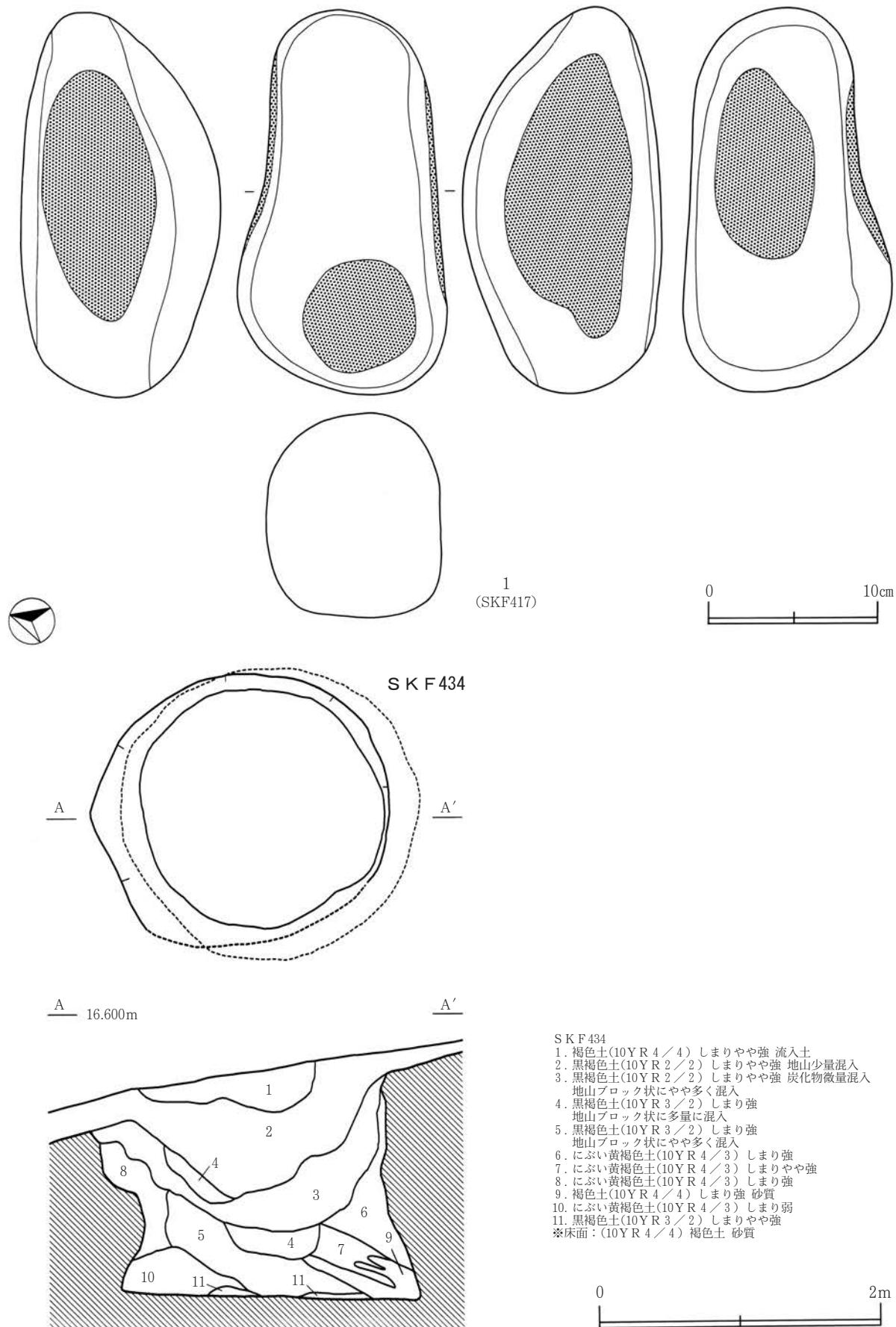
S K F 416
 1. 黒褐色土(7.5Y R 3/1) しまりやや強 搅乱土
 2. 暗褐色土(7.5Y R 3/3) しまりやや強 流入土
 3. 橙色土(7.5Y R 6/6) しまりやや強 地山多量に混入
 4. 橙色土(7.5Y R 6/8) しまりやや強 搅乱あり
 5. 灰褐色土(7.5Y R 4/2) しまりあり 地山多量に混入
 6. 明褐色土(7.5Y R 5/8) しまりあり 崩落土
 7. 橙色土(7.5Y R 6/8) しまりやや強 砂majiri 堆積土



第54図 S K F 416と出土遺物



第55図 SKF417と出土遺物



第56図 SKF417出土遺物、SKF434

4 土坑

S K09(第57図)

L T47グリッドに位置する。S K P 1172と重複し、本土坑が新しい。長軸0.77m、短軸0.47mの楕円形を呈する。深さは0.13m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。縄文土器細片が1点出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K10(第57図)

M A47グリッドに位置する。S K45と重複し、本土坑が古い。東側がS K45により削平されているが、残存部長軸0.62mで、略円形を呈するものと考えられる。深さは0.12m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。遺物は出土しなかった。重複関係から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K17(第57図)

L R46グリッドに位置する。S K 441と重複し、本土坑が新しい。径0.56m×0.52mの円形を呈する。深さは0.18m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。二次加工のある剥片が1点出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K19(第57図)

L Q47グリッドに位置する。S K310・311、S K P 681・992～994・1719と重複し、本土坑が古い。残存部長軸0.56m、残存部短軸0.94mの楕円形を呈する。深さは0.17m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。遺物は出土しなかった。重複関係から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K20(第57図)

L Q47グリッドに位置する。S K418と重複し、本土坑が新しい。径0.95m×0.92mの円形を呈する。深さは0.19m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。縄文土器片が5点(図示したものは2点、第58図2・3)出土した。2・3とも深鉢で、2には羽状縄文が、3にはR L縄文が施文される。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K22(第58図、図版12)

L P48グリッドに位置する。S D21、S K P 1160と重複し、本土坑が古い。長軸1.69m、短軸1.19mの楕円形を呈する。深さは0.14m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。石匙が1点(第58図6)出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K24(第58図)

L Q49グリッドに位置する。S K P 1022と重複し、本土坑が古い。長軸3.44m、短軸1.66mの楕円形を呈する。深さは0.20m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。自然堆積である。底面はほぼ平坦である。底面からは柱穴を6基検出した。縄文土器片6点(図示したもの1点、第58図5)、二次加工のある剥片が1点出土した。5は深鉢であるが、摩滅しており文様構成は不明である。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K25(第59図)

L Q49グリッドに位置する。S K P 186・1717と重複し、本土坑が古い。S K P 996と重複し、本土坑が

新しい。径1.92m×1.76mの略円形を呈する。深さは0.38m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は4層に分層した。自然堆積である。底面は東側が一段低くなる。底面から礫が9点出土した。縄文土器片2点(図示したもの1点、第60図1)、磨石1点(第60図4)、剥片1点が出土した。1は深鉢で内外面ともナデ調整される。4の磨石は表裏に擦りが見られる。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 45(第57図)

M A 47グリッドに位置する。S K 10と重複し、本土坑が新しい。長軸0.79m、短軸0.59mの楕円形を呈する。深さは0.17m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。縄文土器片が1点(第58図1)出土した。深鉢で、口縁部には押圧縄文が施され、体部との境には上部にキザミ目状の押圧縄文が施された隆帯が貼り付けられる。出土遺物から、縄文時代中期に属するものと考えられる。

S K 75(第59図)

M E 45グリッドに位置する。長軸0.68m、短軸0.49mの楕円形を呈する。深さは0.25m。断面は中華鍋底状を呈する。埋土は1層である。底面は中央部に向かって緩やかに窪む。縄文土器細片1点、二次加工のある剥片1点が出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 104(第59図)

M D 46グリッドに位置する。径1.07m×0.96mの略円形を呈する。深さは0.21m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は3層に分層した。底面はほぼ平坦である。縄文土器片1点が出土した(第60図2)。深鉢で、羽状縄文が施される。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 112(第59図)

M D 47・48グリッドに位置する。径1.14m×0.91mの略円形を呈する。深さは0.24m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は3層に分層した。底面はほぼ平坦である。剥片1点が出土した。縄文時代に属するものと考えられる。

S K 121(第59図)

M D 50グリッドに位置する。径0.84m×0.84mの円形を呈する。深さは0.30m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面は北側が一段窪む。縄文土器片1点が出土した(第60図3)。深鉢で、羽状縄文が施される。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 139(第60図、図版6・10)

L T 51グリッドに位置する。径3.03m×2.74mの略円形を呈する。深さは0.48m。底面は中華鍋底状を呈する。埋土は5層に分層した。自然堆積である。底面はやや凹凸があり、中央部に向かって緩やかに窪む。縄文土器片120点(図示したもの27点、第61~64図1~3)、二次加工のある剥片1点、羽口1点(第64図4)が出土した。出土した土器はすべて深鉢である。第61図1は口径21.5cm、底径9.7cm、器高24.0cmである。底部から頸部まで緩やかに内湾しながら立ち上がり、頸部では直角に外側に屈曲する。口縁は外傾しながら立ち上がる。口縁には4単位の緩やかな突起が付き、口唇部にキザミ目状の撲糸圧痕文が施される。波頂部には縦位に隆帯が貼り付けられ、隆帯下には左右に円形の突起が貼り付けられる。口縁上部には口縁に沿って押圧縄文が施され、口縁下部には縦位に連続して押圧縄文が施される。体部にはR L縄文が施される。内面はミガキである。第61図2~4、第62図1~3、第63図3は円筒形を呈する。第61図2の口縁は緩やかな波状を呈し、内面は肥厚する。波頂部には押圧縄文が縦位に施文さ

れる。口唇部にはキザミ目状の撚糸圧痕文が施文され、口縁部には押圧縄文が横位に施される。体部には羽状縄文が施される。第61図3・4、第62図1～3、第63図3は平坦口縁である。口縁部には横走する押圧縄文(第61図3、第62図1～3)や撚糸の側面圧痕文(第61図4)が施文される。第61図3にはボタン状の突起が貼り付けられる。第62図1・2は口縁と体部との境に爪形圧痕文が施文される。第63図3は表面が著しく摩滅しているが、口縁部には押圧縄文が施文され、体部との境には刺突列と上下の沈線により微隆帯が作り出されている。体部には木目状撚糸文が施文される。第62図4～9は平坦口縁あるいは山形突起が付き、口縁部文様帶に隆帯が貼り付けられる。隆帯上にはキザミが施文される(5、7～9)、隆帯間は押圧縄文(4)や刺突(5～9)で充填される。5は突起下に橢円形の透かしが施され、口縁の割れ目の左右2ヶ所に補修孔が見られる。また、補修孔に近接して内面からの未貫通孔(盲孔)が1ヶ所にある。7～9は同一個体である。第63図1は口唇部にキザミ目状の撚糸圧痕文が施文され、内外面に炭化物が付着する。第63図4～11は体部破片で、羽状縄文(4～6、8～10)やR L縄文(7)が施文される。11は縦位に綾絡文が施文される。第64図1は縄文時代晚期前葉の鉢形土器である。第64図1と4の羽口は確認面の出土であり、底面から第61図1の深鉢が出土したことから、縄文時代前期末葉～中期初頭に属するものと考えられる。

S K152(第60図)

L N51グリッドに位置する。S K P 1609と重複し、本土坑が新しい。径1.14m×0.95mの略円形を呈する。深さは0.35m。断面はビーカー形を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。縄文土器細片が2点出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K171(第64図)

L M54・55グリッドに位置する。S K P 480と重複し、本土坑が古い。長軸1.34m、短軸0.71mの橢円形を呈する。深さは0.26m。断面は擂鉢状を呈する。埋土は2層に分層した。底面は中央に向かって緩やかに窪む。縄文土器片が1点(第64図5)出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K186(第65図、図版12)

M A49グリッドに位置する。チップを多量に含む暗褐色土の広がりとして確認した。S K 404、S K P 1605と重複する。S K 404より古く、S K P 1605より新しい。東側がS K 404土坑により削平されているが、径1.47mの円形を呈するものと考えられる。深さは0.15m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。チップが多量に出土した。石籠1点(第65図1)、三脚石器1点(第65図4)、二次加工のある剥片3点(図示したもの2点、第65図2・3)、剥片56点が出土した。縄文時代に属するものと考えられる。

S K211(第64図)

M A53グリッドに位置する。径1.22m×0.92mの略円形を呈する。深さは0.18m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。縄文土器細片4点、剥片10点が出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K219(第64図)

L P56グリッドに位置する。S K P 1748と重複し、本土坑が新しい。径1.05m×0.83mの略円形を呈する。深さは0.16m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。縄文土器細片2点が出土した。出土遺物から、縄文時代中期に属するものと考えられ

る。

S K 237(第66図、図版3・8・10)

L R 56グリッドに位置する。地山を多量に含んだ暗褐色土の落ち込みとして確認した。径1.95m×1.82mの円形を呈する。深さは0.82m。断面はビーカー形を呈する。埋土は2層に分層した。一括堆積である。底面は平坦で、炭化物・焼土の混じる層が部分的に非常に薄く堆積していた。また、底面から3個体の土器がつぶれた状態で出土した(第67図1～3)。1は口径26.6cmの深鉢で、平坦口縁を呈する。摩滅が著しく、外面調整は不明である。内面はミガキである。2は壺形土器で底径は8.6cm、体部下半に弧状の沈線文が展開する。内外面とも丁寧に磨かれる。3は深鉢の底部で、底径10.2cm、摩滅が著しく、外面調整は不明である。内面はミガキである。ほかに縄文土器片63点(図示したもの2点、第67図4・5)、二次加工のある剥片1点(第67図6)、剥片1点が出土した。出土遺物から、縄文時代後期に属するものと考えられる。

S K 240(第49図)

M B・M C 53グリッドに位置する。S K F 365、S K 357、S K P 859・1185・1266・1526と重複する。S K 357、S K P 859・1185・1266・1526より古く、S K F 365より新しい。長径1.43m×残存部短径1.05mの略円形を呈する。深さは0.20m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。縄文土器細片6点、剥片4点が出土した。縄文土器片の中には北陸系の土器片が3点含まれており、1点を図示した(第50図3)。口縁部が逆「く」字状に屈曲し、口唇部にはキザミが施される。口縁部には右下がりの半隆起線文が施文され、上下を半截竹管による横位平行沈線で区画される。口頸部には縦位の半隆起線文が施され、口縁部との境を横位の半隆起線文により区画される。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 245(第65図)

M C 53グリッドに位置する。S K P 1212と重複し、本土坑が古い。長軸1.62m、短軸0.98mの楕円形を呈する。深さは0.20m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。縄文土器片が7点(図示したもの1点、第65図5)出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 246(第49図)

M C 53グリッドに位置する。S K F 365、S K P 881と重複し、本土坑が古い。S K F 365により削平されているが、残存部径0.44m×0.31mの略円形を呈する。深さは0.18m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。遺物は出土しなかった。重複関係から、縄文時代に属すると考えられる。

S K 258(第66図)

M E 53グリッドに位置する。径1.15m×0.90mの円形を呈する。深さは0.26m。断面は中華鍋底状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。剥片が1点出土した。縄文時代に属すると考えられる。

S K 267(第66図)

M F 52グリッドに位置する。長軸3.00m、短軸1.54mの不整形を呈する。深さは1.15m。断面は中華鍋底状を呈する。埋土は5層に分層した。底面は南側が一段低く窪む。縄文土器片3点(図示したもの1点、

第67図7)、剥片1点が出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 270(第68図)

M G 52グリッドに位置する。S K 419、S K P 934・1292と重複する。S K P 934・1292より古く、S K 419より新しい。径1.36m×1.11mの円形を呈する。深さは0.40m。断面はビーカー形を呈する。埋土は2層に分層した。底面は平坦である。縄文土器細片が1点出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 282(第69図、図版3・10)

L R 48グリッドに位置する。S K 287・347・443、S K P 1161と重複し、本土坑が古い。径2.67m×2.48mの円形を呈する。深さは0.15m。南側はS K 287により削平されているが、断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。底面からは剥片が集中して出土した。剥片集中部の近くには炭化物が分布しており、石器を作るため礫を割る際に火を使用した可能性が考えられる。縄文土器片1点(第69図1)のほか、47点の剥片が出土し、7個体の母岩に分類した。各母岩ごとに接合したものもある(第70図)。第69図1は口径22.5cmの深鉢である。口縁は平坦で、口縁部には押圧縄文が横位あるいは弧状に施文される。体部にはRL縄文が施され、炭化物が付着する。内面はミガキである。出土遺物から、縄文時代中期に属するものと考えられる。

S K 284(第68図)

L P 53グリッドに位置する。S K P 1420と重複し、本土坑が古い。径1.82m×1.43mの略円形を呈する。深さは0.42m。断面は中華鍋底状を呈する。埋土は6層に分層した。底面は北側に向かって緩やかに低く傾斜する。縄文土器片4点(第68図1～4)、剥片3点が出土した。2はRL縄文施文後、沈線を施し、沈線間を磨り消している。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 286(第8図、図版8)

L S 48グリッドに位置する。S I 141の床面から検出した。S I 141、S K 316と重複し、本土坑が新しい。長軸0.89m、短軸0.66mの楕円形を呈する。深さは0.35m。断面は擂鉢状を呈する。埋土は1層である。炭化物・焼土粒を多く含み、一括堆積と考えられる。底面は平坦である。縄文土器片2点(図示したもの1点、第11図6)、剥片4点が出土した。第11図6は深鉢の口縁部で、隆帯が貼り付けられる。口唇部と隆帯上にはキザミ目状の撚糸圧痕文が施文される。隆帯間は爪形状撚糸圧痕文により充填される。出土遺物から縄文時代中期前葉に属するものと考えられる。

S K 287(第69図)

L R 48グリッドに位置する。S K 282、S K P 161と重複する。S K P 161より古く、S K 282より新しい。長軸1.26m、短軸0.73mの楕円形を呈する。深さは0.18m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。埋土中から縄文土器細片1点、底面から剥片3点が出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 292(第71図)

L P 54グリッドに位置する。調査員の不手際により平面図がないため規模は不明である。断面図から深さ0.30mと推定される。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は5層に分層した。底面はほぼ平坦である。縄文土器片2点、剥片1点が出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 293(第71図)

L P54グリッドに位置する。径1.07m×1.04mの略円形を呈する。深さは0.22m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。縄文土器細片1点、剥片1点が出土した。出土遺物から縄文時代に属するものと考えられる。

S K308(第71図)

L L52グリッドに位置する。長軸1.42m、短軸0.76mの楕円形を呈する。深さは0.24m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は4層に分層した。自然堆積である。底面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。縄文土器細片3点、剥片2点が出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K311(第57図)

L Q47グリッドに位置する。S K19、S D312、S K P1719と重複する。S D312、S K P1719より古く、S K19より新しい。径1.44m×1.13mの円形を呈する。深さは0.22m。断面は緩やかなU字形を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦であるが、西側が円形に一段低く窪む。縄文土器片2点(図示したもの1点、第58図4)、剥片1点が出土した。4は深鉢の体部で、格子目状の沈線文が施文される。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K316(第8図)

L S48グリッドに位置する。S I 141の床面から検出した。長軸0.76m、短軸0.44mの楕円形を呈する。深さは0.48m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は3層に分層した。底面は平坦である。剥片4点が出土した。縄文時代に属するものと考えられる。

S K322(第71図)

L R49・50グリッドに位置する。S K323と重複し、本土坑が古い。残存部長軸0.44m、短軸0.44mの楕円形を呈する。深さは0.20m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦であるが、南に向かって緩やかに傾斜する。遺物は出土しなかった。重複関係から、縄文時代に属すると考えられる。

S K323(第71図)

L R49グリッドに位置する。S K322と重複し、本土坑が新しい。長軸0.65m、短軸0.40mの楕円形を呈する。深さは0.17m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面ほぼ平坦である。剥片が1点出土した。縄文時代に属すると考えられる。

S K327(第71図)

L L52グリッドに位置する。径0.94m×0.91mの円形を呈する。深さは0.22m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。二次加工のある剥片2点、剥片1点が出土した。縄文時代に属すると考えられる。

S K328(第71図)

M D50グリッドに位置する。径0.86m×0.79mの略円形を呈する。深さは0.29m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。縄文土器片3点(図示したもの1点、第71図1)が出土した。出土遺物から、縄文時代に属すると考えられる。

S K333(第71図)

L R49グリッドに位置する。S K P1532・1533と重複し、本土坑が古い。径0.67m×0.58mの略円形を呈する。深さは0.22m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は西側が一段低く窪む。

縄文土器片2点(図示したもの1点、第71図2)が出土した。出土遺物から縄文時代に属するものと考えられる。

S K353(第72図)

L P・L Q56グリッドに位置する。S D227と重複し、本土坑が新しい。長軸2.32m、短軸1.39mの楕円形を呈する。深さは0.75m。断面は漏斗状を呈する。埋土は5層に分層した。底面は平坦である。縄文土器細片1点、剥片1点が出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K354(第72図)

L M50グリッドに位置する。S K P1750と重複し、本土坑が新しい。長軸1.67m、短軸1.20mの不整形を呈する。深さは0.60m。断面は中華鍋底状を呈する。埋土は6層に分層した。底面には凹凸があり、東側が一段低く窪む。縄文土器細片が3点出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K357(第49図)

M B・M C58グリッドに位置する。S K240、S K F365と重複し、本土坑が新しい。径1.24m×0.95mの略円形を呈する。深さは0.34m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面は中華鍋底状を呈する。縄文土器片4点、剥片1点が出土した。縄文土器片はS K F365出土の第50図1の土器と接合した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K369(第73図)

M B53グリッドに位置する。長軸1.54m、短軸1.12mの楕円形を呈する。深さは0.29m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。縄文土器細片が3点出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K388(第8図)

L S・L T49グリッドに位置する。S I 294 P19と重複し、本土坑が古い。径0.81m×0.62mの略円形を呈する。深さは0.20m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。遺物は出土しなかった。重複関係から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K389(第29図)

L S51グリッドに位置する。S N296、S I 297、S K P1378と重複する。S N296より古く、S K P1378より新しい。径0.98m×0.94mの略円形を呈する。深さは0.38m。断面はビーカー形を呈する。埋土は5層に分層した。底面は平坦である。縄文土器細片1点、剥片2点が出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K392(第73図、図版12)

L R・L S49・50グリッドに位置する。S K321、S K P1523と重複する。S K321より古く、S K P1523より新しい。残存部長軸1.32m、短軸0.90mの楕円形を呈する。深さは1.22m。断面は緩やかなU字形を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。縄文土器細片2点、石竈1点(第73図1)、剥片1点が出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K394(第73図)

M G50・51グリッドに位置する。径0.74m×0.62mの略円形を呈する。深さは0.24m～0.47m。断面はビーカー形を呈する。埋土は1層である。底面は西側に向かって深くなる。剥片が3点出土した。縄文時代に属するものと考えられる。

S K 397(第73図)

M C 51グリッドに位置する。S K P 1399・1400と重複する。S K P 1400より古く、S K P 1399より新しい。南側はS K P 1400柱穴により削平されているが、長軸0.77m、短軸0.65mの楕円形を呈する。深さは0.28m。断面はU字状を呈する。埋土は1層である。底面は東側が一段低く窪む。剥片が1点出土した。縄文時代に属するものと考えられる。

S K 399(第35図)

L S 56グリッドに位置する。S D 198、S K F 235と重複し、本土坑が古い。南側の大部分が削平されているが、残存部径0.67m×0.26mの略円形を呈すると考えられる。深さは0.15m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。遺物は出土しなかった。重複関係から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 404(第65図)

M A 49グリッドに位置する。確認面にチップが分布する暗褐色土の落ち込みとして確認した。S K 186、S K P 41と重複する。S K P 41より古く、S K 186より新しい。長軸1.17m、短軸0.46mの楕円形を呈する。深さは0.29m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。剥片が1点出土した。縄文時代に属するものと考えられる。

S K 406(第73図)

M A 47グリッドに位置する。長軸1.46m、短軸0.93mの楕円形を呈する。深さは0.47m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は南側が低く窪む。縄文土器細片が4点出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 407(第74図)

M B 47グリッドに位置する。径1.00m×0.86mの円形を呈する。深さは0.23m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。縄文土器細片が1点出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 418(第57図)

L Q 48グリッドに位置する。S K 20と重複し、本土坑が古い。径1.64m×1.27mの略円形を呈する。深さは0.10m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。縄文土器細片が1点出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 419(第68図)

M G 51グリッドに位置する。S K 270と重複し、本土坑が古い。東側がS K 270により削平されているが、径0.59mの円形を呈するものと考えられる。深さは0.40m。断面はビーカー形を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。遺物は出土しなかった。重複関係から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 431(第74図、図版12)

L R・L S 52グリッドに位置する。確認面から2個の礫が出土した。径1.78m×1.38mの円形を呈する。深さは0.34m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は5層に分層した。底面はほぼ平坦であるが、西側に向かって緩やかに傾斜する。石鏃7点(第74図1～7)、トランシェ様石器1点(9)、二次加工のある剥片1点、剥片26点が出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 433(第74図)

L R 52グリッドに位置する。長軸0.94m、短軸0.49mの楕円形を呈する。深さは0.15m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面にはわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。縄文土器細片2点、二次加工のある剥片1点、剥片3点が出土した。出土遺物から、縄文時代に属するものと考えられる。

S K 441(第57図)

L R 46グリッドに位置する。S K 17、S K P 63・1531と重複し、本土坑が古い。南部は調査区外に広がり、東側は木の根により搅乱を受けているが、楕円形を呈するものと考えられる。残存部長軸1.02m、残存部短軸0.60m、深さは0.44mである。断面は中華鍋底状を呈する。埋土は2層に分層した。自然堆積である。底面にはやわらかに凹凸があり、中央が窪む。遺物は出土しなかった。重複関係から、縄文時代に属すると考えられる。

5 焼土遺構

S N 289(第8図、図版8)

L T 47グリッドに位置する。S I 141と重複する。本遺構が新しい。焼土は長軸0.61m、短軸0.53mの範囲に分布する。厚さは0.07mである。焼土の下には径1.06m×0.98m、深さ0.17mの円形の掘り込みがある。断面は中華鍋底状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。縄文土器片1点(第11図5)、剥片1点が出土した。第11図5は深鉢で、口縁部が大きく外傾する。口唇部にはキザミ目状の撫糸圧痕文が施文される。口縁部には横位の押圧縄文が、体部にはL R縄文が施文される。出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭に属するものと考えられる。

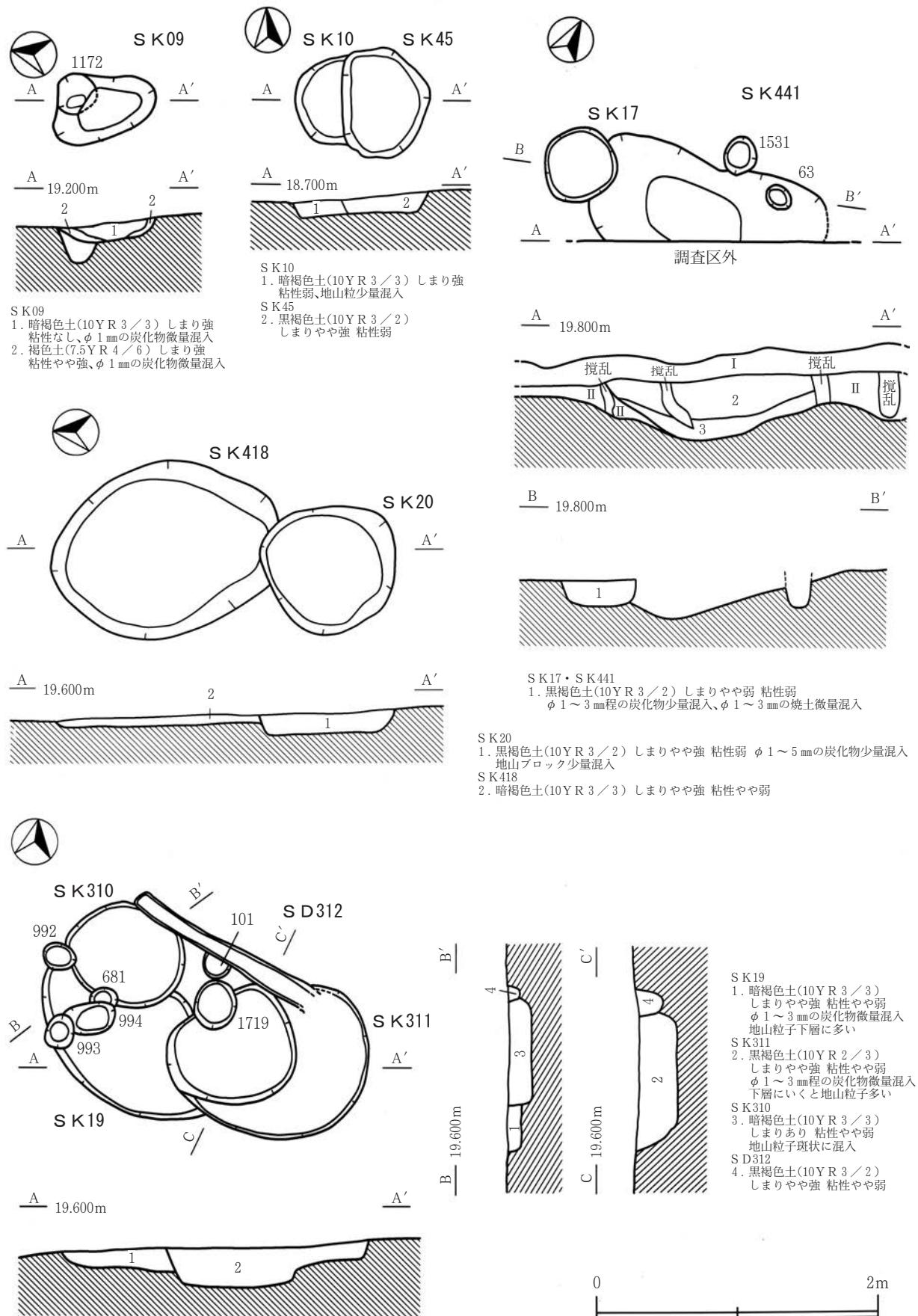
6 溝状遺構

S D 198(第35図・付図2)

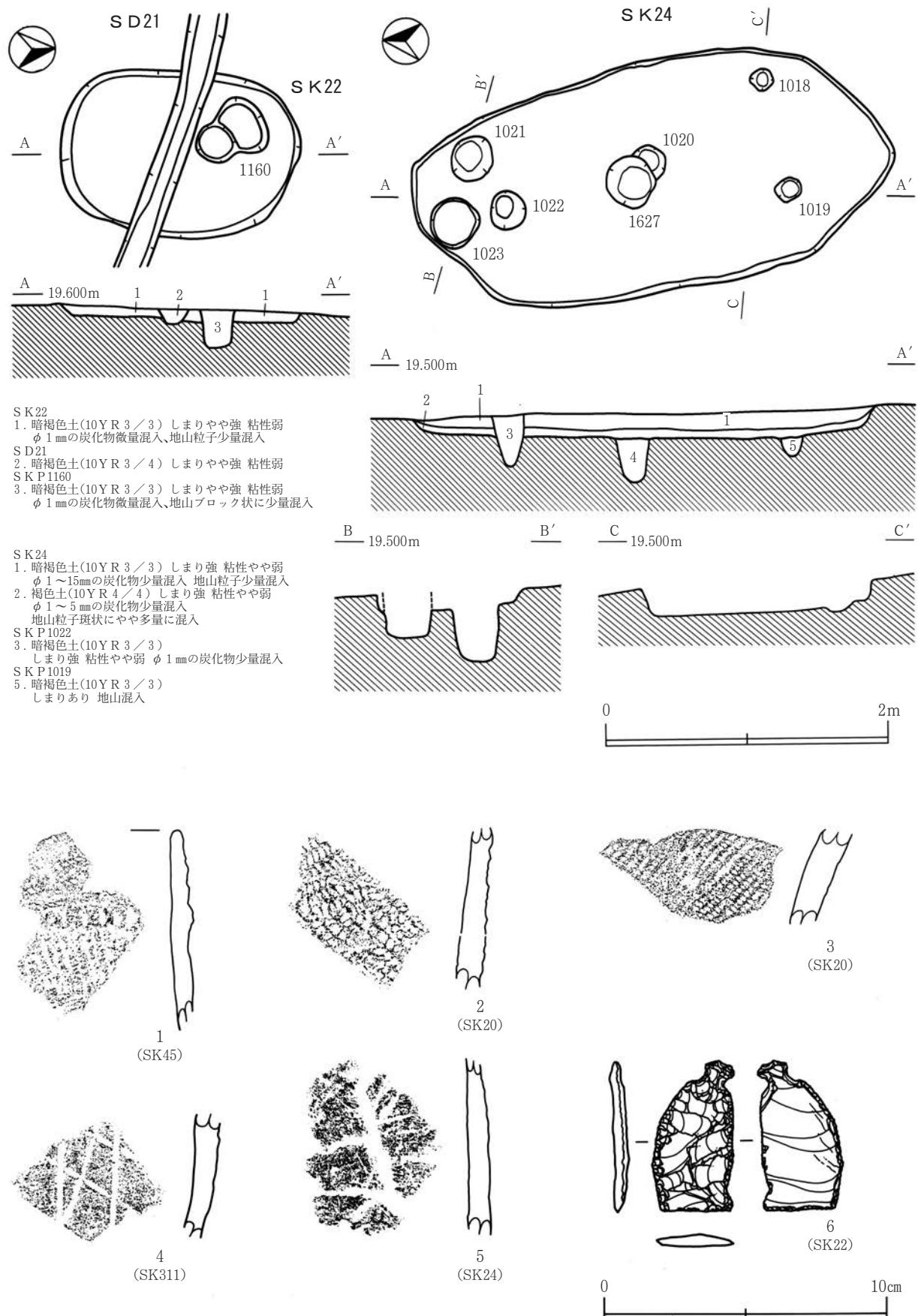
L S・L T 56・57グリッドに位置する。南北に伸びる溝跡である。北側は斜面下方に向かい、途中で切れている。S K 399と重複し、本溝跡が新しい。S K F 235と重複し、本溝跡が古い。幅0.31m～0.43m、全長3.90mで、深さは0.05m～0.16mである。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。遺物は出土しなかった。重複関係から、縄文時代に属するものと考えられる。

S D 227(第72図)

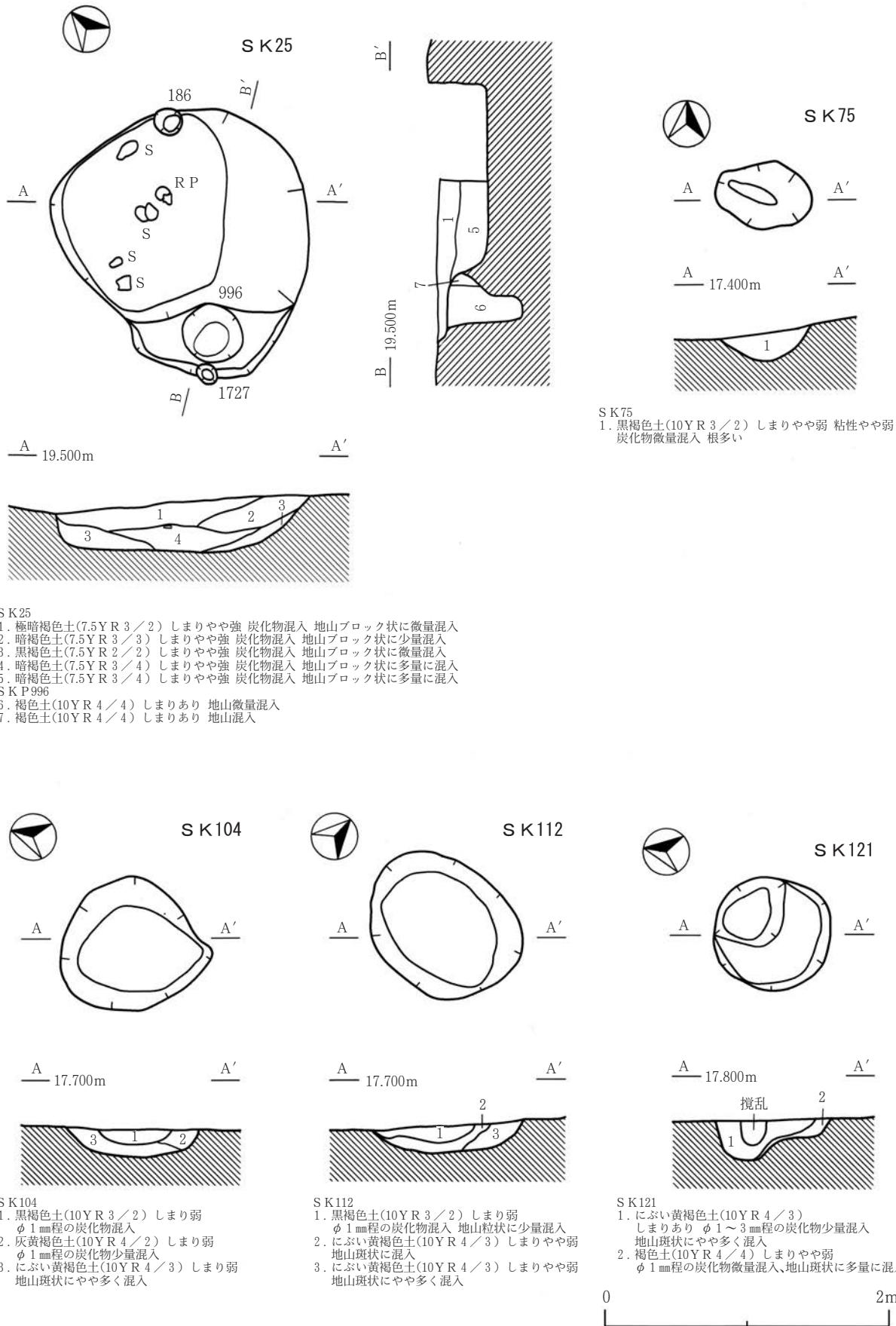
L P～L R 56グリッドに位置する。S K 353と重複し、本溝跡が古い。幅0.70m～1.16m、残存部全長5.64mで、深さは0.30m～0.42mである。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は3層に分層した。底面はほぼ平坦である。遺物は出土しなかった。重複関係から、縄文時代に属するものと考えられる。



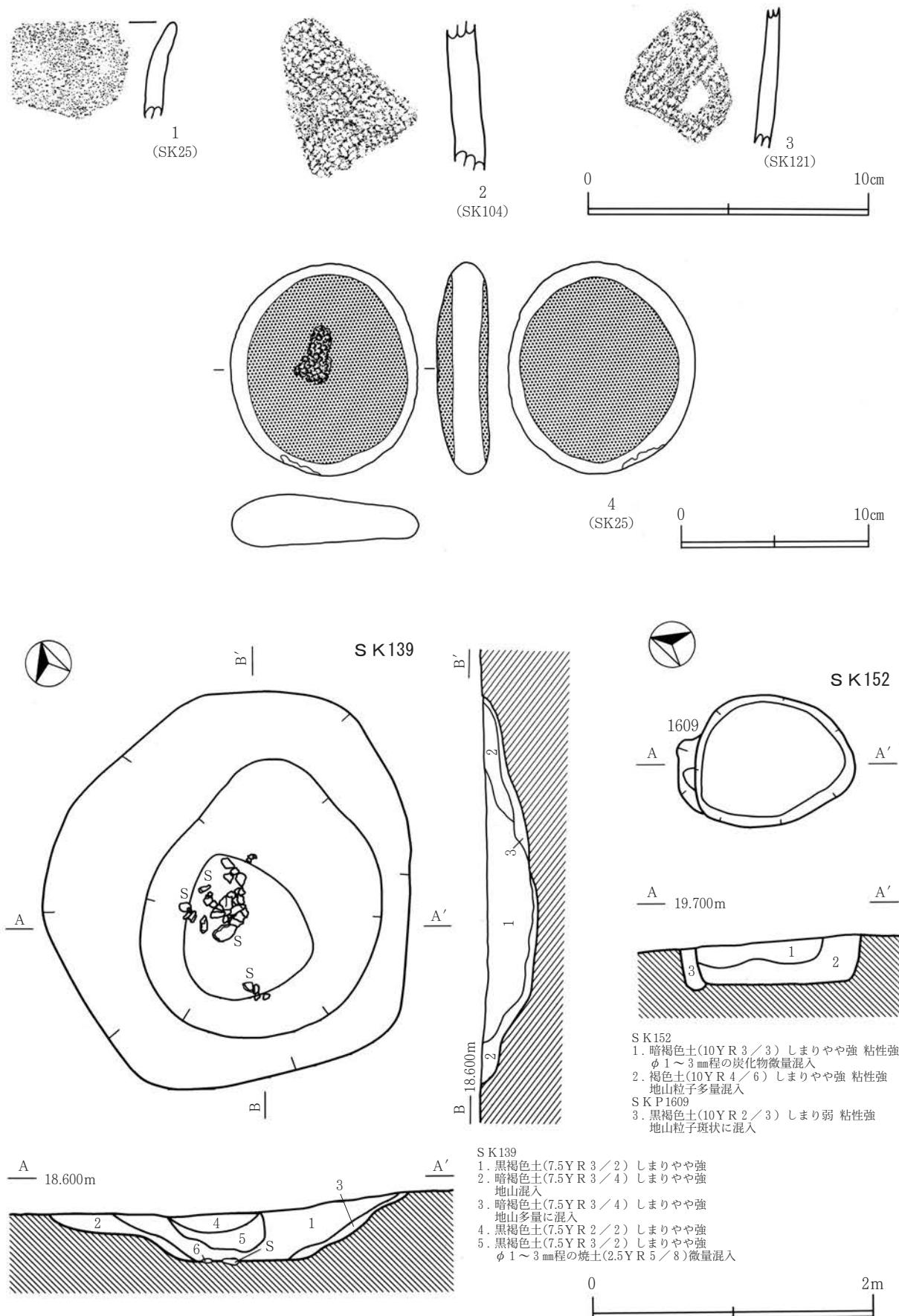
第57図 SK09・10・17・19・20・45・310・311・418・441、SD312



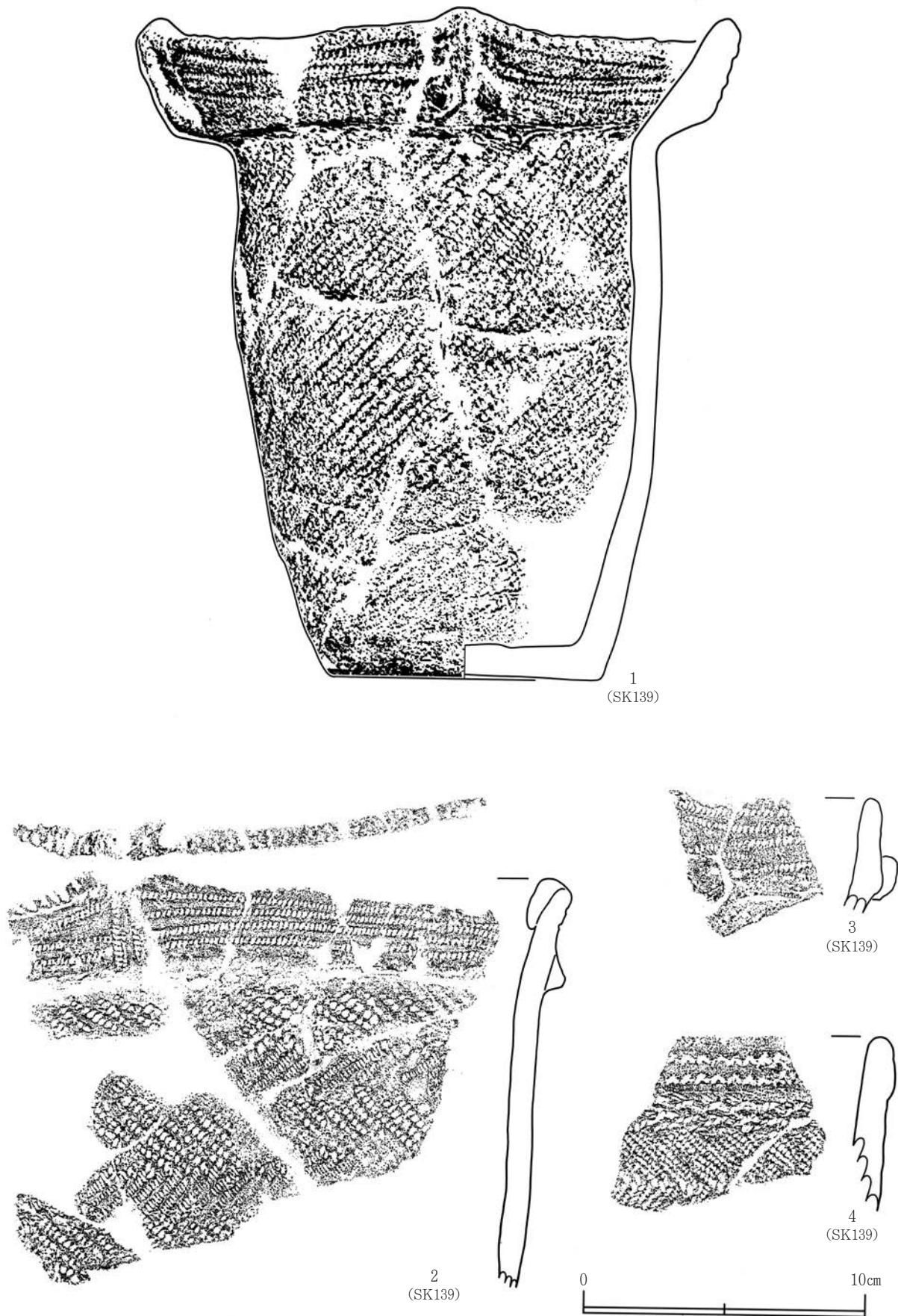
第58図 S K22・24、S D21、S K20・22・24・45・311出土遺物



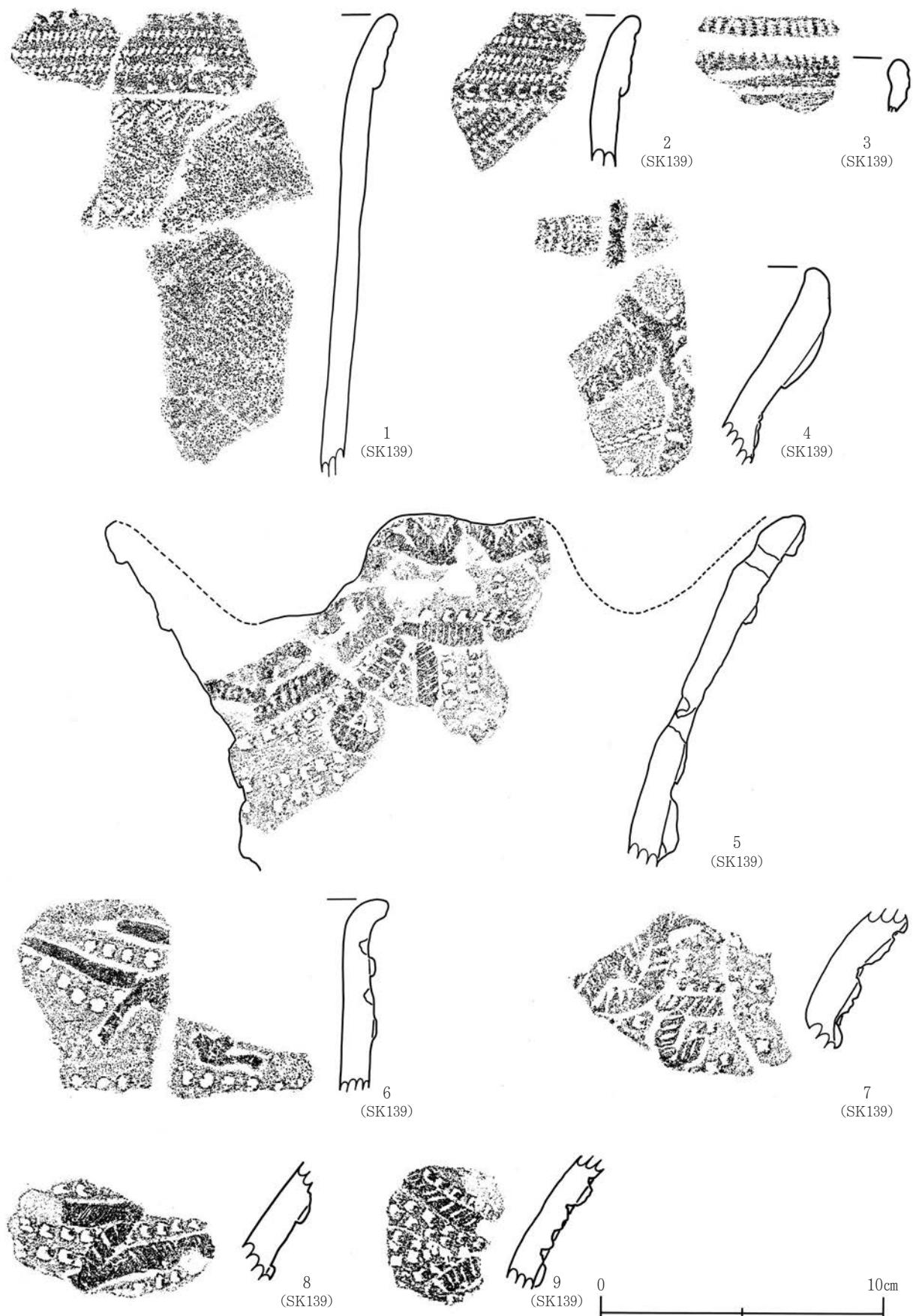
第59図 SK25・75・104・112・121



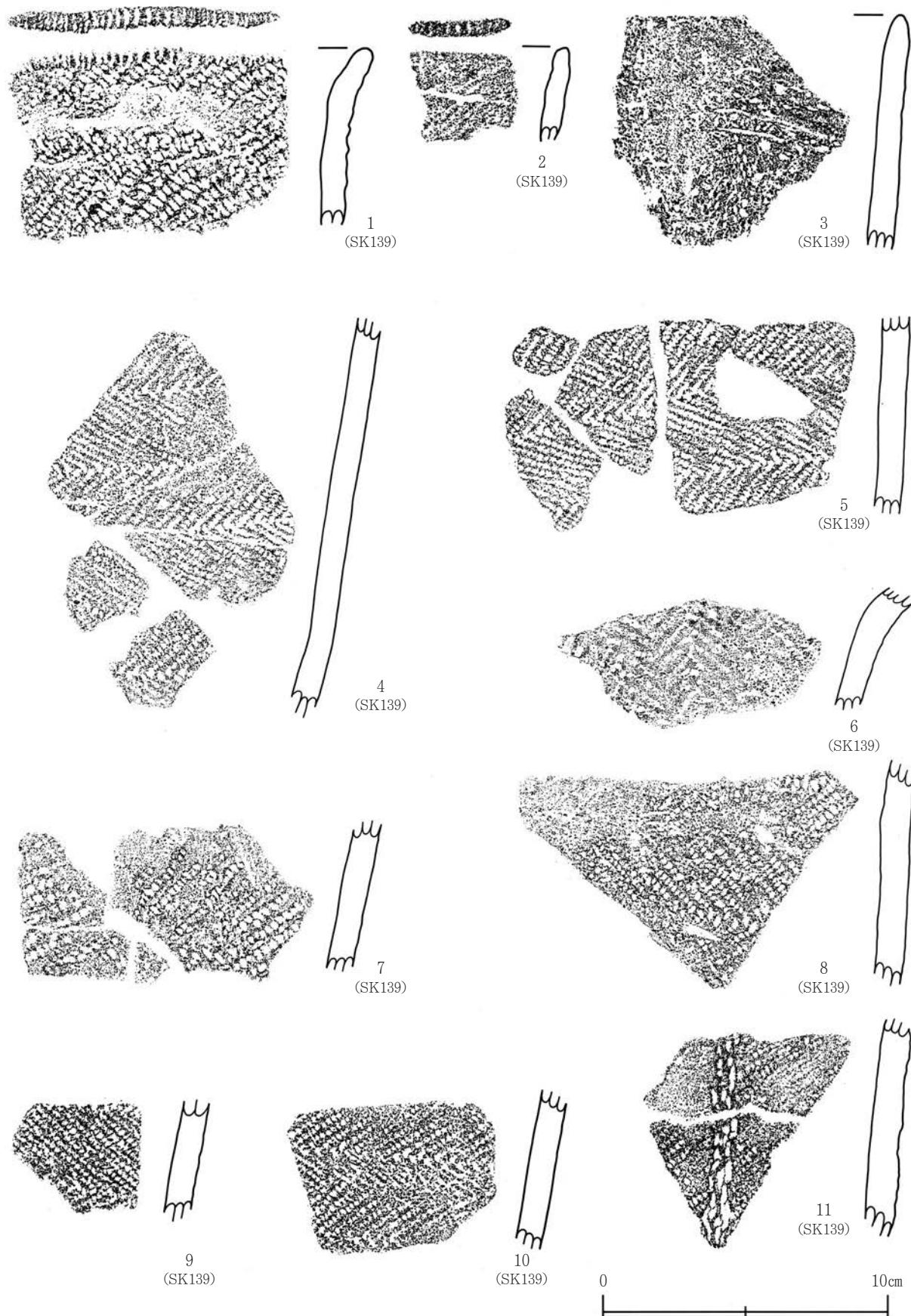
第60図 SK25・104・121出土遺物、SK139・152



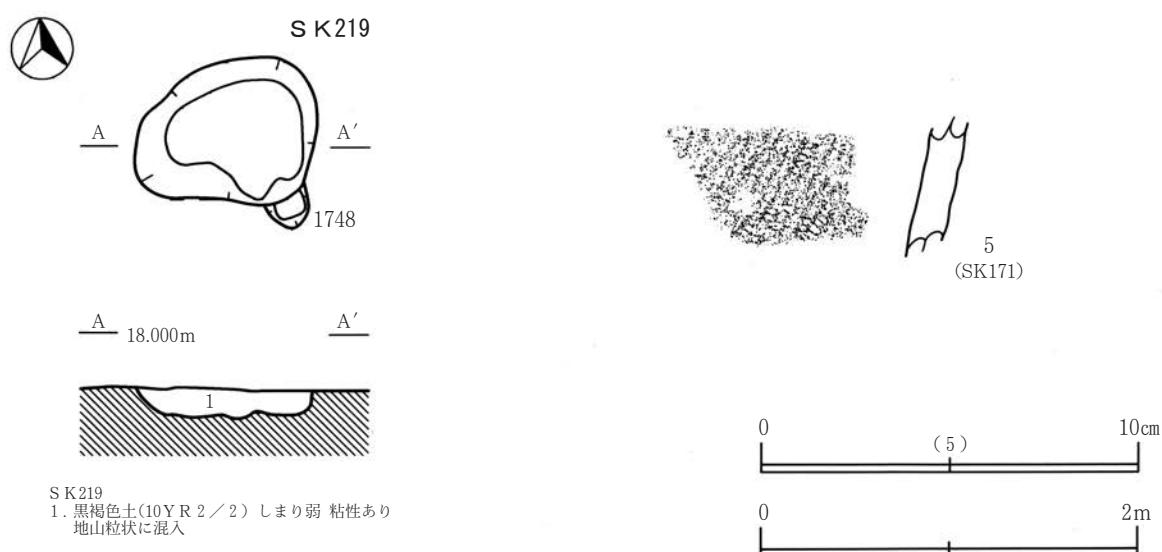
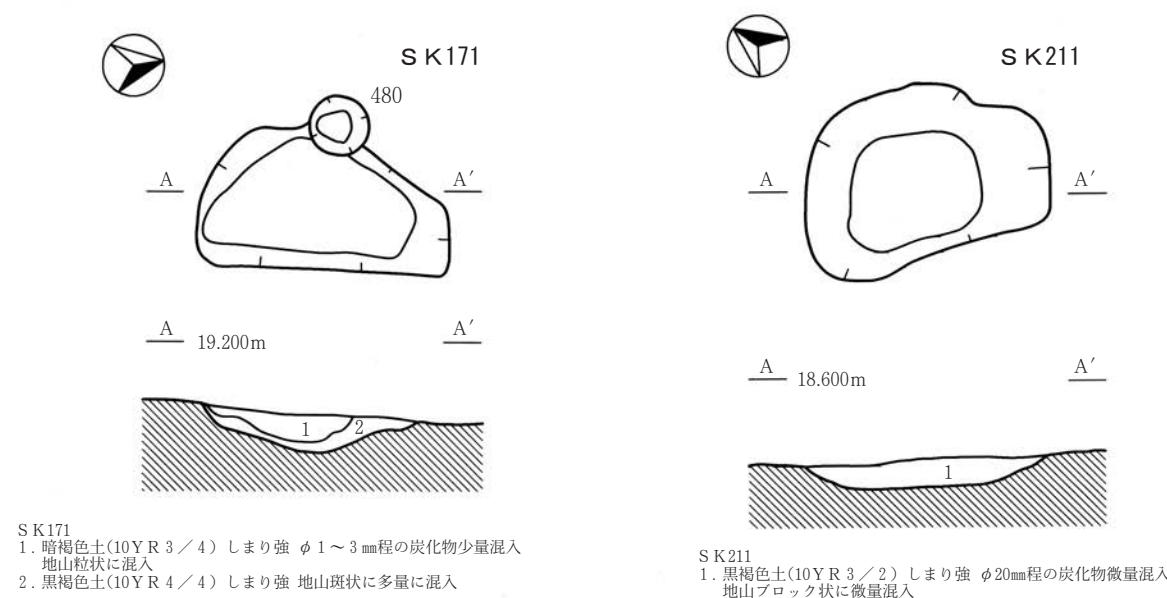
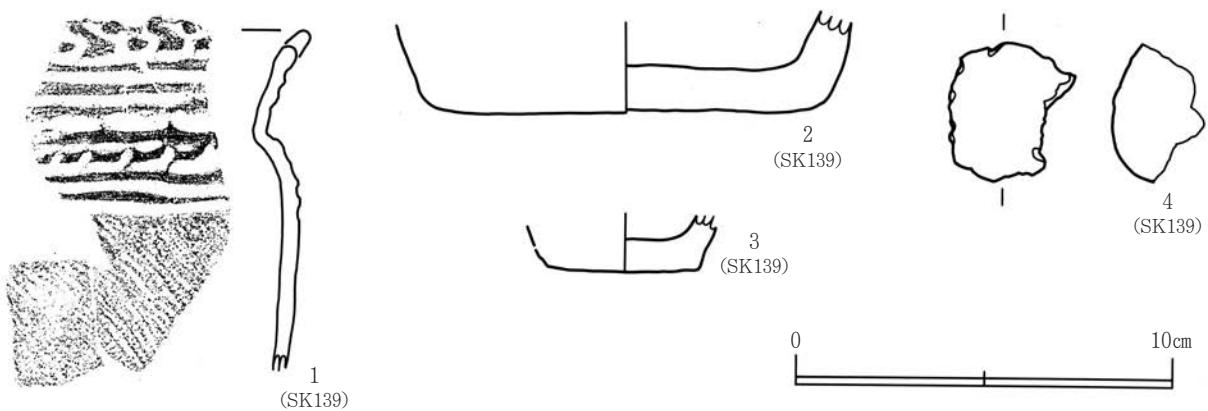
第61図 SK139出土遺物(1)



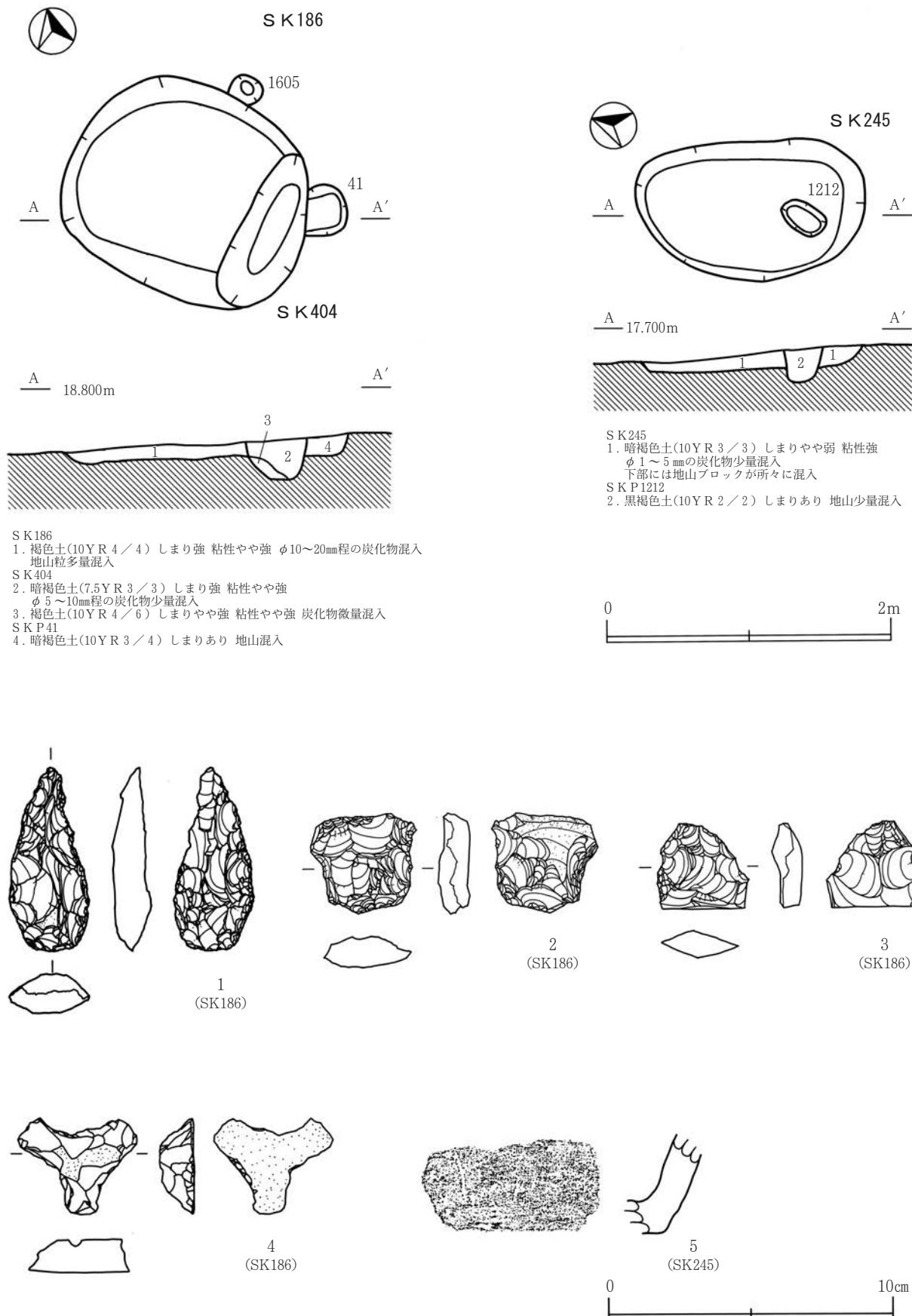
第62図 SK139出土遺物(2)



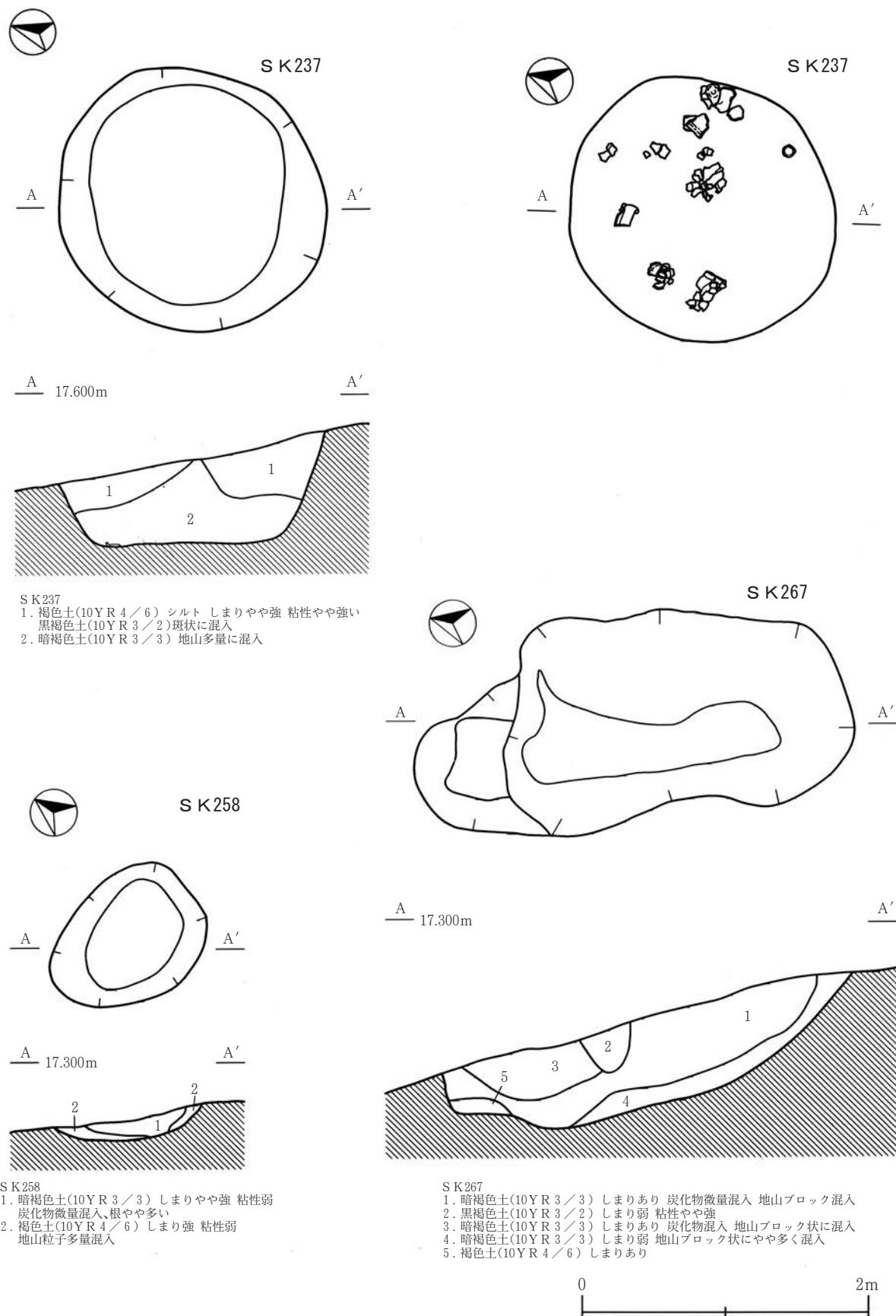
第63図 SK 139出土遺物(3)



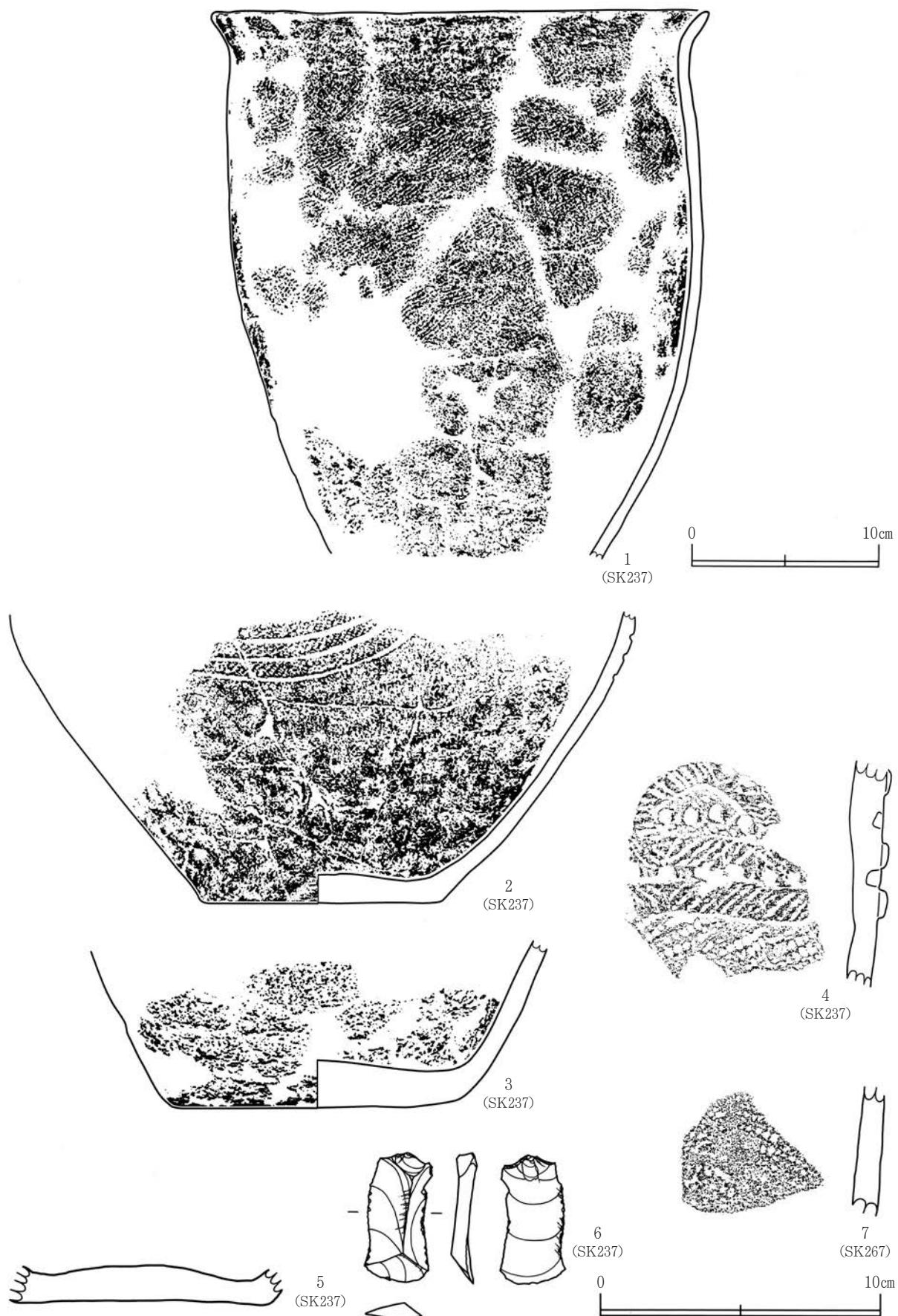
第64図 SK139出土遺物(4)、SK171・211・219と出土遺物



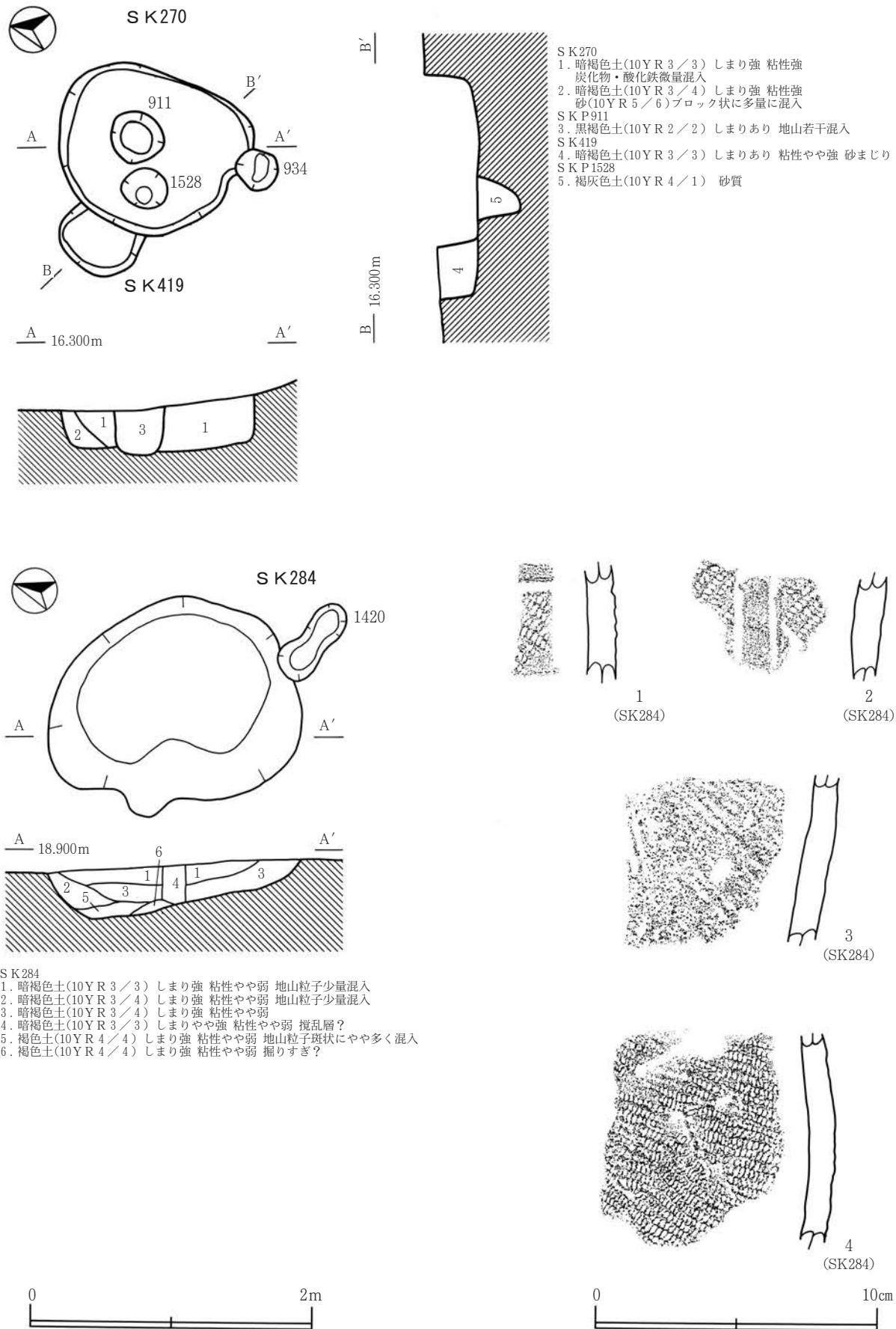
第65図 SK 186・245・404と出土遺物



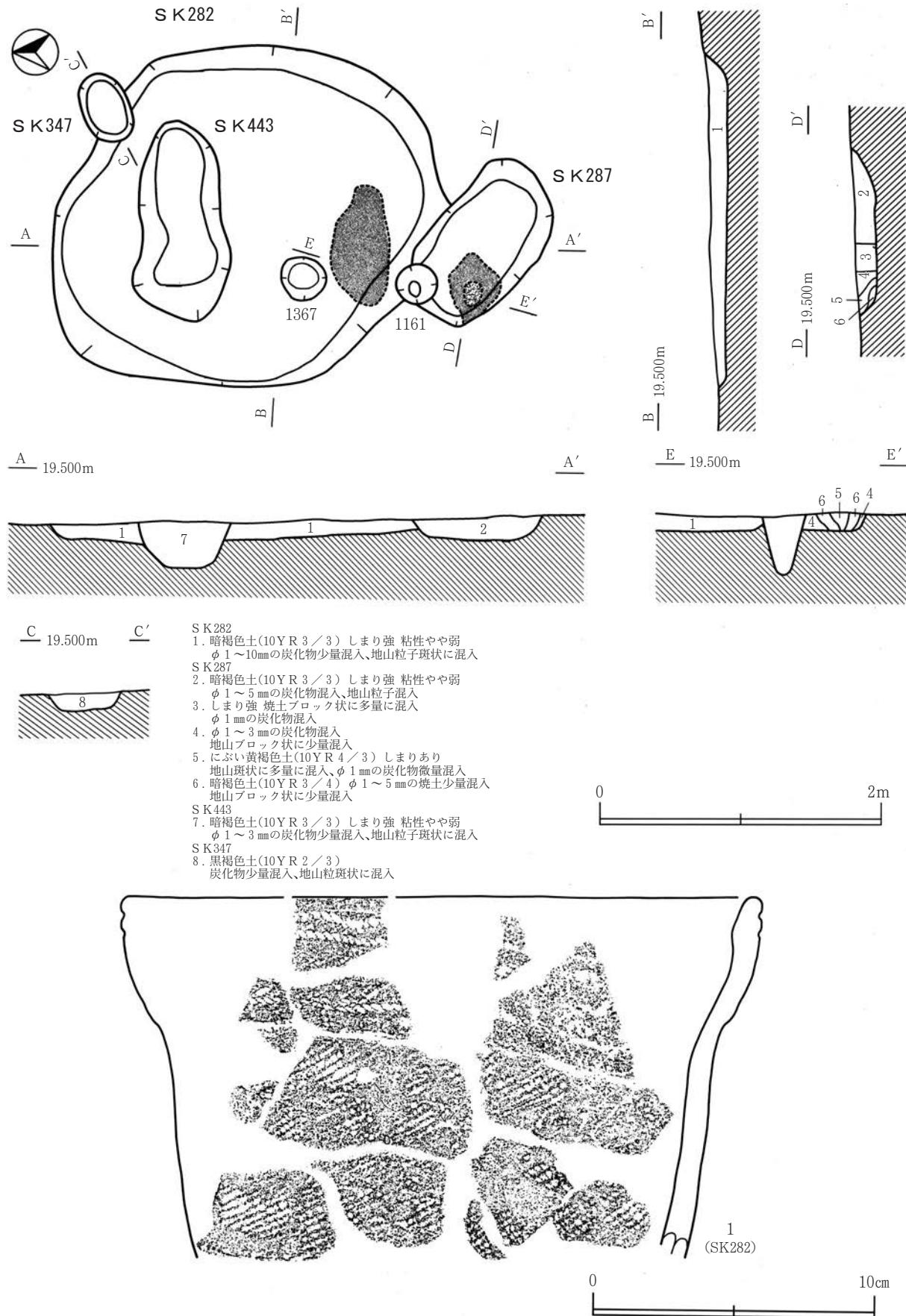
第66図 SK 237・258・267



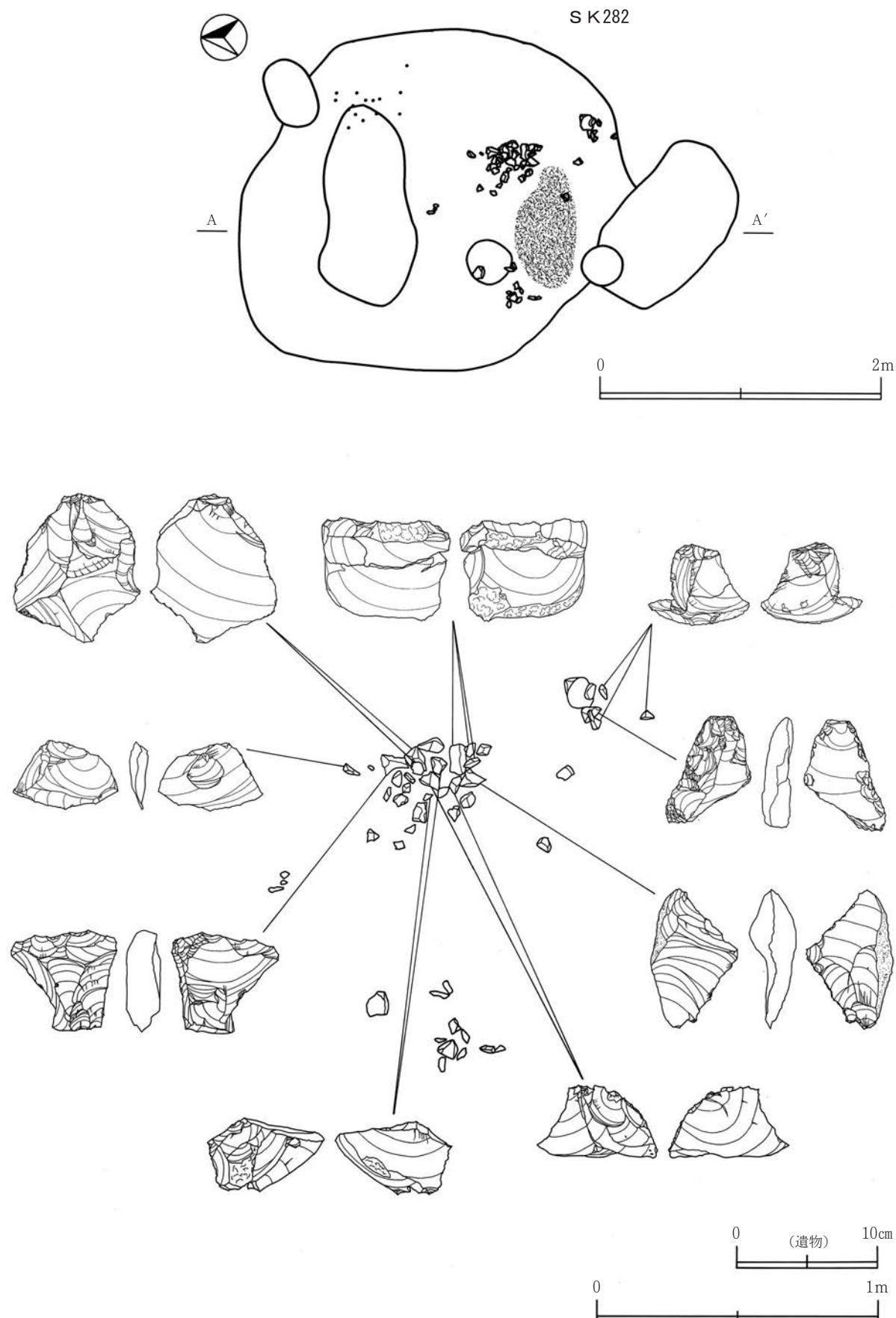
第67図 SK237・267出土遺物



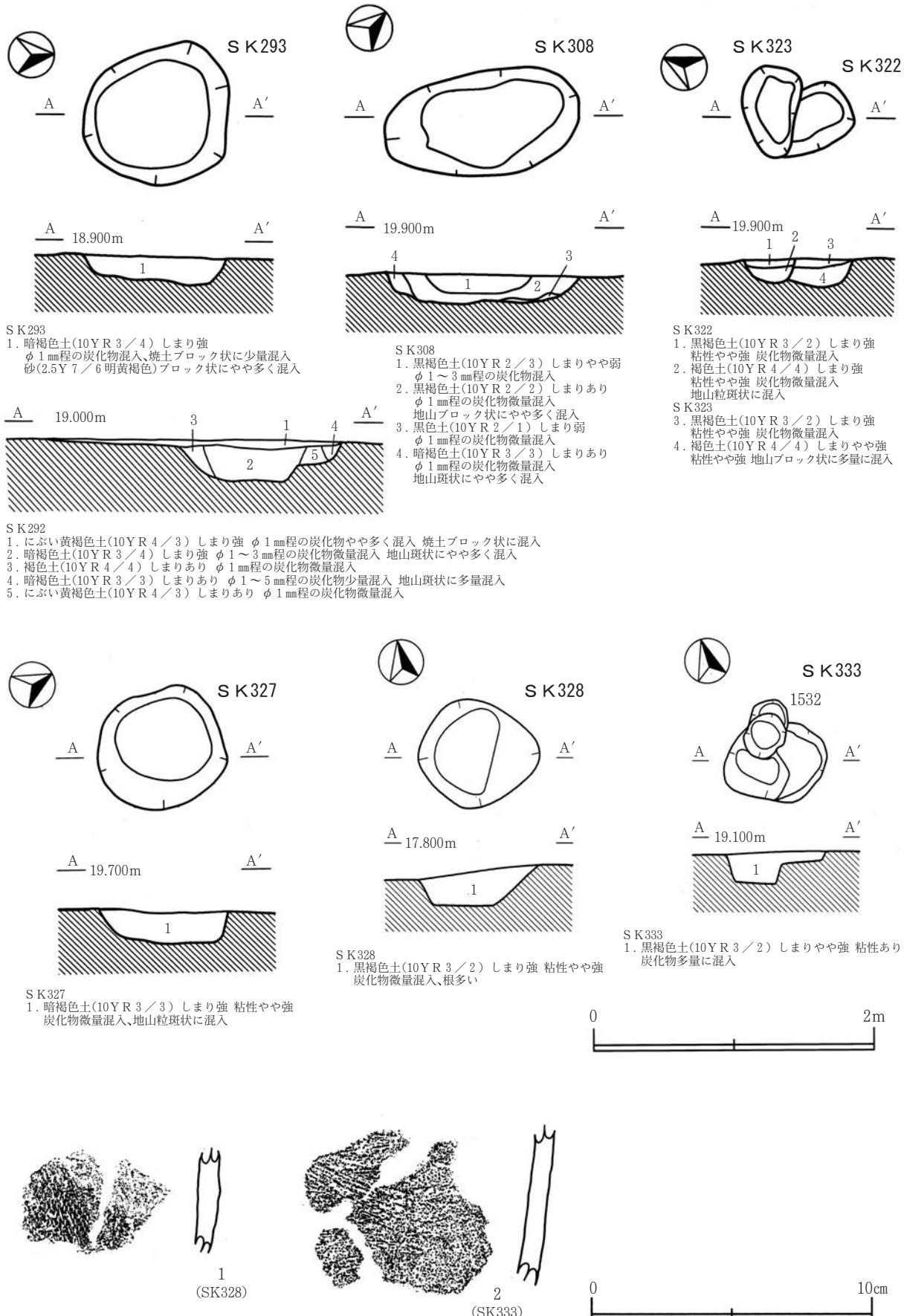
第68図 SK270・284・419と出土遺物



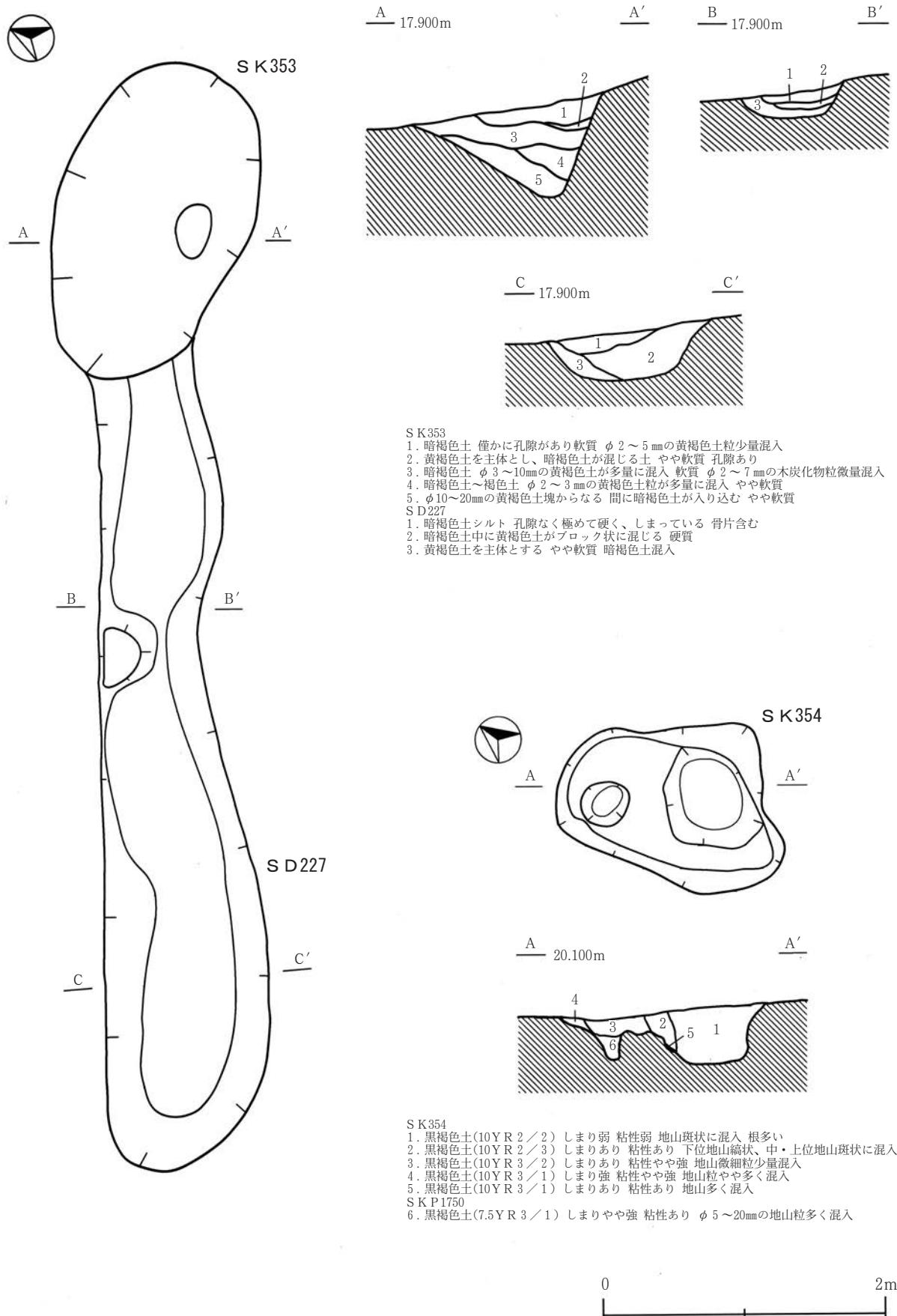
第69図 SK 282・287・347・443と出土遺物



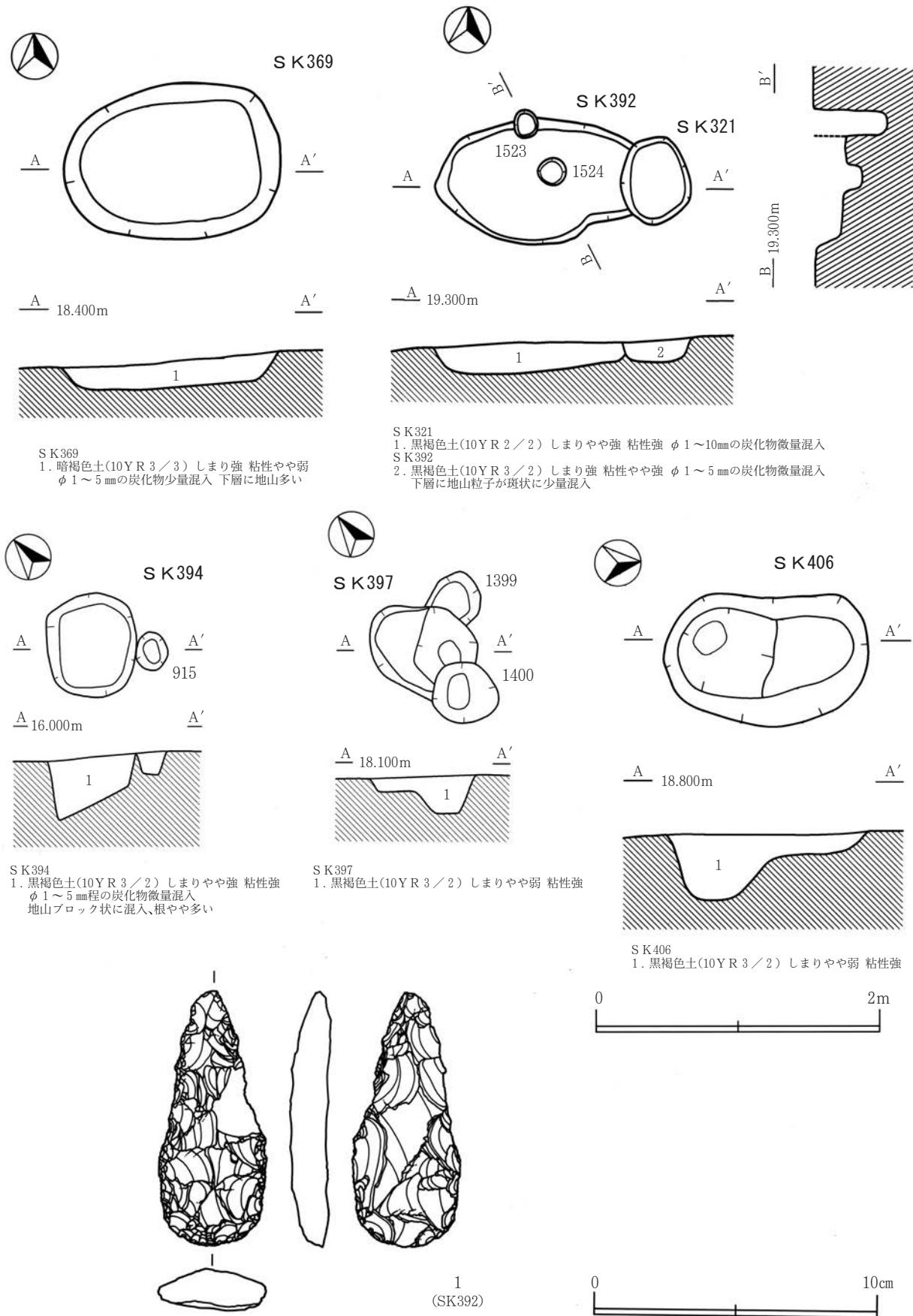
第70図 S K282出土遺物



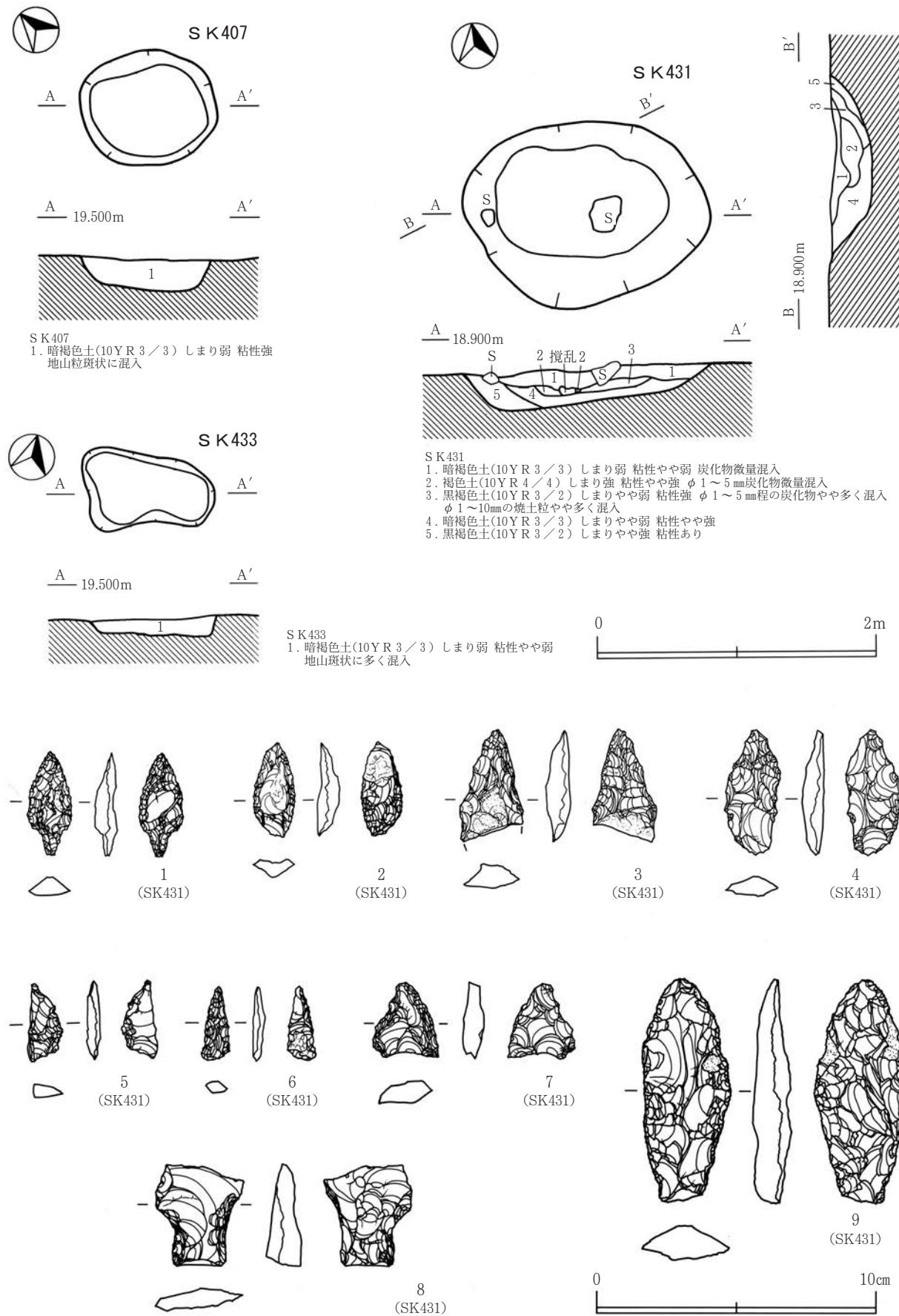
第71図 SK 293・308・322・323・327・328・333と出土遺物



第72図 S K353・354、S D227



第73図 SK321・369・392・394・397・406と出土遺物



第74図 SK 407・431・433と出土遺物

第3節 古代の遺構とその出土遺物

古代の遺構は堅穴住居跡8軒・土坑22基・炭窯1基・炭焼遺構2基・鍛冶炉3基・焼土遺構2基・溝状遺構6条・柱穴列2条を検出した。遺物は、土師器・須恵器・擦文土器・羽口・鉄滓・内耳鉄鍋片が出土した。出土遺物から、10世紀から11世紀に属するものと考えられる。

1 堅穴住居跡

古代の堅穴住居跡は、南部平坦面と台地の西側に発達した段丘面に位置する。段丘面で確認した堅穴住居跡は段丘の段差を壁として利用していた。平面形は隅丸方形を呈し、張り出しや掘立柱建物跡を伴うものも検出した。カマドは南壁・東壁・西壁に付く。

S I 01(第75図、図版4・10)

L S・L T45・46グリッドに位置する。S D04・S K07と重複する。S K07より古く、S D04より新しい。南側が調査区外に延びているために全体はつかめなかった。長軸4.45m、確認部短軸4.03m、深さ0.26mである。確認部から、隅丸方形を呈するものと考えられる。埋土は8層に分層した。壁は緩やかに外傾しながら立ち上がる。床面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。南際の床面からは調査区外に広がる硬く焼き締まった焼土を検出した。カマドは東壁で確認した。カマド下の黒褐色プランはカマド構築の際の掘り込みであることが確認できた。柱穴は21基検出した。北西隅(P14)・北東隅(P12)と、各壁下に並ぶ柱穴を検出した。カマドの両脇に柱穴が付く(P17・19)。

遺物は擦文土器1点(第76図6)、土師器片3点(図示したもの1点、第76図1)、羽口3点(第76図2～4)、鉄滓1点、縄文土器片3点(図示したもの1点、第76図5)が出土した。1の土師器は甕で、内外面ともケズリで調整される。5は鉢あるいは高壺の脚部で横位平行沈線が施文される。6は口径21.6cm、高さ23.4cm、底径6.6cmで、口縁部は大きく外反し、胴部は上半にやや膨らみを持ち、下半は底部にかけて大きくすぼまる。口縁部には4条の横位平行沈線が施され、口縁部と体部との屈曲部にも1条の沈線が見られる。体部は内外面ともハケメ調整され、表面の底部近くではハケメの後、縦位・横位にミガキ調整が施される。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S I 140(第77図、図版4)

M E 50グリッドに位置する。S N135、S K332、S K P 1081と重複し、本住居跡が古い。長軸5.04m、短軸3.03m、深さは0.33～0.62mである。平面形は楕円形を呈する。埋土は2層に分層した。壁は緩やかに外傾しながら立ち上がる。床面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。カマド・壁溝・柱穴は検出されなかった。

遺物は縄文土器細片13点、搔器1点(第77図1)、剥片10点、焼礫2点、羽口片2点(第77図2・3)、鉄滓1点が出土した。羽口は表面がガラス質に融解している。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S I 173(第78～81図、巻頭図版3、図版4・10)

L N～L P53・54グリッドに位置する。長軸5.40m、短軸4.88m、深さ0.20mである。西壁は削平されていたが、残存部と柱穴配置から、隅丸方形を呈すると考えられる。南壁西側には長軸2.57m、短軸1.40mの方形の張り出し部が付く。埋土は9層に分層した。4・6層は壁溝埋土である。北壁・南壁・東壁は緩や

かに外傾しながら立ち上がる。西壁は削平されており、立ち上がりは確認できなかった。壁溝は北壁・南壁・東壁から検出した。北壁では幅24~27cm、深さ9cm、東壁では幅23~33cm、深さ2.8~3.2cm、南壁では幅25~31cm、深さ4.8~6.3cmであった。床面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。西に向かって緩やかに傾斜する。床面から多数の柱穴や土坑を検出した。北壁に平行して幅0.14m~0.23m、長さ1.38mの溝状の掘り込みがあり、住居内の間仕切りであった可能性が考えられる。西壁南側と北西隅からは焼土を検出した。カマドは西壁のほぼ中央につく。カマドの袖部等の上部構造は削平されて確認できず、焼土と下部の掘り込みのみを検出した。柱穴は52基検出した。平均径は0.25m、深さは0.24mで、隅丸方形あるいは略円形を呈する。各隅(P 1~4)と、東壁・西壁の壁溝内(P 5・14、15・21)、北壁の壁溝内(P 9)、南壁の壁溝内(P 29か30)に検出した。

張り出し部でも壁溝を確認した。南壁では幅0.5m、深さ0.12m、東壁では幅0.14m、深さ0.05mであった。張り出し部の北側壁溝は竪穴部の南側壁溝と一致する。西側壁溝は傾斜下の低いところにあり、削平されているために検出されなかった。また、各隅に柱穴を検出した(P 3・29か30・27・28)。住居の南西隅の柱穴と張り出しの北西隅の柱穴(P 3)、住居南側壁溝内の柱穴と張り出しの北東隅の柱穴(P 29か30)は同じものを使用している。

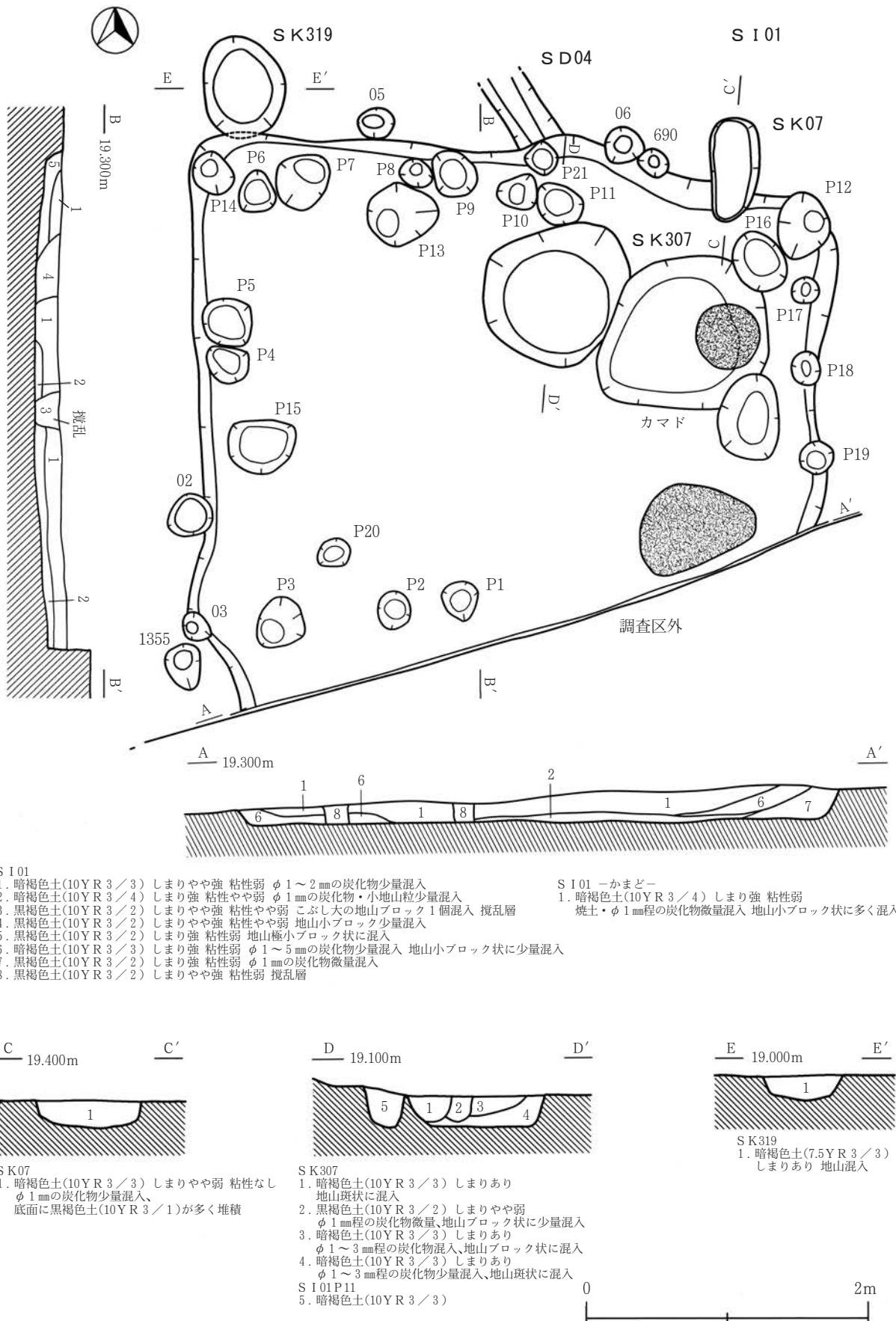
西壁側には3間×2間の掘立柱建物跡を検出した。桁行7.13m、梁行4.94mで、桁行の柱間は3.20m~3.80m、梁行の柱間は1.36m~1.92mである。

遺物は土師器10点(図示したもの3点、第82図1~3)、粘土塊1点(第82図4)、羽口3点(第83図1~3)、内耳鉄鍋1点(第82図5)、鉄滓、縄文土器片21点(図示したもの4点、第83図4~7)、搔器1点(第83図9)、磨石1点(第83図8)、剥片10点が出土した。第82図1・2は土師器の甕で内外面ともナデ調整される。3は外面はケズリ、内面はミガキ調整である。5の内耳鉄鍋は北東隅の床面から出土した。内耳部分の口縁部から体部にかけて残存している。第83図4の縄文土器は深鉢の口縁部で、口縁に沿って2本の隆帯を貼り付けている。隆帯上にはキザミ目状の撫糸圧痕文が施され、隆帯下には押圧縄文が施される。5~7は深鉢の体部破片である。8の搔器は上下が欠損しているが、両面の両側縁に連続した二次調整が施されている。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S I 188(第86・87図、図版4)

L R~L S 53・54グリッドに位置する。S K 189・398と重複し、本住居跡が古い。長軸4.50m、短軸4.64m、深さは約0.20mである。平面形は隅丸方形を呈する。埋土は16層に分層した。1~7層が本住居跡の埋土である。壁は緩やかに立ち上がる。壁溝は4辺をめぐり、長さ0.10~0.32m、幅0.04~0.11m、深さ0.01~0.17mの溝状の落ち込みが連続する。床面はほぼ平坦である。カマドは東壁のほぼ中央につく。上部は削平されていた。柱穴は床面から40基検出した。北西隅を除く各隅(P 1~3)と、東壁壁溝内(P 4・5)のほか、ほぼ対角線上の床面(P 6・7)に検出した。

遺物は縄文土器11点(図示したもの3点、第88図1~3)、石匙欠損品1点(第88図4)、石箆1点(第88図5)、鉄滓1点が出土した。縄文土器片の中には北陸系の土器片が1点含まれる(3)。1は鉢の口縁部で、3条の横位平行沈線が施文される。2は深鉢で羽状縄文が施される。3は深鉢で、大きく外反した頸部が口縁部からほぼ直角に立ち上がる。口縁部と頸部、体部との各境は半截竹管による横位の半隆起線文で区画される。口縁には半截竹管により格子目状文が施され、頸部には羽状縄文施文後、縦位の沈線文により区画される。内面はミガキである。出土遺物や形態から平安時代に属するものと考えられる。



第75図 S I 01、S K 07・307・319

S I 01

柱穴	地区	形	長径	短径	深さ
P 1	L T 45	略円形	0.28	0.26	0.08
P 2	L T 45	略円形	0.24	0.24	0.14
P 3	L T 45	略円形	0.34	0.34	0.70
P 4	L T 46	略円形	0.32	0.28	0.07
P 5	L T 46	略円形	0.39	0.35	0.11
P 6	L T 46	略円形	0.29	0.26	0.11
P 7	L T 46	略円形	0.42	0.36	0.26

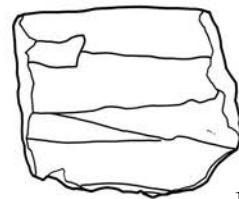
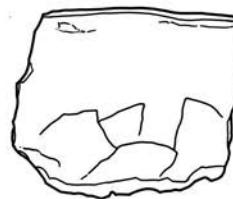
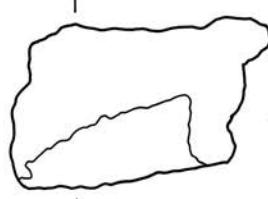
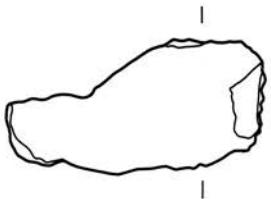
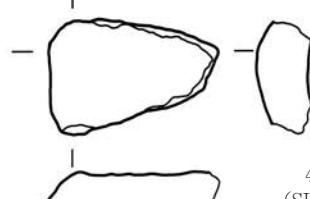
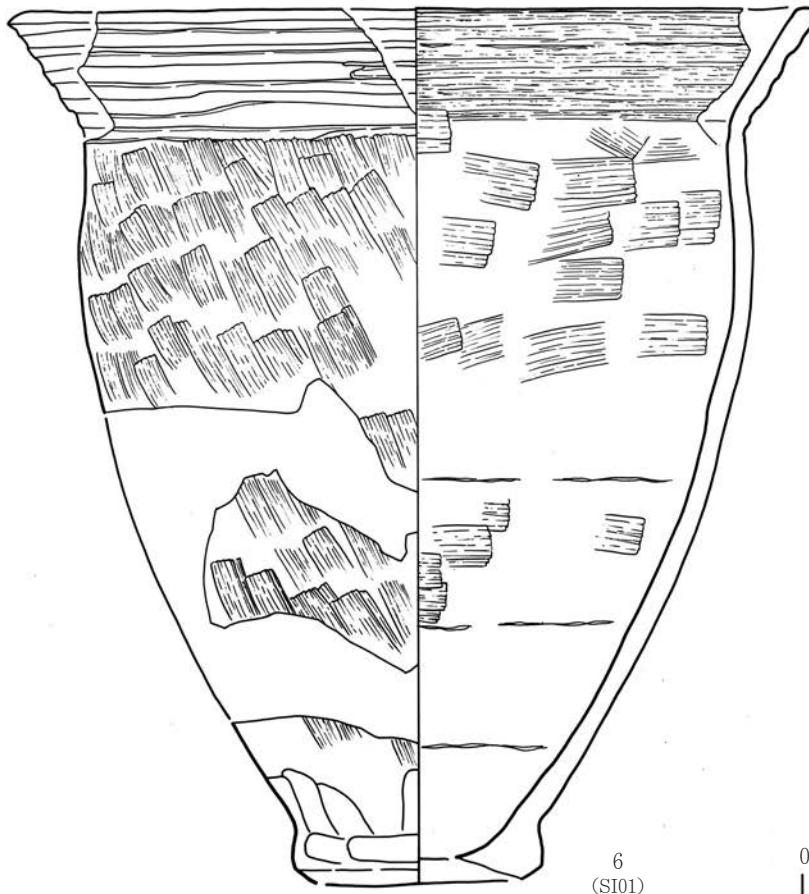
(単位:m)

柱穴	地区	形	長径	短径	深さ
P 8	L T 46	略円形	0.23	0.18	0.28
P 9	L T 46	略円形	0.35	0.31	0.35
P 10	L T 46	略円形	0.28	0.26	0.11
P 11	L T 46	略円形	0.35	0.27	0.10
P 12	L S 46	略円形	0.47	0.37	0.12
P 13	L T 46	略円形	0.50	0.45	0.20
P 14	L T 46	略円形	0.31	0.26	0.08

(単位:m)

柱穴	地区	形	長径	短径	深さ
P 15	L T 46	隅丸方形	0.47	0.38	0.18
P 16	L S 46	略円形	0.44	0.35	0.12
P 17	L S 46	略円形	0.20	0.19	0.05
P 18	L S 46	略円形	0.24	0.20	0.19
P 19	L S 45	略円形	0.25	0.23	0.16
P 20	L T 45	略円形	0.24	0.20	0.21
P 21	L T 46	略円形	0.22	0.20	0.10

(単位:m)

1
(SI01)2
(SI01)3
(SI01)4
(SI01)5
(SI01)

第76図 S I 01出土遺物

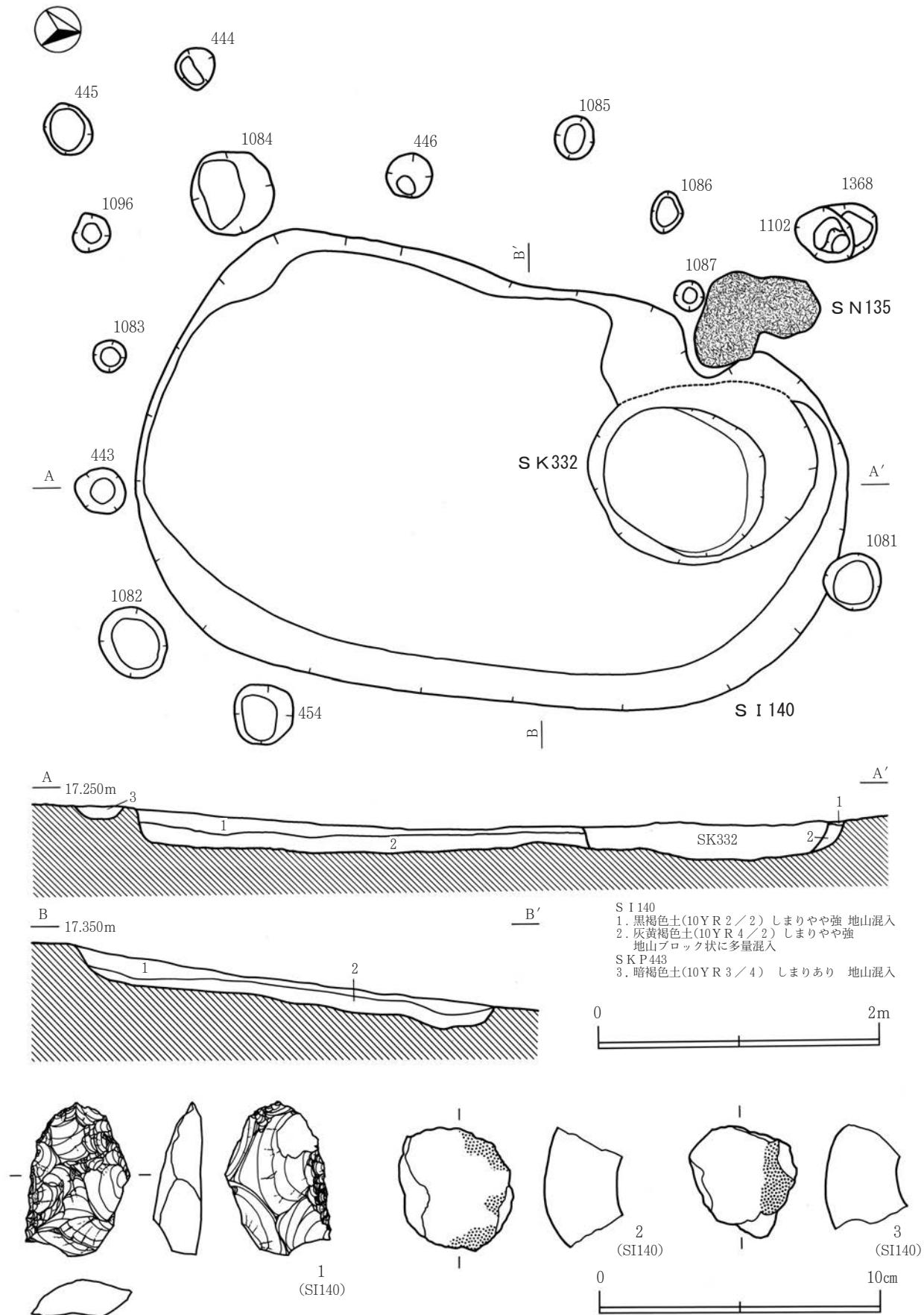


(外面)

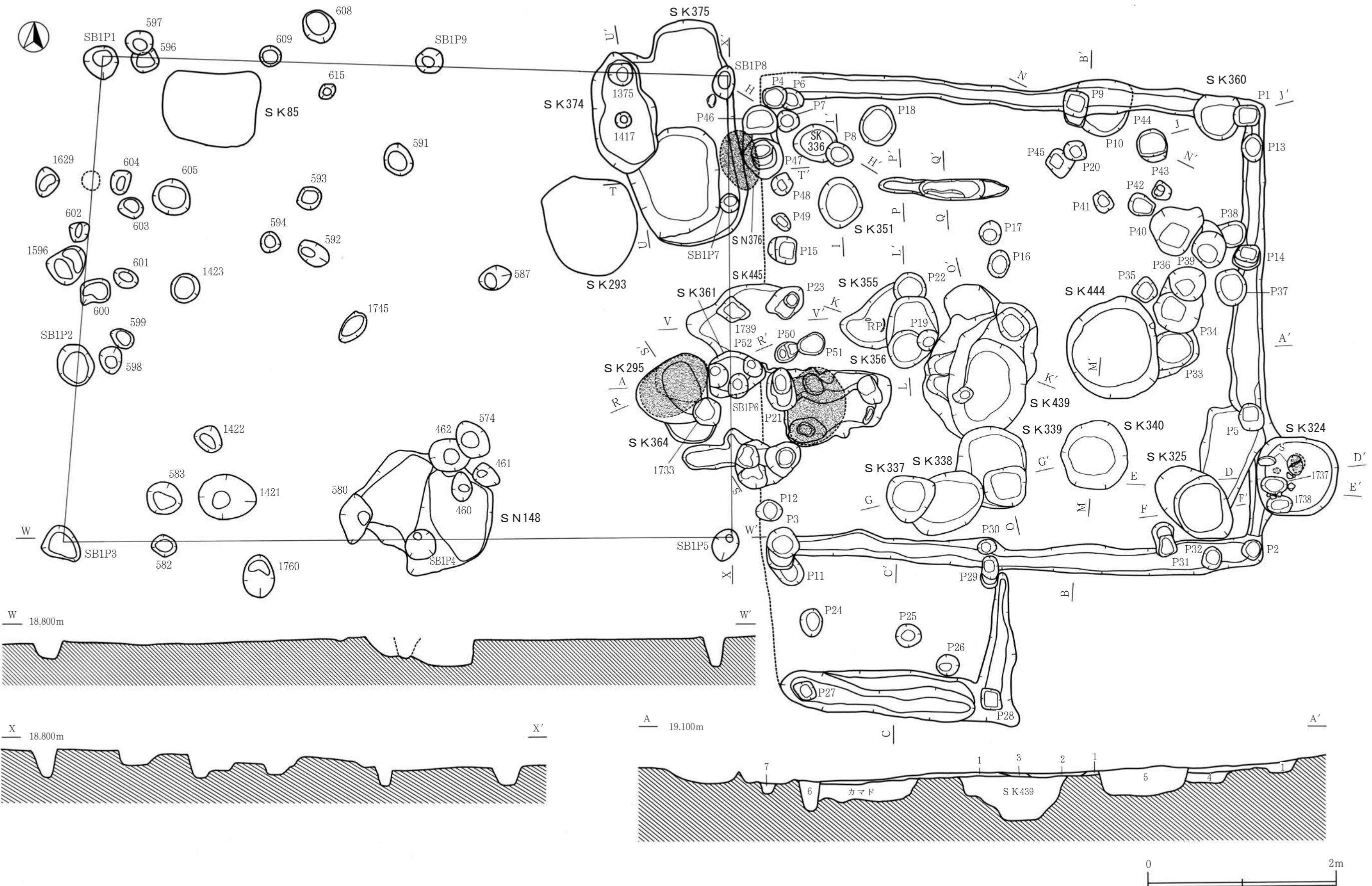


(内面)

6
(SI01)

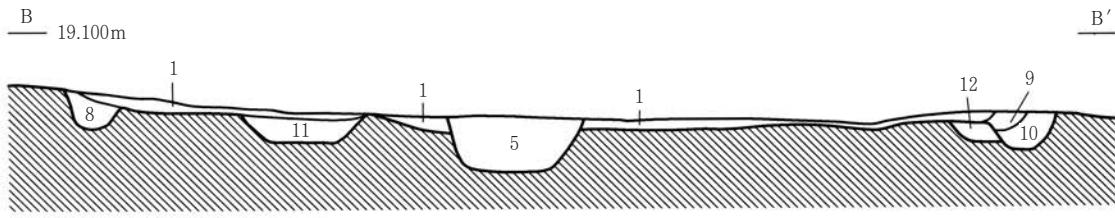


第77図 SI 140と出土遺物

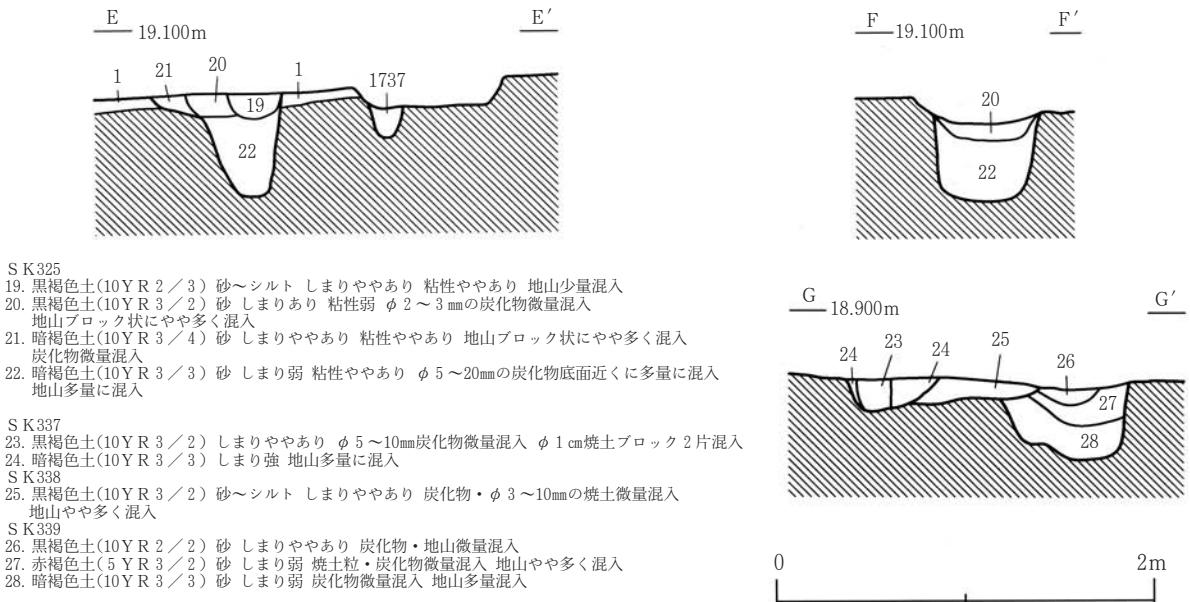
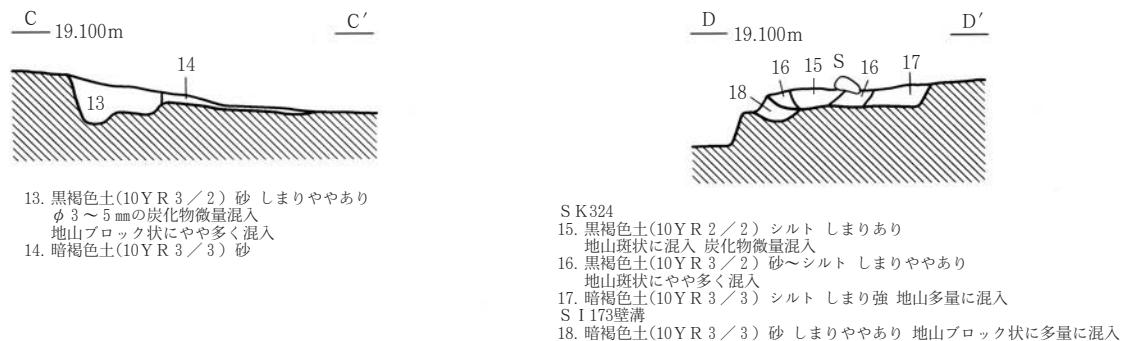


第78図 S I 173と周囲の遺構(1)

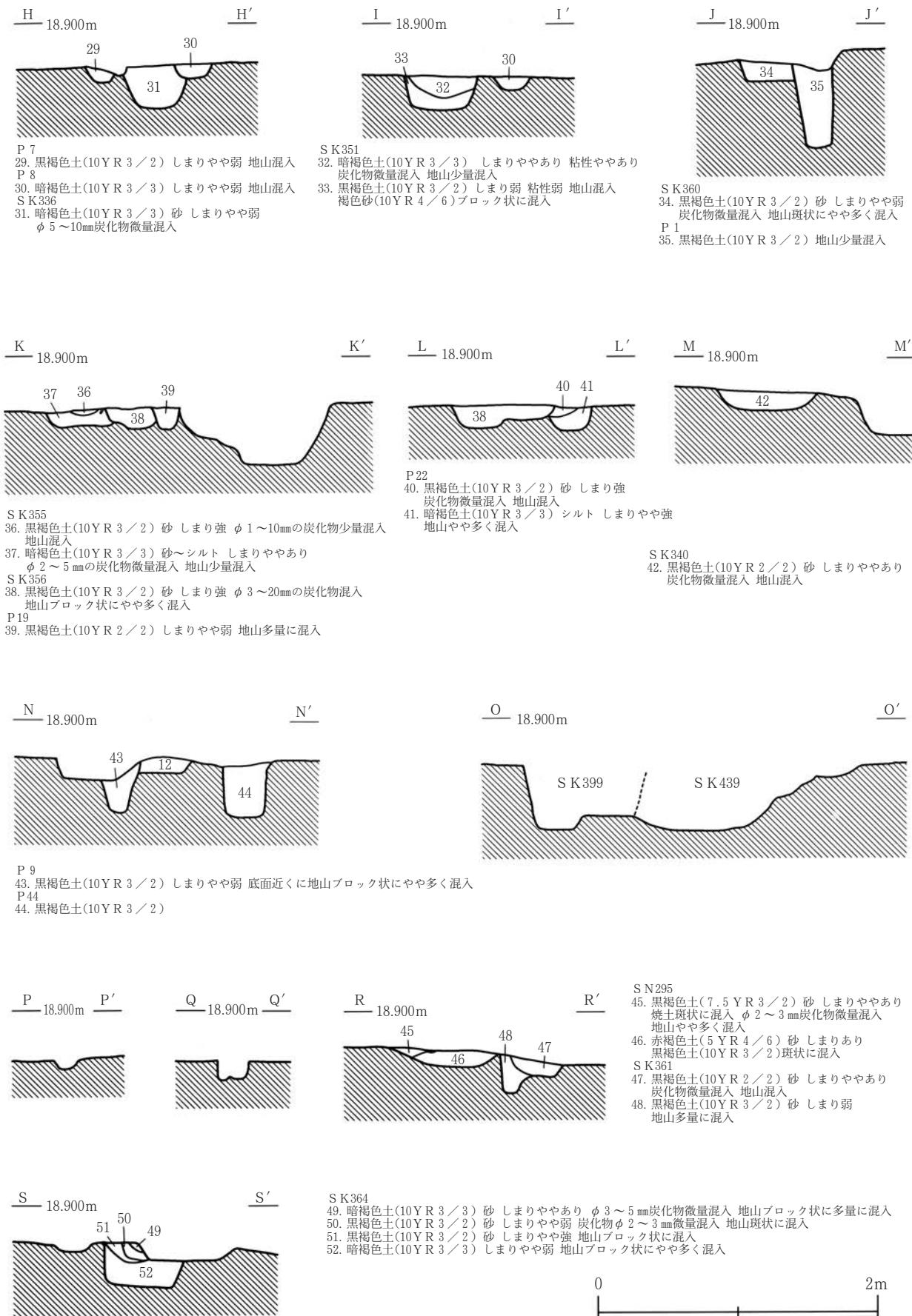
S I 173
 1. 黒褐色土(10YR 3/2) 砂 しまりやや弱 粘性ややあり 炭化物微量混入 地山ブロック状に少量混入
 2. 黒褐色土(10YR 3/2) 砂 しまり弱 粘性弱 地山混入
 3. 褐色土(10YR 4/6) しまり強 粘性ややあり 炭化物微量混入 黒褐色粘土ブロック(10YR 3/2)混入
 P33
 4. 黒褐色土(10YR 3/2)
 S K44
 5. 暗褐色土(10YR 3/3) 砂 しまりややあり 炭化物微量混入 地山やや多く混入
 P21
 6. 黑褐色土(10YR 2/2) 砂～シルト しまりややあり 炭微量混入 地山混入
 S B 1 P 6
 7. 黑褐色土(10YR 2/3)



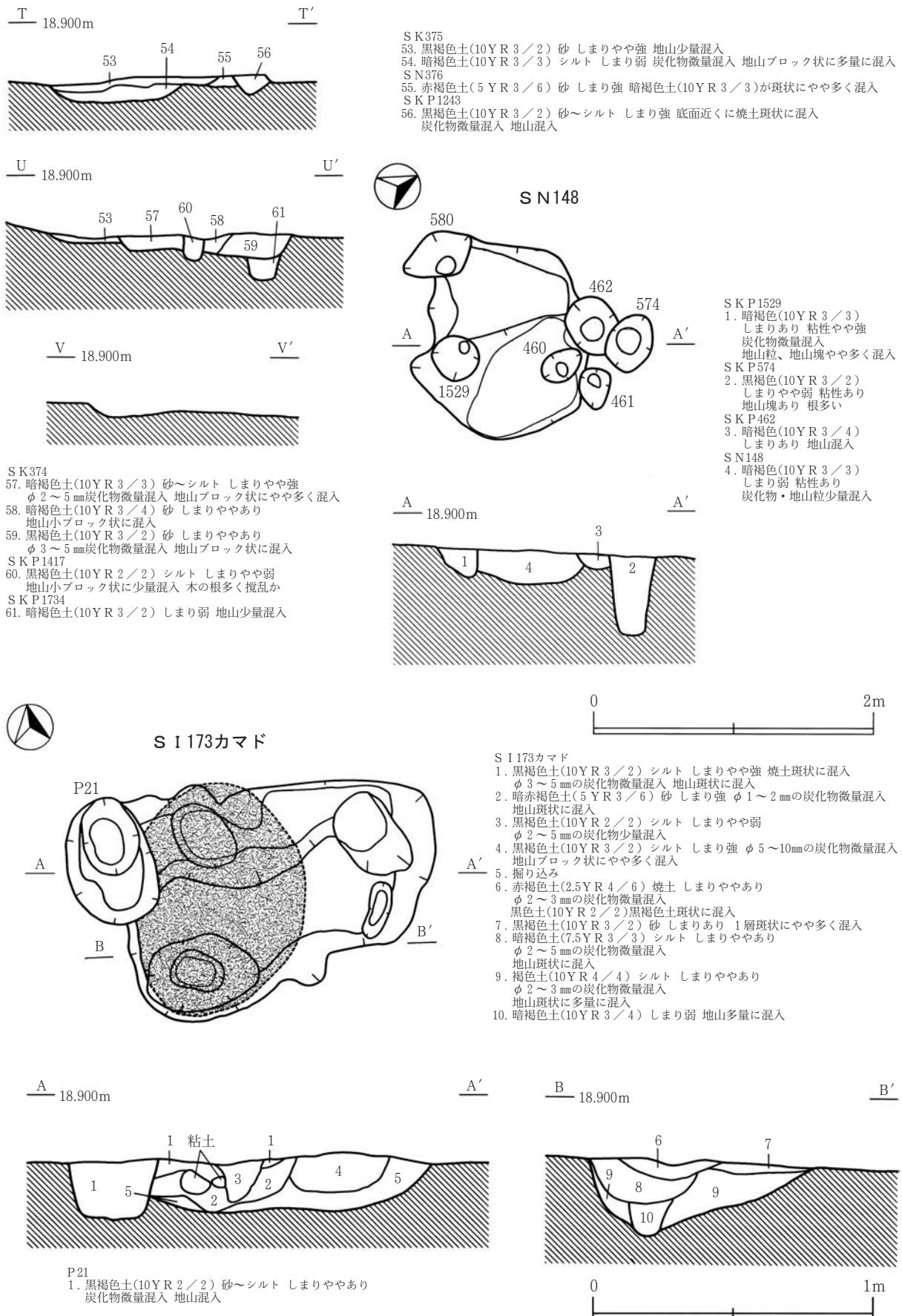
8. 黑褐色土(10YR 2/3) 砂 しまりややあり 粘性ややあり 地山やや多く混入
 9. 暗褐色土(10YR 3/3) 砂 しまりややあり 地山ブロック状にやや多く混入 炭化物微量混入
 10. 黑褐色土(10YR 3/2) 砂 しまりややあり 粘性やや強 地山ブロック状に混入
 S K340
 11. 黑褐色土(10YR 2/2) 砂 しまりややあり 地山混入 炭化物微量混入
 P10
 12. 黑褐色土(10YR 3/2) しまり弱 地山混入



第79図 S I 173と周囲の遺構(2)



第80図 S I 173と周囲の遺構(3)



第81図 S I 173と周囲の遺構(4)、S I 173カマド

S I 173

柱穴	地区	形	長径	短径	深さ
P 1	L N54	隅丸方形	0.28	0.22	0.62
P 2	L N53	略円形	0.22	0.21	0.52
P 3	L O53	略円形	0.46	0.33	0.44
P 4	L O54	略円形	0.26	0.33	0.44
P 5	L N54	隅丸方形	0.29	0.26	0.56
P 6	L O54	略円形	(0.18)	0.22	0.07
P 7	L O54	略円形	0.25	0.23	0.12
P 8	L O54	略円形	0.30	0.24	0.10
P 9	L O54	隅丸方形	0.36	0.26	0.31
P 10	L O54	略円形	(0.22)	(0.18)	0.12
P 11	L O53	略円形か	(0.22)	0.28	0.14
P 12	L P53	略円形	0.28	0.22	0.14
P 13	L N54	略円形	0.30	0.23	0.09
P 14	L N54	隅丸方形	0.29	0.28	0.45
P 15	L O54	隅丸方形	0.30	0.28	0.56
P 16	L O54	略円形	0.30	0.22	0.07
P 17	L O54	略円形	0.25	0.23	0.16
P 18	L O54	略円形	0.44	0.37	0.07
P 19	L O54	略円形	0.24	0.21	0.17
P 20	L O54	略円形	0.26	0.22	0.32

(単位: m)

柱穴	地区	形	長径	短径	深さ
P 21	L O54	略円形	0.46	0.32	0.38
P 22	L O54	略円形	0.34	(0.26)	0.17
P 23	L O54	略円形	0.38	0.32	0.22
P 24	L O53	略円形	0.30	0.24	0.07
P 25	L O53	略円形	0.28	0.25	0.08
P 26	L O53	略円形	0.24	0.22	0.07
P 27	L O53	隅丸方形	0.21	0.18	0.31
P 28	L O53	隅丸方形	0.20	0.18	0.38
P 29	L O53	隅丸方形	0.24	0.18	0.33
P 30	L O53	略円形	0.20	0.16	0.39
P 31	L N53	隅丸方形	0.36	0.20	0.51
P 32	L N53	略円形	0.24	0.20	0.21
P 33	L N54	略円形	(0.46)	0.42	0.12
P 34	L N54	略円形	0.51	(0.36)	0.18
P 35	L N54	隅丸方形	0.24	0.23	0.10
P 36	L N54	略円形	0.41	0.36	0.19
P 37	L N54	略円形	0.39	0.33	0.14
P 38	L N54	略円形	(0.26)	0.27	0.03
P 39	L N54	略円形	0.38	0.37	0.58
P 40	L N54	隅丸方形	0.60	0.49	0.18

(単位: m)

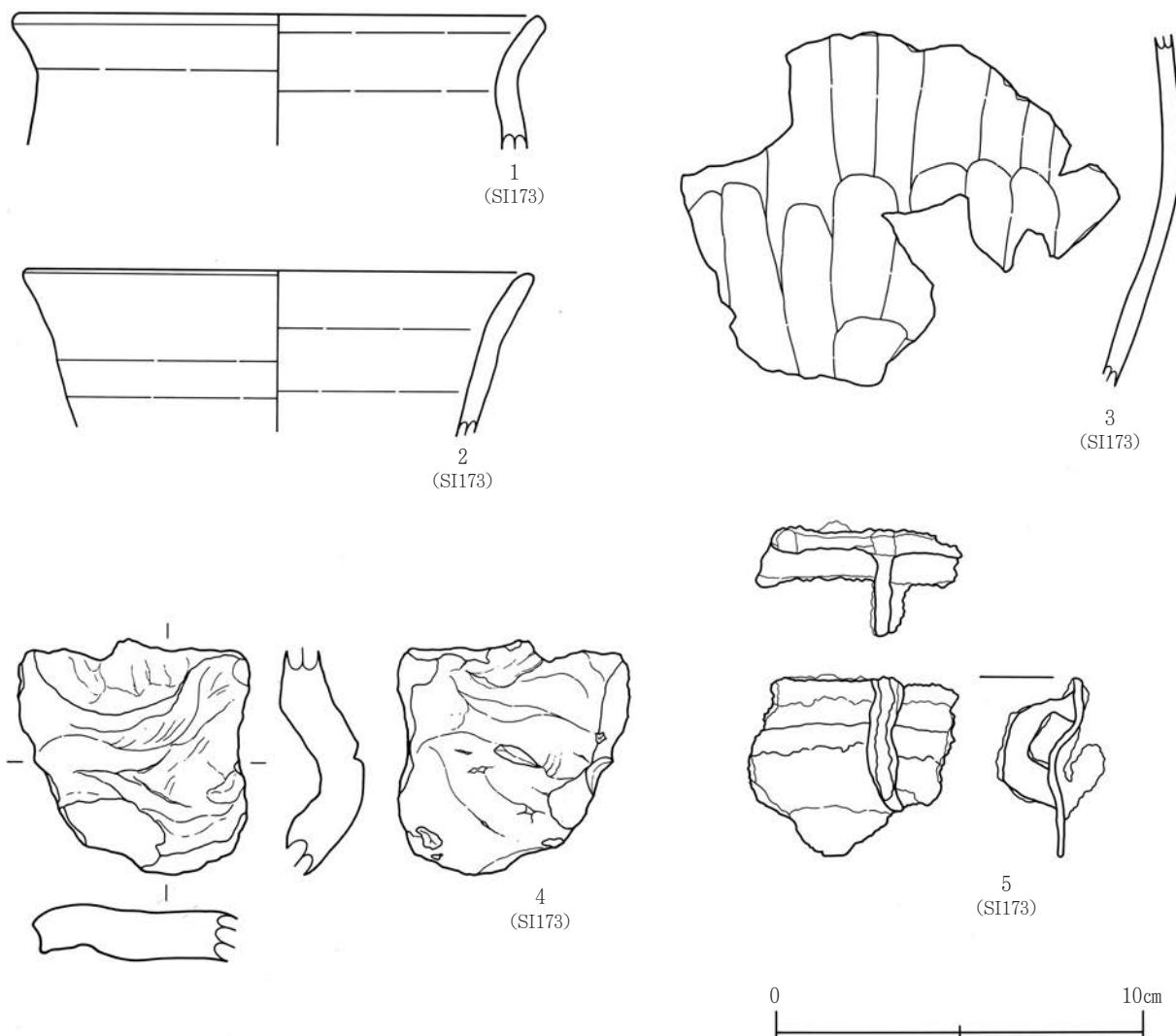
柱穴	地区	形	長径	短径	深さ
P 41	L O54	隅丸方形	0.22	0.18	0.10
P 42	L N54	隅丸方形	0.28	0.23	0.05
P 43	L N54	隅丸方形	0.20	0.23	0.03
P 44	L N54	隅丸方形	0.35	0.22	0.41
P 45	L O54	隅丸方形	0.26	0.24	0.11
P 46	L O54	楕円形	0.37	0.30	0.10
P 47	L O54	略円形	0.44	0.44	0.39
P 48	L O54	略円形	0.25	0.22	0.42
P 49	L O54	略円形	0.21	0.14	0.10
P 50	L O54	略円形	0.28	0.21	0.18
P 51	L O54	略円形	0.30	0.23	0.20
P 52	L P54	略円形	0.24	0.18	0.30

(単位: m)

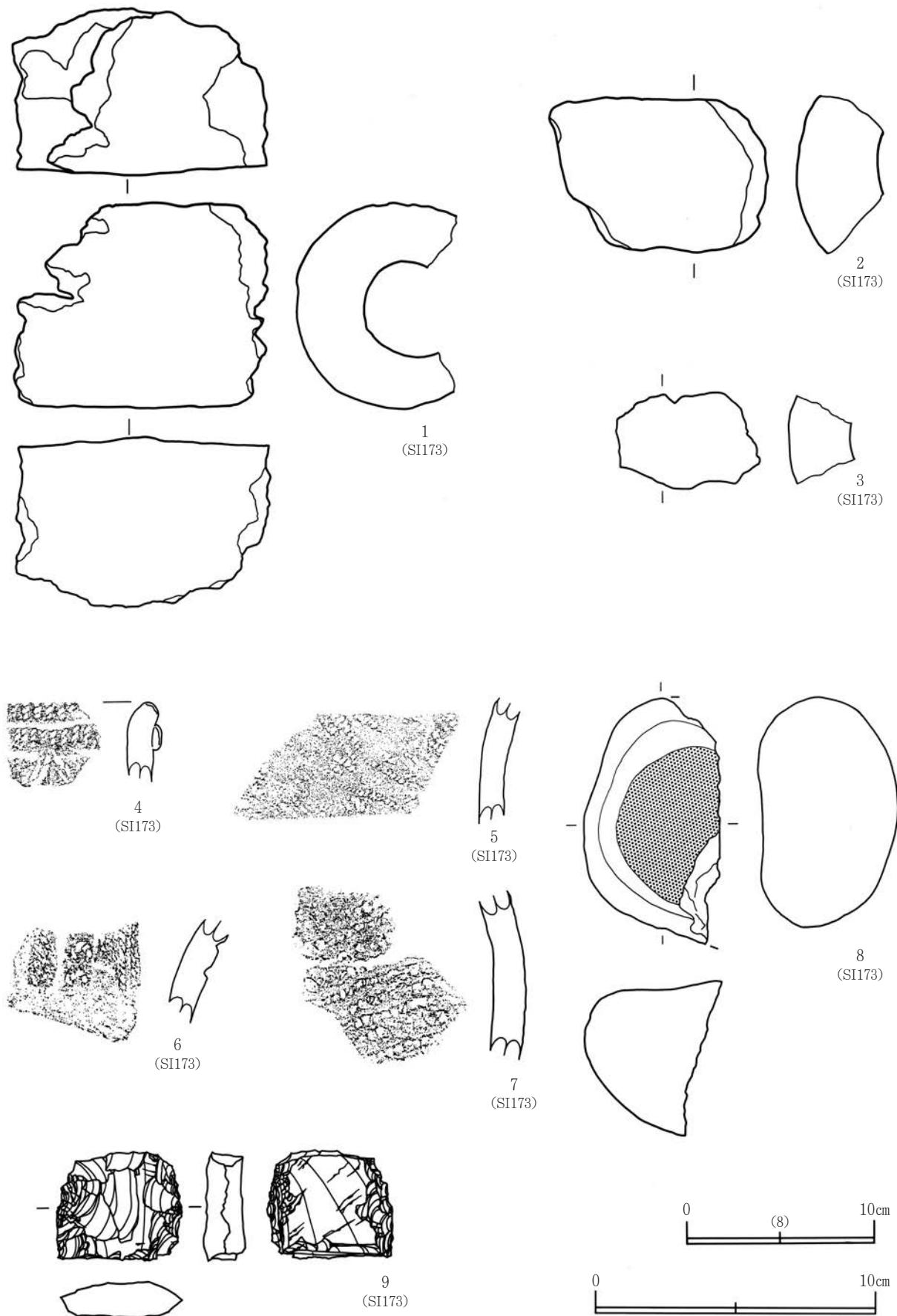
S I 173 S B1

柱穴	地区	形	長径	短径	深さ
P 1	L Q55	略円形	0.36	0.36	0.32
P 2	L Q54	略円形	0.45	0.38	0.20
P 3	L Q53	隅丸方形か	0.42	0.33	0.18
P 4	L P53	略円形	0.32	0.31	0.23
P 5	L P53	略円形	0.38	0.30	0.31
P 6	L P54	略円形	0.27	0.21	0.19
P 7	L P54	略円形	0.21	0.21	0.18
P 8	L P54	楕円形	0.36	0.22	0.21
P 9	L P55	略円形	0.29	0.26	0.51

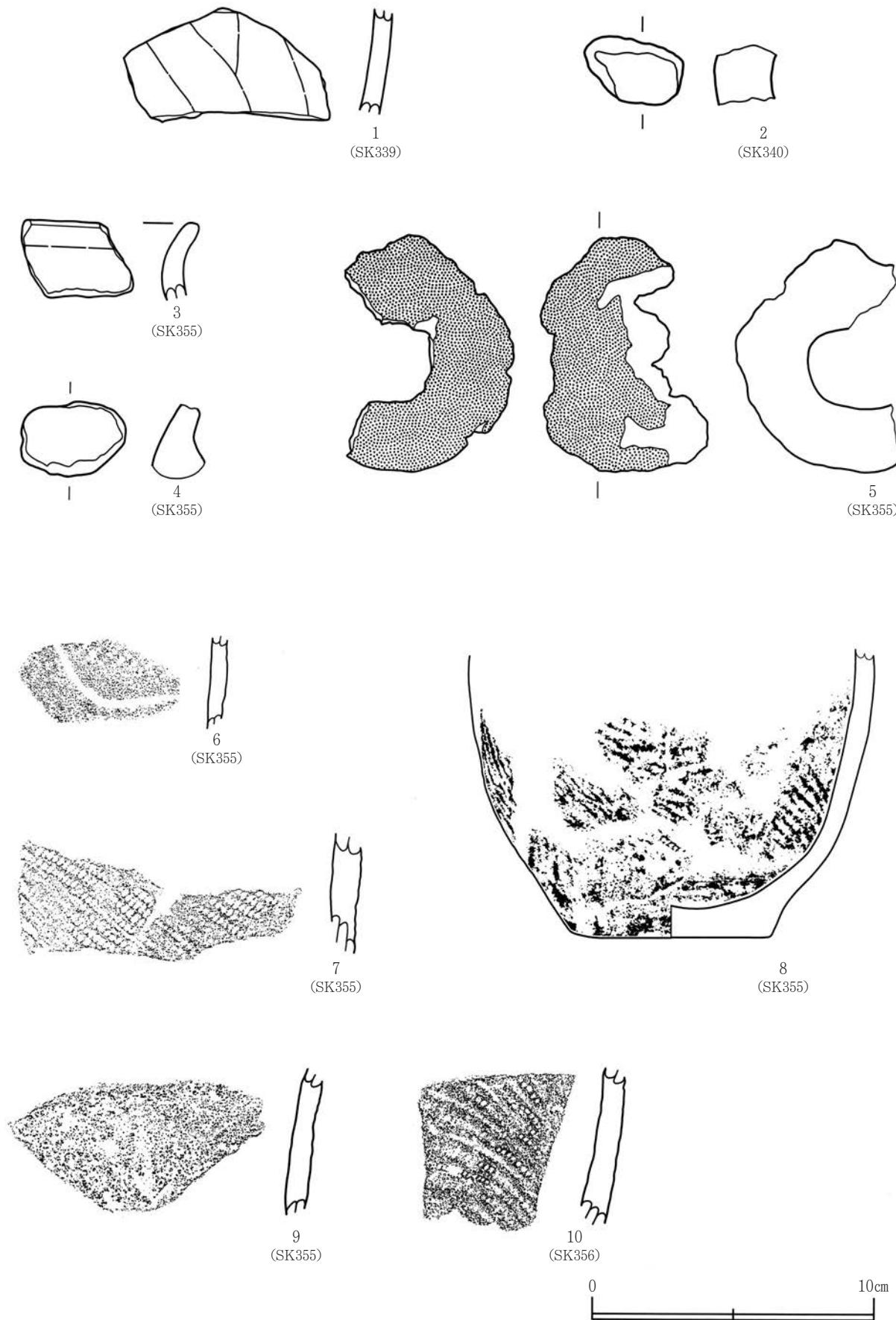
(単位: m)



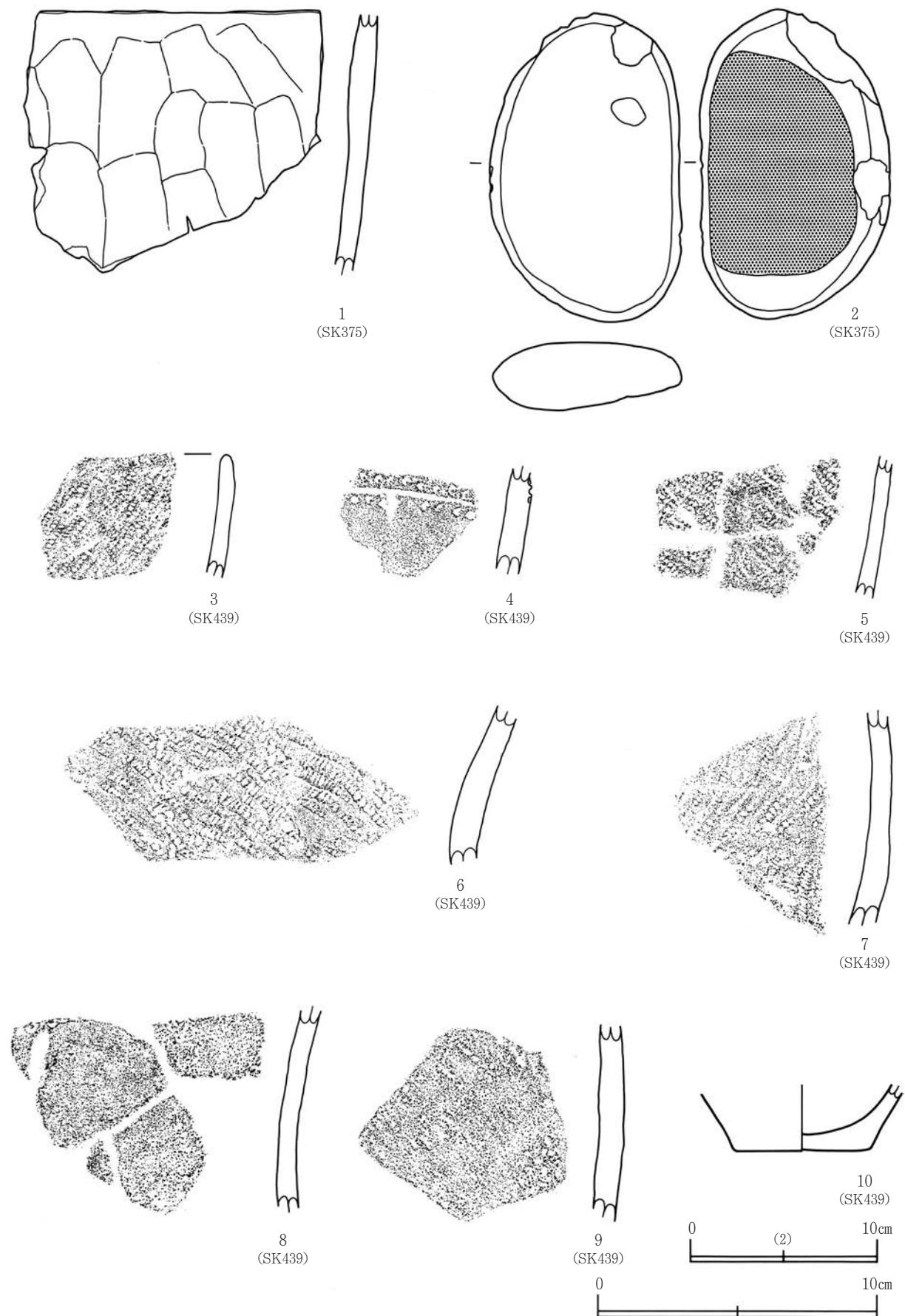
第82図 S I 173出土遺物(1)



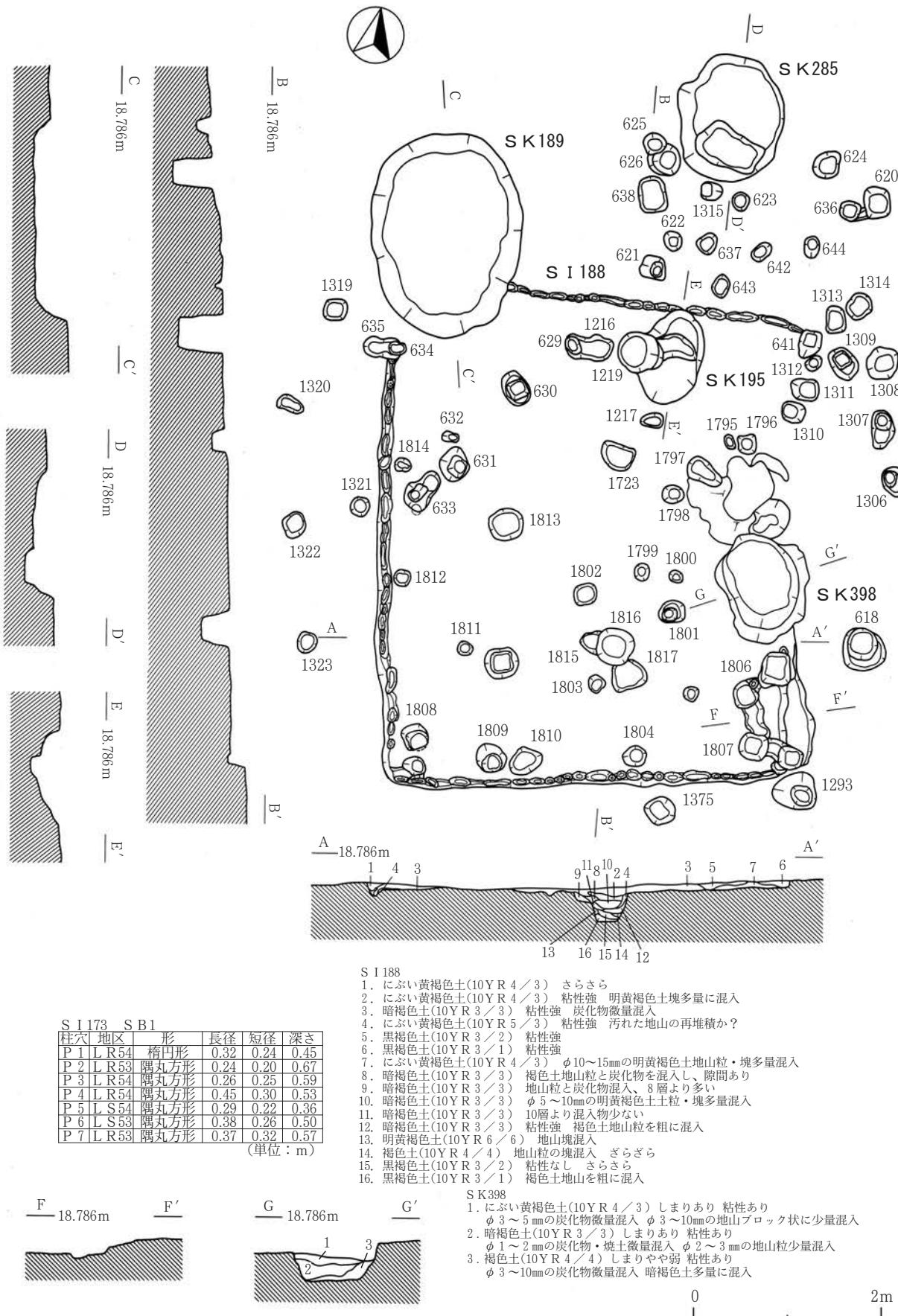
第83図 S I 173出土遺物(2)



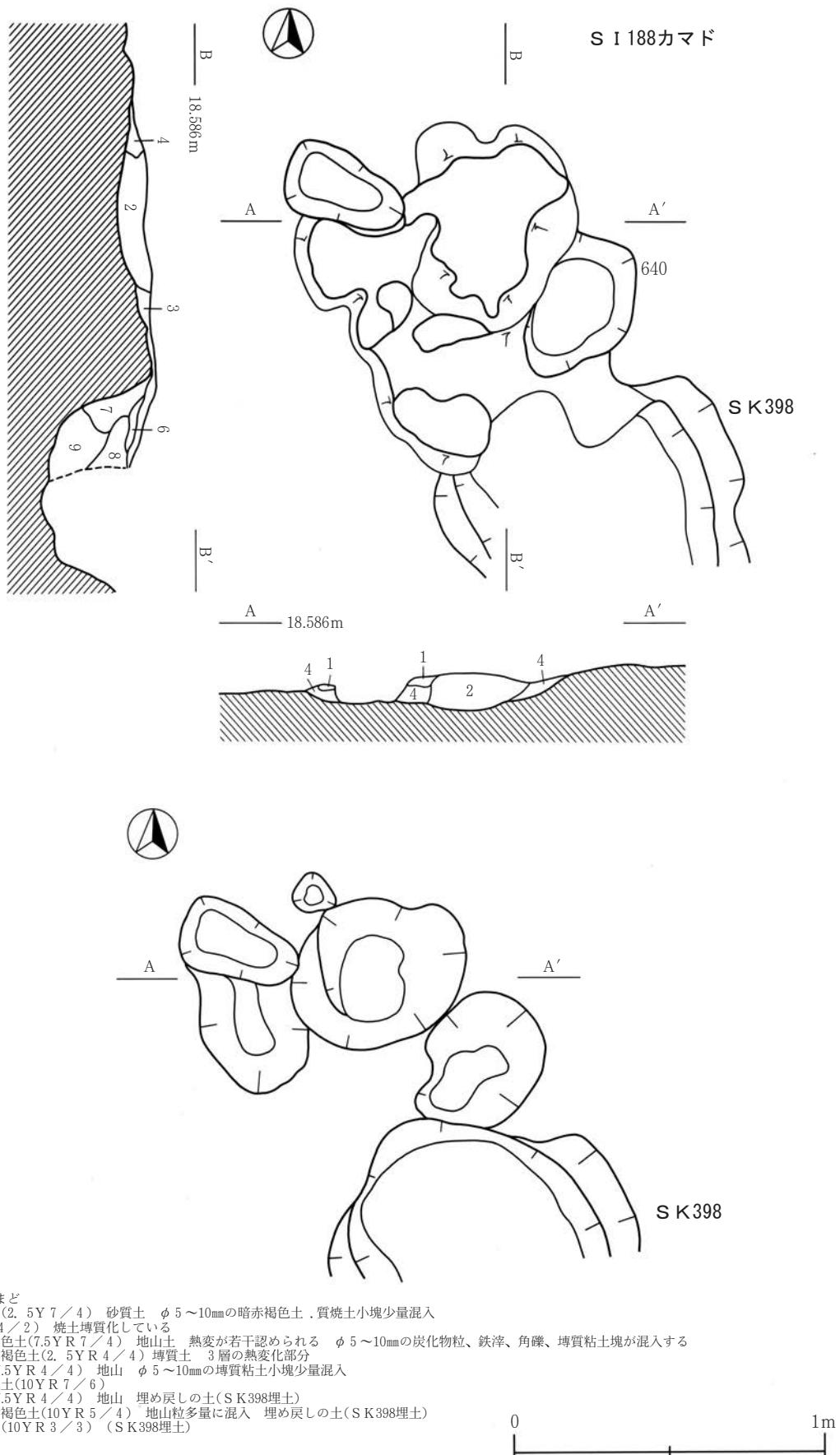
第84図 SK339・340・355・356出土遺物



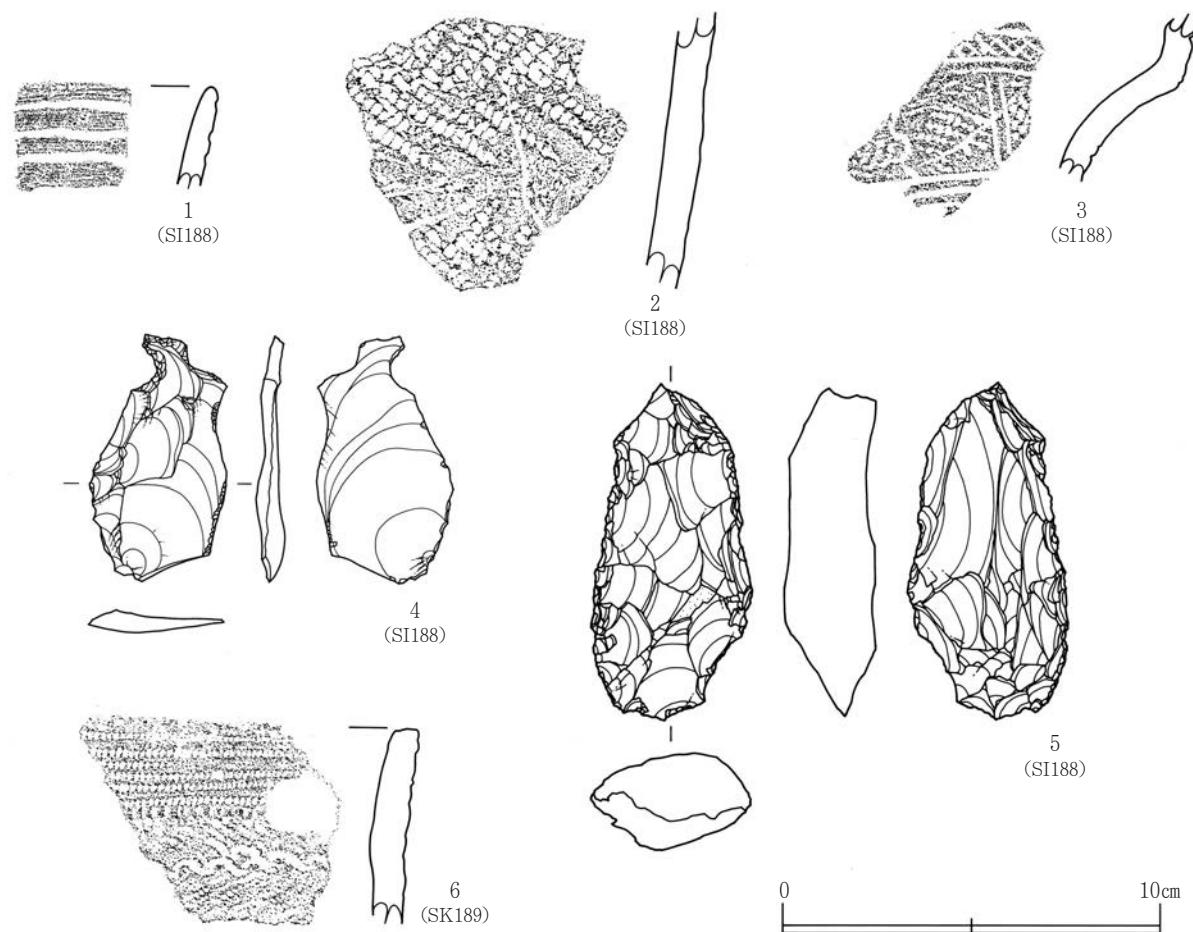
第85図 SK375・439出土遺物



第86図 S I 188, S K 189·195·285·398



第87図 S I 188カマド



第88図 S I 188、S K 189出土遺物

S I 193(第89・90図、図版5・10・11)

L S 52・53、L T 52・53・54、MA 52・53グリッドに位置する。S N 440と重複し、本住居跡が新しい。長軸5.13m、短軸4.40m、深さ0.08~0.24mである。平面形は隅丸方形を呈する。埋土は4層に分層した。壁はほぼ垂直に立ち上がる。壁溝は北壁中央と南壁で検出した。南壁では長さ0.26~0.54m、幅0.08~0.12m、深さ0.20~0.43mの溝状プランが連続する。北壁では確認長1.66m、幅0.19m、深さ0.15mの溝状プラン中から、幅0.05mの板材の痕跡を検出した。床面はほぼ平坦である。カマドを据え付けるために1度床面を掘り込み、その上に貼床をしていた。カマドは南壁東側で検出した。火床面は0.20m×0.30mの範囲で硬く締まった焼土面であった。カマド南側からはフイゴ羽口が立てられた状態で出土した。東袖部に焼土の切れる部分があり、フイゴ装着孔と推定される。両袖部が比較的良好に残っており、袖部には潟西層下部の砂を貼り付けて構築していた。カマド前部には1.80m×1.46mの土坑があり、上部は黄褐色の粘土を貼ってカマド前庭としている。柱穴は16基検出した。各隅(P 1・4・12・13)のほか、東壁(P 2・15)・西壁(P 5・11)、北壁(P 7)・南壁(P 17)に検出した。

遺物は縄文土器片3点(第91図1~3)、土師器片22点(図示したもの7点、第91図4・5、第92図1~5)、羽口6点(図示したもの3点、第92図6~8)、剥片14点が出土した。第91図1は鉢の口縁部で、表面には3条の横位平行沈線が施される。内面には炭化物が付着する。第91図2・3は深鉢で、3には羽状縄文が施される。第91図4、第92図1~4は甕である。第91図4、第92図1は内外面ともケズリで調整される。第92図1は口径19.3cmである。第92図2の表面には指頭大の窪みが見られる。3は底径8.8cm、外面はケズリで調整され、炭化物が付着する。内面はナデである。4は底径8.5cm、外面はケズリ、内面はミガキで調整される。第91図5・第92図5は壺である。第91図5はケズリで調整される。第92図5の口頸部は緩やかに外傾しながら立ち上がり、口縁部で大きく外反する。内外面ともナデ調整である。6の羽口の表面には鉄滓が付着し、一部には釉が見られる。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S I 260(第41図)

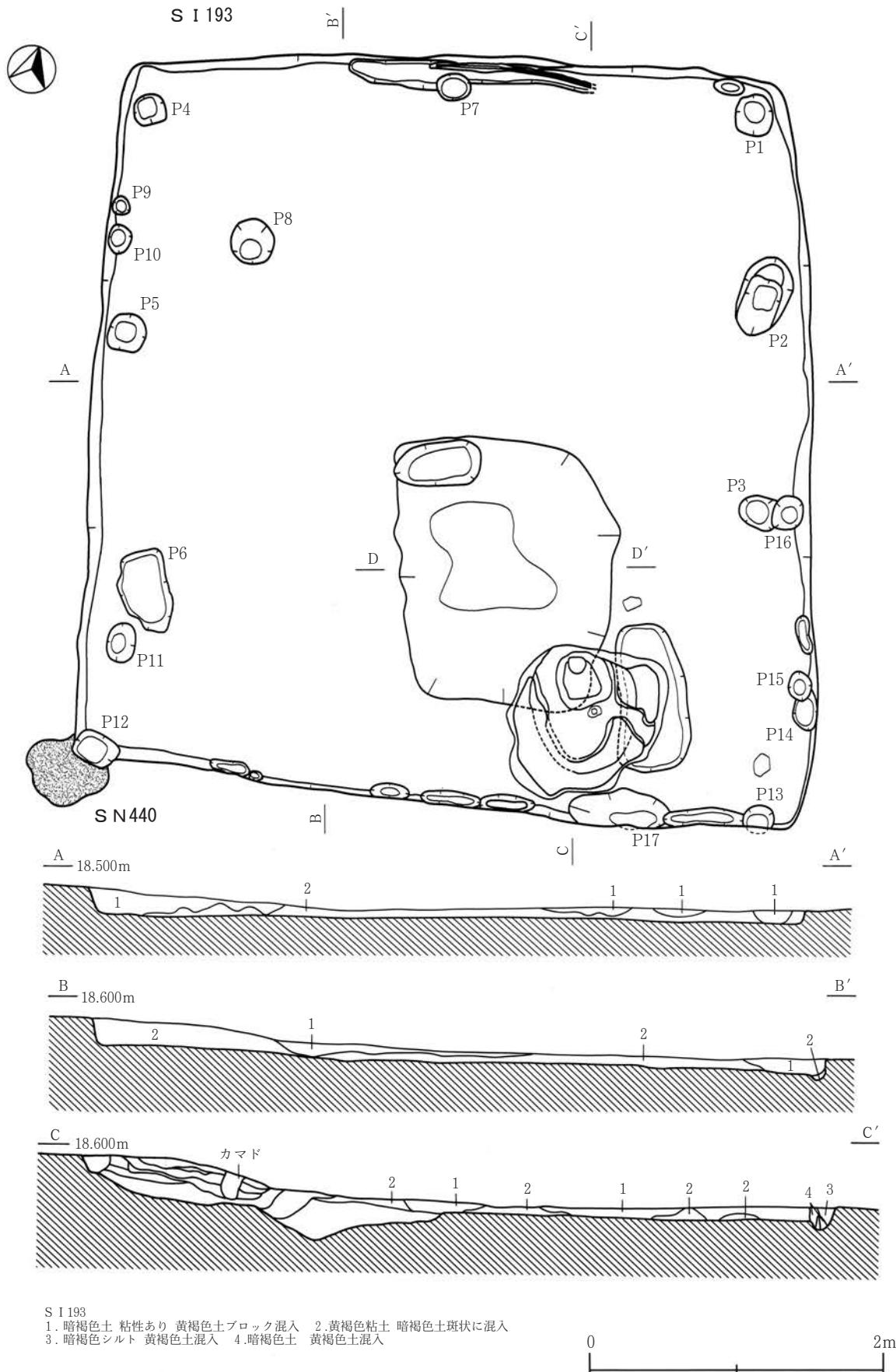
MD・ME 53グリッドに位置する。段丘面の落ち込みとして確認した。SK F 261・341、S I 342と重複する。S I 342より古く、SK F 261・341より新しい。残存部の長軸は0.36m、深さは0.18~0.27mである。南壁の一部のみの確認であるが、隅丸方形を呈するものと考えられる。埋土は2層に分層した。壁は緩やかに外傾しながら立ち上がる。床面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。遺物は縄文土器片1点(第41図2)、鉄滓1点、二次加工のある剥片1点(第41図3)、剥片6点が出土した。出土遺物や遺構の形態から、古代に属するものと考えられる。

S I 342(第46図)

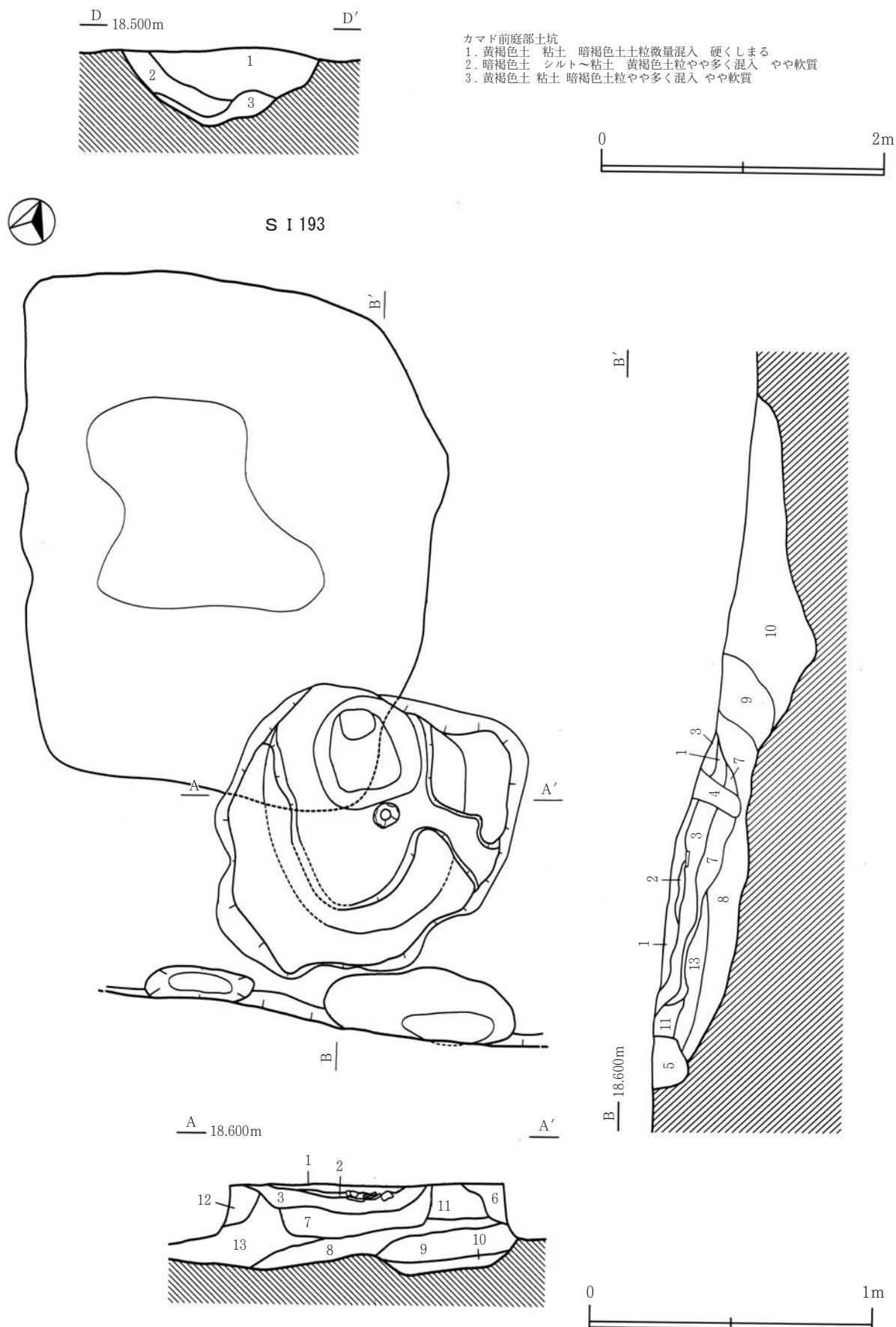
MD 53・54グリッドに位置する。段丘面の落ち込みとして確認した。SK F 341、S I 260と重複する。本住居跡が新しい。残存長軸長0.27m、短軸0.27m、深さ0.26~0.30mである。残存部から、隅丸方形を呈すると考えられる。埋土は不用意に掘り下げてしまい、確認できなかった。壁は緩やかに外傾しながら立ち上がる。床面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。壁溝は東壁で確認された。幅0.23m、床面からの深さは0.05~0.07mである。遺物は出土しなかったが、遺構の形態から古代に属するものと考えられる。

S I 435(第93図)

MF 53・54グリッドに位置する。段丘面の落ち込みとして確認した。残存部長軸4.18m、残存部短軸2.42



第89図 S I 193、S N 440



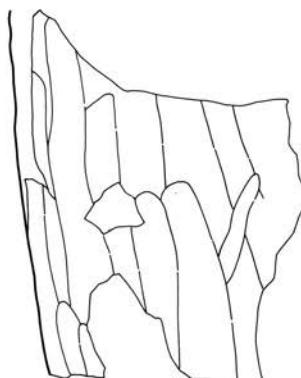
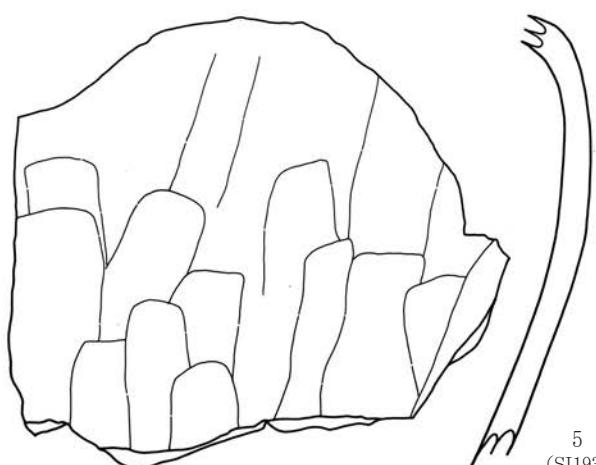
第90図 S I 193カマド

- カマド
1. 極暗赤褐色土(5 YR 2 / 3) ややしまる 比較的粘質 ϕ 1 mmの木炭、焼土粒微量混入
 2. 暗赤褐色土(5 YR 3 / 4) 軟質 孔隙あり ϕ 10mmの焼土ブロックを少量混入
 3. 暗褐色土(7.5 YR 3 / 4) 軟質 孔隙あり ϕ 1 ~ 7 mmの焼土ブロック微量混入
 4. 極暗褐色土(7.5 YR 2 / 3) 軟質 摂乱土
 5. 暗褐色土(10 YR 3 / 4) 孔隙少なく硬くしまる 住居壁際の埋土
 6. 暗褐色土(10 YR 3 / 4) 地山渓西層の砂が多く混在 袖部を作った土
 7. 赤褐色土(2.5 YR 4 / 6) シルト～砂 袖に近い部分は砂質、他はシルト 中央部表面は硬く焼け、しまっている
 8. にぶい黄褐色土(10 YR 4 / 3) シルト～粘土 暗褐色土シルトと黄褐色土粘土が混じりあう やや軟質
 9. 暗褐色土(10 YR 3 / 4) 粘土～シルト 黄褐色土粘土塊混入 比較的硬くしまる
 10. 褐色土(10 YR 4 / 6) 粘土 硬くしまる 暗褐色土シルト微量混入
 11. 暗褐色土(10 YR 3 / 4) シルト～砂 黄褐色土砂のブロック混入、軟質 袖部に使われた土
 12. にぶい黄褐色土(10 YR 5 / 4) 砂 游渓下部の砂層採取の砂 軟質 袖部に使われた土
 13. 褐色土(10 YR 4 / 4) シルト～粘土 軟質

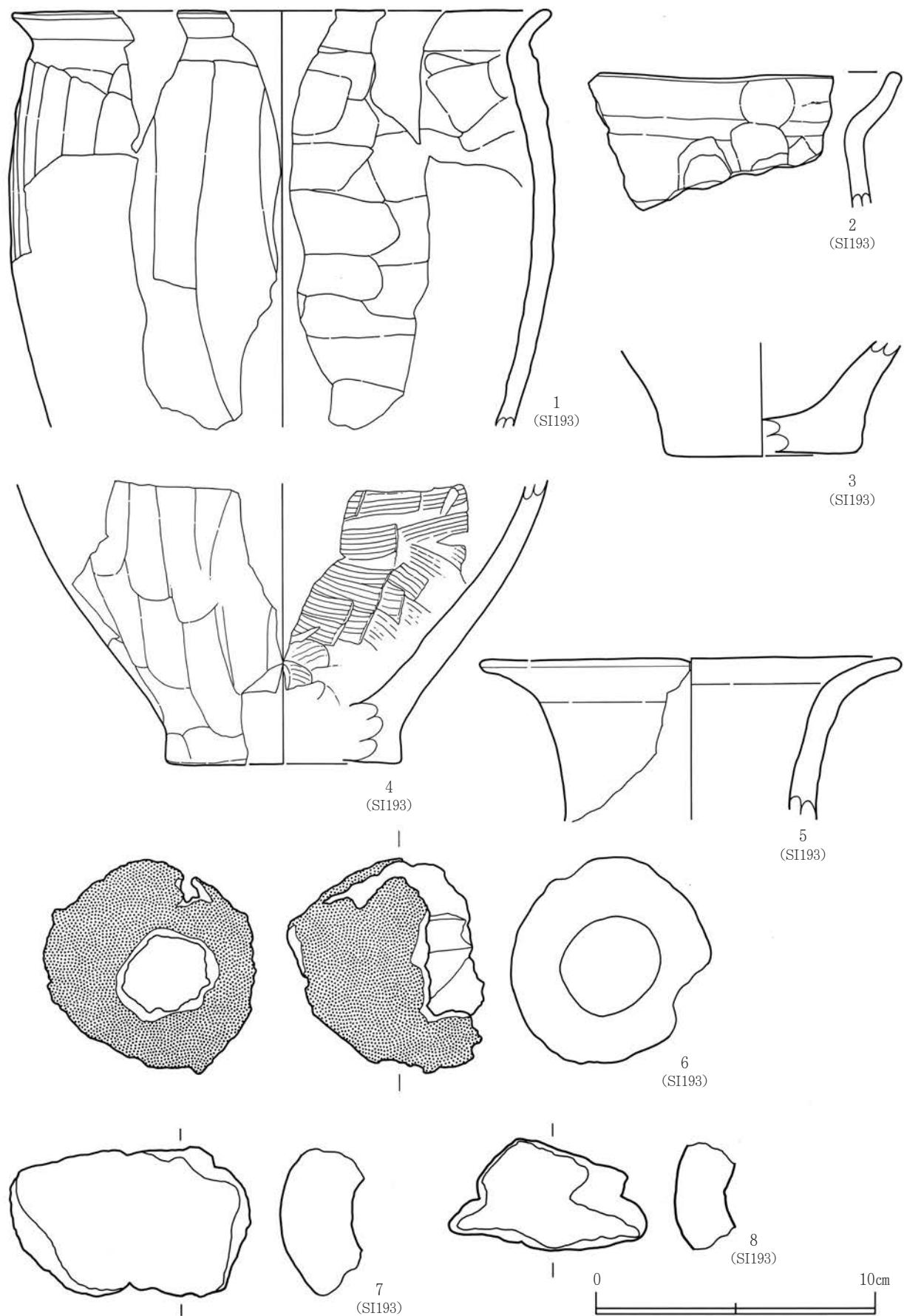
S I 193

柱穴	地区	形	長径	短径	深さ
P 1	L T54	略円形	0.30	0.28	0.53
P 2	L T53	隅丸方形	0.57	0.34	0.73
P 3	L S53	略円形	(0.23)	0.22	0.19
P 4	M A53	隅丸方形	0.22	0.20	0.47
P 5	M A53	隅丸方形	0.26	0.20	0.52
P 6	L T53	隅丸方形	0.58	0.34	0.11
P 7	L T53	略円形	0.24	0.20	0.38
P 8	L T53	略円形	0.32	0.29	0.70
P 9	L T53	略円形	0.12	0.12	0.05
P 10	L T53	略円形	0.20	0.10	0.10
P 11	L T53	略円形	0.28	0.20	0.07
P 12	L T53	隅丸方形	0.30	0.22	0.67
P 13	L S52	略円形	0.21	0.19	0.59
P 14	L S53	略円形	(0.21)	0.18	0.21
P 15	L S53	略円形	0.21	0.16	0.30
P 16	L S53	略円形	0.23	0.21	0.32
P 17	L T52	楕円形	0.64	0.26	0.49

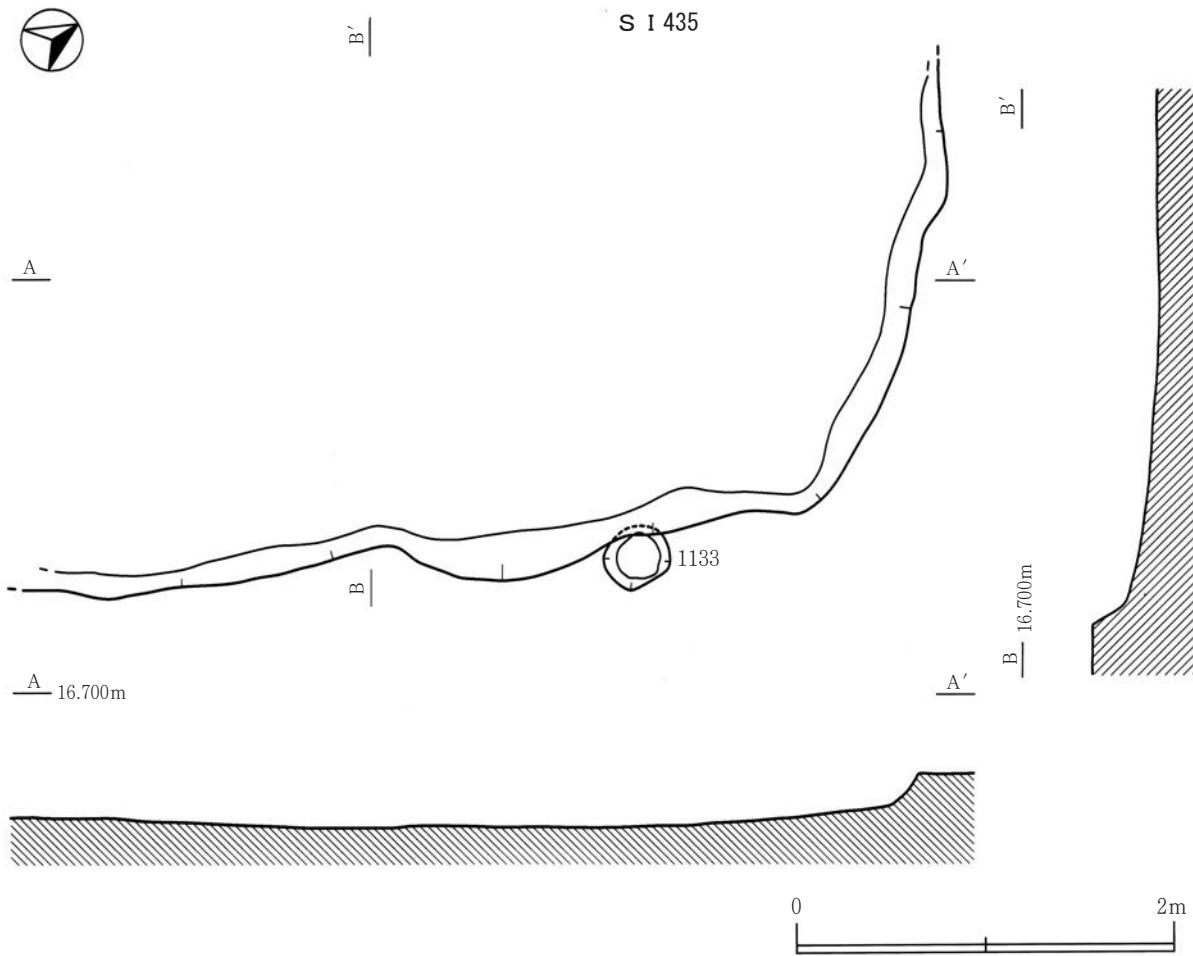
(単位: m)

1
(SI193)2
(SI193)3
(SI193)4
(SI193)5
(SI193)

第91図 S I 193出土遺物(1)



第92図 S I 193出土遺物(2)



第93図 S I 435

m、深さ0.18mである。南部から西部にかけて削平されているが、方形を呈すると考えられる。埋土は確認できなかった。壁は緩やかに外傾しながら立ち上がる。床面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。遺物は出土しなかったが、形態から古代に属するものと考えられる。

2 土坑

S K07(第75図)

L S46グリッドに位置する。S I 01と重複し、本土坑が新しい。長軸0.73m、短軸0.35mの楕円形を呈する。深さは0.20m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。遺物は出土しなかった。重複関係から、古代に属するものと考えられる。

S K23(第94図)

L P49グリッドに位置する。S K P 1156柱穴と重複し、本土坑が古い。長軸0.76m、短軸0.64mの方形を呈する。深さは0.11m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。二次加工のある剥片1点、剥片3点、鉄滓1点が出土した。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K137(第94図)

M F49グリッドに位置する。径1.24m×0.97mの円形を呈する。深さは0.47m。断面はビーカー形を呈する。埋土は2層に分層した。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。縄文土器片1点(第94図1)、鉄滓2点、羽口1点が出土した。1は深鉢で、R L縄文が施文される。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K189(第86図)

L S54グリッドに位置する。S I 188・217と重複し、本土坑が新しい。径1.64m×2.20mの円形を呈する。深さは0.38m。埋土は5層に分層した。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。縄文土器片14点(図示したもの1点、第88図6)、二次加工のある剥片6点、剥片36点、鉄滓4点が出土した。6は深鉢で円筒形を呈する。口縁部には横位の押圧縄文が、体部には羽状縄文が施文される。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K262(第94図)

MD54グリッドに位置する。径1.58m×1.34mの円形を呈する。深さは0.14m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。鉄滓1点、剥片1点が出土した。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K285(第94図)

L R55グリッドに位置する。径1.35m×1.13mの円形を呈する。深さは0.29m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は4層に分層した。底面はほぼ平坦であるが、南側が一段低く窪む。搔器1点(第94図2)、鉄滓1点が出土した。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K302(第95図)

L R60グリッドに位置する。径2.48m×2.20mの円形を呈する。深さは0.86m。断面は北側は削平されているが、緩やかなU字状を呈する。埋土は4層に分層した。底面はほぼ平坦であるが、北側に向かって傾斜する。搔器1点(第95図1)、剥片2点、磨石1点(第95図2)、鉄滓1点が出土した。2の磨石は破損後、一部熱を受けている。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K314(第29・30図)

L S 50グリッドに位置する。S I 297と重複し、本土坑が新しい。長軸1.3m、短軸1.06mの隅丸方形を呈する。深さは0.31m。断面はビーカー形を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。縄文土器細片11点、剥片8点、鉄滓1点が出土した。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K324(第78・79図)

L N 53グリッドに位置する。確認面から焼礫が出土した。S I 173と重複し、本土坑が新しい。径0.94m×0.83mの円形を呈する。深さは0.12m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は4層に分層した。底面は平坦である。熱を受けた円礫が1点出土した。重複関係から、古代に属すると考えられる。

S K325(第78・79図)

L N 53グリッドに位置する。S I 173内から検出した。径0.96m×0.62mの楕円形を呈する。深さは0.55m。断面はビーカー形を呈する。埋土は4層に分層した。底面は平坦である。遺物は出土しなかった。古代に属すると考えられる。

S K332(第77・96図、図版4・13)

M E 50グリッドに位置する。S I 140、S N 135と重複する。S N 135より古く、S I 140より新しい。径1.62m×1.52mの円形を呈する。深さは0.24m。断面はビーカー形を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。擦文土器1点(第97図1)、砥石1点(第96図3)、鉄滓2点、羽口2点(第96図1・2)が出土した。第97図1は甌で、口径26.6cm、残存高25.4cmである。口縁部は大きく外反し、体部は上半にやや膨らみを持ち、下半は底部にかけて大きくすぼまる。口縁部には3条の横位平行沈線が施される。体部外面はハケメ調整の後、縦方向のミガキが施されている。内面は口縁部から体部上半にかけて横方向・縦方向のミガキが施される。体部下半から底部にかけては摩滅しており調整は不明である。出土遺物から、古代に属すると考えられる。

S K337(第78・79図)

L O 53グリッドに位置する。S I 173の床面から検出した。S K338と重複し、本土坑が新しい。径0.53m×0.49mの略円形を呈する。深さは0.17m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面は平坦である。縄文土器細片2点、鉄滓1点が出土した。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K338(第78・79図)

L O 53グリッドに位置する。S I 173の床面から検出した。S K337・339と重複する。S K337より古く、S K339より新しい。残存部長軸0.64m、短軸0.62mの楕円形を呈する。深さは0.14m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。鉄滓2点が出土した。出土遺物から古代に属すると考えられる。

S K339(第78・79図、図版10)

L O 53グリッドに位置する。S I 173の床面から検出した。S K338・439と重複する。S K338より古く、S K439より新しい。長軸0.88m、短軸0.75mの隅丸方形を呈する。深さは0.37m。断面はビーカー形を呈する。埋土は3層に分層した。2層には焼土が混じる。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。土師器片が1点(第84図1)出土した。甌で、内外面ともケズリで調整される。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K340(第78・80図)

L O53グリッドに位置する。S I 173の床面から検出した。径0.76m×0.70mの円形を呈する。深さは0.14m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。鉄滓3点、羽口1点(第84図2)が出土した。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K348(第29図)

L R51グリッドに位置する。S I 297 P 15・P 16、S K P 1725と重複する。S K P 1725より古く、S I 297 P 15・P 16より新しい。長軸1.74m、短軸0.28mの楕円形を呈する。深さは0.28m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は5層に分層した。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。縄文土器細片2点、剥片4点、鉄滓3点が出土した。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K355(第78・80図、図版8・10)

L O54グリッドに位置する。S I 173の床面から検出した。S K356、S I 173 P 22と重複し、本土坑が古い。残存部長軸0.65m、残存部短軸0.33mの楕円形を呈する。深さは0.22m。断面はビーカー形を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。土師器1点(第84図3)、鉄滓1点、羽口2点(第84図4・5)、縄文土器片11点(図示したもの3点、第84図6～9)、二次加工のある剥片1点、剥片3点が出土した。3は土師器の甕で内外面ともナデで調整される。5の羽口の表面には釉が付着する。6～9は深鉢で、6には沈線文が展開し、7にはRL縄文が施文される。9は無文である。8は底径7.1cmで、体部は緩やかなふくらみをもち、底部がすぼまる器形である。体部にはRL縄文が施文される。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K356(第78・80図)

L O54グリッドに位置する。S I 173の床面から検出した。S K355、S I 173 P 19・22と重複する。S I 173 P 19より古く、P 22、S K355より新しい。長軸0.78m、短軸0.54mの楕円形を呈する。深さは0.10m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦であるが、南側が1段低く窪む。縄文土器片1点(第84図10)、剥片1点、鉄滓1点が出土した。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K375(第78・81図、図版10)

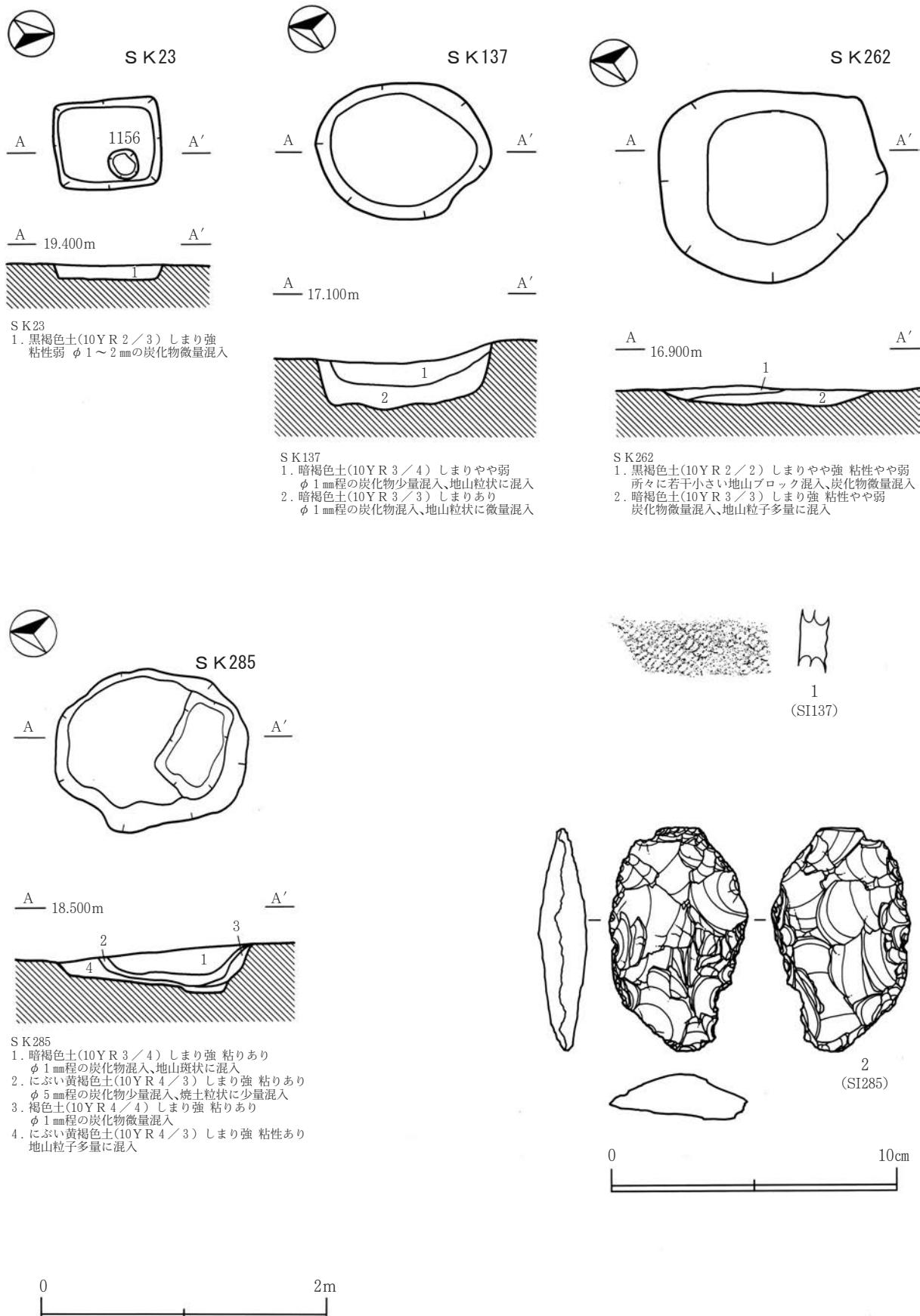
L P54グリッドに位置する。S I 173の床面から検出した。S K374、S N376、S K P 1244・1736と重複する。S K374、S K P 1244・1736より古く、S N376より新しい。長軸2.40m、短軸1.24mの隅丸方形を呈する。深さは0.17m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面は南西部が一段低く窪むが、ほぼ平坦である。土師器1点(第85図1)、熱を受けた礫1点が出土した。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S K398(第86図)

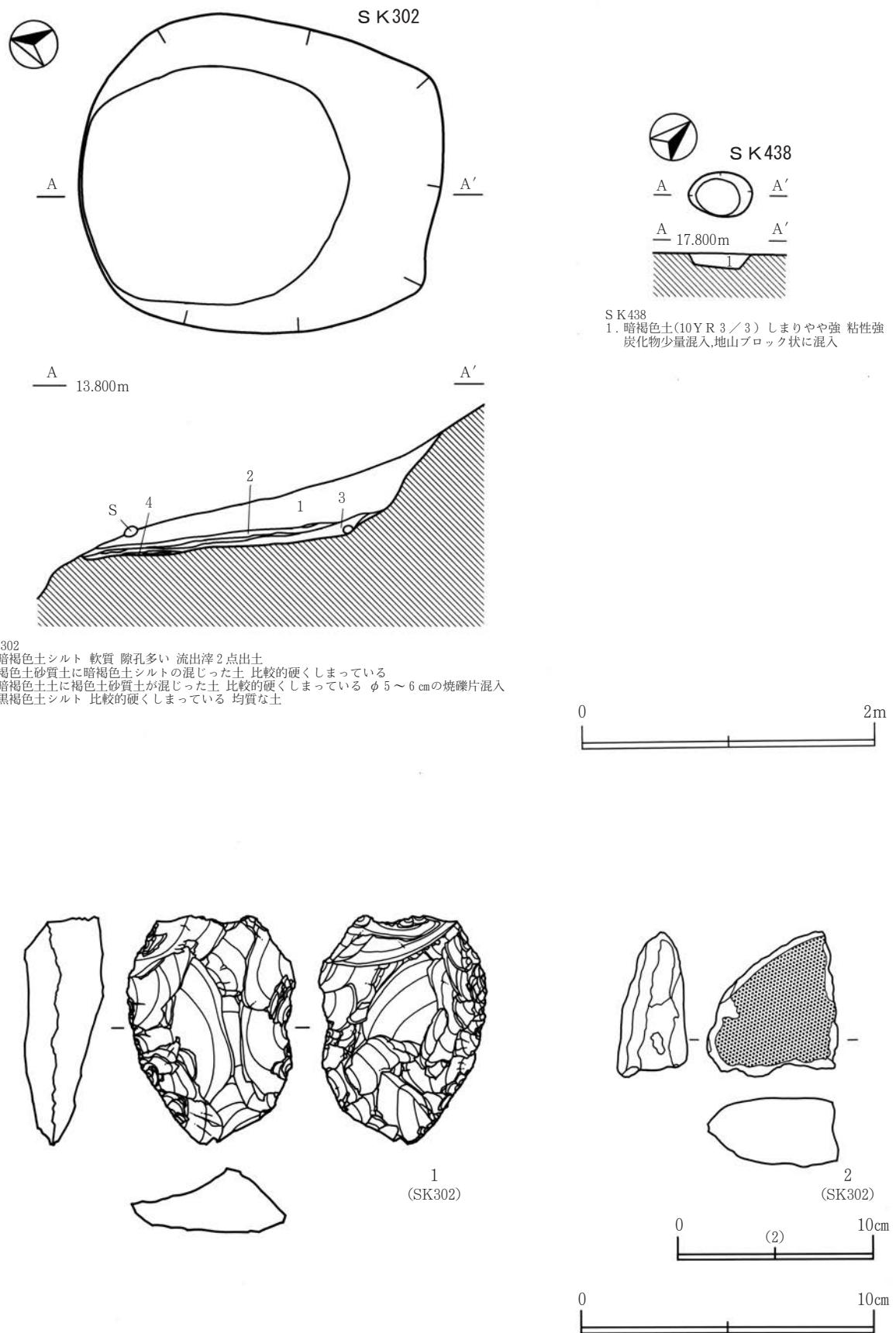
L R53グリッドに位置する。S I 188と重複し、本土坑が新しい。径1.20m×0.81mの略円形を呈する。深さは0.40m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は3層に分層した。底面はほぼ平坦である。遺物は出土しなかったが、重複関係から古代もしくは古代以降に属するものと考えられる。

S K438(第95図)

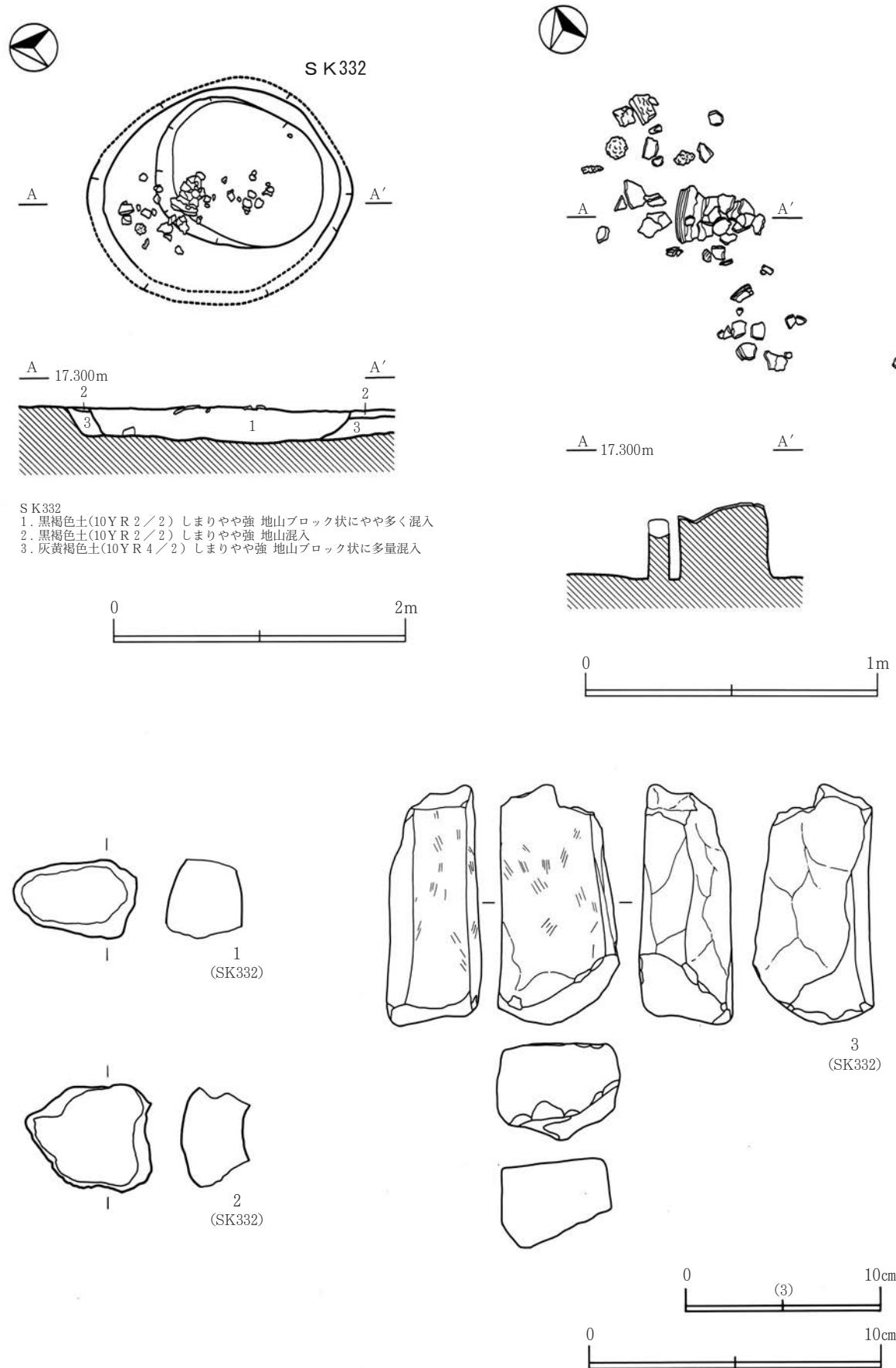
L S55グリッドに位置する。径0.44m×0.29mの略円形を呈する。深さは0.10m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は東に向かって緩やかに傾斜する。鉄滓が1点出土した。出土遺物



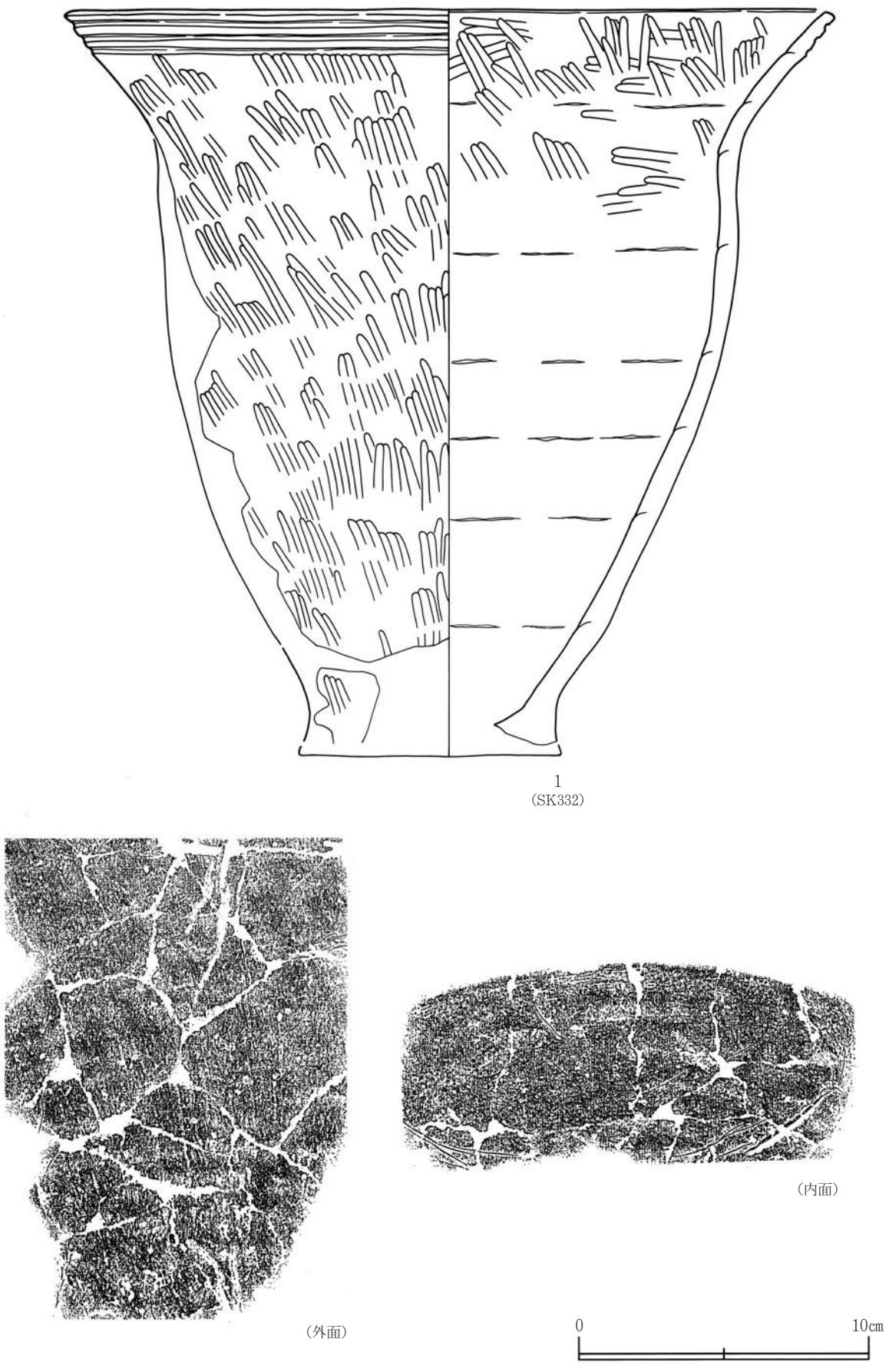
第94図 S K23・137・262・285と出土遺物



第95図 SK302・438と出土遺物



第96図 SK332と出土遺物



第97図 SK332出土遺物

から、古代に属するものと考えられる。

S K 439(第78図)

L O 54グリッドに位置する。S I 173の床面から検出した。S K 339と重複し、本土坑が古い。南側がS K 339により削平されているが、径1.48m×1.06mの略円形を呈する。深さは0.46m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は東側は平坦であるが、西側が低く窪む。土師器3点(図示したもの1点、第85図10)、縄文土器片10点(図示したもの7点、第85図3～9)が出土した。10は甕の底部で、内外面ともナデで調整される。3は深鉢の口縁部で、LR縄文が施文される。表面が赤色に変化し、外面と破断面に炭化物が付着していることから、二次的に熱を受けたものと考えられる。4～9は深鉢の体部である。4は1条の沈線の上下に連続する刺突が施される。8の上部にも刺突がほどこされている。5・6にはRL縄文が、7にはLR縄文が施文される。9は摩滅が著しく、縄文原体は不明である。出土遺物から古代に属するものと考えられる。

S K 444(第78図)

L O 54グリッドに位置する。S I 173 P 33と重複し、本土坑が新しい。径1.09m×1.06mの円形を呈する。深さは0.30m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。羽口片が1点出土した。出土遺物から古代に属するものと考えられる。

3 炭窯跡・炭焼遺構

天井部を有する地下式ものを炭窯跡、土坑状で天井部をもたず伏せ焼きに使用したと考えられるものを炭焼遺構とした。炭窯は北側斜面に平行して構築されていた。

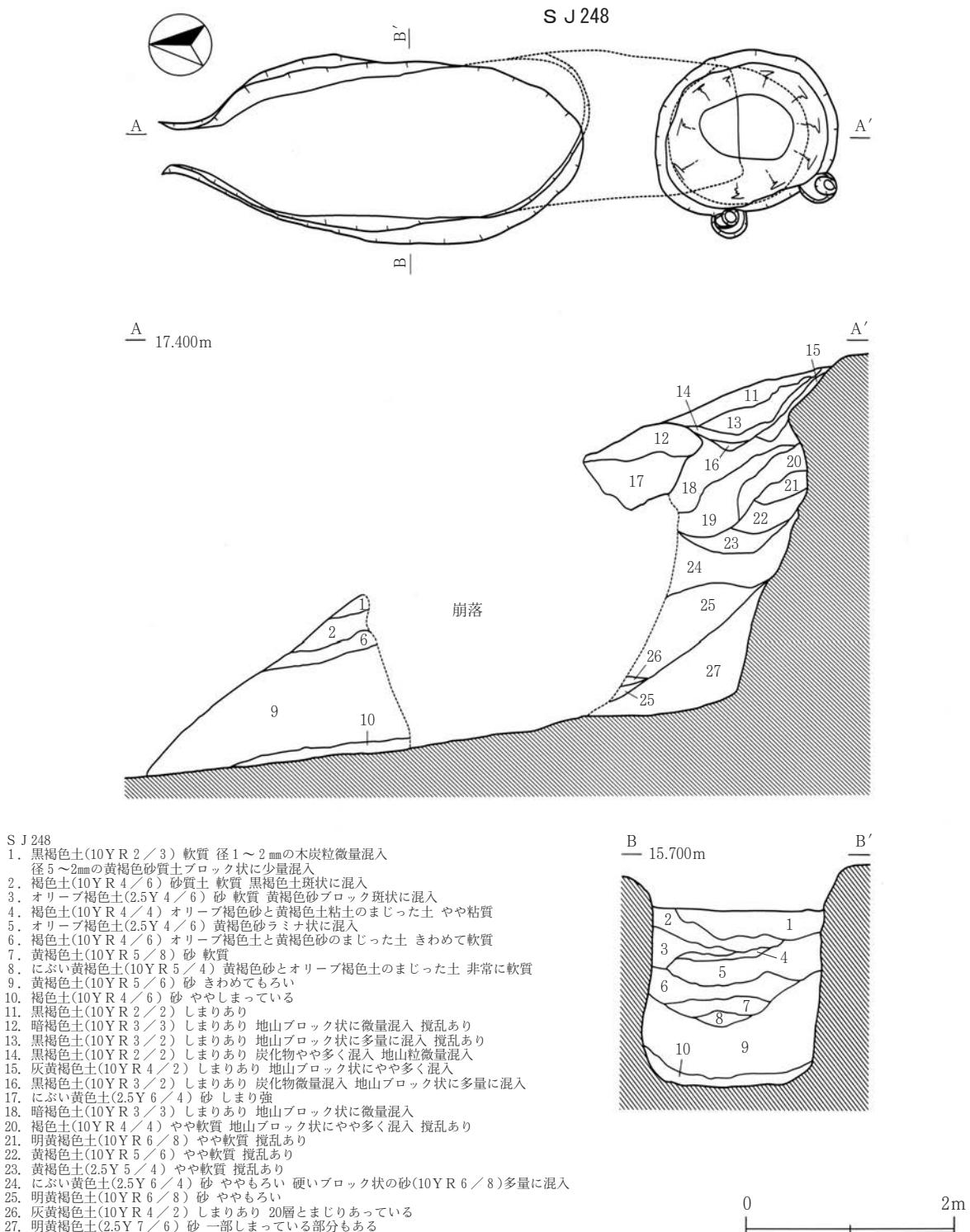
S J 248(第98図、図版5・11)

M B 54グリッドに位置する。黒褐色土の円形の落ち込みとして確認した。掘り下げたところ、斜面下方に伸びることが確認された。長軸6.51m、短軸1.89mで、斜面上から斜面下の底面までの深さは4.10mである。かまぼこ形の窯体に煙出しの突出部が上に付いた形状で、断面はビーカー形を呈する。埋土は27層に分層した。底面から半ば程までが天井部の崩落土であった。半ば以上は潟西層由来の砂であるが流入したものであった。窯体底面にわずかながら段差があり、上部崩落部と対応する位置で屈曲する。

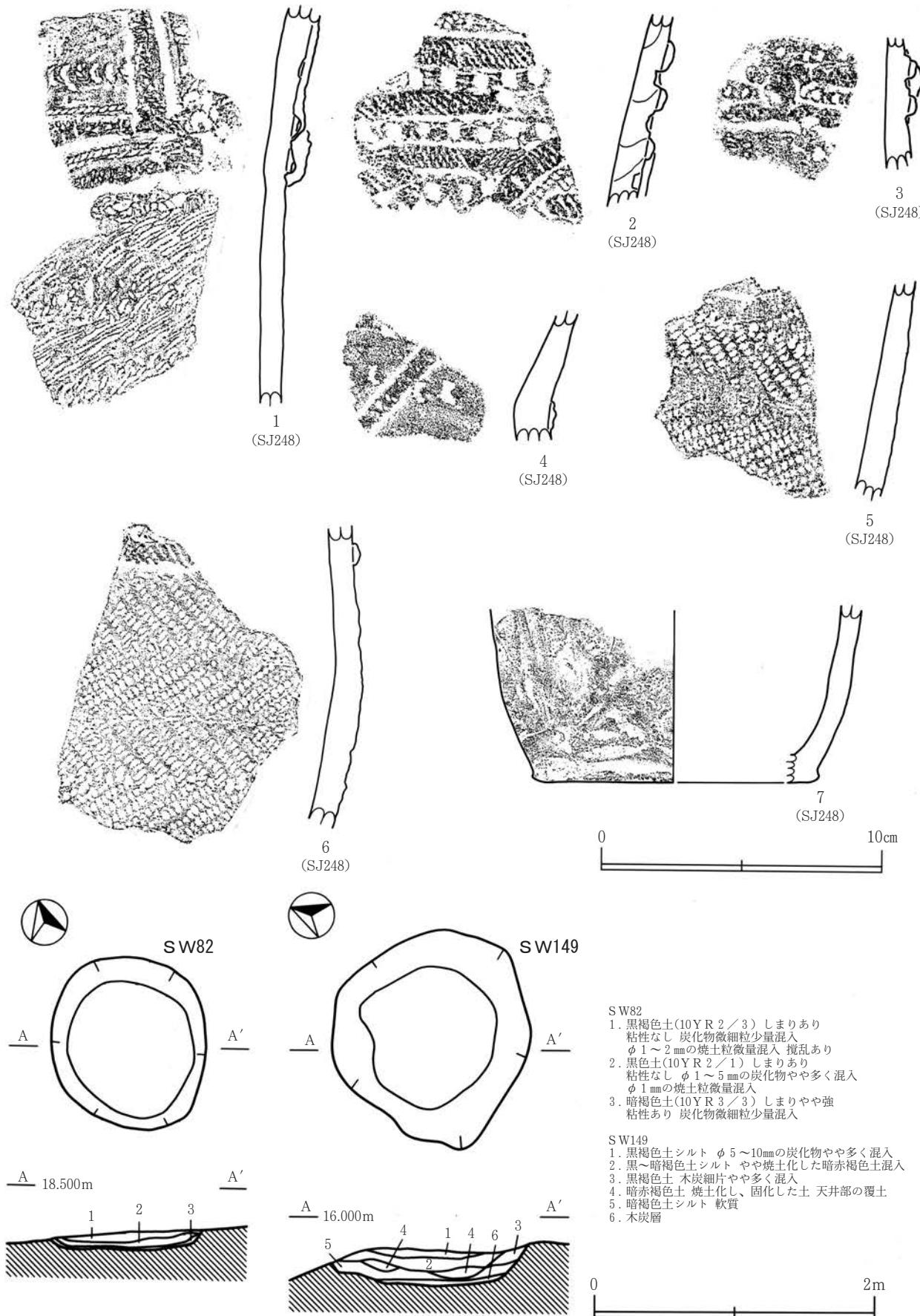
遺物は縄文土器片17点(図示したもの7点、第99図1～7)、二次加工のある剥片2点、剥片6点が出土した。出土した土器はすべて深鉢である。1は円筒形を呈し、口縁部と体部との境には隆帯が貼り付けられ、口縁部文様帶を区画している。口縁部文様帶には隆帯が縦方向に貼り付けられ、隆帯間は押圧縄文や爪形状撚糸圧痕文により充填される。2～4は隆帯が貼り付けられ、隆帯間は刺突により充填される。隆帯上にはキザミ目状の撚糸圧痕文が施文される。6は口縁部と体部を区画する隆帯上にキザミ状の撚糸圧痕文が施文され、体部には羽状縄文が施される。7は底径9.8cmで、表面は無文である。形態等から古代に属するものと考えられる。

S W82(第99図、図版5)

M C 46グリッドに位置する。炭化物と焼土を含む黒褐色土の落ち込みとして確認した。径1.30m×1.14mの円形を呈する。深さは0.14m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は3層に分層した。底面はほぼ平坦である。時期の分かる遺物は出土しなかったが、出土した炭化物についてC 14年代測定をおこなった(第5章)。測定結果から、古代に属するものと考えられる。



第98図 S J 248



第99図 SJ248出土遺物、SW82・149

S W149(第99図)

L K60グリッドに位置する。径1.57m×1.42mの円形を呈する。深さは0.29m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は6層に分層した。6層は木炭層である。木炭層上部には、締まった暗褐色土に砂質土が混じった土が堆積していた。炭焼きの際に覆土した土と考えられる。底面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。剥片が1点出土した。時期の分かる遺物は出土しなかったが出土した炭化物についてC14年代測定をおこなった(第5章)。測定結果から、古代に属するものと考えられる。

4 鍛冶炉

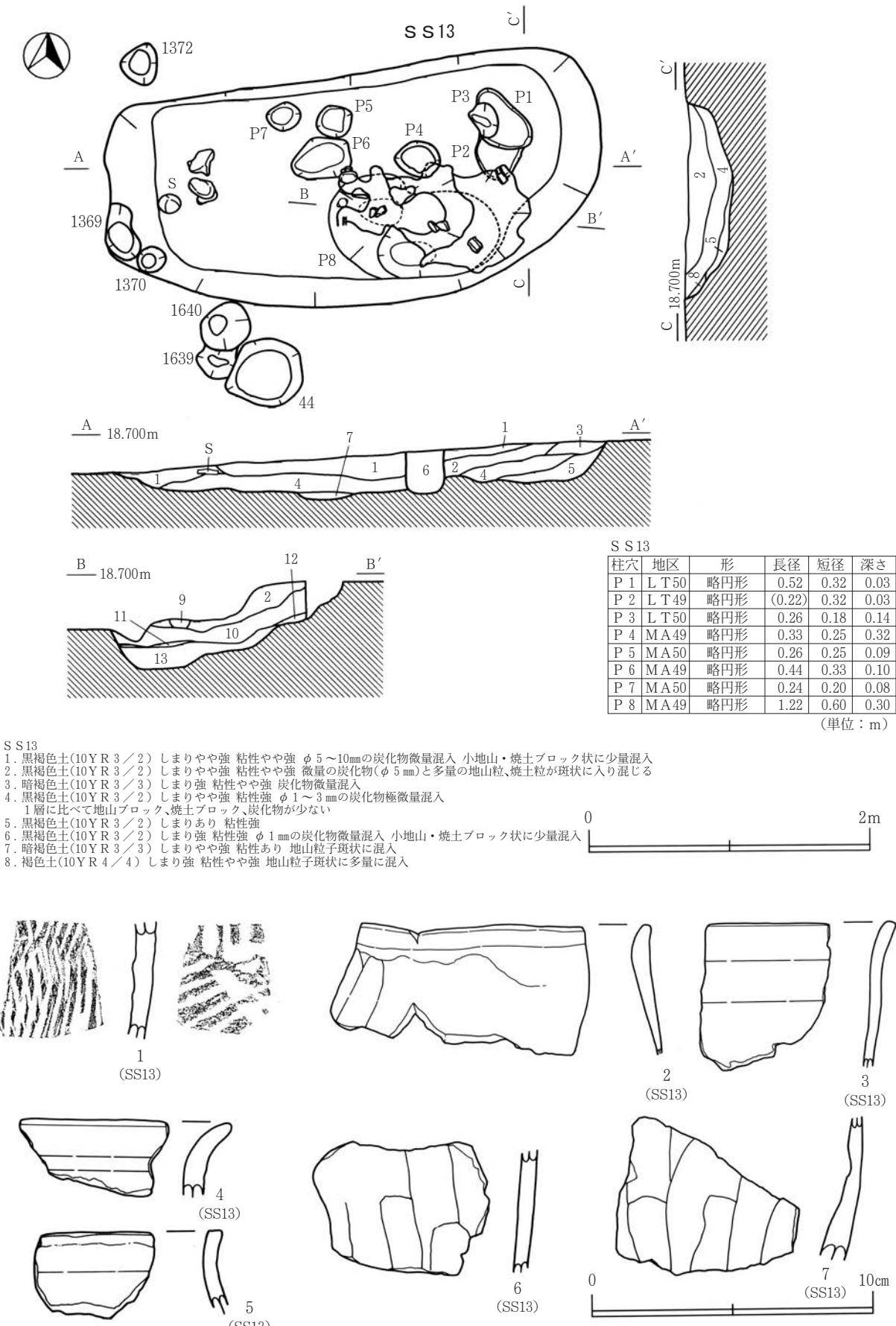
鍛冶炉は台地平坦面に位置する。いずれも隅丸方形の掘り込みの上に炉を構築しており、周辺から数基の柱穴を検出した。

S S13(第100図、図版5・11)

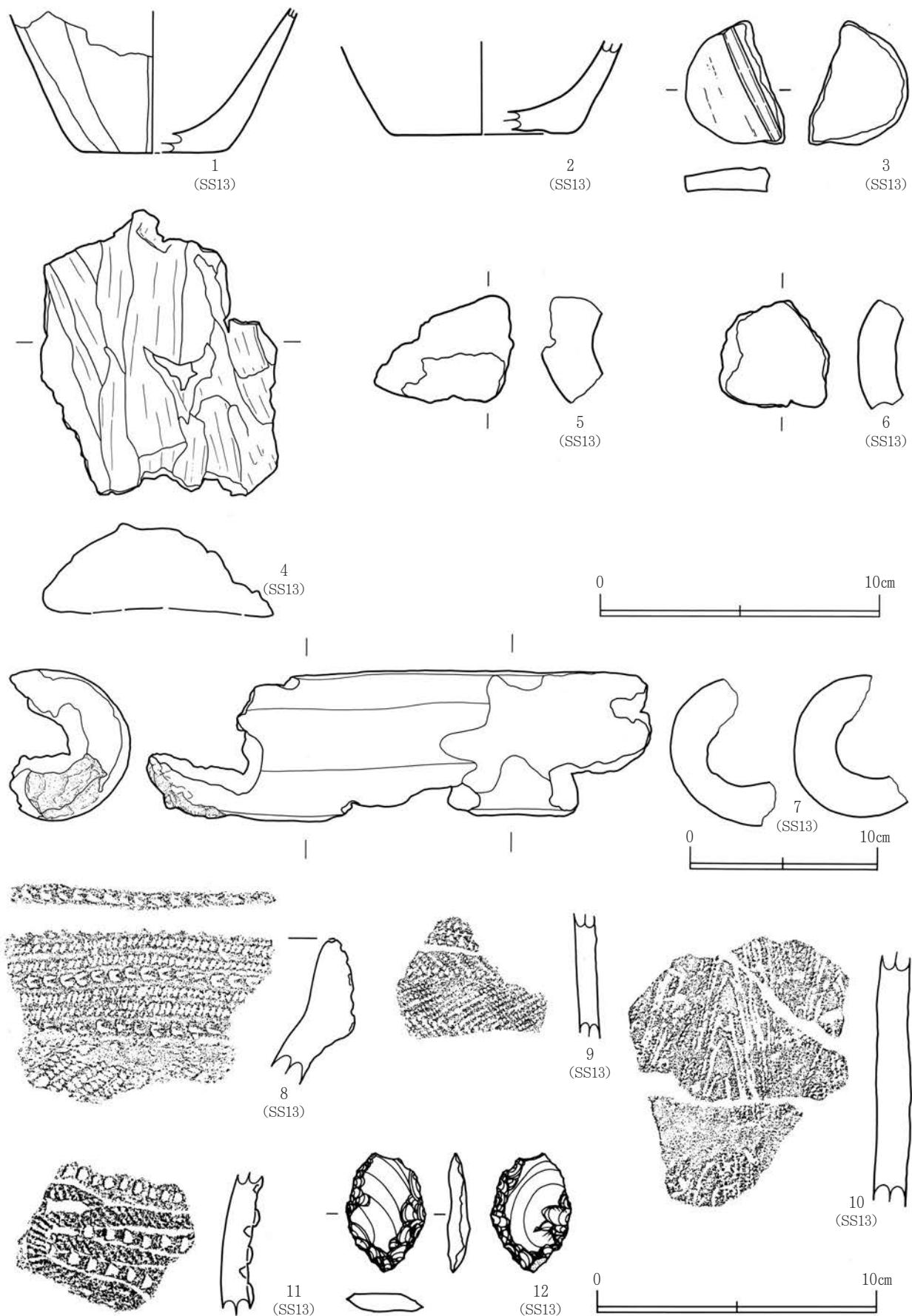
MA49グリッドに位置する。SD04と重複し、本遺構が古い。掘り込みは長軸3.53m、短軸1.67mの隅丸方形を呈する。深さは0.36m～0.63m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は13層に分層した。北東隅から上層に焼土・炭化物を多量に含む不整形のプランを検出した。上層に炉壁の一部や粘土塊(9層)を検出したことから、一段低く掘り込んで埋め戻した(10～13層)上に炉を構築したものと考えられる。周囲からは8基の柱穴を検出した(P1～8)。須恵器1点(第100図1)、土師器9点(第100図2～7、第101図1～3)、羽口4点(第101図4～7)、鉄滓1点、縄文土器片8点(図示したもの4点、第101図8～11)、削器1点(第101図12)が出土した。第100図1は須恵器の甕の体部で、表裏面ともタタキメが見られる。2～5は土師器の甕の口縁部で、2の表面は一部ケズリで調整される。3～5はナデ調整である。6・7は土師器甕の体部で、表面は縦方向のケズリで調整される。第101図1・2は土師器甕の体部下半から底部にかけて残存している。1の底径は5.3cm、表面は縦方向のケズリで調整される。2の底径は6.4cmで、表面は摩滅しており、調整は不明である。3は土師器片を円形に成形したものである。7の羽口表面には鉄滓が付着している。8は深鉢で、平坦口縁を呈する。口唇部には刺突が、口縁部には横位の押圧縄文が2条ずつ施文され、間に半截竹管の押圧による爪形文が施される。体部にはLR縄文が施文される。9～11は深鉢で、9の表面には羽状縄文が、10の表面には木目状撲糸文が施文される。11は上にキザミ状の撲糸压痕文が施された隆帯が貼り付けられ、隆帯間は刺突で充填される。出土遺物から古代に属するものと考えられる。

S S147(第102図、図版5)

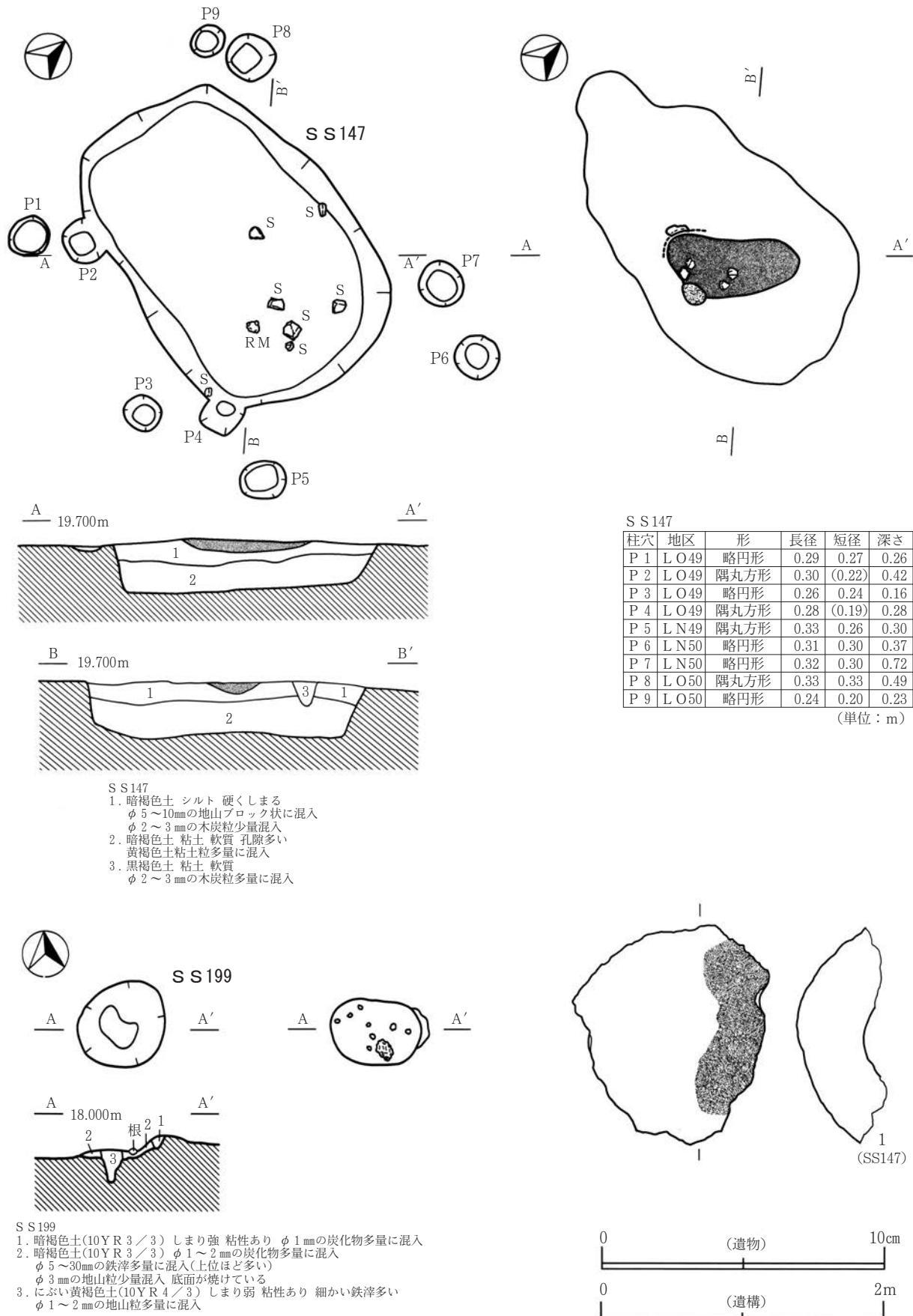
LO50グリッドに位置する。確認面では長軸0.80m、短軸0.40mの楕円形の範囲に木炭が集中して検出され、その中から羽口や焼礫が出土した。木炭層の南西側に接して、外側が青灰色に還元した粘土による壁体を検出した。木炭層下の掘り込みは長軸2.40m、短軸1.80mの隅丸方形を呈し、深さは0.39mである。断面は緩やかなU字状を呈する。一度大きく掘り込み、粘土(2層)とシルト(1層)で埋め立てた上に炉を構築したものと考えられる。周囲から9基の柱穴を検出した(P1～9)。炉の上部に掘立柱建物跡が伴うものと考えられる。遺物は、羽口1点(第102図1)、鉄滓1点が出土した。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。



第100図 S S 13と出土遺物



第101図 SS13出土遺物



第102図 SS147と出土遺物、SS199

S S 199(第102図)

L S 55グリッドに位置する。多量の鉄滓の分布として確認した。径0.68m×0.59mの略円形を呈する。深さは0.17m。断面は緩やかなU字状を呈する。確認面や埋土中から多量の鉄滓が出土した。出土遺物から古代に属するものと考えられる。

5 焼土遺構

S N 135(第77・103図)

M E 50グリッドに位置する。S I 140と重複する。本遺構が新しい。不整形を呈する。焼土は長さ0.82m、幅0.70mの範囲に分布し、厚さは2～8cmであった。焼土下部の掘り込みは確認されなかった。断面は不整なU字形を呈する。遺物は出土しなかった。重複関係から、古代あるいは古代以降に属するものと考えられる。

S N 415(第103図)

M A 51グリッドに位置する。S I 144、S K P 1462と重複する。本遺構が新しい。不整円形を呈する。焼土は長さ0.60m、幅0.57mの範囲に分布する。厚さは0.08～0.11mである。断面は緩やかなU字形を呈する。埋土は10層に分層した。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。鉄滓が6点出土した。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

6 溝状遺構

S D 04(第104図・付図3)

L T 46～48、M A 48・49グリッドに位置する。南部平坦面を南北に縦断する溝である。S I 01、S K P 341・1170・1171・1731と重複し、本溝跡が古い。S S 13と重複し本溝跡が新しい。幅0.33m～0.40mで、深さは0.12m～0.15mである。断面はビーカー形を呈する。埋土は2層に分層した。自然堆積である。底面は凹凸がある。遺物は出土しなかったが、重複関係から、古代に属するものと考えられる。

S D 21(第104図)

L O～L R 48グリッドに位置する。S K P 109・1105・1106と重複し、本溝跡が古い。S K 22と重複し、本溝跡が新しい。幅0.19m～0.34m、確認長9.31mで、深さは0.09m～0.17mである。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。遺物は出土しなかったが、重複関係と形態等から、古代に属するものと考えられる。

S D 213(第115図・付図2)

M B 53・54グリッドに位置する。南北に伸びる溝跡である。北側は斜面下方に向かい、途中で切れている。S K P 1730と重複し、本溝跡が古い。S K 381と重複し、本溝跡が新しい。幅0.19m～1.13m、全長5.78mで、深さは0.17m～0.25mである。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦であるが、北に向かって深くなる。遺物は出土しなかったが、形態や方向から、古代に属するものとした。

S D251(第105図、図版5)

LM・LN52、LO48～52、LP49～52グリッドに位置する。東側が開いた「コ」字状を呈する。幅0.56m～0.16m、長軸14.16mで、深さは0.20m～0.56mである。北側にいくほど深くなる。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は5層に分層した。1層は地山がブロック状に多く入り込んでおり、人為堆積と考えられる。底面はほぼ平坦である。「コ」字内には多数の柱穴があり、内部に2間×2間の掘立柱建物跡を伴う可能性が考えられる(SKP 224-220-164-998-882-1153-499あるいは549)。羽口・鉄滓・多量の礫が南辺(F-H間)から集中して出土した。礫の中には熱を受けているものがあり、東側に位置するSS147から流れ込んだものと考えられる。

遺物は土師器片3点(図示したもの1点、第106図1)、羽口3点(第106図2～4)、鉄滓1点(第106図5)、縄文土器片73点(図示したもの6点、第106図6～11)、搔器1点(第106図12)、二次加工のある剥片2点(図示したもの1点、第106図13)、剥片39点が出土した。1は土師器の甕の口縁部で、表面はナデ調整である。6～11は深鉢の体部である。出土遺物から、古代に属するものと考えられる。

S D253(第104図)

ME44グリッドに位置する。幅0.46m、全長2.19mで、深さは0.08m～0.11mである。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。遺物は出土しなかったが、形態や方向等から、古代に属するものとした。

S D370(第107図)

LH・LI58グリッドに位置する。幅1.93m、深さは0.77mである。調査区外にのびており、確認長は3.09mである。断面は南壁はビーカー形を呈し、北壁は漏斗状を呈する。埋土は4層に分層した。自然堆積で、3・4層は壁の崩落土である。底面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。遺物は出土しなかったが、形態や方向等から、古代に属するものとした。

7 柱穴列

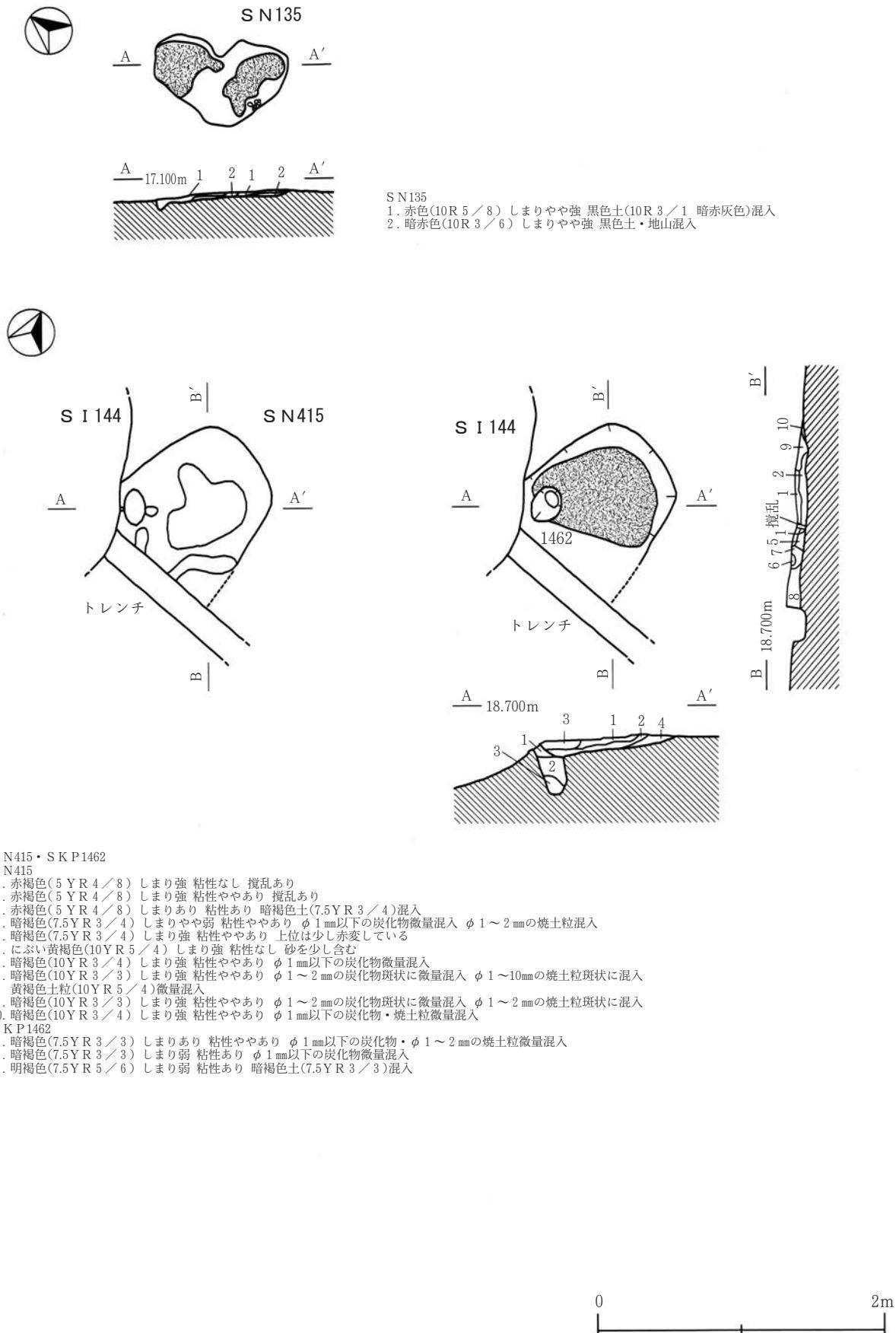
調査区東側の斜面に位置し、段状地形の上下に平行している。掘立柱建物跡の可能性が考えられたが、比高差が0.94m～1.13mある斜面に位置していたため、柱穴列として扱った。

S A175(第108図)

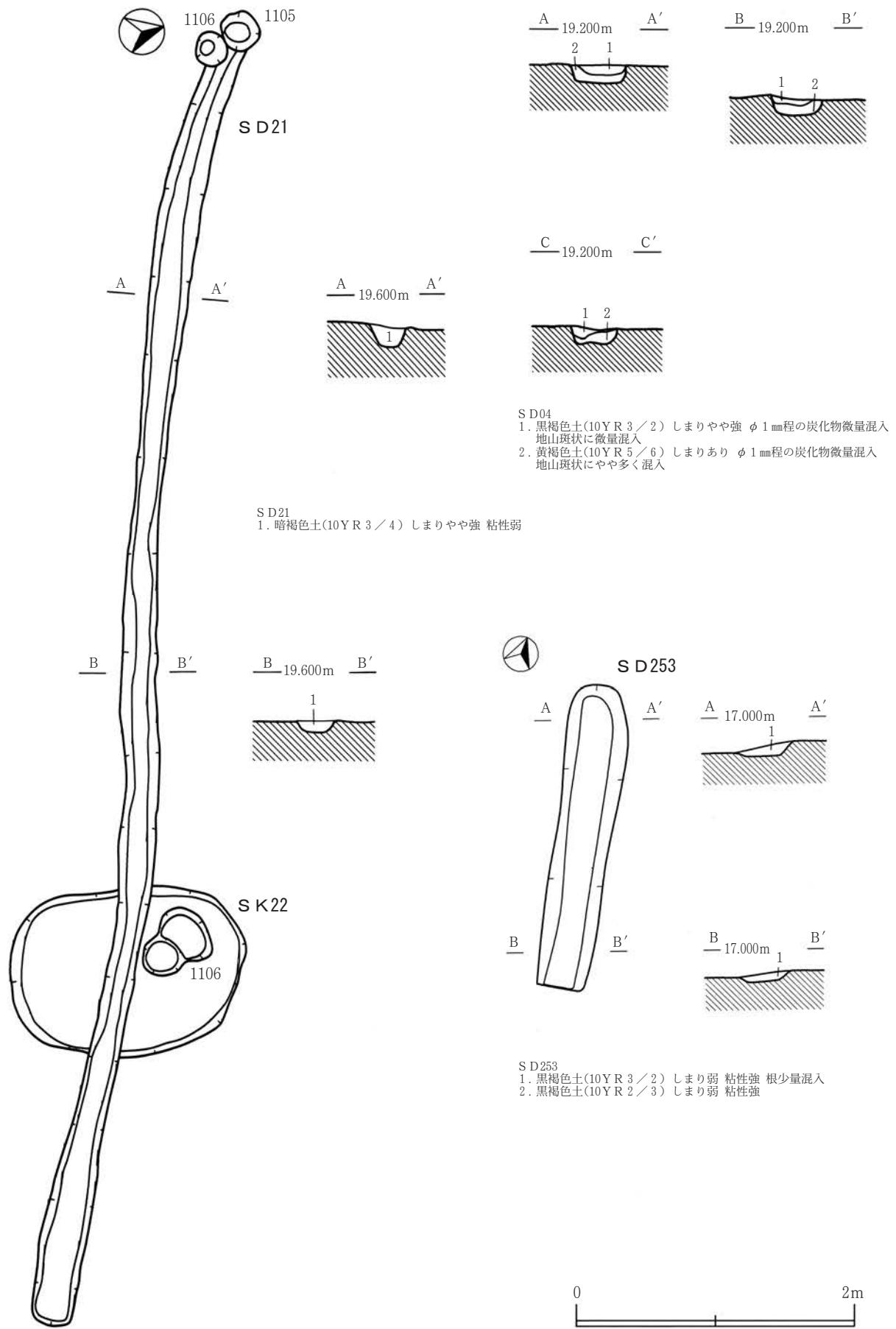
LJ55～LM56グリッドに位置する。一直線上に並ぶ柱穴として確認した。全長は11.95mで4基の柱穴により構成される。柱間は東から3.74m、3.95m、4.26mである。柱穴は略円形・隅丸方形・不整形を呈する。径は0.67m～0.97m、深さは0.17m～0.41mである。北側に隣接するSA209と平行する。P2からは剥片が1点、P3からは焼けた礫が2点出土した。形態や方向等から、古代に属するものとした。

S A209(第108図)

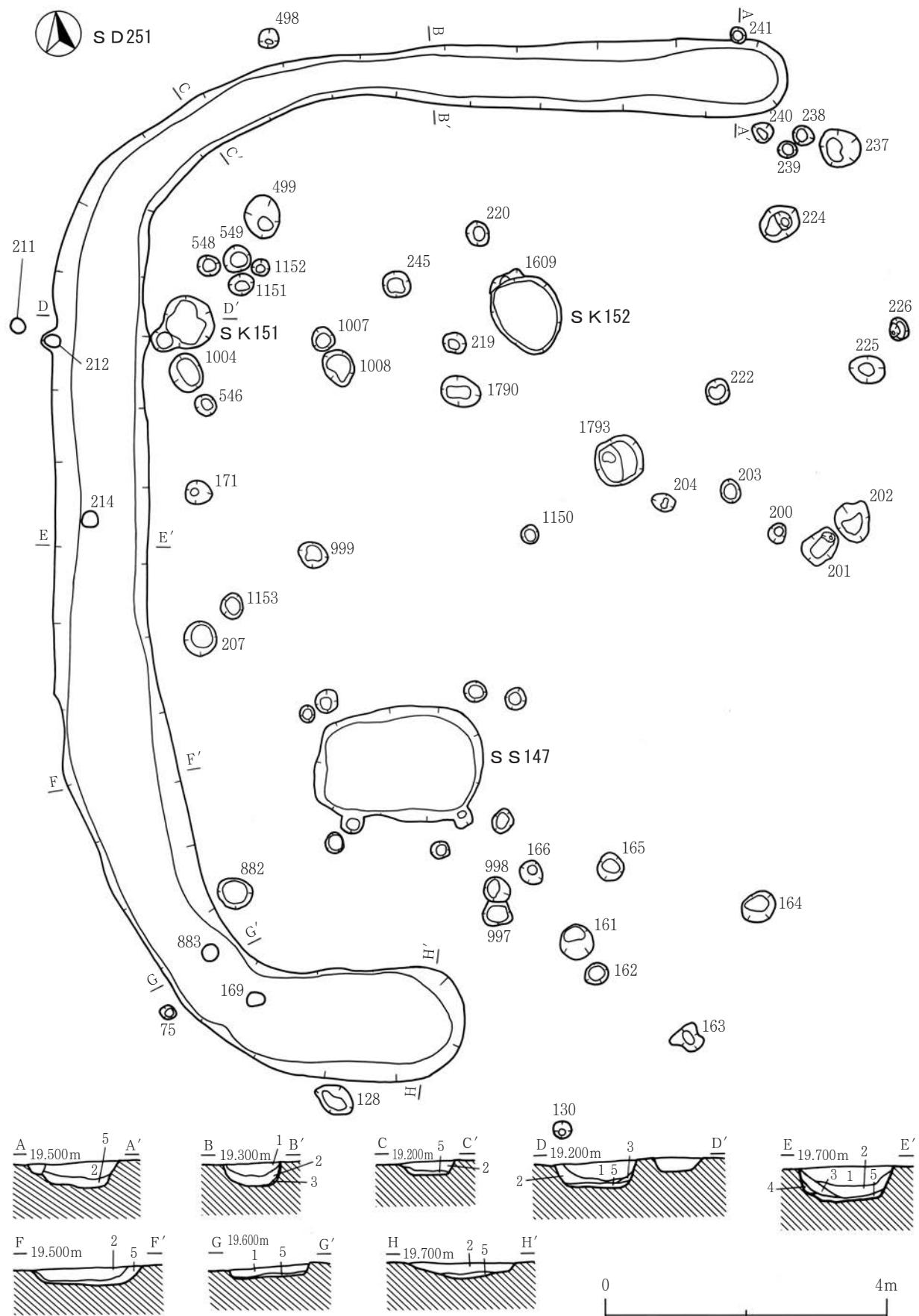
LJ56～LM57グリッドに位置する。一直線上に並ぶ柱穴として確認した。全長は15.04mで5基の柱穴により構成される。柱間は東から3.75m、4.10m、3.30m、3.89mである。柱穴は略円形・楕円形・不整形を呈する。径は0.53m～0.80m、深さは0.05m～0.20mである。南側に隣接するSA175と平行する。遺物は出土しなかったが、形態や方向等から、古代に属するものとした。



第103図 S N135・415

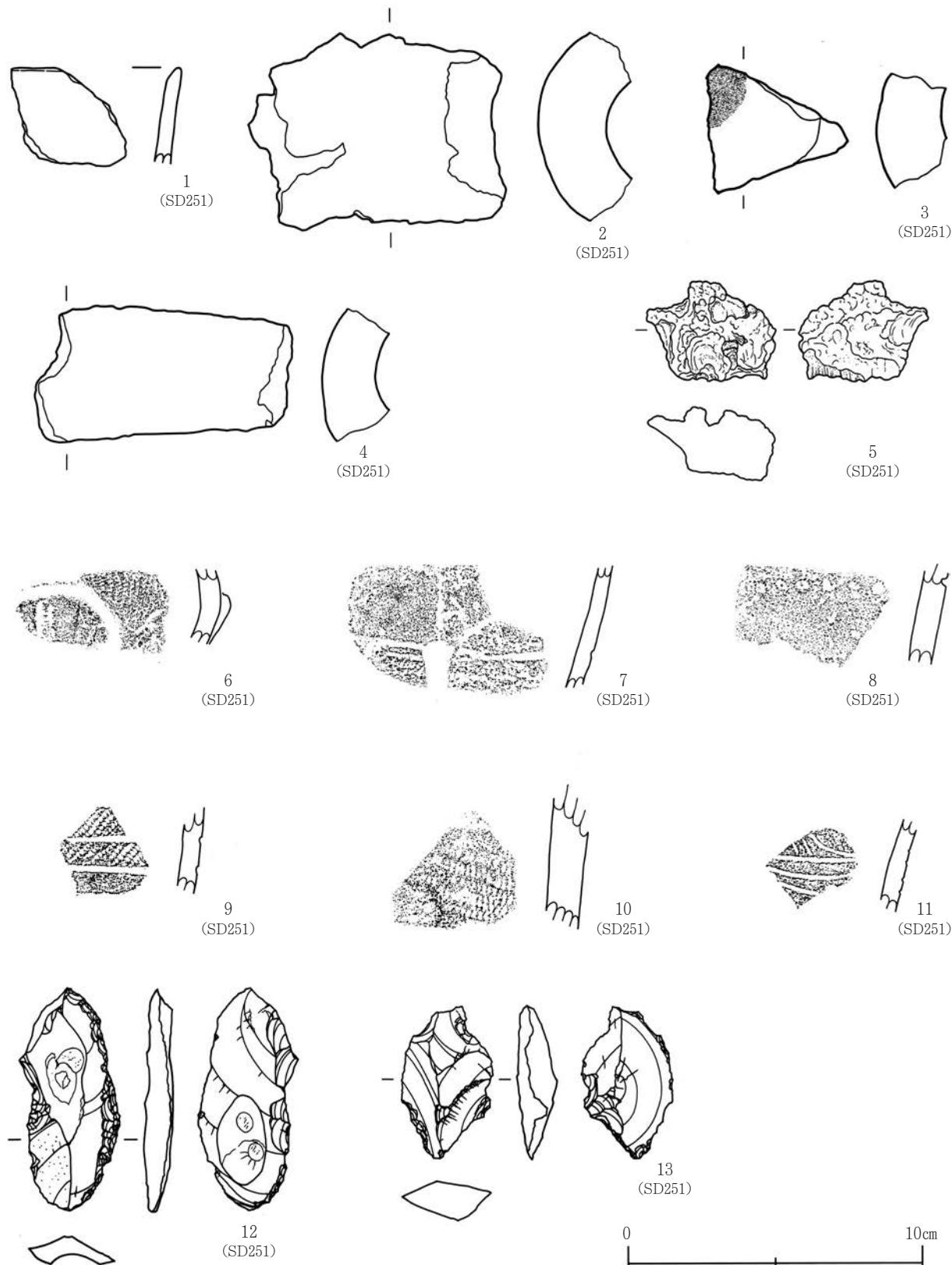


第104図 S D21・04・253

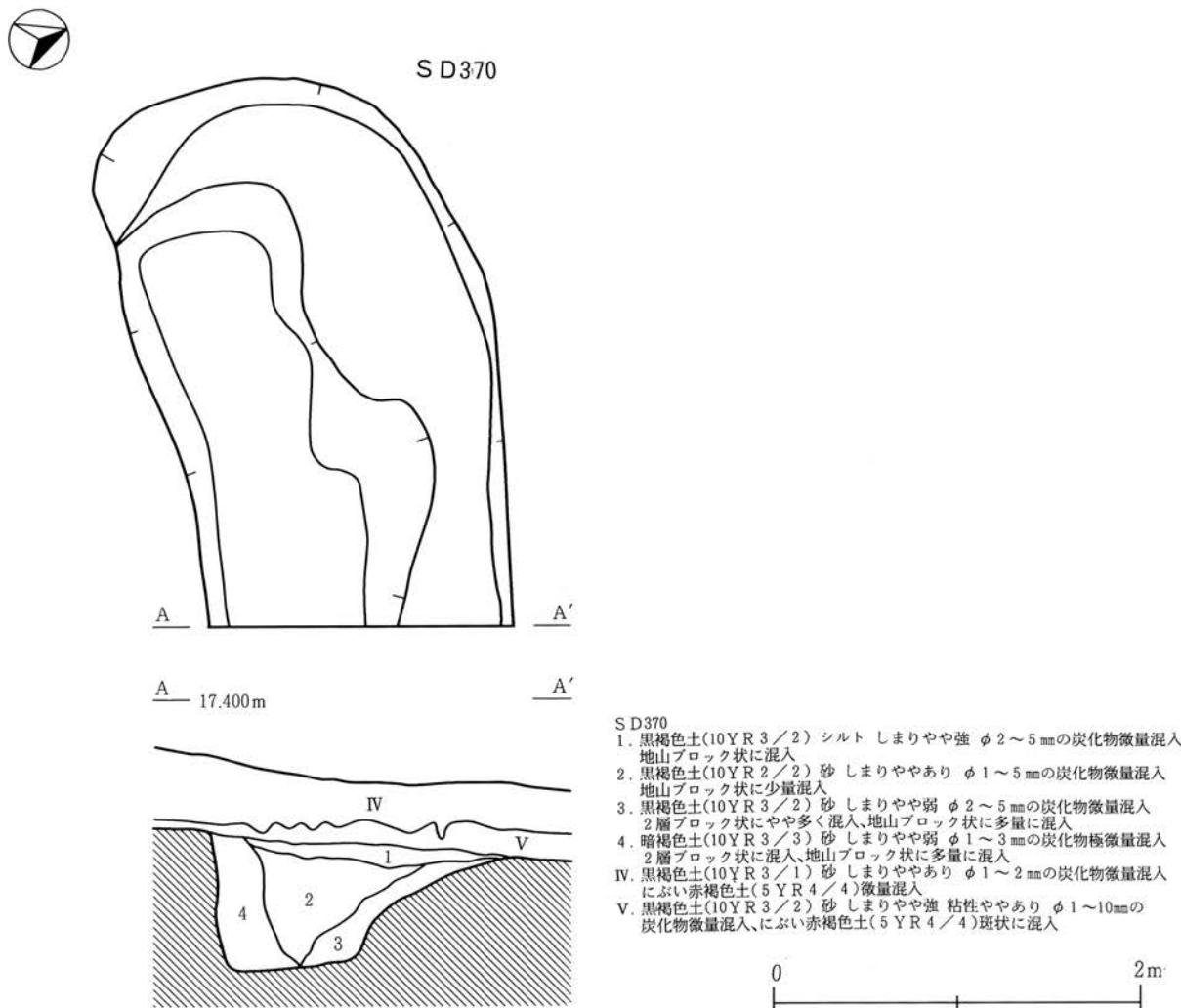


第105図 S D 251

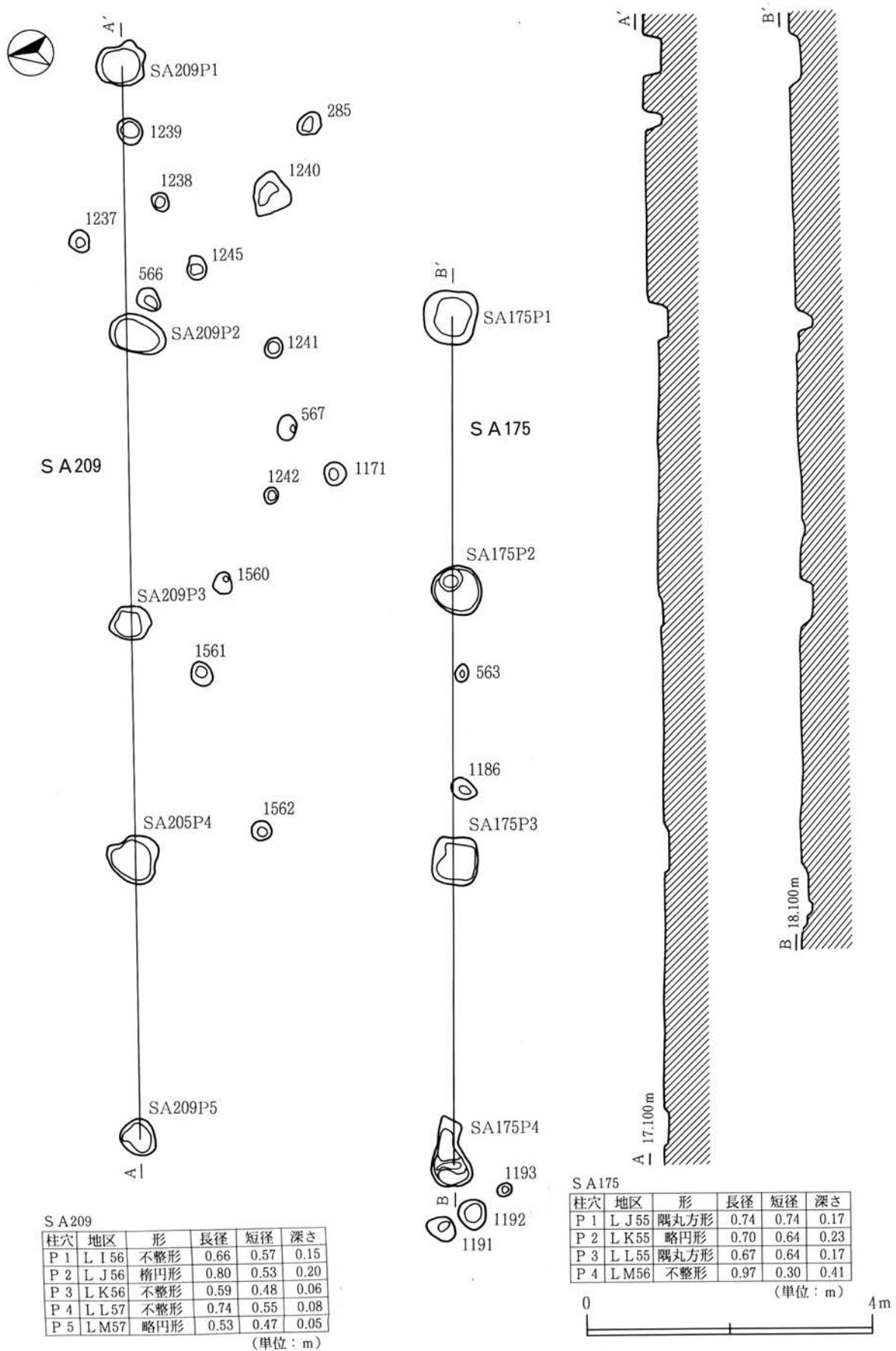
S D 251
 1. 暗褐色土(10Y R 3 / 3) しまり強 ϕ 1 ~ 3 mm程の炭化物混入 地山ブロック状に多量に混入 焼土粒微量混入
 2. 黒褐色土(10Y R 3 / 2) しまりあり ϕ 1 ~ 3 mm程の炭化物少量混入 ϕ 5 mm程の地山粒混入
 ϕ 1 mm程の赤褐色土粒(焼土か)微量混入
 3. 黒褐色土(10Y R 2 / 3) しまりやや弱 ϕ 1 mm程の炭化物少量混入 地山粒状に混入
 4. 暗褐色土(10Y R 3 / 4) しまりやや弱 ϕ 1 mm程の炭化物少量混入 地山粒状に混入
 5. 暗褐色土(10Y R 3 / 4) しまり強 ϕ 1 mm程の炭化物微量混入 地山ブロック状に多量に混入



第106図 S D 251出土遺物



第107図 SD 370



第108図 SA 175・209

第4節 時期不明の遺構

時期不明の遺構は、土坑94基・焼土遺構12基・溝状遺構4条・その他の遺構3基・柱穴1402基を検出した。縄文時代あるいは古代に属するものもあると考えられるが、時期を決定する遺物が出土しなかったため、時期不明として一括した。

1 土坑

S K02(第109図)

MA45グリッドに位置する。径0.22m×0.20mの円形を呈する。深さは0.10m。断面はビーカー形を呈する。埋土は2層に分層した。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K03(第109図)

MA45グリッドに位置する。径0.62m×0.51mの略円形を呈する。深さは0.22m。断面はビーカー形を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K06(第109図)

LT46グリッドに位置する。長軸0.73m、短軸0.46mの楕円形を呈する。深さは0.26m。断面は擂鉢状を呈する。埋土は1層である。底面は南に向かって低く傾斜する。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K08(第109図)

LT46・47グリッドに位置する。径0.69m×0.73mの円形を呈する。深さは0.22m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K18(第109図)

LR46グリッドに位置する。SKP153と重複し、本土坑が古い。径0.85m×0.66mの略円形を呈する。深さは0.17m。断面はビーカー形を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K29(第109図)

LP51グリッドに位置する。径0.53m×0.44mの略円形を呈する。深さは0.17m。断面はビーカー形を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K31(第109図)

MA45グリッドに位置する。南側が木の根により搅乱されているが、長軸0.87m、短軸0.59mの楕円形を呈する。深さは0.26m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K32(第109図)

MA45グリッドに位置する。径0.72m×0.68mの円形を呈する。深さは0.19m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K34(第109図)

MA・MB45・46グリッドに位置する。長軸0.90m、短軸0.57mの楕円形を呈する。深さは0.25m。断面

はビーカー形を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K42(第109図)

M A46グリッドに位置する。S K313と重複し、本土坑が新しい。長軸0.61m、短軸0.46mの不整形を呈する。深さは0.24m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K44(第109図)

L T47グリッドに位置する。長軸1.18m、短軸0.86mの楕円形を呈する。深さは0.24m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はやや凹凸がある。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K50(第110図)

M A48グリッドに位置する。S K P1778と重複し、本土坑が古い。残存部長軸0.68m、短軸0.44mの楕円形を呈する。深さは0.12m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K54(第110図)

M B45グリッドに位置する。径1.08m×0.86mの略円形を呈する。深さは0.27m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦であるが、南東に向かって緩やかに低く傾斜する。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K55(第110図)

M B45・46グリッドに位置する。径1.21m×0.98mの略円形を呈する。深さは0.20m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は中華鍋底状である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K57(第110図)

M B45グリッドに位置する。長軸1.45m、短軸0.99mの楕円形を呈する。深さは0.29m。断面はビーカー形を呈する。埋土は2層に分層した。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K69(第110図)

M B49グリッドに位置する。長軸0.85m、短軸0.60mの楕円形を呈する。深さは0.18m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K74(第110図)

M C45グリッドに位置する。径0.47m×0.49mの略円形を呈する。深さは0.10m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K76(第110図)

M C45グリッドに位置する。長軸2.28m、短軸1.70mの楕円形を呈する。深さは0.33m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期

は不明である。

S K83(第110図)

M C46グリッドに位置する。径1.06m×0.96mの略円形を呈する。深さは0.26m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K84(第111図)

M C47グリッドに位置する。径0.60m×0.47mの略円形を呈する。深さは0.13m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K85(第111図)

L Q54グリッドに位置する。長軸1.01m、短軸0.79mの方形を呈する。深さは0.10m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K96(第111図)

M D44グリッドに位置する。S K P 688と重複し、本土坑が新しい。径1.08m×0.91mの略円形を呈する。深さは0.17m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K99(第111図)

M D46グリッドに位置する。S K P 392と重複し、本土坑が古い。残存部長軸0.52m、短軸0.65mの楕円形を呈する。深さは0.22m。断面はビーカー形を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K101(第111図)

M D46グリッドに位置する。径0.91m×0.60mの略円形を呈する。深さは0.19m～0.27m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は西側に向かって緩やかに低く傾斜する。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K102(第111図)

M D46グリッドに位置する。S K103と重複し、本土坑が新しい。径0.65m×0.55mの略円形を呈する。深さは0.32m。断面は漏斗状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K103(第111図)

M D46グリッドに位置する。S K102と重複し、本土坑が古い。北側がS K102により削平されているが、残存部から径0.53mの略円形を呈するものと考えられる。深さは0.16m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K118(第111図)

M D49グリッドに位置する。径0.66m×0.64mの略円形を呈する。深さは0.27m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は中華鍋底状を呈する。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K126(第111図)

M E 45グリッドに位置する。S K P 1749と重複し、本土坑が古い。長軸0.92m、短軸0.89mの隅丸方形を呈する。深さは0.21m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K128(第111図)

M E 45グリッドに位置する。径0.78m×0.65mの略円形を呈する。深さは0.45m。断面は漏斗状を呈する。埋土は3層に分層した。底面は西側に向かって窪む。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K129(第112図)

M E 46グリッドに位置する。S K 130と重複し、本土坑が新しい。径0.84m×0.83mの円形を呈する。深さは0.16m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は北側に向かって緩やかに傾斜する。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K130(第112図)

M E 46グリッドに位置する。S K 129と重複し、本土坑が古い。南側がS K 129により削平されているが、残存部から径0.90mの略円形を呈するものと考えられる。深さは0.34m。断面は漏斗状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はやや凹凸があり、北側が低く窪む。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K131(第112図)

M E 46グリッドに位置する。S K P 1728・1729と重複し、本土坑が古い。大部分を削平されているが、残存部から径0.18mの略円形を呈するものと考えられる。深さは0.18m。断面はビーカー形を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K132(第112図)

MD 47グリッドに位置する。S K P 1732と重複し、本土坑が古い。北側がS K P 1732により削平されているが、長軸1.06m、残存部短軸1.02mの楕円形を呈する。深さは0.23m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は3層に分層した。自然堆積である。底面はほぼ平坦であるが、南側に向かって緩やかに傾斜する。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K133(第112図)

MD 48グリッドに位置する。S K P 1746と重複し、本土坑が新しい。径0.83m×0.60mの略円形を呈する。深さは0.33m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K136(第112図)

M F 48グリッドに位置する。S K P 449と重複し、本土坑が新しい。径1.46mの円形を呈する。深さは0.29m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は3層に分層した。自然堆積である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K143(第112図)

L Q 50グリッドに位置する。S K P 1103・1104と重複し、本土坑が古い。長軸1.26m、短軸0.91mの楕円形を呈する。深さは0.13m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦であ

る。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K158(第113図)

L M53グリッドに位置する。径1.72m×1.37mの略円形を呈する。深さは0.22m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K160(第112図)

L L52・53グリッドに位置する。径0.52m×0.41mの略円形を呈する。深さは0.15m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K161(第113図)

L K53グリッドに位置する。径0.72m×0.60mの略円形を呈する。深さは0.16m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K164(第113図)

L M53グリッドに位置する。長軸1.00m、短軸0.70mの橢円形を呈する。深さは0.16m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。自然堆積である。底面はほぼ平坦であるが、西側が一段低く窪む。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K165(第113図)

L K54グリッドに位置する。長軸1.48m、短軸0.94mの橢円形を呈する。深さは0.20m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面にはわずかに凹凸があり、東側が一段低く窪む。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K166(第113図)

L K54グリッドに位置する。径0.72m×0.69mの略円形を呈する。深さは0.22m。断面はビーカー形を呈する。埋土は2層に分層した。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K168(第113図)

L M53グリッドに位置する。径0.56m×0.45mの略円形を呈する。深さは0.14m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K180(第113図)

L O56グリッドに位置する。径0.86m×0.70mの略円形を呈する。深さは0.12m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K195(第86図)

L R54グリッドに位置する。S K P1219と重複し、本土坑が古い。西側がS K P1219により削平されているが、長軸1.02m、残存部短軸0.58mの橢円形を呈するものと考えられる。深さは0.31m。断面は緩やかなU字状を呈する。底面は中央が一段低く窪む。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K206(付図4)

L K・L L58・59グリッドに位置する。長軸1.63m、短軸1.60mの橢円形を呈する。調査員の不手際に

より下端の記録がなく、断面形は不明である。埋土を不用意に掘り下げてしまい、堆積状況を確認できなかった。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 207(第113図)

L L 58グリッドに位置する。長軸1.75m、短軸1.10mの楕円形を呈する。深さは0.50m。断面は擂鉢状を呈する。埋土は3層に分層した。底面は中央に向かって緩やかに窪む。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 208(付図4)

L K・L L 58グリッドに位置する。長軸1.68m、短軸0.87mの楕円形を呈する。調査員の不手際により下端の記録がなく、断面形は不明である。埋土を不用意に掘り下げてしまい、堆積状況を確認できなかった。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 220(第113図)

L P 57グリッドに位置する。径0.61m×0.56mの略円形を呈する。深さは0.19m。断面は擂鉢状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 224(第114図)

L P 55グリッドに位置する。S K P 1747と重複し、本土坑が古い。長軸0.78m、短軸0.50mの楕円形を呈する。深さは0.18m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 226(第114図)

L Q 55グリッドに位置する。骨片を大量に含む黄褐色土の広がりとして確認した。長軸0.61m、短軸0.43mの楕円形を呈する。深さは0.09m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。上部からは骨片が集中して出土した。底面はほぼ平坦である。骨片のみの出土で、詳細な時期は不明である。骨についての第5章の自然科学分析に詳細がある。

S K 244(第114図)

M C 53グリッドに位置する。長軸0.52m、短軸0.32mの楕円形を呈する。深さは0.18m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 271(第114図)

M G 51グリッドに位置する。径0.53m×0.40mの略円形を呈する。深さは0.34m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦であるが、北側が一段低く窪む。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 272(第114図)

M G 51グリッドに位置する。長軸0.64m、短軸0.45mの楕円形を呈する。深さは0.17m。断面はビーカー形を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 279(第114図)

M I・M J 50・51グリッドに位置する。径0.99m×0.77mの略円形を呈する。深さは0.28m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明

である。

S K 280(第114図)

M H51グリッドに位置する。長軸1.27m、短軸0.90mの楕円形を呈する。深さは0.22m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は3層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 307(第75図)

L T46グリッドに位置する。S I 01の床面から検出した。径1.08m×0.96mの略円形を呈する。深さは0.23m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は4層に分層した。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 309(第114図)

L L52グリッドに位置する。S K P 1181と重複するが、新旧は不明である。径1.68m×1.37mの略円形を呈する。深さは0.24m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 310(第57図)

L Q48グリッドに位置する。S K 19、S D 312、S K P 681・992と重複する。S D 312、S K P 681・992より古く、S K 19より新しい。径0.86m×0.78mの略円形を呈する。深さは0.18m。断面は緩やかなU字形を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 313(第109図)

M A46グリッドに位置する。S K 42、S K P 687と重複する。S K 42より古く、S K P 687より新しい。径1.68m×1.57mの略円形を呈する。深さは0.16m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 317(第114図)

M C44グリッドに位置する。S K P 692と重複し、本土坑が古い。長軸0.64m、短軸0.45mの楕円形を呈する。深さは0.35m。断面はビーカー形を呈する。埋土は2層に分層した。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 318(第115図)

L L54グリッドに位置する。径0.71m×0.58mの略円形を呈する。深さは0.18m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 319(第75図)

L T46グリッドに位置する。S I 01と重複するが、新旧は不明である。径0.73m×0.58mの略円形を呈する。深さは0.20m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 321(第73図)

L R49・50グリッドに位置する。S K 392と重複し、本土坑が新しい。径0.60m×0.48mの略円形を呈する。深さは0.17m。断面は緩やかなU字形を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 336(第78・80図)

L O 54グリッドに位置する。S I 173の床面から検出した。S I 173 P 8と重複し、本土坑が古い。西側はS I 173 P 8により削平されているが、径 $0.48m \times 0.40m$ の略円形を呈する。深さは $0.30m$ 。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 344(第115図)

M J 51グリッドに位置する。径 $0.50m \times 0.46m$ の円形を呈する。深さは $0.14m$ 。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 345(第115図)

M J 50・51グリッドに位置する。S K P 1117と重複し、本土坑が古い。径 $0.72m \times 0.66m$ の円形を呈する。深さは $0.21m$ 。断面はビーカー形を呈する。埋土は2層に分層した。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 347(第69図)

L R 48グリッドに位置する。S K 282半截中に確認した。S K 282と重複し、本土坑が新しい。長軸 $0.52m$ 、短軸 $0.34m$ の楕円形を呈する。深さは $0.12m$ 。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 351(第78・80図)

L O 54グリッドに位置する。S I 173の床面から検出した。径 $0.55m \times 0.46m$ の略円形を呈する。深さは $0.26m$ 。断面はビーカー形を呈する。埋土は2層に分層した。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 360(第78・80図)

L N 54グリッドに位置する。S I 173の床面に検出した。S I 173 P 1と重複するが、本土坑が古い。東側はS I 173 P 1に削平されるが、径 $0.50m \times 0.46m$ の略円形を呈する。深さは $0.17m$ 。断面はビーカー形を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 361(第78・80図)

L P 54グリッドに位置する。S I 173 P 52、S K 445、S K P 1735と重複する。S I 173 P 52、S K P 1735より古く、S K 445より新しい。長軸 $0.60m$ 、短軸 $0.47m$ の楕円形を呈する。深さは $0.12m$ 。埋土は2層に分層した。一段低く窪む。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 364(第78・80図)

L P 54グリッドに位置する。S I 173の床面から検出した。S N 295、S K P 1733と重複するが、本土坑が古い。北側がS N 295、S K P 1733により削平される。残存部長軸は $0.52m$ で、略円形あるいは楕円形を呈すると考えられる。断面はビーカー形を呈する。埋土は4層に分層した。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 372(第115図)

L I 58・59グリッドに位置する。径 $0.71m \times 0.71m$ の円形を呈する。深さは $0.52m$ 。断面はビーカー形を呈する。埋土は1層である。底面は西側に向かって傾斜する。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不

明である。

S K373(第115図)

L N56グリッドに位置する。長軸0.81m、短軸0.44mの橢円形を呈する。深さは0.24m。断面はビーカー形を呈する。埋土は3層に分層した。2層中には骨片が多量に含まれる。底面はほぼ平坦である。剥片1点が出土した。遺構の詳細な時期は不明である。

S K374(第78・81図)

L P54グリッドに位置する。S I 173の床面から検出した。S K375、S K P1417と重複する。S K P1417より古く、S K375より新しい。長軸1.30m、短軸0.68mの橢円形を呈する。深さは0.18m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は3層に分層した。底面はやや凹凸があるが、ほぼ平坦である。剥片1点が出土した。遺構の詳細な時期は不明である。

S K381(第115図)

M B53グリッドに位置する。S D213と重複し、本土坑が古い。径1.25m×1.11mの略円形を呈する。深さは0.25m。断面は緩やかなU字形を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦であるが、北に向かって緩やかに低く傾斜する。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K382(第115図)

L R51グリッドに位置する。径0.67m×0.60mの略円形を呈する。深さは0.17m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は南に向かって緩やかに傾斜する。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K383(第115図)

M C47・48グリッドに位置する。径0.67m×0.54mの略円形を呈する。深さは0.07m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K384(第115図)

M C48グリッドに位置する。長軸1.07m、短軸0.77mの橢円形を呈する。深さは0.50m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦であるが、南側が一段低く窪む。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K385(第116図)

M C47グリッドに位置する。S K P1347と重複し、本土坑が新しい。長軸0.84m、短軸0.61mの橢円形を呈する。深さは0.18m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K387(第116図)

M D50グリッドに位置する。径0.72m×0.74mの略円形を呈する。深さは0.21m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K390(第116図)

L P55グリッドに位置する。径0.70m×0.64mの略円形を呈する。深さは0.09m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は中華鍋底状を呈する。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K391(第116図)

L P・L Q57グリッドに位置する。S X223と重複し、本土坑が古い。西側はS X223により削平されているが、長軸2.54m、残存部短軸1.72mの略円形を呈する。深さは0.36m。断面は漏斗状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K395(第117図)

M F52グリッドに位置する。径1.54m×0.48mの略円形を呈する。深さは0.21m。断面はビーカー形を呈する。埋土は3層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K396(第117図)

M G52グリッドに位置する。径0.60m×0.50mの略円形を呈する。深さは0.52m。断面はビーカー形を呈する。埋土は4層に分層した。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K422(第117図)

L Q48グリッドに位置する。S K423、S K P1563と重複し、本土坑が古い。西側がS K423により削平されているが、径0.94mの略円形を呈すると考えられる。深さは0.18m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K423(第117図)

L Q48グリッドに位置する。S K422と重複し、本土坑が新しい。長軸1.02m、短軸0.65mの橢円形を呈する。深さは0.20m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K428(第117図)

L T52グリッドに位置する。S K P1663・1664・1665と重複する。S K P1663・1664より古く、S K P1665より新しい。径1.39m×1.10mの略円形を呈する。深さは0.08m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はわずかに凹凸があるが、ほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K430(第117図)

L S52グリッドに位置する。S K P1660・1661・1662と重複する。S K P1661より新しい。S K P1660・1662との新旧は不明である。径1.28m×1.01mの略円形を呈する。深さは0.16m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。石器剥片が2点出土した。遺構の詳細な時期は不明である。

S K432(第117図)

L R52グリッドに位置する。長軸0.99m、短軸0.76mの不整形を呈する。深さは0.26m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は2層に分層した。底面は中央が低く窪む。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K443(第69図)

L R48グリッドに位置する。S K282の半截中に確認した。S K282と重複し、本土坑が新しい。長軸1.46m、短軸0.57mの橢円形を呈する。深さは0.33m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 446(第29図)

L S 51グリッドに位置する。S I 297と重複し、本土坑が新しい。径0.72m×0.60mの略円形を呈する。深さは0.20m。断面はビーカー形を呈する。埋土を不用意に掘り下げてしまい、堆積状況を確認できなかった。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S K 447(第117図)

L T 51グリッドに位置する。長軸0.80m、短軸0.51mの楕円形を呈する。深さは0.30m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は南に向かって低く傾斜する。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

2 焼土遺構

S N 142(第118図)

L S 47・48グリッドに位置する。S K P 1079・1080・1401と重複するが、本遺構が古い。長軸1.66m、短軸1.27mの楕円形を呈する。深さは0.12m。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S N 146(第118図)

L R・L Q 50グリッドに位置する。焼土は長軸0.26m、短軸0.25mの範囲に分布し、厚さは0.05mである。焼土の下部には長軸1.37m、短軸0.83m、深さ1.28mの楕円形の掘り込みがあった。断面は緩やかなU字形を呈する。埋土は3層に分層した。1層が焼土である。底面はほぼ平坦である。石器剥片が5点出土した。遺構の詳細な時期は不明である。

S N 148(第81図)

L P・L Q 53グリッドに位置する。S K P 460・461・462・580・1529と重複するが、本遺構が古い。長軸1.49m、短軸1.06mの不整形を呈する。深さは0.25m。断面は中華鍋底状を呈する。埋土は1層である。底面は東側が一段低く窪む。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S N 167(第119図)

L K・L L 54グリッドに位置する。S K P 502と重複するが、本遺構が古い。焼土は長軸0.54m、短軸0.36mの範囲に分布し、厚さは0.06m～0.07mである。焼土の下部には径1.01m×0.94m、深さ0.06m～0.12mの円形の掘り込みがあった。焼土分布範囲の真下はさらに一段低く掘り込まれていた。断面は緩やかなU字形を呈する。埋土は3層に分層した。底面はほぼ平坦である。石器剥片が1点出土した。遺構の詳細な時期は不明である。

S N 290(第118図)

L N 53グリッドに位置する。焼土は長軸0.34m、短軸0.28mの範囲に分布し、厚さ0.06m～0.02mである。焼土の下部には0.70m×0.60m、深さ0.20mの略円形の掘り込みがある。断面は緩やかなU字形を呈する。埋土は4層に分層した。2～4層は地山が多く入り、一度掘り込んだ土を埋め戻し、その上面で火を使用したものと考えられる。焼土は上面が硬化している。底面は中央がやや窪み、中華鍋底状である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S N 295(第78・80図)

L P 54グリッドに位置する。S K 364と重複するが、本遺構が新しい。平面は円形を呈する。焼土は長さ0.80m、幅0.55mの範囲に分布し、厚さは0.12mである。焼土の下部には長径0.76m、短径0.71mの円形の掘り込みがあった。断面は緩やかなU字形を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S N 296(第29・30図)

L S 51グリッドに位置する。S K 389と重複するが、本遺構が新しい。焼土は長軸0.26m、短軸0.14mの範囲に分布し、厚さは0.03mである。焼土の下部には0.40m×0.36m、深さ0.16mの略円形の掘り込みがあった。断面は緩やかなU字形を呈する。埋土は2層に分層した。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S N 376(第78図)

L P 54・55グリッドに位置する。S K 375、S K P 1243と重複するが、本遺構が古い。平面は円形を呈する。焼土は長軸0.64m、短軸0.40mの範囲に分布し、厚さは0.07mである。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S N 379(第37図)

M B 52グリッドに位置する。S K F 239と重複するが、本遺構が新しい。焼土は長軸0.80m、短軸0.22～0.42mの範囲に分布し、厚さは0.05mである。断面は緩やかなU字形を呈する。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S N 393(第118図)

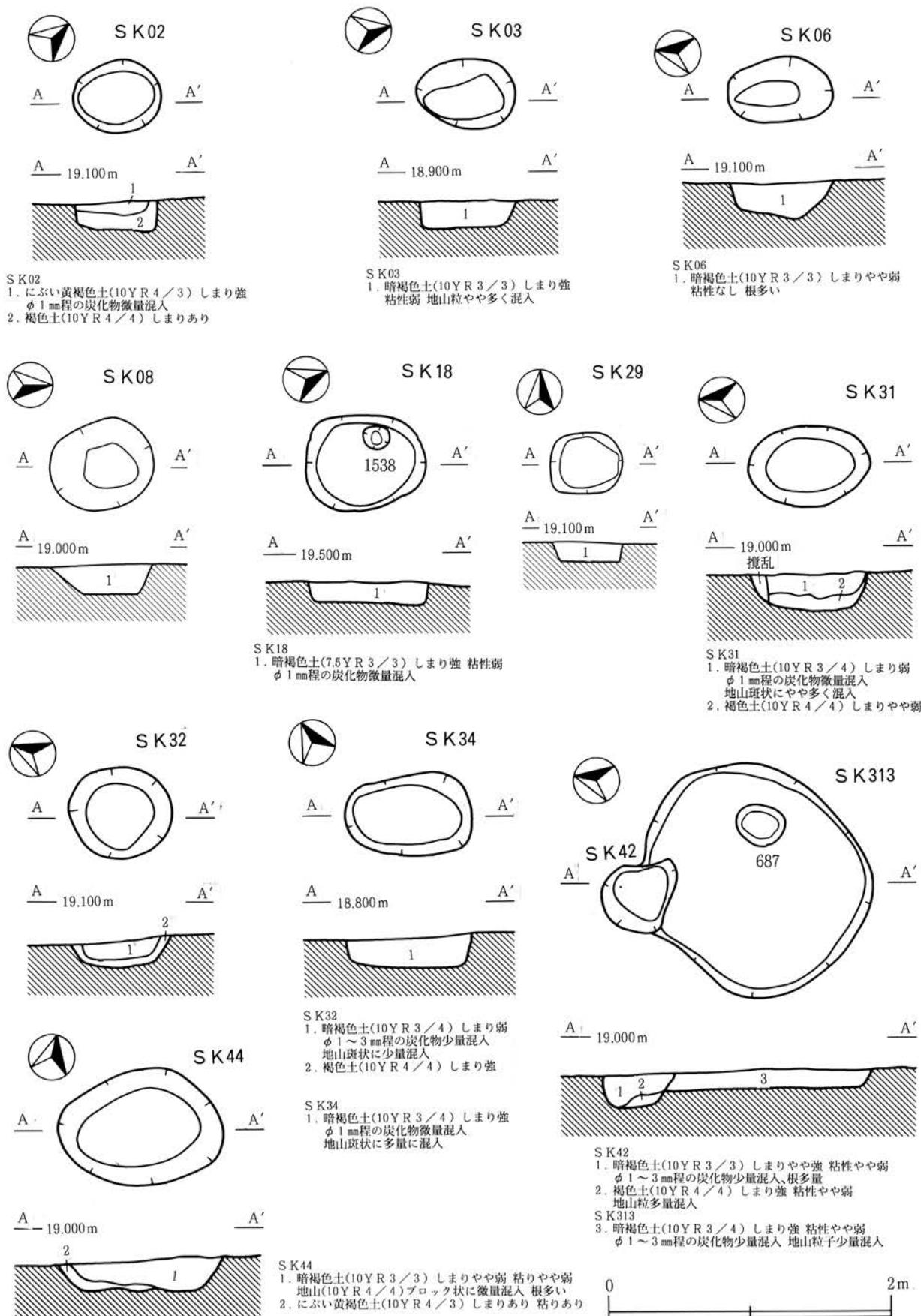
L S 55グリッドに位置する。焼土は長軸0.64m、短軸0.34mの範囲に分布する。焼土の下部には長軸0.68m、短軸0.95m、深さ0.12mの不整形の掘り込みがあった。断面はビーカー形を呈する。埋土は4層に分層した。1～3層には焼土が混じる。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S N 429(第118図)

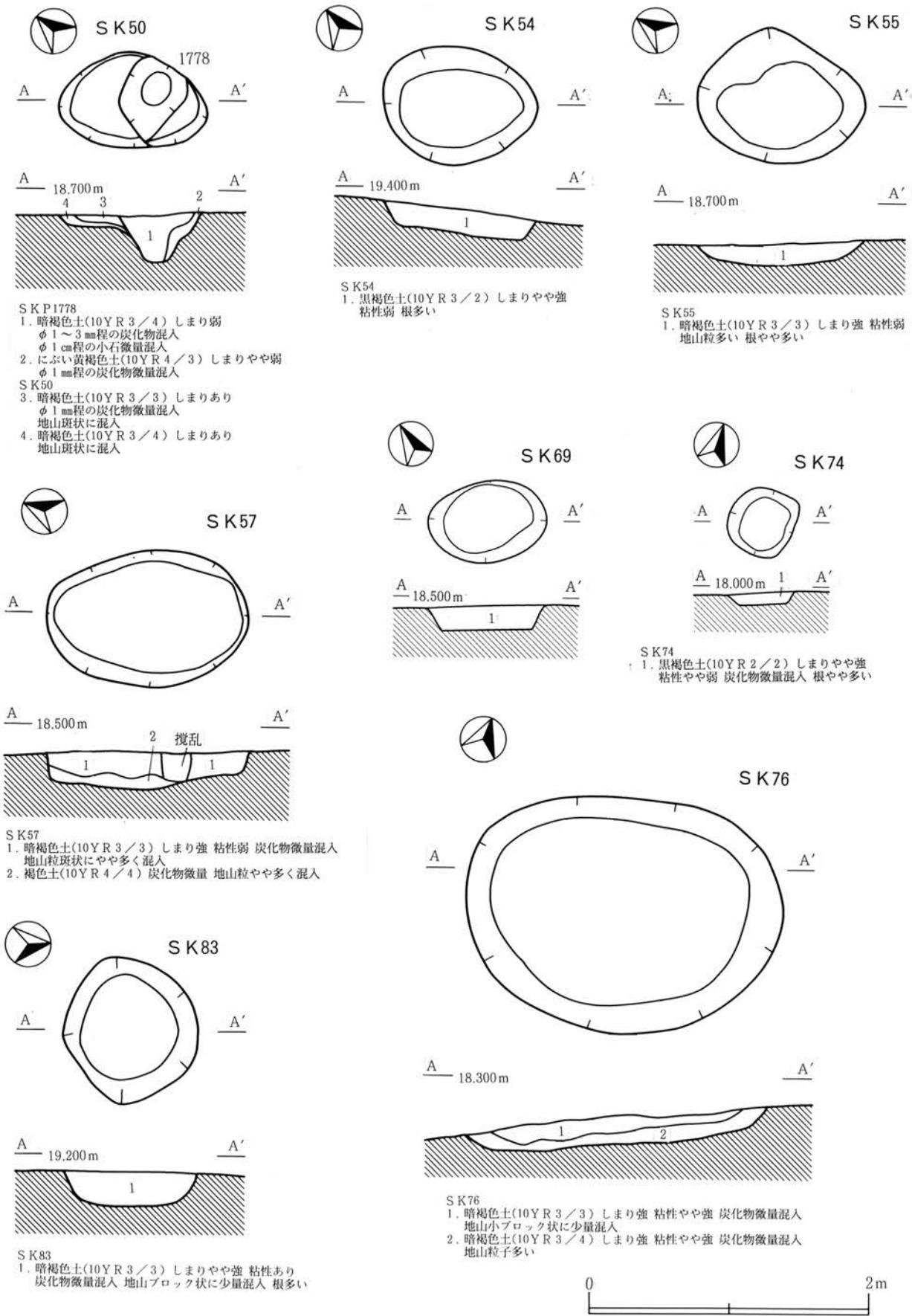
L S・L T 52グリッドに位置する。S K P 1343と重複するが、本土坑が古い。焼土は長軸0.76m、短軸0.53mの範囲に分布し、厚さは0.10mである。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S N 440(第89図)

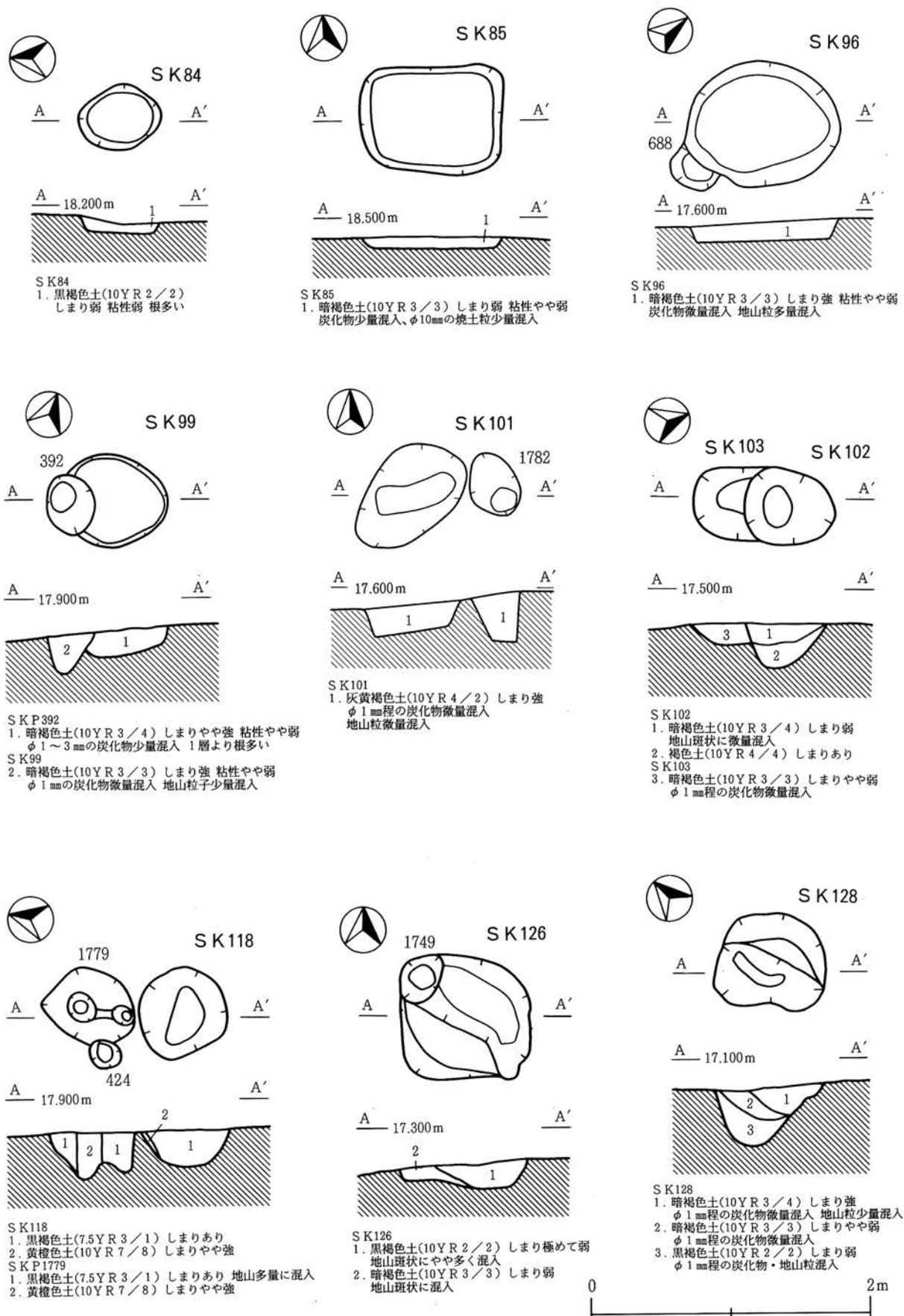
L T 52グリッドに位置する。S I 193と重複するが、本遺構が古い。焼土は長軸0.58m、短軸0.38mの範囲に分布し、厚さは0.50mである。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。



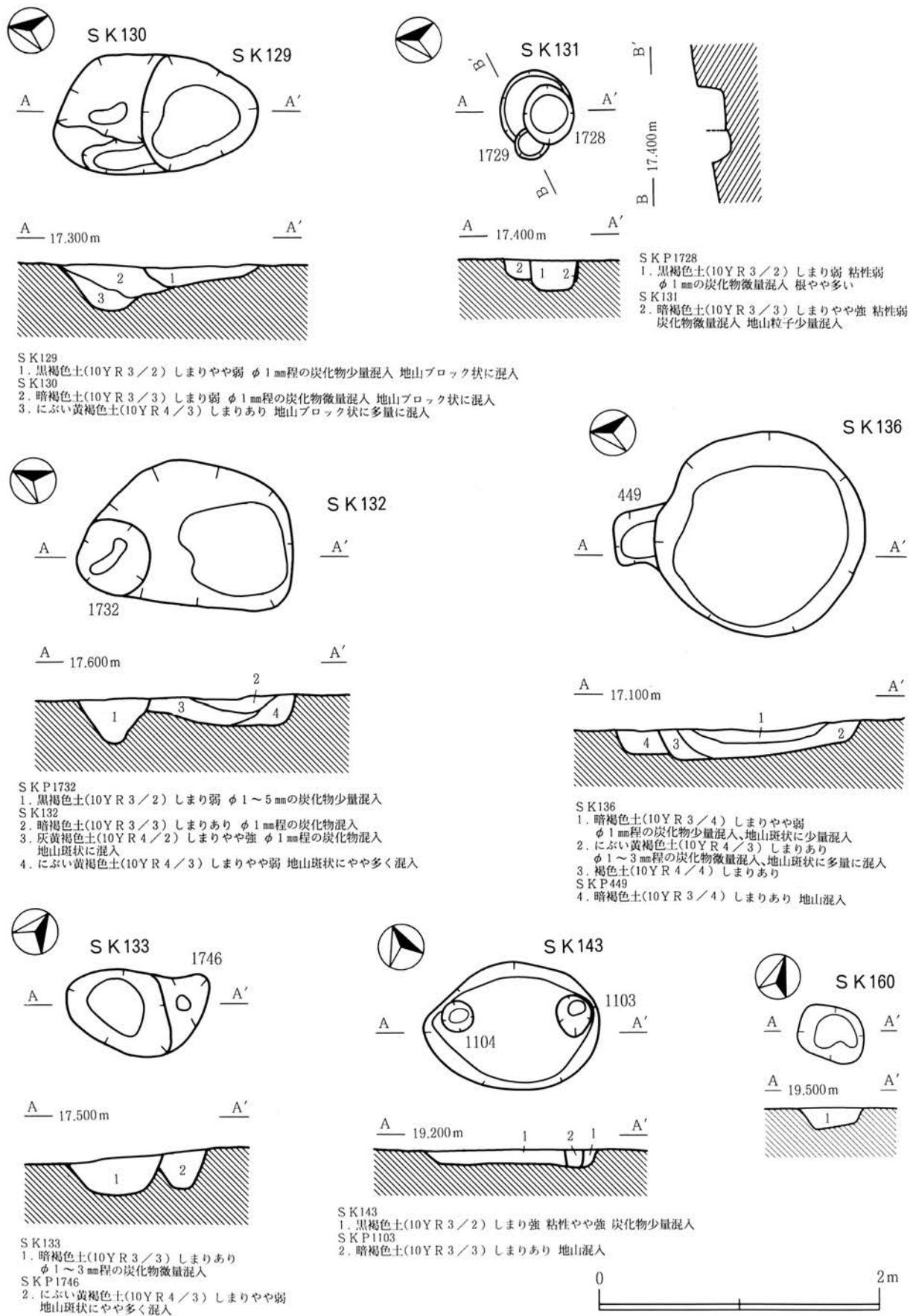
第109図 SK 02・03・06・08・18・29・31・32・34・42・44・313



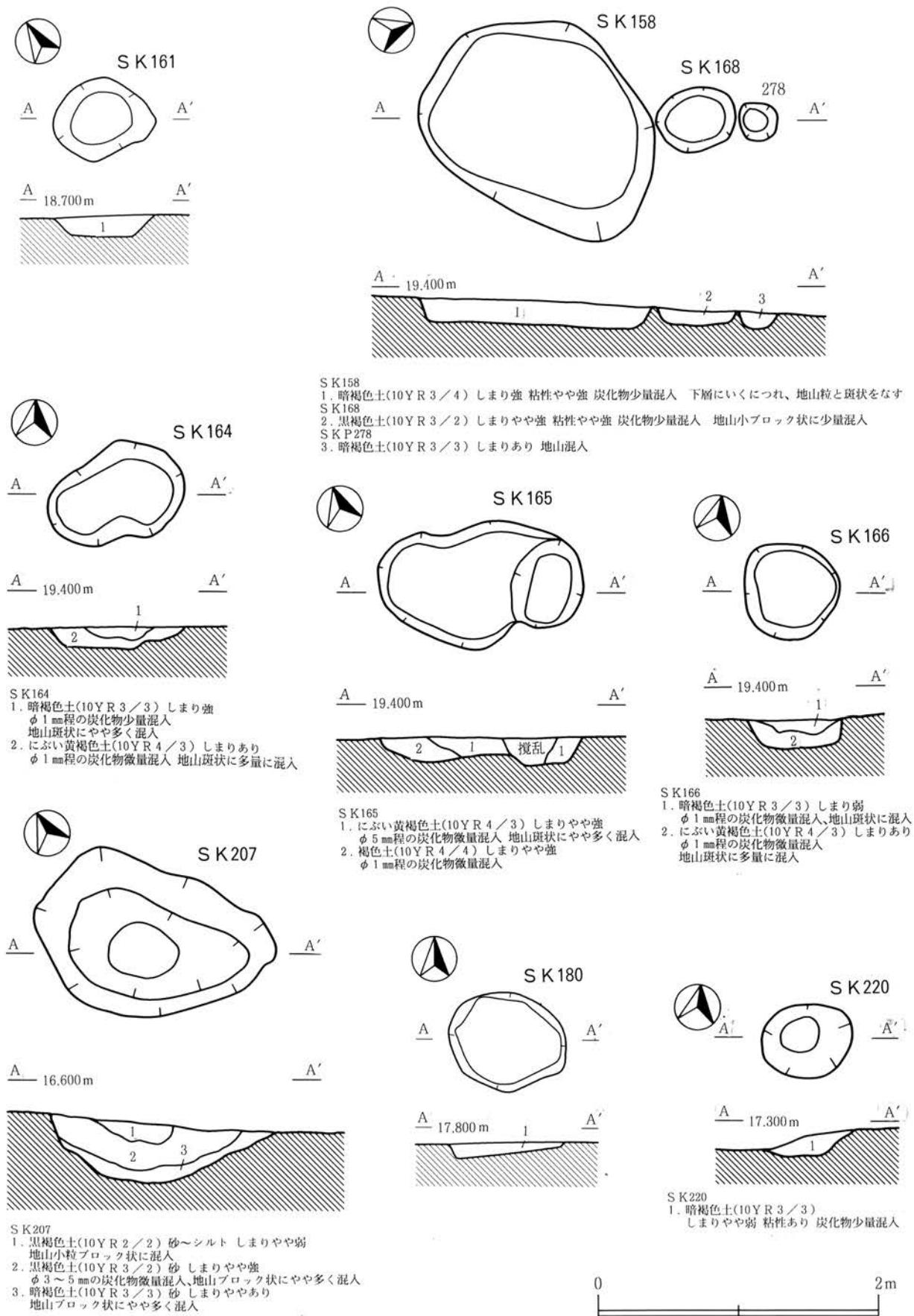
第110図 SK50・54・55・57・69・74・76・83



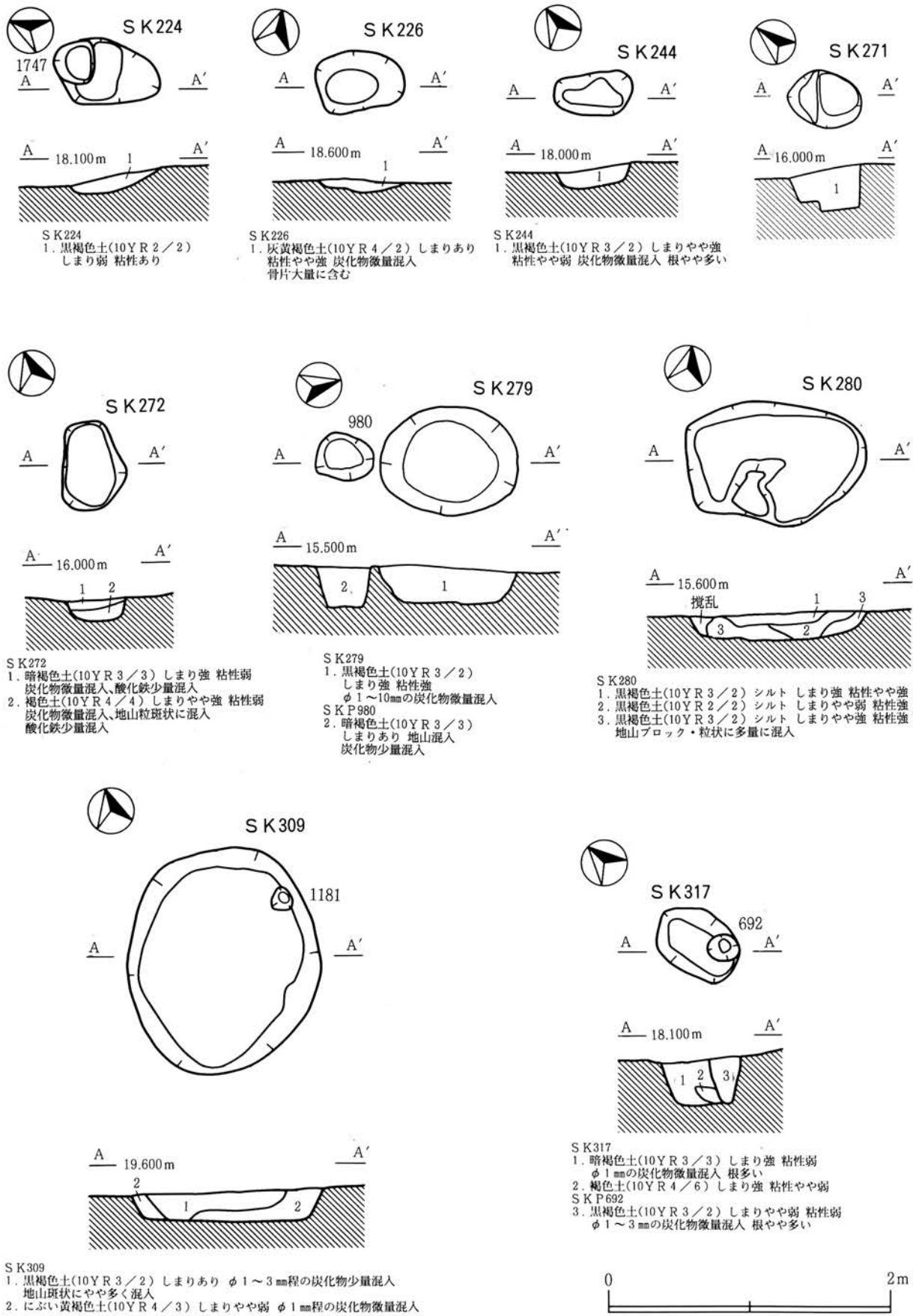
第111図 SK84-85-96-99-101~103-118-126-128



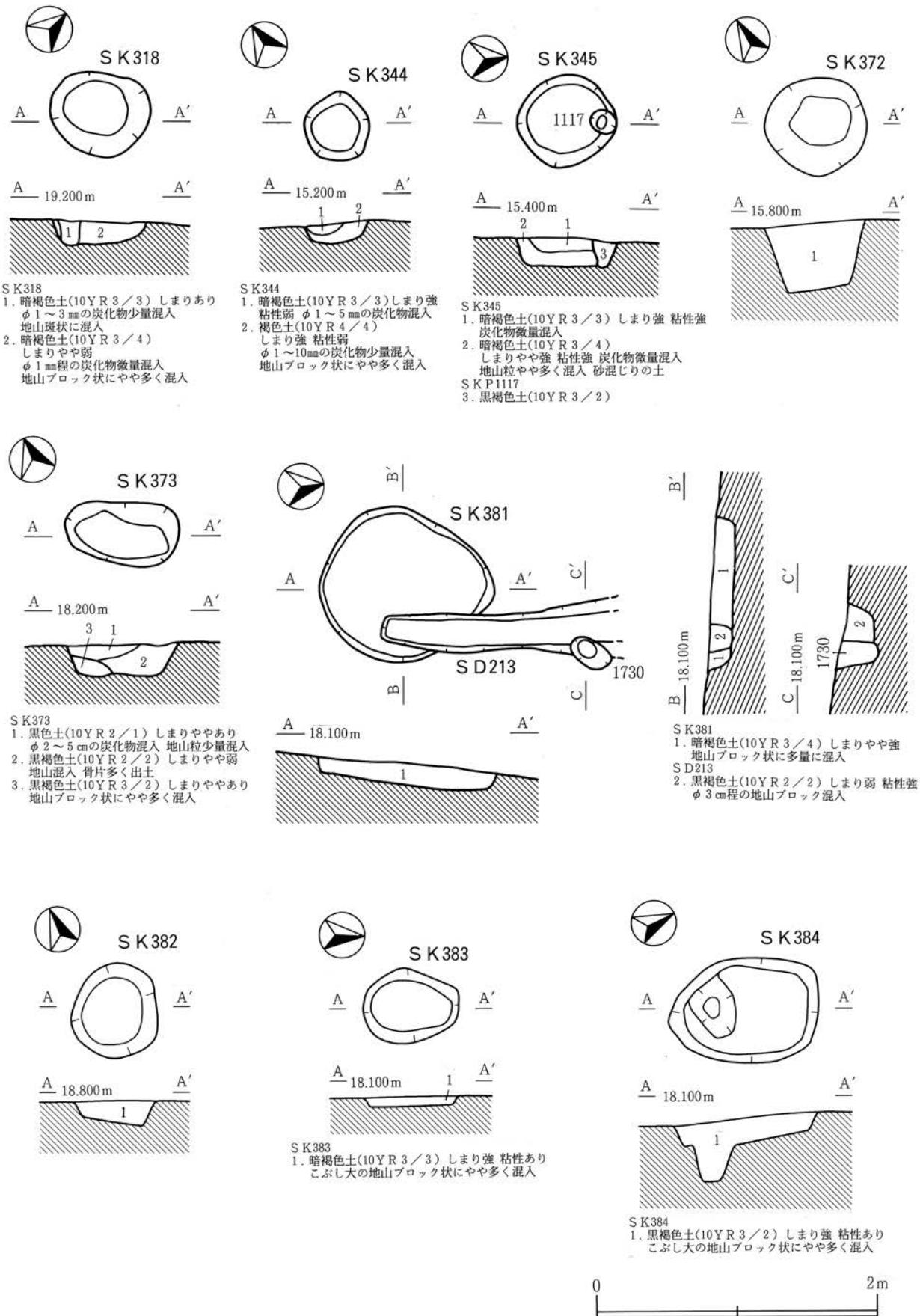
第112図 SK 129~133・136・143・160



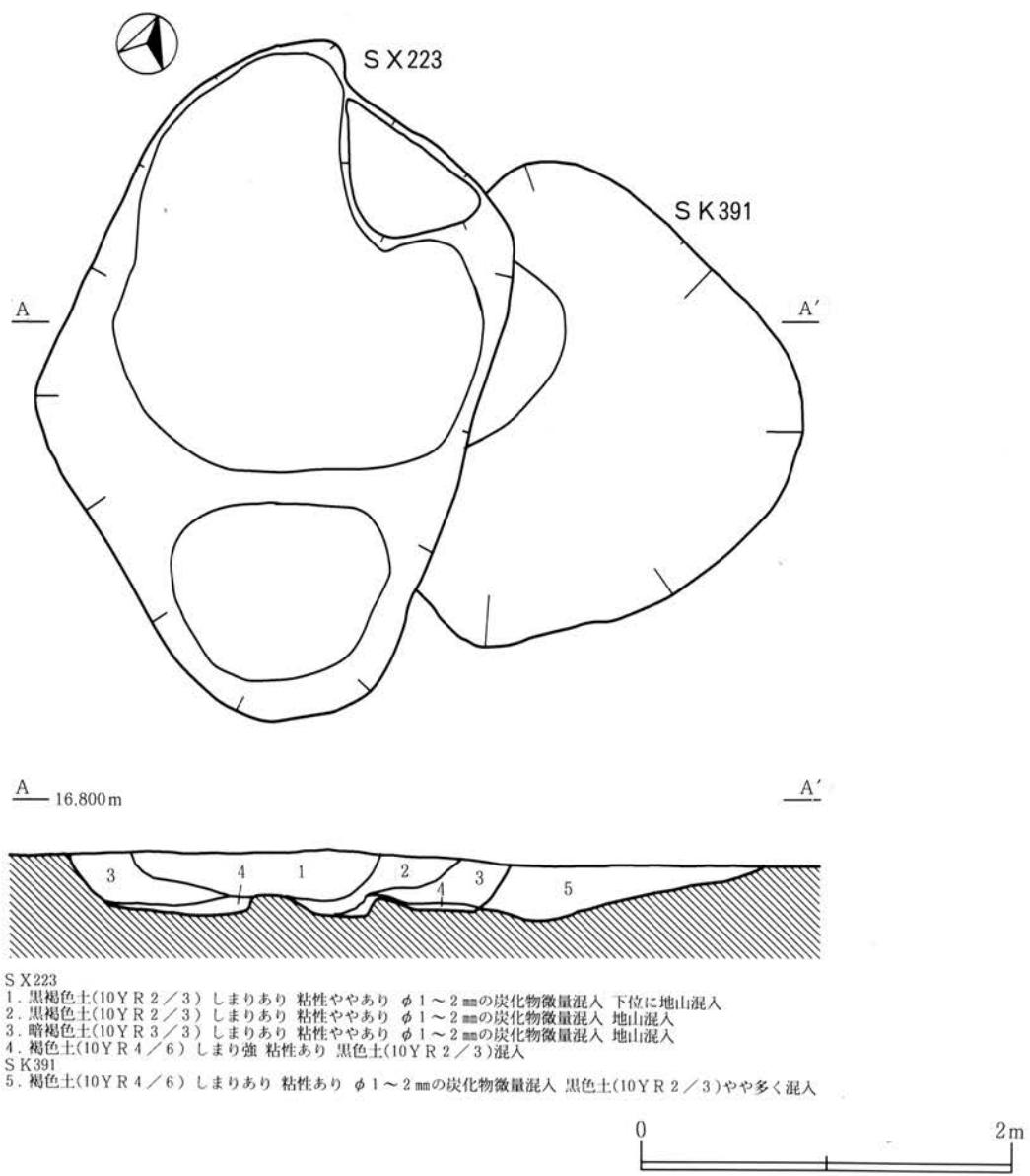
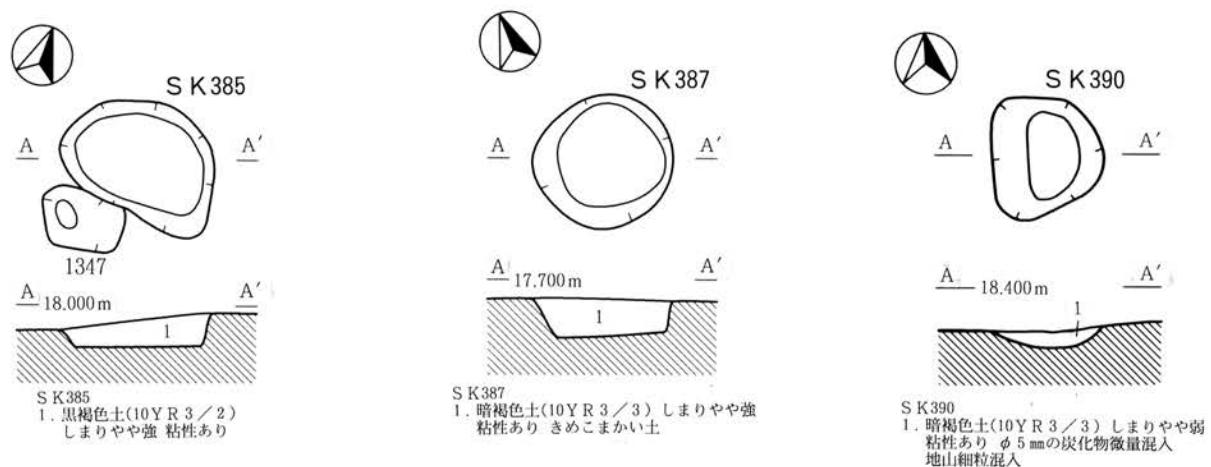
第113図 SK 161-158・164~166・168・180・207・220



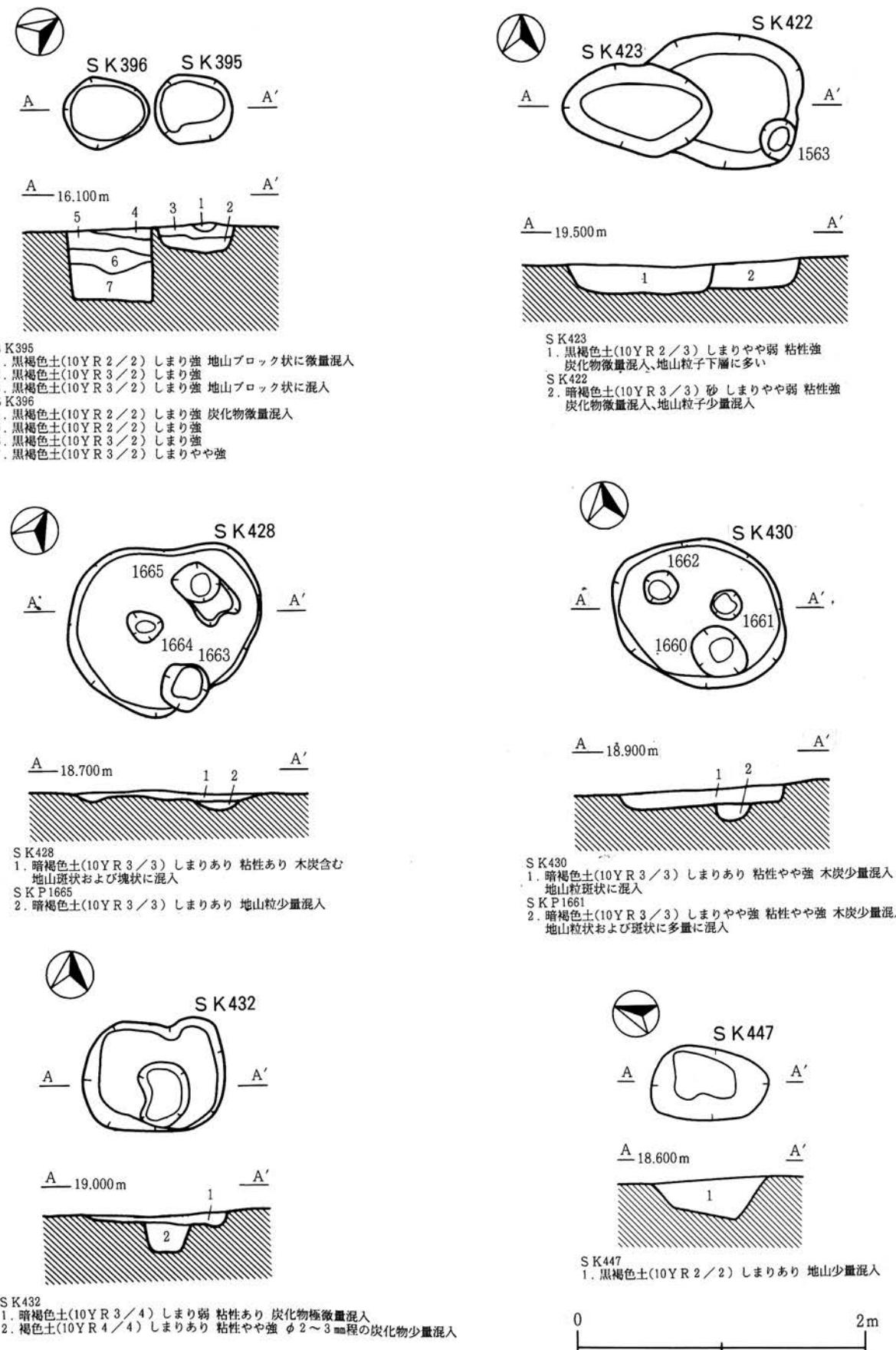
第114図 S K 224・226・244・271・272・279・280・309・317



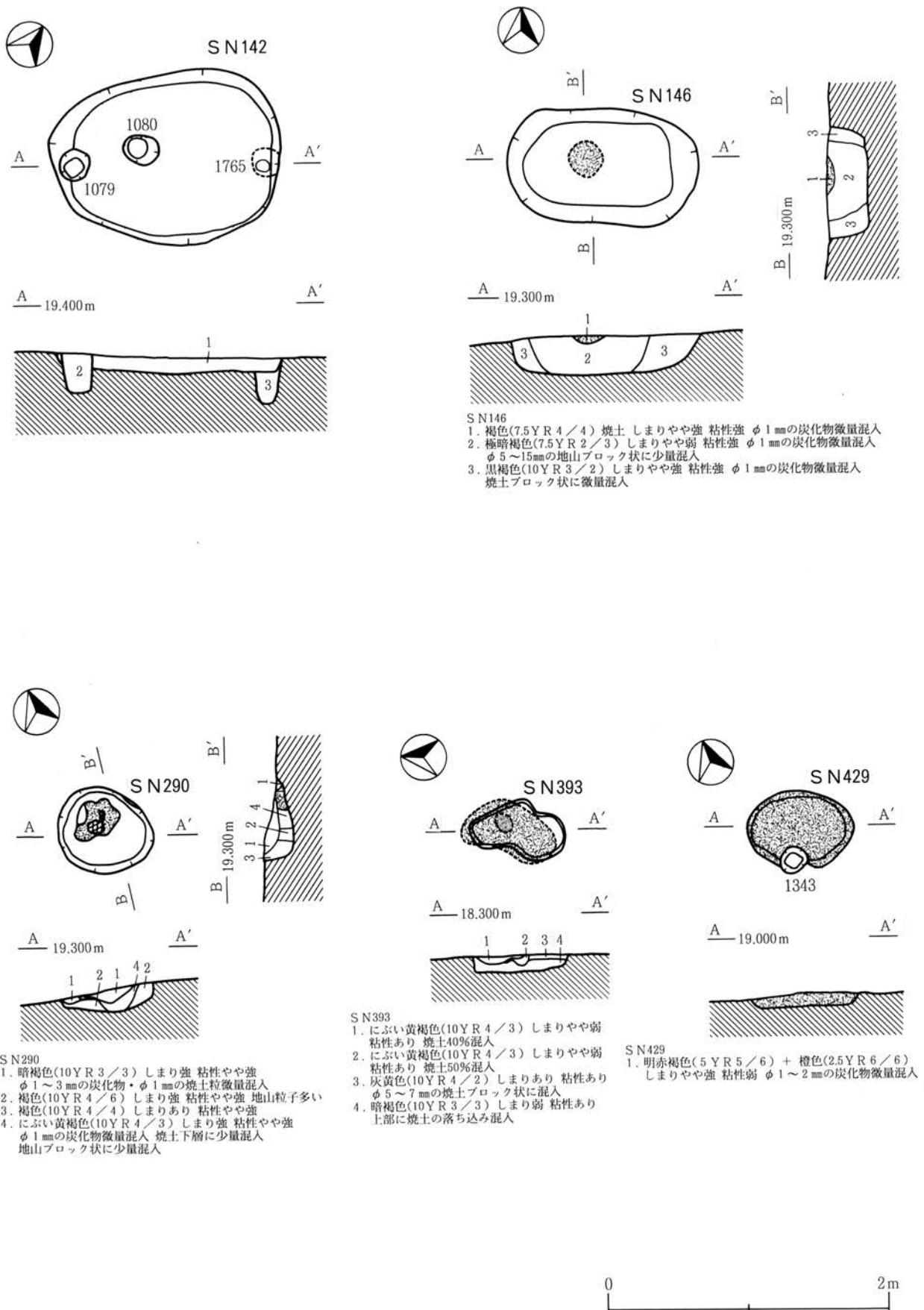
第115図 SK318・344・345・372・373・381～384、SD213



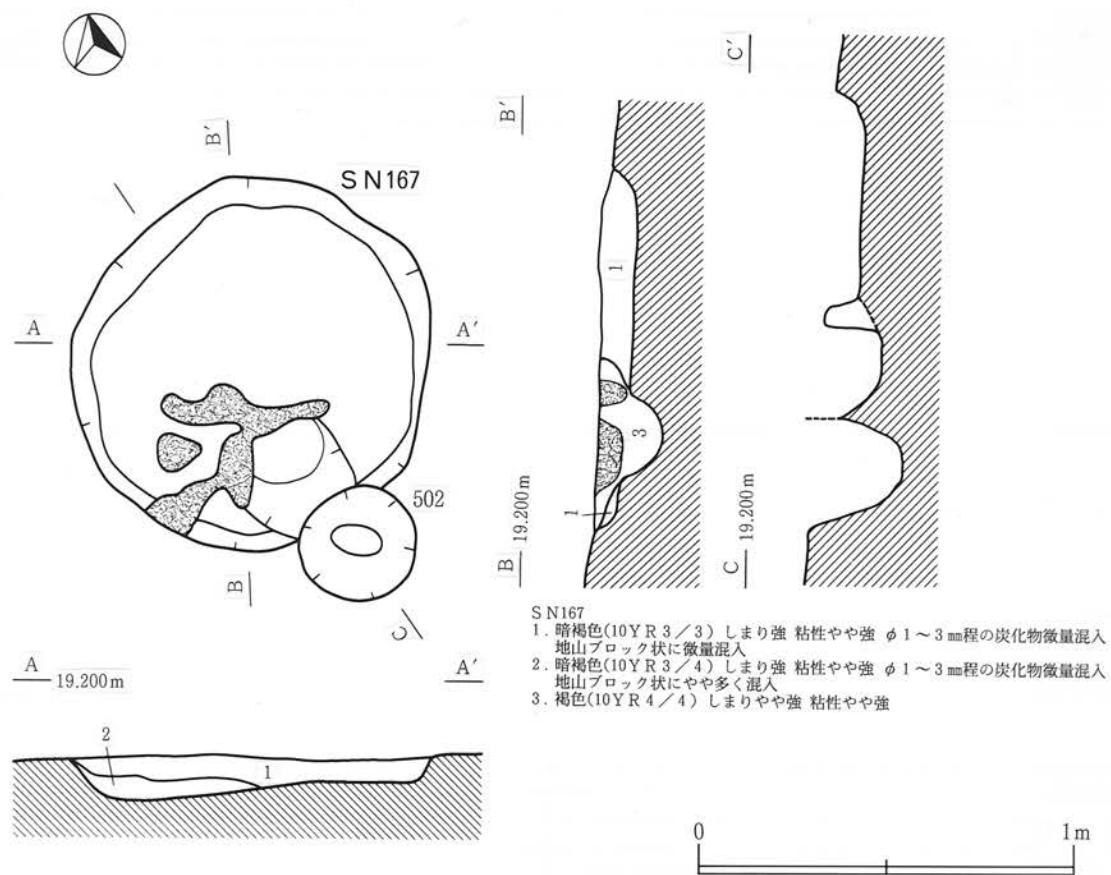
第116図 SK385・387・390・391、SX223



第117図 SK 395・396・422・423・428・430・432・447



第118図 SN142・146・290・393・429



第119図 SN167

3 溝状遺構

S D 200(第120図)

L J・L K 60・61グリッドに位置する。S K P 1658と重複するが、新旧関係は不明である。幅0.33m～0.54m、全長4.60mで、深さは0.11m～0.16mである。断面はU字状を呈する。埋土は1層である。底面は斜面下方に向かって傾斜する。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S D 291(第120図)

L P 52・53グリッドに位置する。S K P 569と重複し、本溝跡が古い。幅0.16m～0.21m、全長1.94mで、深さは0.05mである。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S D 312(第57図)

L Q 48グリッドに位置する。S K 310・311、S K P 101と重複し、本溝跡が新しい。幅0.13m～0.18m、確認長1.37mで、深さは0.09m～0.18mである。断面はU字状を呈する。埋土は1層である。底面はほぼ平坦であるが、東に向かって深くなる。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S D 442(第120図)

L P 54グリッドに位置する。幅0.06m～0.10m、長さは0.22m～0.62m、全長は1.71mで、深さは0.08mである。断面はU字状を呈する。埋土は不用意に掘り下げてしまい、確認できなかった。底面はほぼ平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

4 他の遺構

S X 218(第120図)

L P 56グリッドに位置する。長軸0.89m、短軸0.30mの不整橢円形を呈する。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は1層である。底面は平坦である。出土遺物がなく、遺構の詳細な時期は不明である。

S X 223(第116図)

L Q 57グリッドに位置する。S K 391と重複し、本遺構が新しい。長軸3.70m、短軸2.32mの不整形を呈する。深さは0.47mである。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は4層に分層した。底面は凹凸している。剥片が4点出土した。遺構の詳細な時期は不明である。

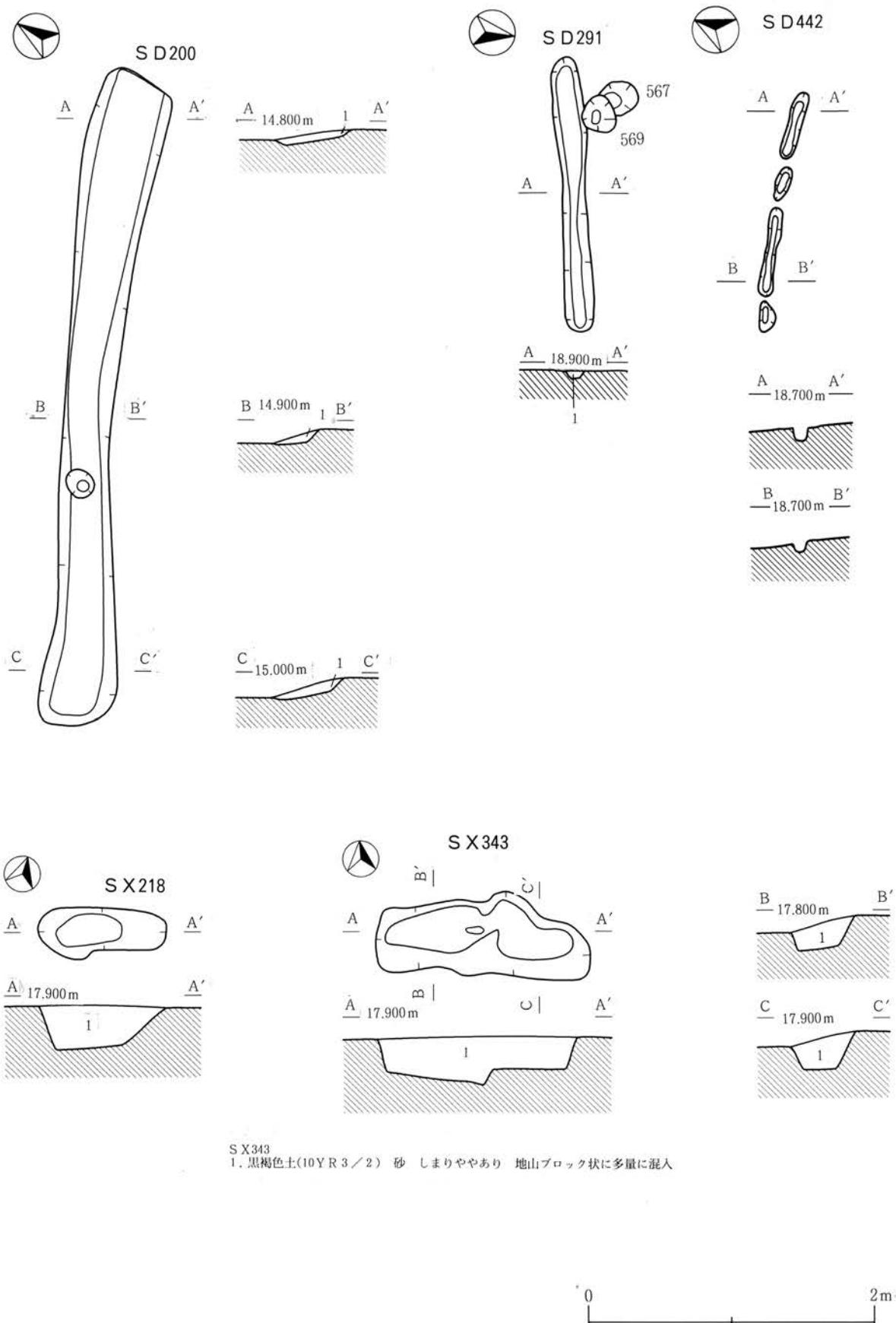
S X 343(第120図)

L N 56グリッドに位置する。長軸1.50m、短軸0.52mの不整形を呈する。深さは0.35mである。断面は緩やかなU字状を呈する。埋土は3層である。2層中には骨片を多く含む。底面はほぼ平坦だが、中央が低く窪む。遺構の詳細な時期は不明である。

5 柱穴様ピット

柱穴様ピットは1402基検出した。調査区の台地上平坦面に集中して分布している。略円形・橢円形、あるいは隅丸方形を呈する。径は最大で0.92m、最小で0.10m、平均で0.28m、深さは平均0.22m、最深で0.80mである。各柱穴跡の詳細は第2～9表に記す。

遺物は旧石器、縄文土器片・石器・二次加工のある剥片・剥片、土師器・鉄滓が出土した(第121・122図、巻頭図版2、図版11・12)。



第120図 SD 200・291・442、SX 218・343

第121図10は旧石器で、縦長の剥片である。長さ7.85cm、幅1.75cmである。打面には二次調整が加えられる。第121図1～9は縄文土器で、すべて深鉢である。1は平坦口縁で、口唇部には刺突が、口縁部には横位の押圧縄文が施文され、間に半截竹管の押圧による爪形文が施される。体部にはLR縄文が施文される。2は口縁部に押圧縄文が横位に施文される。3は口縁から体部にかけてLR縄文が、口頸部には横位の押圧縄文が2条施文される。4は山形突起部分で口縁に沿って押圧縄文が施文される。5・6は口縁部文様帶に隆帯が貼り付けられ、隆帯上にはキザミ目状の撫糸圧痕文が施文される。隆帯間は刺突(5)や爪形状刺突文(6)で充填される。第121図11は石鏃の先端部、12は小型の尖頭器、13・14は石籠、15・16は二次加工のある剥片、第122図1は磨石である。第122図2は土師器片で内外面ともナデである。3・4は土師器の甕で外面はケズリである。第122図5～6は羽口で、6・7の表面には鉄滓が付着する。

番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ
1	L T46	略円形か	0.47	0.42	0.23	55	L S47	略円形	0.28	0.25	0.23	106	L Q48	略円形	0.36	0.30	0.30
2	L T45	略円形	0.32	0.30	0.18	56	L R47	楕円形	0.55	0.42	0.34	107	L Q48	楕円形か	0.72	0.56	0.21
3	L T45	略円形	0.22	0.18	0.17	57	L R47	略円形か	0.24	0.22	0.09	108	L P48	楕円形	0.29	0.25	0.19
5	L T46	略円形	0.26	0.22	0.25	58	L S46	楕円形か	(0.92)	0.43	0.13	109	L P48	略円形か	0.23	0.17	0.24
6	L S46	略円形	0.38	0.37	0.16	59	L S46	—	(0.92)	0.53	0.13	111	L P48	略円形	0.38	0.33	0.31
7	L T46	略円形	0.35	0.29	0.10	61	L R46	略円形	0.28	0.25	0.24	112	L P48	楕円形	0.58	0.42	0.28
8	L T46	楕円形	0.26	0.18	0.13	63	L R46	略円形	0.20	0.16	0.24	113	L P48	略円形	0.26	0.22	0.11
9	L T46	略円形	0.28	0.23	0.20	65	L R46	略円形	0.17	0.16	0.19	114	L P49	略円形か	0.20	0.19	0.15
10	L T46	略円形	0.26	0.24	0.16	68	L R47	楕円形	0.60	0.47	0.31	115	L P48	略円形	0.22	0.22	0.15
11	MA47	楕円形	0.44	0.28	0.40	69	L R47	楕円形	0.32	0.22	0.16	117	L P49	楕円形	0.27	0.21	0.09
13	L T47	楕円形	0.36	0.24	0.16	70	L R47	略円形	0.28	0.24	0.08	118	L P48	略円形	0.28	0.26	0.32
14	L T47	略円形	0.28	0.22	0.19	71	L R47	略円形	0.20	0.17	0.07	120	L P49	略円形	0.27	0.27	0.14
15	L T47	略円形か	0.26	0.22	0.35	72	L R47	略円形	0.28	0.26	0.12	122	L P48	略円形	0.23	0.22	0.07
16	L T47	略円形	0.26	0.24	0.22	73	L R47	略円形	0.25	0.20	0.21	123	L O47	略円形	0.29	0.29	0.14
17	L T47	略円形	0.26	0.25	0.15	74	L R48	楕円形	0.57	0.32	0.15	125	L O48	略円形	0.40	0.36	0.10
18	L T47	隅丸方形	0.41	0.40	0.30	75	L P49	楕円形	0.22	0.16	0.14	127	L O48	略円形	0.31	0.29	0.15
19	L T47	略円形	0.18	0.17	0.25	76	L R47	略円形	0.23	0.19	0.17	128	L O48	不整形	0.58	0.43	0.12
20	L T47	略円形	0.31	0.30	0.27	77	L R47	略円形	0.28	0.24	0.24	130	L N48	略円形	0.26	0.25	0.25
22	MA47	略円形	0.34	0.32	0.28	78	L R47	楕円形	0.34	0.27	0.23	131	L P47	略円形	0.28	0.26	0.24
23	MA48	略円形	0.34	0.29	0.14	79	L R47	楕円形	0.28	0.20	0.18	132	L P47	—	0.27	(0.50)	0.18
24	MA48	略円形	0.32	0.31	0.27	80	L R47	略円形	0.52	0.41	0.27	134	L P47	不整形	0.33	0.32	0.22
25	MA48	略円形か	0.25	0.21	0.13	81	L R48	隅丸方形か	0.32	0.30	0.16	135	L Q47	楕円形か	0.40	0.34	0.13
26	MA48	略円形	0.43	0.41	0.10	82	L R48	楕円形	0.26	0.21	0.27	136	L P47	略円形か	0.34	0.29	0.24
27	MA48	略円形	0.16	0.16	0.18	83	L R48	隅丸方形か	0.24	0.22	0.11	137	L P47	略円形	0.28	0.25	0.29
28	MA48	略円形	0.24	0.22	0.11	84	L R48	略円形か	0.15	0.14	0.17	138	L P47	略円形	0.33	0.30	0.16
29	MA48	略円形	0.47	0.44	0.15	85	L R48	略円形	0.26	0.24	0.21	139	L P47	略円形	0.22	0.21	0.07
30	MA48	略円形か	0.35	(0.57)	0.31	86	L R48	略円形	0.34	0.31	0.17	140	L P47	楕円形	0.35	0.28	0.13
32	L T48	略円形	0.27	0.26	0.22	87	L Q47	略円形	0.36	0.33	0.30	142	L O47	略円形	0.36	0.32	0.13
33	L T48	略円形か	0.19	0.17	0.26	88	L Q47	楕円形	0.41	0.28	0.32	144	L P48	略円形	0.25	0.25	0.11
34	L T48	略円形	0.23	0.19	0.29	89	L Q47	略円形	0.30	0.27	0.16	145	L P48	楕円形	0.45	0.35	0.21
36	L T48	略円形	0.30	0.24	0.21	90	L Q47	略円形	0.25	0.22	0.15	146	L P48	略円形	0.19	0.18	0.25
37	L T48	略円形	0.25	0.23	0.20	91	L Q48	略円形	0.29	0.26	0.14	147	L Q48	略円形	0.28	0.26	0.16
38	L T48	略円形	0.28	0.24	0.15	92	L Q47	略円形	0.42	0.40	0.13	149	L P49	略円形か	0.20	0.18	0.09
40	MA49	略円形	0.46	0.44	0.22	93	L Q47	楕円形	0.51	0.38	0.20	151	L P48	略円形	0.24	0.22	0.18
41	MA49	隅丸方形	(0.29)	0.36	0.16	94	L P47	—	0.39	(0.50)	0.19	152	L P48	略円形	0.20	0.19	0.15
42	MA49	略円形	0.27	0.22	0.07	95	L P47	楕円形	0.28	0.22	0.07	153	L P48	略円形	0.40	0.38	0.19
43	MA49	楕円形か	0.28	0.18	0.10	96	L P47	楕円形	0.28	0.20	0.17	154	L P48	略円形	0.29	0.29	0.16
44	MA49	略円形か	0.52	0.49	0.18	97	L P47	楕円形	0.22	0.16	0.16	155	L P48	略円形	0.36	0.31	0.13
45	L T49	略円形	0.29	0.26	0.19	98	L P47	楕円形	0.69	0.47	0.29	156	L P48	略円形	0.27	0.27	0.12
46	L T49	略円形	0.36	0.35	0.26	99	L P47	楕円形	0.40	0.31	0.09	161	L N49	略円形	0.52	0.47	0.15
48	L T49	略円形	0.36	0.35	0.16	100	L Q48	楕円形	0.49	0.33	0.36	162	L N49	略円形	0.33	0.32	0.08
49	L S48	略円形	0.24	0.21	0.14	101	L Q48	略円形か	0.20	(0.15)	0.08	163	L N48	不整形	0.43	0.39	0.14
50	L S48	隅丸方形か	0.23	0.23	0.13	102	L Q48	略円形	0.45	0.45	0.24	164	L N49	略円形	0.52	0.42	0.13
51	L R48	略円形	0.25	0.25	0.16	103	L Q48	略円形	0.36	0.35	0.09	165	L N49	略円形	0.40	0.37	0.17
53	L S47	略円形	0.36	0.32	0.28	104	L Q48	略円形	0.25	0.25	0.12	166	L N49	略円形	0.35	0.32	0.32
54	L S47	略円形	(0.22)	0.29	0.26	105	L Q48	略円形	0.24	0.22	0.15	169	L O49	楕円形	0.24	0.18	0.15

(単位：m)

第2表 柱穴様ピット計測表

番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ
170	L P 49	楕円形	0.30	0.24	0.16	258	L K 53	隅丸方形	0.28	0.24	0.29	342	M A 49	略円形	0.26	0.24	0.30
171	L O 51	略円形	0.39	0.34	0.25	259	L K 53	略円形	0.33	0.28	0.27	343	M A 50	略円形	0.29	0.28	0.18
172	L P 49	略円形	0.19	0.18	0.18	260	L L 53	略円形	0.27	0.27	0.28	344	M A 50	略円形か	0.28	0.26	0.22
174	L P 49	楕円形か	0.55	0.42	0.10	261	L L 53	略円形	0.35	0.32	0.32	348	M B 45	略円形	0.30	0.28	0.29
177	L P 49	略円形	0.22	0.22	0.12	262	L L 53	略円形	0.25	0.24	0.25	350	M B 46	略円形	0.28	0.26	0.21
178	L Q 49	略円形	0.25	0.24	0.30	263	L L 53	略円形	0.20	0.19	0.18	351	M B 46	略円形	0.38	0.38	0.28
179	L Q 49	略円形	0.30	0.26	0.19	264	L L 53	楕円形	0.41	0.34	0.26	352	M A 46	隅丸方形か	0.30	0.25	0.21
181	L Q 49	略円形か	0.54	0.49	0.24	265	L L 53	隅丸方形か	0.30	(0.14)	0.13	353	M B 46	楕円形	0.32	0.26	0.28
182	L Q 49	楕円形	0.45	0.34	0.34	266	L L 53	略円形	0.36	0.30	0.27	358	M B 48	略円形	0.45	0.40	0.28
183	L Q 49	略円形	0.22	0.22	0.18	267	L L 53	楕円形	0.42	0.29	0.37	360	M A 46	略円形	0.23	0.21	0.18
184	L Q 49	隅丸方形か	0.30	0.24	0.09	269	L M 53	略円形	0.29	0.28	0.15	362	M B 49	略円形	0.35	0.31	0.12
185	L Q 49	略円形	0.19	0.16	0.25	272	L M 53	略円形	0.25	0.22	0.22	363	M B 50	略円形か	0.36	0.30	0.15
186	L Q 50	略円形	0.20	0.19	0.26	273	L M 54	楕円形	0.32	0.24	0.28	364	M B 50	略円形	0.26	0.26	0.26
187	L Q 50	楕円形	0.44	0.34	0.28	274	L M 53	楕円形	0.32	0.23	0.27	365	M C 45	略円形	0.26	0.24	0.47
189	L Q 50	略円形か	(0.25)	(0.20)	0.15	275	L M 53	楕円形	0.35	0.29	0.35	367	M C 44	略円形か	0.33	0.28	0.25
191	L P 50	略円形	0.45	0.43	0.52	276	L M 53	隅丸方形	0.18	0.18	0.06	369	M C 46	略円形	0.32	0.30	0.29
192	L P 50	隅丸方形	(0.42)	(0.32)	0.17	277	L M 53	略円形	0.41	0.36	0.34	373	M C 47	略円形	0.38	0.37	0.41
200	L M 50	略円形	0.29	0.27	0.16	278	L M 53	略円形	0.28	0.26	0.12	374	M C 47	略円形	0.32	0.27	0.46
201	L M 50	隅丸方形	0.54	0.43	0.22	280	L M 53	略円形	0.34	0.34	0.27	375	M C 47	略円形	0.26	0.22	0.33
202	L M 50	略円形	0.56	0.50	0.28	281	L M 53	略円形	0.32	0.26	0.18	376	M C 48	略円形	0.31	0.30	0.37
203	L M 50	略円形	0.33	0.28	0.23	284	L M 53	略円形	0.24	0.19	0.12	377	M C 48	略円形か	0.35	0.29	0.28
204	L N 50	楕円形	0.33	0.25	0.18	285	L J 56	楕円形	0.38	0.30	0.24	378	M C 48	略円形	0.36	0.35	0.14
207	L O 50	略円形	0.48	0.47	0.13	286	L K 54	略円形	0.28	0.26	0.29	379	M C 48	隅丸方形か	0.38	0.31	0.29
209	L P 51	略円形	0.49	0.43	0.15	287	L K 54	略円形	0.24	0.22	0.18	380	M C 48	略円形	0.28	0.26	0.15
210	L P 51	楕円形	0.41	0.29	0.47	288	L K 54	楕円形	0.60	0.43	0.45	381	M C 48	略円形か	0.30	0.25	0.33
211	L P 51	略円形	0.23	0.21	0.08	289	L K 54	略円形	0.29	0.26	0.29	382	M C 49	楕円形か	0.26	0.18	0.37
212	L P 51	略円形	—	0.25	—	290	L K 54	略円形	0.26	0.26	0.23	383	M C 49	略円形	0.28	0.24	0.29
213	L P 51	略円形	0.58	0.52	0.38	291	L K 54	楕円形	0.43	0.37	0.16	384	M C 49	楕円形	0.31	0.24	0.25
214	L P 51	略円形	0.26	0.23	0.12	292	L K 54	隅丸方形	0.40	0.40	0.17	385	M C 49	略円形か	0.42	0.34	0.23
217	L P 56	楕円形	0.57	0.36	0.54	295	L K 54	—	—	0.23	0.11	386	M C 49	略円形か	0.62	0.60	0.28
218	L P 56	楕円形	0.32	0.26	0.36	296	L K 54	楕円形	0.40	0.32	0.12	388	M D 45	略円形	0.27	0.23	0.23
219	L N 51	略円形	0.34	0.32	0.25	297	L K 54	略円形	0.41	0.39	0.13	389	M D 46	略円形か	0.20	0.17	0.08
220	L N 51	略円形	0.34	0.33	0.44	298	L K 54	略円形	0.36	0.32	0.33	390	M D 46	略円形か	0.24	0.24	0.11
222	L M 51	略円形	0.36	0.36	0.16	299	L K 54	略円形	0.26	0.24	0.19	391	M D 46	楕円形か	0.49	0.36	0.36
224	L M 51	楕円形	0.61	0.47	0.28	302	M A 45	楕円形	0.52	0.36	0.30	392	M D 46	略円形	0.42	0.34	0.32
225	L M 51	楕円形	0.53	0.38	0.60	306	M A 46	略円形	0.22	0.20	0.16	393	M D 46	楕円形か	0.32	0.25	0.31
226	L M 51	略円形	0.31	0.30	0.36	308	M A 46	略円形	0.22	0.21	0.16	394	M D 46	略円形か	0.37	0.24	0.24
227	L M 51	不整形	0.46	0.38	0.24	312	M A 46	楕円形	0.32	0.25	0.24	397	M D 46	略円形	0.40	0.37	0.26
228	L L 51	楕円形	0.40	0.34	0.13	313	M A 46	楕円形	0.35	0.29	0.21	400	M D 47	略円形か	0.28	0.26	0.22
229	L M 52	略円形	0.32	0.26	0.12	314	M A 46	略円形	0.23	0.22	0.07	401	M D 47	略円形	0.26	0.24	0.39
230	L M 52	略円形	0.23	0.22	0.12	315	M A 46	楕円形	0.41	0.34	0.20	404	M D 48	楕円形	0.33	0.30	0.11
231	L L 53	楕円形	0.58	0.46	0.34	316	M A 46	略円形	0.25	0.22	0.15	407	M D 48	略円形か	0.36	0.31	0.30
232	L L 52	隅丸方形	0.25	0.21	0.21	318	M A 46	楕円形	0.32	0.24	0.19	408	M D 48	楕円形	0.39	0.31	0.25
233	L M 53	略円形	0.30	0.30	0.30	319	M A 46	隅丸方形か	0.30	0.27	0.24	410	M D 48	隅丸方形	0.28	0.25	0.13
234	L M 53	略円形	0.22	0.20	0.30	320	M A 46	隅丸方形か	0.31	0.27	0.19	412	M D 48	略円形	0.30	0.27	0.24
235	L L 51	楕円形	0.54	0.38	0.76	321	M A 46	略円形	0.30	0.28	0.21	414	M D 48	略円形	0.43	0.37	0.36
236	L L 51	楕円形	0.39	0.31	0.19	322	M A 46	略円形	0.39	0.35	0.30	415	M D 48	略円形	0.43	0.35	0.52
237	L M 52	略円形	0.59	0.50	0.37	323	M A 46	楕円形	0.42	0.32	0.26	416	M D 48	隅丸方形か	0.30	0.30	0.17
238	L M 52	略円形	0.30	0.27	0.19	326	M A 47	略円形か	0.38	0.30	0.57	417	M D 48	略円形	0.22	0.20	0.16
239	L M 52	略円形	0.27	0.24	0.12	327	M A 47	略円形	0.23	0.22	0.25	418	M D 48	略円形	0.46	0.44	0.17
240	L M 52	略円形	0.30	0.29	0.21	328	M A 47	略円形か	0.23	0.22	0.10	421	M D 49	隅丸方形か	0.50	0.42	0.15
241	L M 52	略円形	0.23	0.22	0.15	329	M A 47	略円形	0.40	0.38	0.32	424	M D 49	略円形	0.22	0.20	0.13
243	L L 52	略円形	0.20	0.18	0.20	330	M A 47	略円形	0.34	0.28	0.12	425	M D 44	略円形か	0.31	0.30	0.25
244	L M 52	略円形	0.30	0.28	0.16	331	M A 47	略円形	0.19	0.18	0.09	426	M E 45	楕円形	0.34	0.22	0.18
245	L O 51	隅丸方形	0.39	0.33	0.14	332	M A 47	略円形	0.32	0.30	0.11	427	M E 45	略円形か	(0.68)	0.42	0.24
246	L L 53	略円形	0.34	0.31	0.15	333	M A 47	略円形	0.23	0.20	0.11	428	M E 45	略円形か	(0.68)	0.60	0.26
248	L L 53	楕円形	0.36	0.27	0.46	334	M A 47	略円形	0.29	0.27	0.22	429	M E 44	略円形	0.21	0.20	0.14
249	L L 53	楕円形	0.51	0.38	0.16	335	M A 47	楕円形	0.40	0.29	0.18	430	M E 44	略円形	0.29	0.28	0.42
250	L L 53	略円形	0.40	0.34	0.17	336	M A 48	略円形	0.27	0.27	0.30	431	M E 45	楕円形	0.36	0.34	0.25
251	L L 53	不整形	—	—	0.08	337	M A 48	隅丸方形か	0.40	0.35	0.30	432	M E 45	略円形	0.22	0.22	0.22
254	L K 53	隅丸方形	0.25	0.20	0.30	338	M A 48	隅丸方形か	0.30	0.27	0.10	438	M D 47	隅丸方形か	0.30	0.27	0.11
255	L K 53	略円形	0.24	0.21	0.14	339	M A 48	略円形か	0.22	0.21	0.34	440	M E 48	楕円形	0.39	0.31	0.23
256	L K 53	楕円形	0.25	0.21	0.19	340	M A 48	略円形	0.30	0.29	0.32	442	M E 49	楕円形か	0.31	0.30	0.08
257	L K 53	略円形	0.22	0.20	0.24	341	M A 49	略円形か	0.23	0.20	0.19	443	M E 49	略円形	0.36	0.32	0.14

(単位：m)

第3表 柱穴様ピット計測表

番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ
444	M F 48	略円形か	0.29	0.28	0.18	527	L M54	楕円形	0.40	0.30	0.12	604	L Q54	楕円形	0.25	0.20	0.19
445	M E 49	略円形	0.36	0.35	0.09	529	L M54	略円形か	(0.20)	0.32	0.14	605	L Q54	略円形か	0.40	0.38	0.62
446	M E 49	略円形	0.32	0.31	0.76	531	L M54	略円形	0.24	0.21	0.27	606	L Q55	楕円形か	(0.18)	0.18	0.21
449	M F 48	楕円形か	(0.29)	0.41	0.25	532	L M54	略円形	0.38	0.31	0.16	607	L Q55	楕円形	0.50	0.38	0.24
450	M F 48	略円形	0.23	0.22	0.08	533	L M54	略円形	0.22	0.20	0.16	608	L Q55	略円形	0.37	0.33	0.10
451	M F 47	略円形	0.24	0.24	0.12	534	L N54	略円形	0.27	0.25	0.19	609	L Q55	略円形	0.22	0.21	0.07
452	M E 46	略円形か	(0.66)	(0.40)	0.12	535	L N54	楕円形	0.27	0.21	0.12	610	L Q55	略円形か	0.46	0.44	0.52
453	M E 46	略円形か	(0.66)	(0.40)	0.29	537	L N54	楕円形か	(0.28)	0.28	0.14	611	L Q55	略円形	0.27	0.26	0.07
454	MD 49	楕円形か	0.43	0.39	0.17	538	L N54	楕円形	0.30	0.22	0.19	613	L Q55	隅丸方形か	0.41	0.39	0.06
455	M E 45	略円形	0.40	0.39	0.22	539	L L54	略円形	0.60	0.58	0.32	614	L Q55	略円形	0.38	0.32	0.33
457	L P 53	略円形	0.54	0.40	0.47	540	L M53	略円形	0.31	0.28	0.11	615	L Q54	略円形	0.16	0.16	0.06
458	L P 53	略円形	0.29	0.23	0.19	541	L M53	略円形	0.32	0.26	0.37	618	L R53	略円形	0.48	0.45	0.70
460	L P 53	楕円形	0.30	0.21	0.29	543	L M53	略円形	0.30	0.23	0.13	620	L R54	隅丸方形	0.33	0.28	0.31
461	L P 53	楕円形	0.29	0.20	0.34	544	L N53	—	(0.36)	0.27	0.32	621	L R54	隅丸方形	0.27	0.24	0.18
462	L P 53	略円形	0.46	0.36	0.12	545	L N53	—	(0.36)	0.25	0.29	622	L R54	略円形	0.21	0.18	0.18
463	L P 53	略円形	0.35	0.35	0.36	546	L O51	略円形	0.30	0.23	0.09	623	L R54	略円形	0.20	0.19	0.14
464	L P 52	略円形	0.28	0.26	0.04	548	L O51	略円形	0.31	0.29	0.11	624	L R55	楕円形	0.35	0.28	0.18
465	L P 52	略円形	0.31	0.24	0.08	549	L O51	略円形	0.42	0.39	0.50	625	L R54	略円形	0.24	0.22	0.27
466	L Q 50	略円形か	0.42	0.38	0.13	550	L K55	略円形	0.32	0.27	0.18	626	L R54	略円形か	0.32	(0.28)	0.57
467	L Q 51	楕円形	0.78	0.64	0.25	551	L K55	略円形	0.29	0.26	0.13	628	L R54	略円形	0.30	0.30	0.20
468	L P 51	略円形	0.30	0.26	0.15	552	L K55	隅丸方形	0.35	0.34	0.36	629	L S54	楕円形	0.19	0.14	0.30
469	L N53	略円形	0.25	0.23	0.19	553	L L55	略円形	0.20	0.19	0.08	631	L S54	隅丸方形	0.32	0.31	0.32
470	L N53	楕円形	0.49	0.38	0.15	554	L L55	楕円形	0.50	0.42	0.52	632	L S54	楕円形	0.20	0.10	0.06
471	L N53	楕円形	(0.56)	0.43	0.20	555	L L55	隅丸方形	0.19	0.19	0.06	633	L S53	楕円形	0.45	0.25	0.26
472	L O52	不整形	0.29	0.20	0.16	556	L L55	楕円形	0.29	0.22	0.31	634	L S54	略円形	0.19	0.14	0.31
474	L O53	略円形	0.23	0.22	0.13	557	L L55	略円形	0.21	0.18	0.09	635	L S54	楕円形か	0.26	0.20	0.25
480	L M55	略円形	0.32	0.32	0.30	558	L L55	楕円形	0.32	0.22	0.13	636	L R54	隅丸方形	0.22	0.21	0.20
481	L M55	楕円形	0.82	0.56	0.21	559	L L55	略円形	0.28	0.27	0.21	637	L R54	略円形	0.21	0.19	0.18
482	L M55	略円形	0.33	0.31	0.29	560	L L55	略円形	0.23	0.21	0.08	638	L R54	隅丸方形	0.39	0.30	0.46
483	L M55	略円形	0.48	0.45	0.45	561	L L55	略円形	0.36	0.33	0.17	640	L R54	不整形	0.48	0.25	0.06
484	L N55	略円形	0.21	0.21	0.23	562	L L55	楕円形	0.26	0.21	0.14	642	L R54	隅丸方形	0.22	0.16	0.11
485	L N55	略円形	0.18	0.18	0.14	563	L L55	楕円形	0.24	0.18	0.26	643	L R54	隅丸方形	0.22	0.19	0.30
488	L O55	楕円形	0.33	0.24	0.24	565	L L55	略円形	0.33	0.30	0.11	644	L R54	楕円形	0.23	0.16	0.49
492	L O56	略円形	0.31	0.27	0.23	566	L J56	楕円形	0.34	0.29	0.22	648	M A53	楕円形	0.33	0.23	0.19
493	L O56	楕円形	0.32	0.24	0.23	567	L K56	楕円形	0.36	0.27	0.40	649	M A54	楕円形	0.38	0.25	0.38
495	L O56	隅丸方形	0.27	0.26	0.17	569	L P53	略円形	0.27	0.24	0.24	650	L H60	略円形	0.30	0.28	0.28
496	L O52	略円形	0.26	0.22	0.32	570	L P52	略円形	0.34	0.28	0.31	651	L H60	略円形	0.23	0.21	0.05
498	L O52	略円形	0.28	0.26	0.43	571	L P53	略円形	0.25	0.21	0.31	652	L H60	略円形	0.22	0.22	0.05
499	L O52	略円形	0.62	0.47	0.38	572	L P53	略円形	0.26	0.21	0.16	653	L H61	略円形	0.34	0.28	0.06
501	L K54	略円形	0.26	0.21	0.23	573	L P53	不整形	0.44	0.25	0.35	655	L H60	不整形	(0.47)	0.38	0.20
502	L K54	略円形	0.23	0.22	0.25	574	L P53	楕円形	0.41	0.30	0.63	656	L I60	略円形	0.26	0.25	0.14
503	L L54	略円形	0.30	0.29	0.16	575	L Q52	楕円形	0.57	0.43	0.18	657	L J59	楕円形	0.34	0.23	0.22
504	L L54	略円形	0.30	0.29	0.14	577	L Q53	楕円形	0.54	0.41	0.18	658	L J59	略円形	0.30	0.26	0.20
505	L L54	略円形	0.29	0.28	0.15	578	L Q53	楕円形か	0.52	0.42	0.34	659	L J59	略円形	0.18	0.17	0.26
507	L L54	不整形	0.54	—	0.22	580	L Q53	楕円形	0.51	0.33	0.20	660	L J59	略円形	0.21	0.20	0.20
508	L L54	略円形	0.30	0.29	0.14	581	L Q53	不整形	0.36	0.36	0.17	661	L J59	楕円形	0.31	0.20	0.24
509	L L54	—	—	—	0.20	582	L Q53	略円形	0.26	0.23	0.11	662	L J59	楕円形か	(0.28)	0.29	0.27
510	L L54	—	—	—	18.96	583	L Q53	略円形か	0.38	0.34	0.34	663	L J59	隅丸方形	0.30	0.26	0.21
511	L L54	—	—	—	18.95	585	L R53	略円形	0.46	0.45	0.69	664	L J59	略円形	0.22	0.18	0.21
512	L L54	略円形	0.37	0.35	0.21	587	L P54	略円形	0.34	0.24	0.69	668	L M59	楕円形	0.30	0.24	0.21
513	L L54	略円形	0.27	0.26	0.17	588	L P54	略円形	0.21	0.19	0.08	670	L M59	楕円形	0.36	0.30	0.25
514	L L54	略円形か	0.22	(0.16)	0.17	590	L P54	略円形	0.28	0.21	0.11	671	L M59	略円形	0.22	0.21	0.18
515	L L54	略円形	0.26	0.24	0.17	591	L O54	略円形	0.33	0.32	0.52	672	L N59	略円形か	(0.33)	(0.26)	0.21
516	L L54	—	(0.16)	(0.14)	0.07	592	L Q54	楕円形	0.35	0.23	0.19	673	L N59	楕円形	0.38	0.25	0.28
517	L L54	略円形	0.35	0.29	0.15	593	L Q54	略円形	0.24	0.24	0.13	674	L N59	略円形	0.25	0.23	0.28
518	L L54	略円形か	0.18	(0.08)	0.17	594	L Q54	略円形	0.22	0.21	0.06	676	L N59	略円形	0.28	0.24	0.25
519	L L54	略円形	0.31	0.29	0.30	596	L Q55	略円形か	0.29	(0.19)	0.34	677	L N59	楕円形	0.27	0.22	0.21
520	L L54	略円形	0.31	0.30	0.39	597	L Q55	略円形	0.29	0.23	0.26	678	L N59	略円形	0.28	0.26	0.22
521	L L54	略円形か	0.27	(0.22)	0.17	598	L Q54	略円形	0.28	0.24	0.37	679	L N59	楕円形	0.33	0.25	0.26
522	L L54	略円形	0.23	0.20	0.22	599	L Q54	楕円形	0.26	0.20	0.13	681	L R48	略円形か	0.20	(0.11)	0.22
523	L L54	略円形	0.30	0.26	0.23	600	L Q54	楕円形	0.33	0.26	0.16	682	L Q47	楕円形	0.59	0.45	0.53
524	L M54	楕円形	0.36	0.32	0.15	601	L Q54	楕円形	0.26	0.21	0.14	683	L S46	略円形	0.26	0.24	0.15
525	L M54	略円形	0.43	0.42	0.17	602	L Q54	略円形か	0.21	0.20	0.30	684	L S46	略円形	0.20	0.19	0.16
526	L M54	楕円形	0.44	0.34	0.23	603	L Q54	楕円形	0.26	0.20	0.47	685	L S48	略円形	0.23	0.22	0.30

(単位：m)

第4表 柱穴様ピット計測表

番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ
686	L S 48	楕円形	0.24	0.19	0.17	762	L R 57	略円形か	0.20	0.19	0.20	879	M C 53	略円形	0.25	0.24	0.10
687	M A 46	略円形	0.34	0.28	0.09	767	L R 57	略円形	0.25	0.22	0.37	881	M C 53	略円形	0.25	0.23	0.25
688	M D 44	略円形か	0.37	(0.34)	0.28	769	L R 58	略円形	0.20	0.19	0.18	882	L O 49	略円形	0.40	0.35	0.11
689	M D 45	略円形	0.40	0.38	0.29	770	L R 58	略円形	0.30	0.28	0.47	883	L O 49	略円形	0.22	0.22	0.16
690	L S 46	楕円形	0.21	0.17	0.21	771	L R 58	楕円形	0.57	0.40	0.21	884	M E 44	略円形	0.28	0.27	0.37
691	M D 45	略円形	0.16	0.16	0.18	775	L S 57	略円形	0.22	0.17	0.16	885	M E 44	略円形か	0.69	0.56	0.24
692	M C 44	略円形	0.21	0.20	0.34	776	L S 57	楕円形	0.43	0.28	0.05	886	M E 44	略円形	0.34	0.32	0.15
693	M E 44	略円形	0.43	0.40	0.27	779	L S 56	略円形	0.33	0.29	0.24	887	M E 44	略円形	0.16	0.16	0.18
695	M C 47	略円形	0.20	0.18	0.30	780	L S 56	略円形か	0.43	0.34	0.36	892	M E 52	略円形	0.22	0.18	0.14
696	M D 48	略円形	0.50	0.46	0.28	781	L Q 55	隅丸方形	0.50	0.37	0.20	894	M E 52	略円形	0.24	0.22	0.14
697	M D 48	楕円形	0.64	0.34	0.22	783	L S 56	楕円形	0.40	0.27	0.17	895	M E 51	略円形	0.20	0.17	0.07
698	M D 44	略円形	0.21	0.21	0.19	784	L S 56	隅丸方形か	0.28	0.26	0.09	896	M E 51	略円形	0.21	0.18	0.16
699	M D 44	隅丸方形か	0.35	0.34	0.24	785	L S 56	略円形	0.28	0.27	0.10	897	M E 51	略円形	0.23	0.22	0.20
700	M D 44	楕円形	0.44	0.34	0.31	786	L S 56	楕円形	0.31	0.23	0.12	898	M E 51	略円形	0.28	0.26	0.24
701	M A 54	略円形	0.30	0.27	0.34	787	L S 56	略円形	0.36	0.31	0.27	900	M F 51	略円形	0.37	0.30	0.39
702	M B 53	略円形	0.18	0.17	0.23	792	L S 56	楕円形	0.33	0.27	0.25	903	M F 52	略円形か	0.21	0.20	0.16
703	M B 53	略円形	0.14	0.14	0.13	793	L S 56	—	0.36	(0.66)	0.20	905	M F 52	略円形	0.27	0.27	0.06
705	M A 53	略円形	0.27	0.25	0.15	794	L S 56	—	0.41	(0.66)	0.23	906	M F 52	略円形	0.20	0.19	0.08
706	M D 50	略円形	0.39	0.38	0.13	795	L S 55	略円形	0.26	0.23	0.14	907	M F 52	略円形	0.23	0.22	0.07
707	M D 50	略円形か	0.63	(0.45)	0.27	796	L S 55	略円形	0.26	0.24	0.14	908	M F 51	略円形	0.24	0.20	0.13
708	M D 50	楕円形か	0.52	0.39	0.18	797	L S 55	不整形	0.36	0.25	0.14	909	M G 52	楕円形か	0.28	0.24	0.19
709	L P 55	略円形	0.31	0.30	0.35	800	L S 55	略円形	0.28	0.26	0.29	910	M G 51	略円形	0.28	0.24	0.15
710	L P 55	略円形	0.25	0.23	0.11	801	L S 55	略円形	0.22	0.21	0.24	911	M G 51	略円形	0.38	0.38	0.43
711	L P 55	略円形	0.52	0.44	0.32	802	L S 55	略円形	0.22	0.21	0.24	915	M G 50	略円形	0.27	0.22	0.20
712	L P 55	略円形	0.27	0.24	0.37	803	L S 55	略円形	0.19	0.17	0.14	916	M G 51	略円形	0.34	0.30	0.08
713	L P 55	楕円形	0.75	(0.28)	0.14	804	L S 55	楕円形か	0.23	0.18	0.15	917	M G 52	楕円形	0.23	0.18	0.07
715	L P 56	楕円形	0.37	0.27	0.20	805	L S 55	略円形	0.22	0.22	0.46	918	M G 53	略円形	0.30	0.28	0.09
720	L P 56	隅丸方形	0.31	0.23	0.15	806	L S 55	略円形	0.18	0.17	0.15	919	M G 52	略円形	0.21	0.21	0.06
721	L P 56	隅丸方形	0.42	0.30	0.26	807	L S 55	略円形	0.23	0.23	0.53	920	M G 52	略円形か	0.41	0.31	0.10
722	L P 56	略円形	0.20	0.17	0.08	809	L T 55	楕円形	0.27	0.22	0.22	921	M G 52	略円形	0.34	0.31	0.50
723	L P 57	隅丸方形	0.29	0.20	0.15	810	L T 55	隅丸方形か	0.23	(0.50)	0.21	922	M G 53	略円形	0.26	0.23	0.10
724	L P 57	楕円形	0.28	0.24	0.23	811	L T 55	略円形	0.26	0.24	0.22	923	M F 53	略円形	0.22	0.21	0.12
725	L P 57	略円形	0.23	0.22	0.11	812	L T 55	楕円形	0.29	0.18	0.22	925	M G 53	略円形	0.44	0.36	0.30
726	L P 57	隅丸方形	0.24	0.22	0.09	813	L T 55	略円形か	0.24	0.22	0.15	927	M G 53	楕円形か	0.42	0.26	0.28
728	L P 58	略円形	0.36	0.34	0.18	814	L T 55	楕円形	0.28	0.21	0.29	929	M G 50	楕円形か	0.24	0.20	0.08
730	L P 58	略円形	0.43	0.40	0.17	816	L T 55	楕円形か	(0.19)	0.18	17.75	931	M G 51	略円形	0.20	0.18	0.06
731	L Q 58	楕円形	0.53	0.40	0.39	817	L T 55	楕円形	0.31	0.25	0.16	932	M G 51	略円形	0.17	0.16	0.08
732	L Q 58	略円形	0.20	0.17	0.12	820	L S 55	略円形	0.20	0.18	0.22	933	M G 51	略円形	0.23	0.21	0.10
733	L R 58	略円形	0.28	0.27	0.33	822	L T 55	略円形	0.23	0.19	0.12	934	M G 51	略円形	0.29	0.28	0.24
734	L Q 57	略円形	0.29	0.27	0.32	824	L T 54	略円形	0.32	0.28	0.22	935	M G 51	略円形	0.20	0.19	0.30
735	L Q 57	略円形	0.34	0.32	0.26	825	L T 54	略円形	0.35	0.31	0.34	936	M G 51	楕円形か	0.30	0.26	0.10
736	L Q 57	略円形	0.23	0.20	0.18	826	L T 54	略円形	0.30	0.29	0.22	938	M G 51	略円形	0.25	0.22	0.07
737	L Q 56	略円形	0.37	0.32	0.24	832	M A 54	略円形	0.19	0.19	0.13	939	M G 51	略円形	0.20	0.16	0.08
738	L Q 56	略円形	0.18	0.16	0.18	833	M A 54	隅丸方形か	0.27	0.23	0.48	941	M G 51	略円形	0.28	0.25	0.09
739	L Q 56	略円形か	0.59	0.51	0.20	834	M A 54	略円形	0.24	0.24	0.37	942	M G 51	略円形	0.25	0.24	0.18
740	L Q 56	略円形	0.27	0.26	0.36	835	M A 54	略円形	0.20	0.18	0.16	943	M H 51	略円形	0.21	0.20	0.16
742	L Q 56	楕円形	0.41	0.31	0.25	836	M A 53	楕円形	0.28	0.19	0.16	944	M H 51	略円形	0.32	0.30	0.27
743	L Q 55	略円形	0.33	0.22	0.28	837	M A 53	略円形	0.36	0.29	0.15	945	M H 51	略円形	0.28	0.27	0.15
744	L Q 55	略円形	0.19	0.17	0.25	838	M A 53	略円形	0.26	0.25	0.16	946	M G 52	略円形	0.24	0.24	0.15
745	L Q 55	略円形	0.28	0.27	0.13	839	M A 53	略円形	0.31	0.30	0.34	947	M G 52	略円形	0.22	0.22	0.15
746	L R 55	隅丸方形か	0.38	0.36	0.12	840	M A 53	略円形	0.28	0.28	0.25	948	M G 52	略円形	0.22	0.21	0.12
747	L Q 55	略円形	0.21	0.20	0.15	841	M A 53	略円形	0.32	0.28	0.19	949	M F 52	略円形	0.28	0.27	0.07
748	L R 55	—	0.28	(0.50)	0.11	845	M A 52	略円形	0.26	0.23	0.19	950	M I 52	略円形	0.24	0.24	0.25
749	L R 55	—	0.30	(0.50)	0.27	846	M A 52	略円形	0.24	0.22	0.28	952	M H 50	略円形	0.28	0.27	0.26
750	L R 55	略円形	0.22	0.19	0.09	847	M A 52	楕円形	0.34	0.27	0.21	953	M H 50	略円形か	0.40	0.36	0.29
751	L R 55	略円形	0.26	0.24	0.07	849	M B 52	略円形	0.18	0.15	0.13	954	M H 50	略円形	0.21	0.19	0.17
752	L R 55	隅丸方形か	0.22	0.19	0.27	859	M B 53	楕円形	0.35	0.18	0.19	955	M H 50	略円形か	0.53	0.50	0.67
753	L R 55	略円形	0.32	0.30	0.24	865	M C 52	略円形	0.30	0.27	0.12	957	M I 50	略円形	0.34	0.28	0.14
754	L R 55	略円形	0.30	0.27	0.63	866	M C 52	楕円形か	0.58	0.43	0.24	959	M H 50	楕円形	0.28	0.19	0.32
755	L R 56	—	0.21	(0.47)	0.07	867	M C 52	略円形か	0.32	(0.54)	0.11	960	M H 51	略円形	0.18	0.18	0.09
756	L R 56	—	0.19	(0.47)	0.13	868	M C 52	略円形か	0.22	(0.54)	0.10	961	M H 51	略円形	0.30	0.29	0.06
757	L R 56	略円形	0.20	0.18	0.13	869	M C 52	略円形か	0.23	0.20	0.09	963	M I 51	楕円形か	0.34	0.25	0.21
759	L R 56	略円形	0.14	0.13	0.14	877	M C 52	略円形	0.30	0.28	0.41	964	M H 51	略円形	0.28	0.26	0.33
760	L R 57	略円形	0.19	0.18	0.11	878	M C 53	略円形	0.18	0.16	0.17	965	M H 51	略円形	0.41	0.40	0.47

(単位：m)

第5表 柱穴様ピット計測表

第4章 調査の記録

番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ
967	MI50	略円形	0.32	0.30	0.24	1044	MA45	略円形	0.51	0.47	0.18	1110	ML51	楕円形か	0.42	0.19	0.13
968	MI50	略円形	0.46	0.39	0.50	1045	ME45	楕円形	0.39	0.30	0.36	1111	MK51	略円形	0.23	0.22	0.11
969	MI50	略円形か	0.29	0.24	0.15	1046	ME45	略円形	0.32	0.31	0.32	1112	MK51	略円形か	0.38	0.36	0.18
970	MI50	略円形	0.35	0.32	0.15	1047	ME45	略円形か	0.42	0.39	0.37	1113	MK51	略円形	0.26	0.23	0.15
971	MI51	楕円形	0.46	0.32	0.20	1048	ME45	略円形	0.28	0.28	0.20	1114	MK51	略円形	0.23	0.20	0.23
972	MI51	略円形	0.31	0.30	0.25	1049	MD45	略円形	0.41	0.37	0.32	1115	MJ51	略円形	0.34	0.34	0.20
974	MI51	略円形	0.35	0.31	0.44	1050	MD45	略円形	0.22	0.22	0.25	1116	MJ52	略円形	0.18	0.18	0.21
975	MI51	略円形	0.26	0.24	0.36	1051	MD45	—	0.28	(0.42)	0.22	1117	MJ51	略円形	0.18	0.16	0.21
977	MJ51	略円形	0.42	0.37	0.25	1052	MD45	—	0.23	(0.42)	0.19	1118	MJ51	略円形	0.24	0.20	0.07
979	MJ50	略円形か	0.23	0.19	0.14	1053	MD45	略円形	0.20	0.20	0.12	1119	MI50	略円形	0.20	0.20	0.19
980	MJ51	楕円形か	0.42	0.34	0.30	1054	MD45	—	—	—	0.26	1120	MG52	略円形	0.22	0.21	0.16
981	MH52	楕円形	0.33	0.26	0.26	1055	MD45	—	—	—	17.29	1121	MG52	略円形	0.20	0.16	0.33
982	MI52	略円形	0.34	0.34	0.21	1056	MD45	楕円形	0.25	0.19	0.17	1122	MG52	略円形	0.30	0.25	0.06
984	MI52	略円形	0.34	0.30	0.34	1057	MB46	略円形	0.24	0.20	0.16	1123	MG53	略円形	0.18	0.18	0.05
985	MI52	略円形	0.18	0.18	0.12	1058	MD45	略円形	0.29	0.28	0.29	1124	MG53	略円形か	0.25	0.18	0.01
988	MI51	略円形	0.26	0.25	0.25	1059	MD45	—	—	—	17.33	1125	MG53	略円形	0.24	0.20	0.05
989	MI51	略円形	0.34	0.32	0.25	1060	MD45	略円形	0.22	0.20	0.10	1126	MG53	略円形	0.32	0.30	0.07
990	MI52	略円形	0.18	0.18	0.20	1062	MC44	略円形	0.33	0.31	0.15	1127	MF53	略円形	0.20	0.18	0.07
991	LR48	楕円形	0.34	0.27	0.11	1063	MC46	略円形	0.44	0.41	0.21	1128	MF53	略円形	0.29	0.29	0.01
992	LR48	楕円形	0.24	0.19	0.17	1064	ME44	略円形か	0.22	(0.40)	0.35	1129	MF53	略円形か	0.26	0.24	0.09
993	LR48	略円形	0.24	0.20	0.25	1065	ME44	略円形か	0.34	(0.40)	0.33	1130	MF52	略円形	0.22	0.20	0.05
994	LR48	楕円形か	0.32	0.22	0.26	1066	ME44	楕円形か	0.43	0.41	0.13	1132	MF54	略円形	0.26	0.25	0.16
995	MD45	楕円形か	0.56	0.37	0.33	1067	ME44	略円形	0.30	0.28	0.12	1133	MF53	略円形か	0.35	0.31	0.21
996	LQ49	略円形	0.43	0.42	0.52	1068	ME46	略円形	0.24	0.23	0.16	1136	MD52	略円形	0.22	0.22	0.09
997	LN49	略円形	0.41	(0.34)	0.10	1069	LR49	略円形	0.22	0.20	0.13	1137	MD52	略円形	0.20	0.17	0.07
998	LN49	略円形	0.38	0.34	0.43	1070	LR49	略円形	0.21	0.20	0.19	1145	MC52	略円形	0.24	0.21	0.22
999	LO50	略円形	0.46	0.34	0.22	1071	LR49	略円形か	0.32	(0.49)	0.20	1148	MB53	略円形	0.18	0.17	0.25
1000	LT48	略円形	0.32	0.28	0.32	1072	LR49	略円形	0.30	0.29	0.48	1149	MB54	略円形	0.18	0.18	0.29
1001	LT48	略円形	0.24	0.23	0.36	1073	LR49	略円形か	0.29	(0.22)	0.15	1150	LN50	略円形	0.27	0.26	0.14
1002	LS47	楕円形か	(0.22)	0.29	0.27	1074	LR49	略円形	0.19	0.19	0.30	1151	LO51	略円形	0.34	0.29	0.51
1003	LP47	不整形	0.47	0.38	0.31	1075	LR49	略円形	0.24	0.21	0.12	1152	LO51	略円形	0.26	0.25	0.33
1004	LO51	楕円形	0.55	0.42	0.09	1076	LR49	略円形	0.18	0.17	0.16	1153	LO50	略円形	0.36	0.34	0.12
1005	LP49	略円形	0.20	0.18	0.20	1077	LR49	略円形	0.19	0.18	0.27	1154	LP49	略円形	0.26	0.24	0.13
1007	LO51	略円形	0.34	0.34	0.30	1078	LR49	略円形	0.40	0.35	0.44	1155	LP49	略円形	0.20	0.18	0.07
1008	LO51	略円形	0.54	0.44	0.17	1079	LS47	略円形	0.23	0.22	0.29	1156	LP49	略円形	0.23	0.20	0.06
1009	MA50	略円形	0.21	0.20	0.19	1080	LS47	略円形	0.25	0.20	0.31	1157	LQ51	略円形	0.28	0.25	0.15
1010	MA50	略円形か	0.38	0.32	0.15	1081	ME50	略円形	0.41	0.40	0.10	1158	LQ50	略円形	0.47	0.40	0.24
1011	LR47	略円形	0.25	0.23	0.17	1082	ME49	略円形	0.52	0.45	0.20	1160	LP48	不整形	0.53	0.44	0.28
1012	LQ49	略円形	0.20	0.19	0.05	1083	ME49	略円形	0.23	0.22	0.17	1161	LR48	略円形	0.29	0.28	0.46
1013	LN53	略円形	0.32	0.29	0.16	1084	ME49	略円形	0.60	0.56	0.42	1162	LR49	隅丸方形か	0.32	(0.49)	0.34
1014	LN53	略円形	0.26	0.23	0.11	1085	MF50	略円形	0.32	0.27	0.13	1169	LT49	略円形	0.29	0.24	0.18
1015	LP53	楕円形	0.38	0.36	0.40	1086	ME50	楕円形	0.31	0.22	0.19	1170	LT47	略円形	0.28	0.23	0.32
1016	LK54	—	0.28	—	0.19	1087	ME50	略円形	0.21	0.21	0.27	1171	LT47	略円形	0.28	0.26	0.32
1017	LK54	—	—	0.36	0.22	1088	ME50	楕円形か	0.52	0.43	0.21	1172	LT47	略円形	0.30	0.28	0.33
1018	LQ49	略円形	0.18	0.16	0.07	1089	MD50	楕円形	0.28	0.21	0.08	1173	LS47	略円形	0.22	0.21	0.21
1019	LQ49	略円形	0.20	0.20	0.12	1090	MD50	略円形	0.44	0.37	0.43	1174	LT46	略円形か	0.24	(0.54)	0.23
1020	LQ49	—	0.25	(0.14)	0.36	1091	MD49	略円形	0.22	0.22	0.17	1175	MD46	楕円形	0.33	0.25	0.30
1021	LQ49	略円形	0.34	0.29	(0.41)	1092	MD49	略円形	0.22	0.22	0.20	1176	MA46	楕円形	0.23	0.17	0.29
1022	LQ49	略円形	0.28	0.26	0.43	1093	MD49	略円形	0.31	0.29	0.22	1178	MD50	略円形	0.27	0.22	0.43
1023	LQ49	略円形	0.36	0.35	0.34	1094	MD49	略円形	0.31	0.29	0.31	1179	MC49	略円形	0.26	0.25	0.19
1024	LR46	略円形	0.25	0.20	0.31	1095	MD49	略円形	0.26	0.24	0.24	1180	MC49	隅丸方形	0.46	0.39	0.23
1025	LR47	略円形	0.20	0.20	0.15	1096	ME49	略円形	0.28	0.26	0.12	1181	LL52	略円形	0.16	0.14	0.17
1026	LR47	楕円形	0.56	0.45	0.17	1097	MF49	楕円形	0.38	0.30	0.71	1182	LL54	楕円形	0.20	0.14	0.20
1027	LS47	略円形	0.39	0.33	0.29	1098	ME48	略円形	0.23	0.22	0.27	1183	LL54	隅丸方形	0.30	0.29	0.17
1028	LS46	略円形	0.43	0.40	0.25	1099	ME48	略円形	0.34	0.30	0.37	1184	LM54	略円形	0.38	0.36	0.25
1029	LS46	略円形	0.30	0.28	0.19	1100	ME47	略円形	0.32	0.31	0.21	1185	MC53	略円形	0.34	0.32	0.26
1030	LR46	略円形	0.75	0.68	0.48	1101	MD48	楕円形	0.38	0.29	—	1186	LL55	楕円形	0.37	0.26	0.18
1031	MA50	略円形	0.19	0.18	0.32	1102	ME50	楕円形	0.44	0.34	0.61	1187	LL55	楕円形	0.36	0.30	0.23
1032	MA50	略円形	0.24	0.24	0.51	1103	LQ50	略円形か	0.30	0.25	0.51	1188	LM55	隅丸方形	0.44	0.32	0.29
1033	MC47	略円形	0.28	0.27	0.31	1104	LQ50	略円形	0.23	0.22	0.29	1189	LM55	隅丸方形	0.20	0.14	0.32
1038	LS48	楕円形	0.37	0.22	0.25	1105	LR48	略円形	0.29	0.28	0.12	1190	LM55	略円形	0.22	0.21	0.14
1039	LS49	略円形	0.25	0.22	0.18	1106	LR48	略円形	0.24	0.22	0.32	1191	LM56	楕円形	0.42	0.34	0.22
1040	LP49	楕円形	0.53	0.41	0.11	1107	MC53	楕円形	0.52	0.41	0.18	1192	LM56	略円形	0.42	0.40	0.14
1043	LR51	楕円形か	0.55	0.46	0.17	1108	ML51	略円形	0.22	0.21	0.17	1193	LM56	楕円形	0.20	0.17	0.18

(単位 : m)

第6表 柱穴様ピット計測表

番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ
1194	LN56	隅丸方形	0.28	0.26	0.40	1263	LK60	略円形	0.24	0.20	0.10	1345	LT52	略円形	0.20	0.20	0.13
1195	LN56	略円形	0.34	0.28	0.31	1264	LK60	楕円形	0.27	0.21	0.13	1346	LT51	略円形	0.20	0.19	0.13
1196	LN56	隅丸方形	0.76	0.56	0.34	1265	MC52	楕円形か	0.46	0.25	0.24	1347	MC47	楕円形か	0.46	(0.30)	0.31
1197	LN55	楕円形	0.62	0.48	0.41	1266	MC53	楕円形か	(0.26)	0.18	0.28	1348	MA50	楕円形	0.40	0.31	0.48
1198	LN55	楕円形	0.32	0.24	0.17	1267	MB54	略円形	0.30	0.26	0.28	1349	MD50	楕円形	0.37	0.28	0.15
1199	LN55	略円形	0.34	0.31	0.26	1270	LP55	略円形	0.27	0.25	0.16	1350	MC51	楕円形	0.45	0.38	0.21
1200	LN55	楕円形	0.39	0.27	0.22	1271	LP55	略円形	0.30	0.29	0.11	1351	MC48	楕円形	0.41	0.27	0.36
1201	LN55	楕円形	0.44	0.34	0.27	1272	LP55	隅丸方形	0.27	0.25	0.21	1352	LT46	略円形	0.34	0.31	0.12
1202	LN55	略円形	0.28	0.28	0.17	1273	LO55	略円形	0.37	0.35	0.18	1353	LT46	略円形	0.24	0.23	0.15
1203	LM55	略円形	0.24	0.20	0.31	1274	LO55	略円形	0.32	0.29	0.16	1354	MA45	略円形	0.45	0.45	0.33
1204	LL55	略円形	0.27	0.26	0.14	1275	LP55	楕円形	0.39	0.29	0.22	1355	LT45	略円形	0.32	0.26	0.27
1205	LM54	略円形	0.19	0.18	0.12	1276	LO55	楕円形	0.30	0.22	0.10	1357	LS46	楕円形か	0.33	0.24	0.23
1206	LM54	楕円形	(0.34)	0.28	0.10	1277	LO56	略円形	0.22	0.17	0.20	1358	LS46	略円形	0.22	0.20	0.19
1207	LM54	略円形	0.30	0.25	0.15	1278	LO56	楕円形	0.58	0.47	0.34	1359	LS47	略円形	0.33	0.27	0.45
1208	LM54	略円形	0.50	0.44	0.20	1279	LO56	略円形	0.32	0.30	0.41	1360	LS47	略円形	0.25	0.22	0.14
1209	LM54	楕円形	(0.38)	0.30	0.27	1280	LO56	略円形	0.36	0.29	0.27	1361	LS47	略円形	0.28	0.26	0.17
1210	LM54	楕円形	0.50	0.30	0.11	1281	LP56	楕円形	0.52	0.27	0.27	1362	LT47	略円形	0.26	0.22	0.11
1211	LN54	略円形	0.20	0.18	0.12	1282	LP56	略円形	0.24	0.22	0.09	1363	LT49	略円形か	0.23	(0.16)	0.19
1212	MC53	楕円形	0.32	0.20	0.25	1283	LO57	楕円形	0.28	0.23	0.18	1364	LT50	略円形	0.46	0.43	0.19
1213	LP55	略円形	0.32	0.31	0.18	1284	LP59	略円形	0.32	0.28	0.38	1365	MA46	略円形	0.38	0.34	0.22
1214	LL54	略円形	0.25	0.20	0.23	1285	LP59	楕円形	0.50	0.34	0.36	1366	LT46	略円形か	0.28	(0.54)	0.12
1215	LP55	楕円形	0.47	0.30	0.17	1287	LP58	不整形	0.41	0.29	0.29	1367	LR48	略円形	0.34	0.31	0.12
1216	LR54	楕円形	(0.34)	0.23	0.19	1289	LO57	隅丸方形	0.22	0.21	0.12	1368	ME50	—	0.36	(0.20)	0.23
1217	LR54	楕円形	0.23	0.13	0.13	1290	LO55	略円形	0.28	0.26	0.23	1369	MA49	楕円形か	0.29	0.28	0.19
1218	LR54	略円形	0.49	0.42	0.48	1293	LR53	略円形	0.46	0.45	0.41	1370	MA49	略円形	0.20	0.18	0.21
1219	LH60	隅丸方形	0.21	0.20	0.12	1295	LR51	略円形	0.22	0.21	0.21	1371	MA48	隅丸方形か	0.28	(0.57)	0.14
1220	LI60	隅丸方形	0.44	0.40	0.28	1296	LR51	略円形	0.21	0.18	0.26	1372	MA50	略円形か	0.29	0.26	0.22
1221	LJ60	略円形	0.24	0.21	0.31	1297	LR51	略円形	0.22	0.21	0.08	1373	MA50	略円形	0.22	0.22	0.18
1222	LJ60	楕円形	0.44	0.29	0.31	1298	LR51	略円形	0.38	0.35	0.23	1374	MA50	楕円形か	0.41	0.32	0.35
1223	LI58	略円形	0.33	0.26	0.30	1299	LR51	略円形	0.28	0.28	0.32	1375	MA50	略円形	0.22	0.19	0.18
1224	LI58	—	(0.26)	0.28	0.32	1300	LR52	略円形	0.22	0.20	0.26	1376	LS51	略円形	0.26	0.24	0.13
1225	LJ58	略円形	0.26	0.25	0.26	1301	LR52	楕円形	0.26	0.21	0.15	1378	LS51	—	(0.16)	(0.12)	0.41
1227	LJ58	略円形	0.19	0.19	0.13	1303	LR52	楕円形	0.39	0.35	0.16	1384	MC53	略円形	0.20	0.19	0.27
1228	LJ58	略円形	0.22	0.21	0.15	1304	LR52	略円形	0.32	0.32	0.13	1389	LL53	略円形	0.29	0.28	0.17
1229	LJ58	略円形	0.28	0.26	0.27	1305	LR53	楕円形	0.36	0.29	0.23	1390	LL54	略円形	0.28	0.27	0.34
1231	LI58	略円形	0.27	0.23	0.35	1306	LR54	楕円形	0.31	0.24	0.25	1394	MB53	略円形	0.23	0.23	0.15
1232	LI58	略円形	0.28	0.26	0.21	1307	LR54	楕円形	0.40	0.26	0.21	1395	LT54	略円形	0.24	0.24	0.14
1233	LJ60	略円形	0.28	0.22	0.27	1308	LR54	略円形	0.39	0.34	0.57	1396	LT55	略円形	0.24	0.20	0.22
1234	LI59	略円形	0.27	0.21	0.27	1309	LR54	楕円形	0.36	0.26	0.33	1397	LS55	略円形	0.27	0.26	0.38
1235	LN59	略円形	0.20	0.18	0.17	1310	LR54	略円形	0.26	0.22	0.07	1398	MG51	略円形	0.20	0.16	0.11
1236	LJ58	楕円形	0.59	0.38	0.23	1312	LR54	略円形	0.18	0.14	0.25	1399	MC51	略円形	(0.50)	0.42	0.13
1237	LJ57	略円形	0.30	0.29	0.20	1313	LR54	隅丸方形	0.29	0.20	0.11	1400	MC51	略円形か	0.48	0.43	0.19
1238	LJ56	不整形	0.34	—	0.07	1314	LR54	隅丸方形	0.29	0.24	0.04	1401	MA47	略円形	0.41	0.35	0.19
1239	LJ56	略円形	0.37	0.34	0.23	1315	LR54	略円形	0.23	0.20	0.20	1402	LT48	略円形	0.27	0.25	0.16
1240	LJ56	楕円形	0.65	0.56	0.37	1316	LR55	略円形	0.33	0.28	0.18	1403	LT49	略円形	0.16	0.13	0.15
1241	LJ56	略円形	0.26	0.25	0.12	1317	LR55	略円形	0.35	0.30	0.57	1404	MB49	略円形か	0.42	(0.32)	0.21
1242	LK56	略円形	0.22	0.20	0.11	1318	LR55	楕円形	0.55	0.38	0.16	1405	LQ51	略円形	0.44	0.43	0.21
1245	LJ56	楕円形	0.33	0.27	0.15	1319	LS54	隅丸方形	0.24	0.24	0.17	1406	LQ51	略円形	0.46	0.40	0.21
1246	LK53	略円形	0.28	0.25	0.29	1320	LS54	楕円形	0.30	0.15	0.10	1407	LQ51	略円形	0.44	0.42	0.18
1247	LL53	略円形	0.37	0.31	0.12	1321	LS53	略円形	0.21	0.20	0.11	1408	LQ51	楕円形か	0.48	0.38	0.30
1248	LL53	楕円形	(0.29)	0.22	0.16	1322	LS53	隅丸方形	0.30	0.21	0.22	1409	LQ51	楕円形	0.37	0.31	0.42
1249	LL52	略円形	0.30	0.26	0.13	1323	LS53	略円形	0.23	0.21	0.06	1410	LQ51	略円形	0.28	0.27	0.27
1250	LL53	略円形	0.28	0.25	0.15	1324	LS52	略円形	0.38	0.30	0.16	1411	LQ51	略円形	0.33	0.28	0.32
1251	LM53	略円形	0.20	0.18	0.14	1325	LS52	略円形	0.44	0.42	0.17	1412	LQ51	略円形	0.44	0.40	0.31
1252	LJ52	略円形	0.26	0.23	0.19	1327	LS51	略円形	0.31	0.28	0.39	1413	LQ51	略円形	0.38	0.25	0.29
1253	LN54	略円形	0.34	0.32	0.12	1328	LS51	略円形	0.20	0.18	0.19	1414	LQ52	楕円形	0.50	0.35	0.31
1254	LN54	楕円形	0.63	0.44	0.28	1329	LS51	略円形	0.30	0.24	0.28	1415	LQ52	隅丸方形か	0.34	0.31	0.47
1255	LM54	楕円形	0.44	0.36	0.16	1330	LS51	略円形	0.32	0.30	0.42	1416	LQ52	略円形	0.39	0.34	0.16
1256	LM55	略円形	0.32	0.28	0.13	1331	LS51	略円形	0.37	0.34	0.48	1417	LP54	略円形	0.16	0.16	0.30
1257	LL54	楕円形	0.30	0.20	0.11	1333	LR50	略円形	0.30	0.28	0.37	1418	LP53	楕円形	0.61	0.33	0.42
1258	LK60	略円形	0.32	0.30	0.23	1336	LS50	楕円形	0.36	0.22	0.39	1419	LP53	略円形	—	0.24	—
1259	LJ60	楕円形	0.34	0.27	0.25	1337	LS50	略円形	0.26	0.21	0.29	1420	LP53	略円形	—	0.30	0.35
1261	LK60	略円形	0.26	0.21	0.21	1343	LT52	略円形か	0.18	0.16	0.10	1421	LQ53	楕円形	0.62	0.47	0.49
1262	LH61	楕円形	0.29	0.22	0.12	1344	LT52	略円形	0.22	0.21	0.12	1422	LQ53	略円形か	0.32	0.24	0.18

(単位：m)

第7表 柱穴様ピット計測表

番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ
1423	LQ54	略円形	0.32	0.30	0.13	1517	MB48	略円形	0.31	0.29	0.17	1589	LQ50	略円形	0.40	0.40	0.29
1424	LL53	不整形	0.46	—	0.13	1518	MB48	略円形	0.30	0.26	0.26	1590	LQ51	略円形	0.47	0.45	0.32
1425	LM53	隅丸方形	0.27	0.24	0.10	1519	MB48	略円形	0.34	0.29	0.22	1591	LQ51	楕円形	0.53	0.43	0.11
1426	LL53	略円形	0.30	0.28	0.14	1520	MB48	略円形	0.28	0.26	0.26	1592	LR52	略円形	0.43	0.41	0.11
1427	LL53	略円形	0.34	0.30	0.13	1521	MB48	楕円形	0.38	0.29	0.20	1593	LQ53	略円形か	0.59	(0.38)	0.11
1428	LT51	略円形	0.18	0.17	0.20	1522	MB48	略円形	0.30	0.28	0.34	1596	LQ54	楕円形	0.42	0.37	0.21
1429	MA51	略円形	0.24	0.24	0.18	1523	LR50	略円形	0.20	0.17	0.51	1598	LQ55	不整形	0.54	0.48	0.27
1430	MA51	略円形	0.24	0.22	0.33	1524	LR50	略円形	0.20	0.19	0.15	1599	LR55	略円形	0.27	0.25	0.15
1433	LT51	楕円形	0.25	0.18	0.07	1526	MB53	楕円形	0.40	0.26	0.35	1600	LR55	楕円形か	0.32	0.25	0.18
1434	LT51	略円形	0.33	0.32	0.21	1528	MG51	略円形	0.33	0.29	0.31	1601	LQ55	略円形	0.37	0.31	0.42
1436	MA51	略円形	0.31	0.29	0.25	1530	MB48	略円形	0.25	0.22	0.12	1602	LQ56	隅丸方形か	0.30	0.30	0.24
1437	MA51	楕円形	0.48	0.36	0.25	1531	LR46	略円形	0.28	0.23	0.21	1603	LR56	隅丸方形	0.18	0.16	0.19
1439	MA54	略円形か	0.27	0.27	0.23	1532	LR49	—	0.25	(0.12)	0.30	1604	LR56	略円形	0.22	0.19	0.16
1441	MA54	略円形か	0.30	(0.30)	0.29	1533	LR49	略円形	0.31	0.28	0.26	1605	MA49	略円形	(0.20)	0.23	0.13
1448	MB52	略円形	0.13	0.12	0.15	1535	LR46	略円形	0.24	0.23	0.15	1606	MB49	略円形か	(0.47)	0.27	0.35
1449	MB52	楕円形	0.19	0.14	0.13	1536	LR46	楕円形	0.21	0.14	0.50	1607	MB49	略円形か	(0.47)	0.24	0.22
1462	MA51	楕円形	0.26	0.20	0.39	1537	LR47	略円形	0.20	0.20	0.20	1609	LN51	—	—	(0.12)	0.38
1470	MA45	略円形	0.24	0.22	0.09	1538	LR46	略円形	0.19	0.14	0.09	1610	LS55	略円形	0.22	0.20	0.14
1471	MA45	略円形	0.34	0.32	0.12	1539	LR47	略円形	0.31	0.30	0.18	1611	LS55	略円形	0.23	0.22	0.22
1472	MA45	略円形	0.21	0.19	0.11	1540	LR47	楕円形	0.31	0.23	0.17	1612	LS55	略円形	0.20	0.17	0.18
1473	MA45	略円形	0.36	0.32	0.21	1541	LQ52	楕円形	0.50	0.41	0.15	1613	LS55	略円形	0.23	0.21	0.10
1474	MA45	略円形	0.32	0.27	0.17	1542	LQ52	略円形	0.34	0.31	0.55	1614	LS55	略円形	0.26	0.25	0.21
1475	MA46	楕円形	0.50	0.41	0.25	1543	LR52	略円形	0.50	0.48	0.60	1615	LT55	隅丸方形か	0.39	(0.50)	0.33
1476	MB46	略円形	0.20	0.18	0.16	1544	LR52	略円形	0.36	0.33	0.27	1616	LT55	略円形	0.31	0.29	0.21
1477	MB46	略円形	0.40	0.39	0.18	1545	LR52	略円形	0.33	0.30	0.13	1617	LT55	略円形	0.19	0.19	0.28
1478	MB46	略円形	0.22	0.20	0.15	1546	LR52	楕円形	0.30	0.24	0.13	1618	LT55	略円形	0.25	0.24	0.35
1479	MA46	略円形	0.28	0.24	0.11	1547	LR52	略円形	0.38	0.33	0.27	1619	LT55	楕円形	0.59	0.34	0.40
1480	MA46	略円形	0.25	0.24	0.24	1549	LN58	略円形	0.24	0.22	0.20	1627	LQ59	略円形	0.36	0.33	0.34
1481	MA47	略円形	0.31	0.29	0.23	1550	LN58	略円形	0.26	0.22	0.35	1628	LP52	不整形	0.48	0.38	0.42
1482	MA47	略円形	0.22	0.20	0.15	1551	LN58	略円形	0.29	0.26	0.18	1629	LQ54	略円形か	0.31	0.24	0.13
1483	MA47	略円形	0.31	0.28	0.15	1552	LN58	略円形	0.26	0.22	0.23	1630	LT51	楕円形	0.50	0.33	0.51
1484	MA47	略円形	0.26	0.26	0.17	1553	LN58	楕円形	0.40	0.32	0.20	1631	LT51	楕円形	0.20	0.13	0.19
1485	MA47	略円形	0.29	0.29	0.20	1554	LN58	略円形	0.32	0.30	0.26	1632	LT51	略円形	0.18	0.17	0.09
1486	MA47	略円形	0.33	0.30	0.25	1555	LN58	略円形	0.29	0.26	0.25	1633	MA51	略円形か	0.46	(0.34)	0.80
1487	MA47	略円形	0.23	0.19	0.16	1556	LN58	略円形	0.26	0.24	0.24	1634	MA51	楕円形	0.54	0.30	0.45
1488	MA47	略円形	0.22	0.19	0.16	1557	LN58	楕円形	0.24	0.20	0.16	1636	MA49	楕円形	0.33	0.22	0.27
1489	MA48	略円形	0.33	0.26	0.40	1558	LO58	略円形	0.34	0.32	0.24	1637	MA50	略円形	0.33	0.28	0.33
1490	MA48	略円形	0.27	0.25	0.20	1559	LJ59	略円形	0.30	0.25	0.24	1638	MB50	略円形	0.21	0.19	0.20
1491	MA47	略円形	0.24	0.21	0.20	1560	LK56	楕円形	0.31	0.26	0.25	1639	MA49	略円形か	0.26	(0.20)	0.43
1492	MA47	略円形	0.24	0.23	0.25	1561	LK56	略円形	0.34	0.29	0.17	1640	MA49	略円形	0.37	0.34	0.16
1493	MA47	略円形	0.28	0.23	0.12	1562	LL56	略円形	0.29	0.26	0.30	1641	LO56	楕円形	0.22	0.19	0.18
1494	MA47	略円形	0.27	0.22	0.22	1563	LQ48	略円形	0.29	0.22	0.33	1642	MB54	略円形	0.45	0.44	0.38
1495	MA47	略円形	0.28	0.26	0.13	1564	LT52	不整形	0.37	0.36	0.19	1644	MA55	略円形	0.26	0.26	0.11
1496	MA48	略円形	0.22	0.19	0.17	1565	LS52	隅丸方形か	0.46	0.37	0.29	1645	MA55	略円形	0.31	0.26	0.28
1497	MA48	略円形	0.29	0.28	0.14	1566	LS52	略円形	0.23	0.22	0.10	1646	LT55	略円形か	0.26	0.24	0.37
1498	MA48	略円形	0.26	0.23	0.15	1567	LS52	略円形	0.29	0.24	0.27	1647	MA55	略円形	0.25	0.24	0.18
1499	MA48	略円形	0.28	0.25	0.17	1568	LR52	略円形	0.30	0.29	0.12	1648	MA55	略円形	0.60	0.53	0.25
1500	MB46	略円形	0.24	0.22	0.36	1570	LR51	略円形	0.22	0.19	0.09	1649	MA55	略円形か	0.31	0.25	0.13
1501	MB47	略円形	0.34	0.33	0.26	1572	LQ52	楕円形	0.39	0.33	0.19	1650	LN59	略円形	0.44	0.37	0.29
1502	MC47	略円形	0.34	0.29	0.25	1573	LQ52	楕円形	0.30	0.24	0.13	1651	LN59	隅丸方形	0.28	0.25	0.25
1503	MB47	略円形	0.40	0.32	0.26	1575	LQ52	略円形	0.39	0.36	0.32	1657	MA53	略円形	0.35	0.26	0.12
1504	MB48	略円形	0.36	0.34	0.17	1576	LQ52	略円形	0.65	0.59	0.24	1658	LK60	略円形	0.22	0.18	0.11
1505	MB47	略円形	0.26	0.26	0.24	1577	LQ52	略円形	0.57	0.53	0.22	1659	MC52	略円形	0.36	0.34	0.33
1506	MB47	略円形	0.30	0.28	0.30	1578	LQ52	略円形	0.46	0.45	0.37	1660	LS52	略円形	0.38	0.34	0.31
1507	MB47	略円形	0.36	0.27	0.25	1579	LQ52	略円形	0.32	0.30	0.33	1661	LS52	略円形	0.22	0.20	0.12
1508	MB47	略円形	0.20	0.18	0.14	1580	LQ53	略円形か	0.54	0.41	0.10	1662	LS52	略円形	0.25	0.24	0.20
1509	MB47	略円形	0.24	0.23	0.25	1581	LQ52	略円形	0.38	0.34	0.10	1663	LT52	略円形	0.33	0.32	0.40
1510	MB48	略円形	0.17	0.16	0.22	1582	LS52	略円形か	0.42	(0.62)	0.43	1664	LT52	略円形か	0.26	0.22	0.24
1511	MB48	略円形	0.28	0.25	0.29	1583	LS52	略円形か	0.24	(0.62)	0.43	1665	LT52	不整形	0.43	0.27	0.44
1512	MB48	略円形	0.30	0.26	0.25	1584	LR52	略円形	0.49	0.47	0.48	1666	LT52	略円形	0.30	0.26	0.24
1513	MB48	略円形	0.31	0.28	0.15	1585	LR52	楕円形か	0.59	(0.51)	0.60	1667	MA52	楕円形	0.63	0.52	0.12
1514	MB48	略円形	0.34	0.33	0.21	1586	LP50	楕円形	0.37	0.29	0.12	1668	MA52	略円形か	0.37	0.25	0.11
1515	MB48	略円形か	0.25	(0.20)	0.26	1587	LQ50	略円形	0.44	0.37	0.10	1669	MA52	略円形か	0.41	0.32	0.11
1516	MB48	略円形	0.26	0.26	0.26	1588	LQ51	楕円形	0.55	0.45	0.14	1670	MA52	楕円形	0.27	0.21	0.24

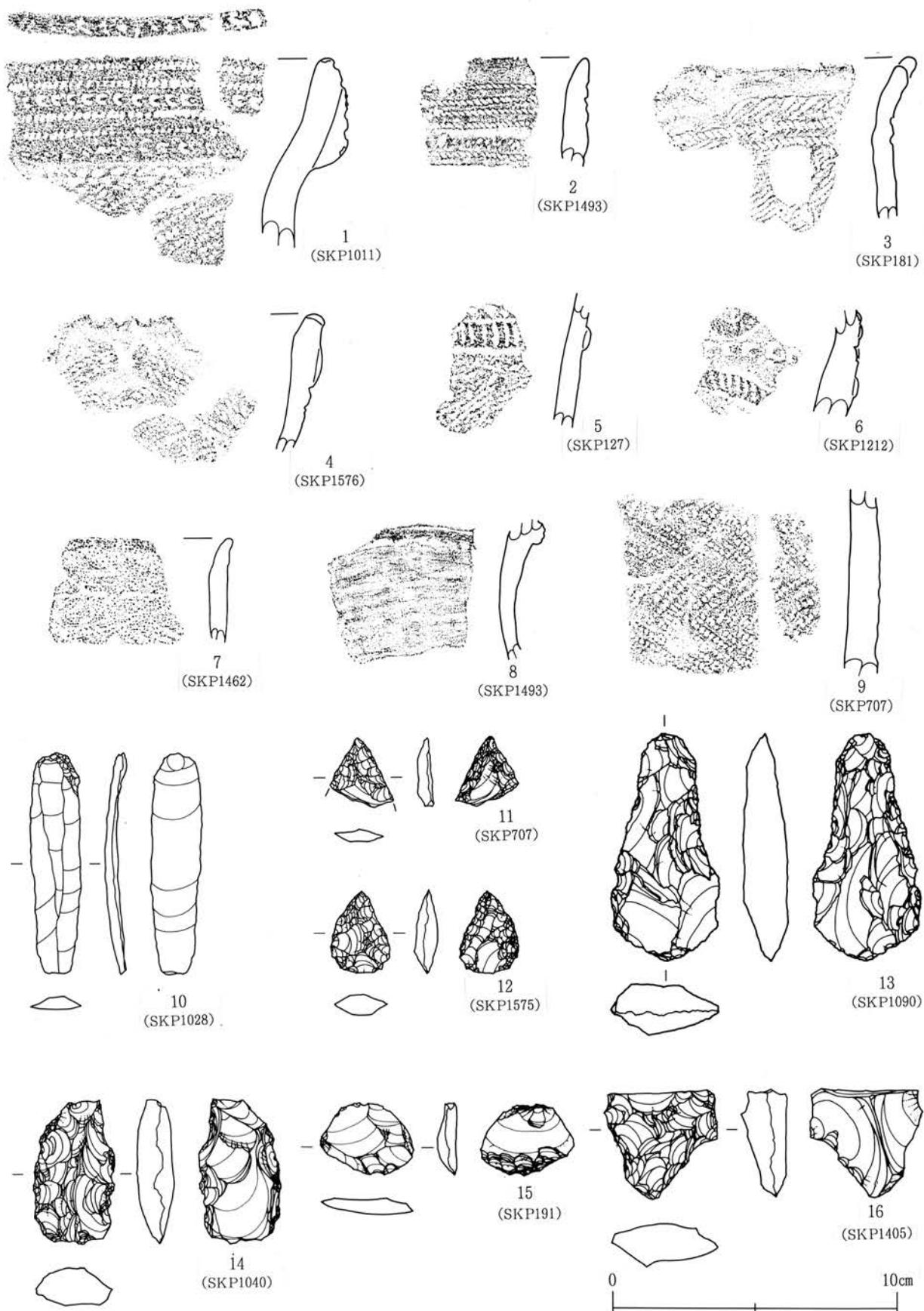
(単位：m)

第8表 柱穴様ピット計測表

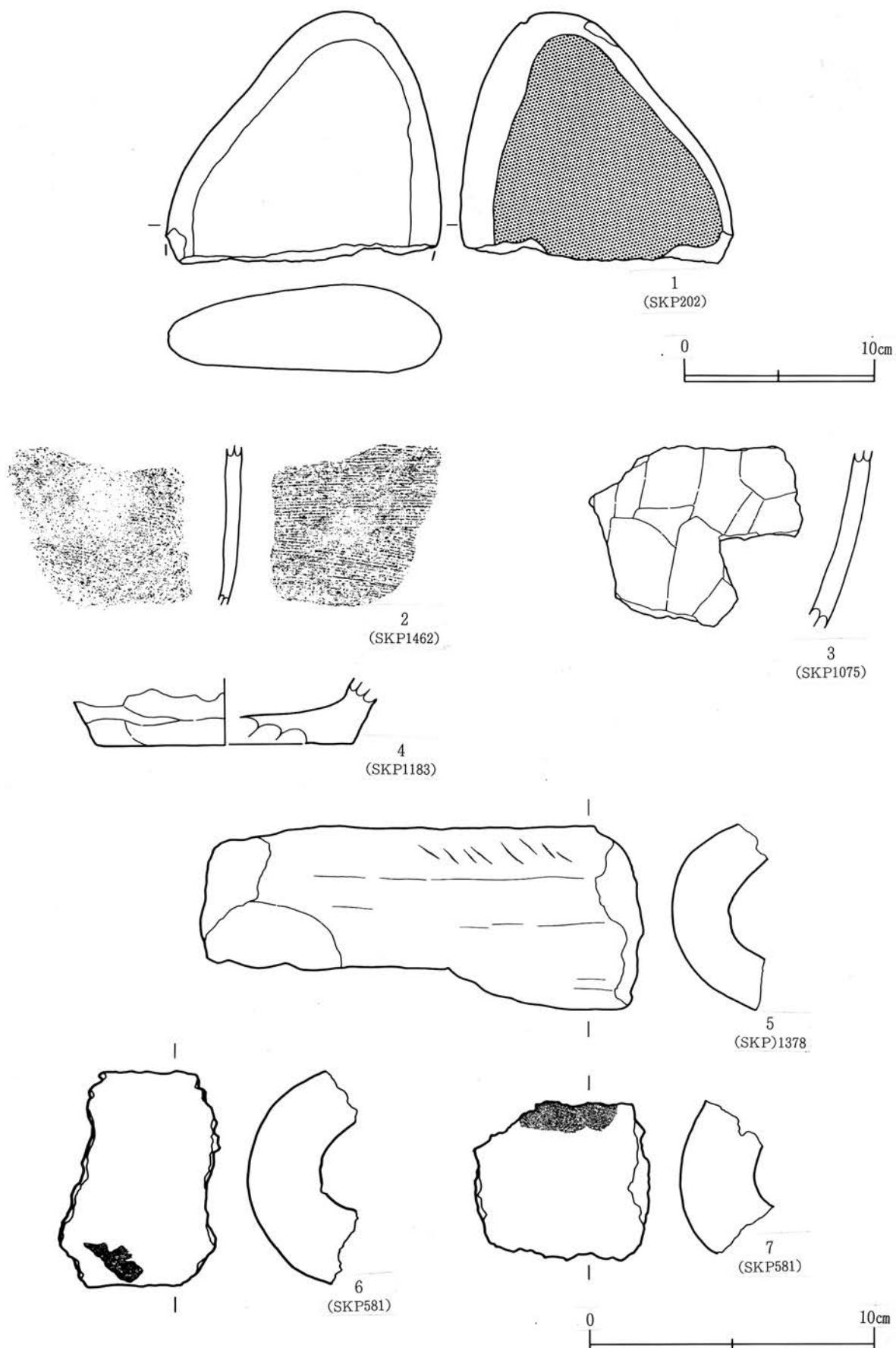
番号	地区	形	長径	短径	深さ	番号	地区	形	長径	短径	深さ
1671	MB52	略円形	0.35	0.32	0.12	1764	MC50	略円形	0.29	0.28	0.11
1673	MB52	略円形	0.34	0.31	0.25	1765	LS48	隅丸方形か	0.20	0.19	0.23
1674	MB52	略円形	0.27	0.26	0.16	1766	LT49	略円形	0.30	0.29	0.33
1675	MB52	略円形	0.26	0.26	0.15	1767	LS52	略円形	0.24	0.22	0.07
1676	MB52	楕円形	0.40	0.27	0.11	1769	MA46	略円形か	0.34	0.30	0.18
1677	MC52	略円形	0.22	0.20	0.11	1770	LR51	楕円形か	0.68	0.54	0.48
1678	MB52	略円形	0.20	0.20	0.25	1771	LK56	略円形	0.33	0.32	0.14
1679	MB51	楕円形	0.34	0.27	0.14	1772	LJ58	略円形	0.43	0.38	0.26
1680	MB51	略円形	0.22	0.20	0.15	1773	LP56	楕円形	0.26	0.20	0.09
1684	MD47	略円形	0.24	0.23	0.14	1774	LR57	略円形	0.36	0.31	0.24
1685	MD48	楕円形	0.64	0.52	0.52	1775	LK58	略円形	0.28	0.25	0.28
1686	MC49	略円形	0.21	0.20	0.30	1776	LP49	楕円形	0.54	0.38	0.25
1693	MD51	略円形	0.26	0.24	0.32	1777	LR47	略円形	0.20	0.17	0.14
1694	MF51	略円形	0.28	0.24	0.33	1778	MA48	楕円形	0.66	0.50	0.37
1695	MG50	略円形	0.27	0.25	0.20	1779	MD49	楕円形	0.68	0.52	0.30
1696	MH51	略円形	0.24	0.23	0.15	1780	ME45	略円形	0.72	0.67	0.28
1697	MH51	略円形	0.28	0.24	0.11	1781	ME45	略円形	0.92	0.72	0.24
1698	MH50	略円形か	0.32	(0.31)	0.48	1782	MD46	楕円形	0.48	0.35	0.29
1699	MH50	隅丸方形か	0.33	(0.18)	0.55	1783	LT49	—	0.20	(0.45)	0.26
1700	MH50	略円形	0.19	0.17	0.16	1784	LT49	—	0.37	(0.45)	0.19
1701	MH50	隅丸方形	0.17	0.13	0.24	1785	MB49	略円形	0.85	0.65	0.31
1702	MH51	略円形	0.24	0.22	0.26	1786	LS57	隅丸方形	0.49	0.47	0.25
1703	MB49	楕円形	0.40	0.26	0.18	1787	LT55	略円形	0.59	0.49	0.26
1704	MB49	略円形	0.43	0.38	0.30	1789	ME51	楕円形	0.74	0.43	0.23
1705	MA52	楕円形か	0.73	0.66	0.52	1790	LN51	略円形	0.58	0.42	0.13
1706	LI59	楕円形	0.43	0.33	0.77	1791	MD49	略円形	0.52	0.38	0.13
1707	MD51	略円形	0.30	0.26	0.28	1792	MA54	略円形	0.67	0.48	0.51
1708	MH50	楕円形か	(0.56)	0.40	0.07	1793	LN51	隅丸方形	0.70	0.67	0.41
1709	MH50	楕円形	0.58	0.40	0.13	1795	LR54	隅丸方形	0.16	0.11	0.05
1710	MJ51	略円形	0.18	0.18	0.16	1796	LR54	隅丸方形	0.20	0.19	0.19
1711	MJ51	略円形	0.23	0.20	0.09	1797	LR54	楕円形	0.42	0.25	0.08
1712	MJ51	略円形	0.24	0.20	0.13	1798	LR54	略円形	0.23	0.20	0.14
1713	MJ51	略円形	0.24	0.20	0.11	1799	LR53	略円形	0.19	0.17	0.22
1714	MB54	略円形	0.56	0.48	0.43	1800	LR53	略円形	0.16	0.13	0.10
1715	LT47	略円形	0.21	0.20	0.35	1801	LR53	略円形	0.28	0.23	0.23
1717	MB52	略円形	0.18	0.16	0.18	1802	LR53	隅丸方形	0.25	0.22	0.17
1718	MB52	略円形	0.34	0.30	0.35	1803	LR53	略円形	0.18	0.18	0.02
1719	LQ48	略円形	0.35	0.30	0.30	1804	LR53	略円形	0.25	0.22	0.15
1723	LR54	楕円形	0.38	0.30	0.16	1805	LR53	略円形	0.16	0.14	0.09
1727	LQ49	略円形	0.16	0.12	0.27	1806	LR53	隅丸方形	0.28	0.26	0.07
1732	ME47	略円形	0.57	0.53	0.35	1807	LR53	隅丸方形	0.31	0.28	0.11
1733	LP54	略円形	0.31	0.30	0.13	1808	LS53	隅丸方形	0.26	0.26	0.54
1734	LP54	略円形	0.26	0.23	0.16	1809	LS53	略円形	0.32	0.30	0.40
1737	LN53	楕円形	0.28	0.19	0.17	1810	LR53	略円形	0.27	0.29	0.06
1738	LN53	楕円形	0.27	0.18	0.06	1811	LS53	略円形	0.16	0.14	0.03
1739	LP54	隅丸方形	0.27	0.24	0.07	1812	LS53	隅丸方形	0.18	0.18	0.25
1740	MA46	楕円形	0.39	0.27	0.13	1813	LS53	略円形	0.36	0.34	0.10
1742	MA46	略円形	0.43	0.40	0.19	1814	LS54	略円形	0.18	0.16	0.18
1743	LS57	略円形	0.37	0.30	0.25						
1744	LS56	略円形	0.22	0.20	0.28						
1745	LQ54	楕円形	0.38	0.24	0.11						
1746	MD47	—	0.52	(0.33)	0.30						
1747	LQ56	隅丸方形か	0.31	0.28	0.25						
1748	LP56	略円形	(0.17)	0.23	0.35						
1749	ME45	楕円形	0.39	0.28	0.24						
1750	LM50	略円形	0.33	0.31	0.18						
1751	MB49	略円形	0.47	0.45	0.13						
1752	MC49	略円形	0.52	0.47	0.39						
1753	LL54	楕円形	0.39	0.32	0.09						
1754	LN53	楕円形	0.47	0.35	0.44						
1756	LL54	略円形	0.36	0.34	0.17						
1759	LQ52	略円形	0.41	0.41	0.18						
1760	LQ53	楕円形	0.46	0.33	0.29						
1761	MB45	隅丸方形か	0.33	0.31	0.14						

(単位：m)

第9表 柱穴様ピット計測表



第121図 SKP出土遺物(1)



第122図 SKP出土遺物(2)